

国土技術政策総合研究所資料

TECHNICAL NOTE of
National Institute for Land and Infrastructure Management

No.151

January 2004

HOPE計画の20年

岩田 司

The HOPE (Housing with Proper Environment) Project, 1983-2003

Tsukasa Iwata

国土交通省 国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management
Ministry of Land, Infrastructure and Transport, Japan

HOPE計画の20年

岩田 司

The HOPE (Housing with Proper Environment) Project,
1983-2003

Tsukasa IWATA

概要

1983年に創設された国土交通省の補助事業であるHOPE(地域住宅)計画は、2003年にその20周年を迎えた。これを機会にHOPE賞を創設し、優秀な事業、作品、活動、団体、個人等の表彰を行った。これらの作品を概括すると、HOPE計画の目指したすまいづくり、まちづくりの地域性は、気候風土、都市規模、居住地類型、地場産材に大きく起因していることがわかる。

キーワード : 住宅計画、地域性、住文化、すまいづくり、まちづくり

Synopsis

The HOPE promoting conference presented the HOPE AWARDS to the excellent projects, works, activities, groups, organization and personalities in commemoration of the 20th anniversary of the HOPE project established in 1983 subsidized by the Ministry of Land, Infrastructure and Transport. These works represent the housing locality is based on the climate, the urbanization size, the housing typology and the local housing materials.

Key Words : Housing, Locality, Housing design, Urban design, Housing culture

は し が き

当研究所では、昭和 58 年度の地域住宅計画(通称 HOPE 計画、以下 HOPE 計画という)制度創設以来、多くの HOPE 計画策定に参加・協力する一方、策定後の HOPE 計画に関わる活動や実施された事業等の調査を継続的に行ってきた。また平成 7、8 年度、および平成 15 年度には、HOPE 計画推進協議会とともに全国調査を実施した。これら一連の活動によって収集された資料は、HOPE 計画の趣旨に則り建設されたモデル住宅や、個人住宅、公営住宅や住宅団地、あるいは道路、公園や各種施設の整備、さらに総合的なまちづくりなどを含んでおり、それらの総数は 900 件近くになる。

ところで、平成 15 年度には HOPE 計画創設 20 周年を迎え、HOPE 計画 20 周年記念大会が長崎県島原市で開催された。HOPE 計画推進協議会では 20 周年を迎えるにあたり、これまでの地域に根ざしたすまいづくり、まちづくりを支えてきた多くの人々の努力に敬意を表するために、HOPE 賞を創設した。また、この HOPE 賞の選考は、当研究所がこれまでに収集した資料に基づき行われた。この結果、HOPE 計画の趣旨に十分に生かした活動や物件が選ばれたことになる。

これらの活動や物件は、HOPE 計画の模範となるものであると同時に、HOPE 計画の目指す地域に根ざしたすまいづくり、まちづくりの実態や、あるいは今後のすまいづくり、まちづくりを考える上での貴重な資料となるものである。そこで当研究所では、HOPE 計画の 20 年を振り返る資料として、本研究資料を出版することとした。当研究資料が、すまいづくり、まちづくりを推進しようとする市区町村や都道府県の担当者、あるいはコンサルタントや地元で活躍する人々、さらにはすまいづくりやまちづくりを研究する研究者等にお使いいただければ、まことに幸いである。

最後に、資料の収集にご協力いただいた関係各位に厚くお礼申し上げたい。

平成 16 年 3 月

国土交通省
国土技術政策総合研究所 副所長
佐々木 宏



目 次

地域住宅(HOPE)計画	1	
HOPE賞	7	
HOPE大賞			
北海道	江差町 14	
山形県	金山町 15	
福島県	三春町 16	
富山県	八尾町 17	
福井県	大野市 18	
静岡県	天竜市 19	
愛知県	足助町 20	
京都府	京都市 21	
鳥取県	倉吉市 22	
徳島県	脇町 23	
高知県	佐川町 24	
佐賀県	有田町 25	
長崎県	島原町 26	
熊本県	熊本市 27	
HOPE賞			
北海道	31	
	江差町	江差町地域住宅計画推進	32
		江差町道営住宅檜山団地	33
	旭川市	旭川市ウッドタウン緑が丘	34
	中標津町	中標津町計根別団地	35
	津別町	地元産材の活用	36
岩手県	39	
	遠野市	モデルハウス「遠野住宅」	40
		鷲崎市営住宅第6団地	41
		下一日市地区土地区画整理	42
宮城県	43	
	加美町	中新田交流センター	44
	登米町	登米町街なみ環境整備	45
山形県	47	
	高島町	中央通り商店街	48
	金山町	街並み(景観)づくり100年運動	49
		街並みづくり資料館整備 (通称:蔵史館)	50
		交流サロンぽすと	51
		街並み交流広場	52
		水と親しむふれあい小路(めがね堰)	53
		金山町営住宅羽場団地	54
福島県	55	
	三春町	みどりの小径街づくり協定地区街なみ環境整備	56
		駅南部(八島台)コーポラティブ住宅	57
		三春町公営住宅かつぎばし団地	58
	舘岩村	舘岩村営湯ノ花団地	59
茨城県	61	
	常陸太田市	通り塩町地区街なみ環境整備	62
栃木県	63	
	喜連川町	フィオーレ喜連川	64

埼玉県	65
東京都	都幾川村 木を生かした施設づくり(一連の作品)	66
東京都	世田谷区 公営住宅でつなぐまちづくり(桜丘一帯)	68
新潟県	71
新潟県	栃尾市 よったかり活動	72
新潟県	小千谷市 公営木造耐雪モデル住宅	73
富山県	75
富山県	八尾町 「上野かざみ台」住宅団地	76
富山県	八尾町魅力あるまちづくり事業基本計画	77
富山県	歴史的地区環境整備	78
石川県	79
石川県	白峰村 伝統環境保全	80
福井県	81
福井県	大野市 御清水周辺整備	82
長野県	83
長野県	千曲市 稲荷山土壁の街整備	84
岐阜県	87
岐阜県	高山市 住宅設計指針、ユーザーズマニュアル等の作成(高山型住宅マニュアル)	88
静岡県	89
静岡県	大須賀町 横須賀の一連の住まいからの素朴なまちづくり	90
静岡県	天竜市 「天竜の家」山王団地	92
静岡県	「天竜の家」大谷南団地	93
静岡県	「天竜の家」大谷北団地	94
愛知県	95
愛知県	足助町 足助町営桑田和団地	96
愛知県	足助町 足助町営千野住宅	97
愛知県	「集落コミュニティ」の創造	98
愛知県	「木住システム」の開発	99
滋賀県	101
滋賀県	土山町 街なみ環境整備	102
京都府	103
京都府	京都市 京都市HOPE計画モデル住宅展示場(ハウス・ハンス・ギャラリー)	104
京都府	京都市HOPE計画モデル住宅展示場(ハウス・ハンス・北山)	105
京都府	京都市住情報センター及び総合住宅展示場(り・ぶ・ら北山)	106
京都府	景観・まちづくりコンクール	107
京都府	宇治市 炭山コーポラティブハウス	108
大阪府	109
大阪府	大阪市 古市中住宅再生プロジェクト	110
大阪府	平野郷HOPEゾーン	111
兵庫県	113
兵庫県	出石町 出石町営住宅日野辺団地	114
奈良県	115
奈良県	吉野町 吉野 山灯り	116
鳥取県	117
鳥取県	倉吉市 水と緑と文化のまちづくり	118
岡山県	121
岡山県	岡山市 岡山市地域住宅計画(HOPE計画)	122
山口県	123
山口県	下関市 下関市公営住宅白雲台団地	124
山口県	山口市 山口市住宅マスタープラン(NPO法人山口まちづくりセンター活動)	125

徳島県		127	
	上勝町	上勝モデル住宅	128
	脇町	町並み保存	129
愛媛県		131	
	内子町	街なみ環境整備	132
高知県		133	
	佐川町	歴史的町並み保全区域	134
		三野2号団地	135
	橋原町	小規模木造公営住宅(一連)による過疎集落の維持	136
	伊野町	和紙の活用と伝統的建築物を核としたまちづくり	137
福岡県		141	
	山田市	山田市菅尾浦住宅団地(共同庭園型住宅)	142
	北九州市	北九州市菅竹末団地	143
		北方地区環境改善	144
佐賀県		145	
	有田町	有田地域住宅に関する普及・啓発活動	146
		有田内山地区街なみ保存	147
		有田黒牟田地区街なみ環境整備	148
長崎県		149	
	島原市	街なみ環境整備	150
		島原市まち並み景観賞	151
		島原市菅柏野団地	152
	諫早市	本野けやき団地	153
	上五島町	上郷団地	154
熊本県		157	
	熊本市	熊本市菅花園団地	158
		熊本市菅新地団地	159
		熊本市菅託麻団地	160
		熊本市菅渡鹿団地	161
		県営保田窪第一団地	162
		県営帯山A団地	163
		県営竜蛇平団地	164
鹿児島県		165	
	喜界町	公営住宅整備	166
		城久地区街並み環境整備	167
沖縄県		169	
	平良市	平良市菅馬場団地	170
		県営平良団地	171
HOPE奨励賞			
北海道		175	
	岩見沢市	岩見沢市菅日の出南団地	176
		岩見沢市菅日の出北団地	177
	旭川市	第一東光団地	178
	砂川市	砂川市ハウジングアメニティ計画	179
	豊富町	豊富町サロベツ住宅	180
	標茶町	虹別町菅住宅	182
	倶知安町	望羊団地公営住宅	183
	北見市	アグリタウン上ところ	184
		ウッドタウン相内	185
青森県		187	
	佐井村	古佐井大町地区村営住宅	188
		大佐井新町地区村営住宅	189

岩手県		191
遠野市	遠野駅稲荷下線街路	192
	遠野駅周辺整備	193
	大工通り	194
	大手町通り	195
	木工団地	196
宮城県		197
加美町	加美町営並柳ホープ住宅	198
	花楽小路	199
大河原町	宮城県営大河原結ヶ丘住宅	200
	一連の集会所	201
登米町	宮城県営登米前船橋住宅	202
秋田県		203
五城目町	五城目町営矢場崎団地	204
秋田市	秋田県営・秋田市営旭南団地	205
山形県		207
高島町	高島町営住宅御入水団地	208
金山町	集落移転(南沢住宅)	209
八幡町	八幡町公営住宅荒町団地	210
福島県		211
猪苗代町	猪苗代町営住宅桜ヶ丘団地	212
小高町	紅梅団地公営住宅	213
郡山市	郡山市シルバーハウジングプロジェクト「富久山ふれあいタウン」	214
塙町	商店街整備の推進	215
	塙町営住宅金砂団地	216
三春町	みどりの小径(その2)街づくり協定地区街なみ環境整備	217
	御蔵下街づくり協定地区街なみ環境整備	218
喜多方市	蔵移築再生事業	219
	喜多方市HOPE計画建築文化賞	220
	歴史のみちすじ	221
	喜多方市営大荒井住宅	222
	喜多方市駅前通りまちづくり協定	223
	ふれあい通り(中央通り)地区の整備	224
南郷村	南郷村営和泉田団地	225
	南郷村営山口団地	226
	公共公益施設等生活基盤整備	227
	南郷村優良建築賞	228
	南郷HOPE仕様建築物助成	229
	ホープ計画展	230
富岡町	王塚第3団地	231
	王塚集会所	232
	公衆トイレ(森の花和屋)	233
桑折町	桑折公営庫場団地	234
田島町	田島町福祉ホール	235
	区画整理事業	236
本宮町	本宮町営栄田ニュータウン	237
棚倉町	たなぐら建築賞	238
新地町	団地内ゴミ収集所	239
船引町	ポケットパーク整備	240
三島町	三島町ふれあい公園	241

茨城県		243	
	笠間市	笠間市営稲田第2住宅団地	244
		笠間市営来栖住宅団地	245
	岩井市	商店街活性化街路・小売商業商店街近代化	246
	結城市	蔵造り街並み保存	247
	高萩市	高萩いきいき住まいづくり人材育成	248
	鹿嶋市	あんしん住まいのための相談	249
	常陸太田市	桃源駐車場さわやかトイレ	250
		常陸太田市立進徳幼稚園	251
		常陸太田市営幡町団地	252
	東海村	村民協働による住まいづくりの推進と継続	253
	つくば市	つくば市東光台HOPEモデル団地	254
	古河市	赤松市営住宅第1工区	255
栃木県		257	
	喜連川町	喜連川町営ひばりヶ丘住宅団地	258
	田沼町	田沼町立閑馬小学校	259
		吉水町営住宅	260
群馬県		261	
	甘楽町	甘楽町営住宅二日町団地	262
	川場村	川場村営住宅	263
埼玉県		265	
	杉戸町	日光街道杉戸宿みなみがわ散策道	266
	庄和町	西宝珠花北団地	267
千葉県		269	
	成田市	公津の杜	270
	大網白里町	「HOPE計画モデル団地」質の高い住宅地づくりの推進	271
神奈川県		273	
	川崎市	川崎市営上小田中住宅	274
新潟県		275	
	三条市	良寛の道整備	276
	鹿瀬町	特定公共賃貸住宅向鹿瀬団地	277
	小千谷市	天竺地区街なみ環境整備	278
	新潟市	松和町コーポラティブ住宅	279
	相川町	上町集会施設	280
富山県		281	
	新湊市	橋とまちづくり(一連のデザイン橋)	282
	八尾町	八尾町公営住宅妙川寺団地	283
		八尾町公営住宅高熊団地	284
石川県		285	
	中島町	中島町営中島団地	286
		中島地区街なみ環境整備	287
		高齢者・身体障害者の住まい方調査・改善指導	288
	白峰村	わかすぎ住宅	289
	柳田村	特定公共賃貸住宅さくら団地	290
		特定公共賃貸住宅わすみ団地	291
	寺井町	一連の九谷焼平板を活用した街並み整備	292
	美川町	美川町まちなみ景観づくり整備	293
福井県		295	
	大野市	三番ポケットパーク	296
		インフィル型市営住宅	297
		明治公園整備	298
	丸岡町	振興地型住宅モデル「丸岡のいえ」の提案	299

山梨県	301
	南アルプス市 白根町HOPE計画	302
長野県	303
	千曲市 まちかど公園	304
	モデル住宅団地北堀団地	305
	モデル住宅団地八幡団地	306
	千曲市営住宅志川団地	307
	千曲市営住宅屋代団地	308
	千曲市営住宅鑄物師屋団地	309
	小布施町 高速道路事業に伴う収用移転	310
	小布施町営住宅水上団地	311
	おぶせミュージアム・中島千波館	312
岐阜県	313
	可児市 久々利地区街なみ環境促進	314
静岡県	315
	天竜市 天竜市営大谷団地	316
	天竜市営天神団地	317
	富士宮市 「富士の里・活性化プロジェクト」～山水のある庭園集落づくり～	318
愛知県	319
	田原町 はなとき通り	320
京都府	321
	大江町 大江町営仲町団地	322
大阪府	323
	八尾市 個性豊かな住環境づくり	324
	大阪市 桜之宮中野地区都市型集合住宅	325
兵庫県	327
	一宮町 一宮町営住宅神戸団地	328
	篠山市 福住住宅	329
	赤穂市 赤穂市HOPE計画	330
島根県	331
	江津市 地場産赤瓦によるすまいづくり、まちづくり	332
	出雲市 高瀬川沿線のまちづくり	333
広島県	335
	広島市 リバーフロント住宅計画(昭和町平和とアパート景観改善)	336
山口県	337
	周南市 新南陽市住宅マスタープラン	338
	美祿市 化石と花のまちづくり	339
徳島県	341
	上勝町 (株)もくさんの設立	342
	落合複合住宅	343
	貞光町 さだみつ歴史街道プロジェクト(貞光町町並み修景)	344
	貞光町公営住宅明治橋団地	345
	阿南市 阿南市営住宅西方団地	346
	徳島市 徳島市営末広団地	347
香川県	349
	直島町 直島町まちづくり景観整備	350
高知県	351
	安芸市 土居地区街なみ環境整備	352
福岡県	353
	山田市 HOPEフェスタまちかど美術館	354
	サルビア道路	355
	大牟田市 バリアフリー住宅士養成講習会	356

佐賀県		357
	唐津市 唐津市営西唐津住宅	358
	武雄市 武雄市営中野住宅	359
長崎県		361
	松浦市 「住まいづくり研究会」の設立	362
	波佐見町 折敷瀬団地	363
熊本県		365
	熊本市 県営新渡鹿団地	366
	県営帯山第2団地	367
	西原村 河原団地	368
	八代市 西片町団地	369
	松橋町 希望の里団地	370
	上の原団地	371
	築切団地	372
	豊野町 公営住宅出店団地	373
	玉東町 玉東町営住宅 猪の鼻団地	374
	三加和町 板楠団地	375
	南小国町 南小国町営住宅矢津田団地	376
	蘇陽町 馬見原団地	377
	久木野村 公営住宅室町団地	378
	東陽村 東陽村営淵ノ本団地	379
	山江村 公営住宅柳野団地	380
	公営住宅城内団地	381
	水俣市 亀首団地	382
	久木野団地	383
	住まいの絵コンクール	384
	阿蘇町 行者通り・仲小路	385
	狩尾団地	386
	泗水町 朝日西団地”御住塔”(ごじゅうのとう)	387
	人吉市 公営住宅西瀬団地	388
	牛深市 須口団地	389
	坂本村 坂本駅前住宅団地	390
	田浦町 海浦団地公営住宅	391
	河原団地公営住宅	392
	高森町 旭A団地	393
	津奈木町 竹中団地公営住宅	394
大分県		395
	別府市 別府市HOPE賞	396
	まちなみ点検地図の作成	397
宮崎県		399
	諸塚村 城の下第2団地	400
	城の下第3団地	401
	椎葉村 尾前下地区山村定住住宅	402
	伝統的建造物群保存地区(十根川地区)保存	403
	中の瀬地区山村定住住宅	404
	上椎葉地区街並み環境整備	405
鹿児島県		407
	川内市 永利ホープタウン	408
	喜界町 喜界島の家コンペ	409
	中種子町 伏之前団地	411

地域住宅(HOPE)計画

1. HOPE 計画の理念

わが国は、南北 4000km に及ぶ国土の広がりを持っており、春夏秋冬の季節変化とともに、寒冷気候地帯から亜熱帯気候地帯まで、多種多様な気候特性を持っている。

このような気候特性の中、わが国では、木材を中心とした地域の地場産材を活用し、長年にわたって地域固有の住文化を育て上げてきた。そしてこれがそれぞれ地域固有の住宅や家並み、まちのたたずまいというものを作り上げてきた。

一方、現在わが国の住宅は、多種多様な材料、工法、デザインを生み、一つ一つは個性的であっても、いわゆるバラバラな街並みを形成するに至っている。また、流通の改善、マスコミによる迅速な情報伝達により、地域の枠を超え、全国どこでも同じような住宅を建てることのできるという状況が生み出されている。このことが全国どこに行っても同一でしかも統一感のない家並みを生み出す一因となっている。

戦後の住宅政策は、量から質の時代へと転換したと言われる。昭和 51 年度を初年度とする第三期住宅建設五カ年計画では「居住水準」が、昭和 56 年度からの第四期住宅建設五カ年計画では「住環境水準」が導入され、さらに平成 3 年度からの第六期住宅建設五カ年計画では「誘導居住水準」「最低居住水準」「住環境水準」が示されるに至っている。

質の具体的内容である誘導・最低居住水準は、世帯人員に応じた住戸の規模を重視した考え方であり、住環境水準は、日照・通風・プライバ

シーの確保などの住戸回りの空間の質を対象としたものである。このように戸数から、広さ、そして隣近所までを含めた地区での住み良さの確保へと、住環境水準の視野は着実に住宅個々の改善から、住宅地総体としての住み易さの追求へと向かっている。

この住宅地の総体がある地域を形成し、その地域にはそれぞれ固有の住まい方が生まれてくる。これが地域コミュニティの形成であり、このコミュニティの中で人々は日々生活を送るのである。この地域においては、相隣関係や気候風土による住まい方も含めた独自の住文化があり、それを意識化することによって、地域に根ざした、あるいは地域にふさわしい住宅ができてくるのである。

このように、地域に根ざした住みよい住まいを整備することは、地域固有の住宅、あるいは住宅地を生み、さらに広くは「まちづくり」に繋がるものである。ただし、これら地域に根ざした住宅の整備は、そこに住む住民自らが参加し、自らが発意することによって、より効果的なものになることは明らかである。このように住宅のあり方を地域（市区町村）という場に視点を据えて模索しようとする試みがこの「地域住宅計画」である。

なお、昭和 58 年度よりスタートしたこの国土交通省の施策は、「地域固有の環境(自然環境、資源的環境、文化的環境などの広義の環境)を具備した住まいづくり」運動として、今後の住宅政策の「希望」という意味も込めて、「HOPE 計

画”(HOusing with Proper Environment)と命名されたのである。

2. HOPE 計画の仕組み

以上の理念に基づき、HOPE 計画の目指すところは、以下の3点である。

- a. 地域の特性をふまえた質の高い居住空間の整備:自然環境、伝統、文化等地域が持つ特性を重視し、これを生かしながら、将来に資産として継承しうる質の高い居住空間を整備し、良好な地域社会の形成をはかる。
- b. 地域の発意と創意による住まいづくりの実施:住宅・住環境の整備について、地域の「自主性」や「多様性」を尊重することにより、地域の発意と創意による住まいづくりを推進する。
- c. 地域住文化、地域住宅生産等にわたった広範な住宅政策の展開:住宅が単体のみならず、これらを取り巻く住環境、地域社会、地域の産業、地域経済、住宅文化等にまで広く関わり合いを持っていることから、これらの広範な住宅関連施策を地域の場において統合し、展開をはかる。

この目標に照らし、HOPE 計画を策定するのは国や都道府県ではなく、市区町村である。これは市区町村が地域の住宅事情に最も精通しており、またわがまちの住まいのあり方について第一義的責任を持つべきものと考えられるからである。

HOPE 計画は、モデルとなる市区町村を国土交通大臣が指定し、指定を受けた市区町村は、地域の住民や住宅を取り巻く産業に携わる人々、研究者や専門家の参加を得て、良好な住宅市街地の形成、地域住文化の育成、地域住宅生産の振興等に関する長期的な住宅整備の基本方針および推進すべき具体的施策を内容とする計画を策定するものである。なお、この計画策定にか

かわる費用の3分の1が、国から補助される。

また、これら一連の計画が継続的に推進されるように、計画策定後3年間にわたり、HOPE 計画推進事業を行うことにより、推進事業費補助が行われる。補助対象事業主体は当然 HOPE 計画策定市区町村であるが、その他にも住宅・都市整備公団、地域振興公団、さらには間接補助対象ではあるが、地方住宅供給公社等、HOPE 計画策定市区町村が認めるものもその事業主体となることのできる。補助率は計画策定事業と同じであるが、計画策定後3年以内に当推進事業に着手することが求められ、主には策定された計画に基づく、

- a. 住宅建設の指針の作成事業
- b. 住宅市街地形成の実施計画の作成事業
- c. 住宅地の計画の策定事業
- d. 事業計画の策定事業
- e. 専門家研修・コンサルタント派遣等の担い手育成事業
- f. 大都市地域等からの居住者誘致等の広報事業

などに用いられている。

なお、HOPE 計画を策定した市区町村においては、HOPE 計画に基づく住宅の建設、住環境の整備を推進するため、住宅金融公庫において優遇貸付が実施されている(表1)。

表1 HOPE計画に基づく住宅金融公庫の割増融資

貸付対象種別	優遇融資の内容
公社分譲住宅 団地住宅	①建築工事費の割増融資 50万円/戸
	②屋外附帯設備工事費の割増融資 約18万円/戸
	③団地施設設置工事費の貸付要件の緩和 (150戸以上の団地→50戸以上の団地に緩和)
一般住宅 (一団の土地に 集団的に建設 されるもの)	①建築工事費の割増融資 50万円/戸 ②屋外附帯設備工事費の貸付 30万円/戸 (一団の土地に集団的に建築されるもの)

3. HOPE 計画推進協議会

HOPE 計画を実施している市区町村、都道府県、コンサルタント等が集い、活発な情報交流や研究を通じて各地の HOPE 計画をさらに実りあるものとするを目的として、(財) ベターリビングを事務局として「HOPE 計画推進協議会」が平成 3 年 5 月 14 日に設立された。この協議会では、

- 各地の HOPE 計画および同計画に基づく事業等に関する情報の収集および管理
- 地域特性をふまえた住まいづくりに関する研究
- HOPE 計画に関するシンポジウム等の開催
- 季刊誌「HOPE REPORT」等の HOPE 計画に関する図書の編集
- その他協議会の目的を達成するために必要な事業

を行っており、HOPE 計画推進事業とともに、長期にわたって、地域に根ざした住まいづくり、まちづくりを積極的に支援している。

このように HOPE 計画は、地域に立脚した、住まい、住宅地、まちづくりを目指す一方、これら計画の実践を、先を急ぐことなく、一步一步着実に各公共団体が成果を積み重ねられるような各種支援措置を備えている。

4. 事業の実績

HOPE 計画は昭和 58 年度から平成 13 年度までに 468 の市区町村において策定されている(図 1, 表 2, 図 2)。これら策定の成果は、地域にあった住みよい公営住宅や住宅団地の建設、地域に適合した住宅の開発、およびこの住宅による市街地や街並みの改善、またこれらの改善に呼応した街路や裏道等の歩行者空間・ポケッ

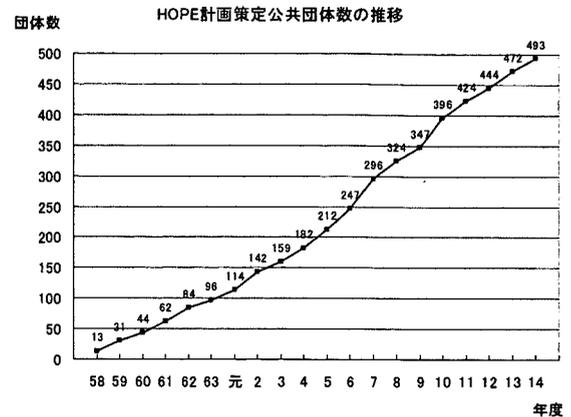


図1 HOPE計画策定公共団体数の推移

表2 HOPE計画策定公共団体数

都道府県	自治体数	都道府県	自治体数	都道府県	自治体数
北海道	26	石川県	26	岡山県	3
青森県	2	福井県	3	広島県	4
岩手県	6	山梨県	1	山口県	29
宮城県	4	長野県	10	徳島県	18
秋田県	4	岐阜県	29	香川県	3
山形県	8	静岡県	21	愛媛県	3
福島県	27	愛知県	14	高知県	15
茨城県	24	三重県	8	福岡県	17
栃木県	5	滋賀県	9	佐賀県	3
群馬県	5	京都府	3	長崎県	38
埼玉県	9	大阪府	6	熊本県	10
千葉県	14	兵庫県	14	大分県	2
東京都	8	奈良県	4	宮崎県	8
神奈川県	2	和歌山県	2	鹿児島県	10
新潟県	26	鳥取県	2	沖縄県	2
富山県	3	島根県	3	合計	493



図2 HOPE計画策定公共団体数

トパークの整備、伝統的建築デザインをモチーフにした公共公益施設の建設、自然とふれあえる公園整備等といった形で実現している。

このうち地域の気候風土に適合した住宅の例では、北海道旭川市等での北方型住宅の開発や新潟県小千谷市、福井県大野市などの雪に強い住宅の開発、鹿児島県喜界町の暴風雨に対処しながら通風を考え、涼しく暮らせる住宅の開発などがある。このようにそれぞれの地域で開発された地域適合型住宅の特徴は、その気候風土によって

- a. 北海道の北方型住宅に代表される寒冷地気候地域での高断熱高気密住宅
- b. 東北から北陸にかけての豪雪地域における積雪を考慮した克雪住宅
- c. 南西諸島における台風などの暴風雨に対処しながら、通風を考え、涼しく暮らせる高温多湿地域の住宅
- d. その他一般地域における住宅

の四つに大きく区分することができる。

また福島県三春町では、地域の気候特性を考えた上で、市街地の性格（接道の状況や建物の用途、敷地の形状等による地区区分ごとに隣近所を考慮した建物の建て方を地元の建設関連業者の集まりである三春町住宅研究会で研究し、住み良さと景観整備を同時に念頭においた、それぞれの地区にあった住宅・市街地の整備を行っている。

さらに、地場産業の振興を柱に、北海道の津別町では地場産の木材をふんだんに使用した公営住宅の建設、島根江津市では公共民間を含め石州赤瓦を利用するといった試みが行われている。

5. 住宅マスタープランへ

HOPE 計画については、昭和 60 年度まではモデル事業として 1 都道府県 1 市町村を原則として進められてきたが、当初 3 年間の成果が広く認められ、さらに一般的な制度として継続することとなった。また、HOPE 計画の実施を通じて地域高齢者住宅計画や、克雪タウン計画等の地域の实情に合わせた計画を策定する事業も整備されてきた。このようななか、建設省では平成 6 年度よりこれら地域特性に応じた住宅整備のよりいっそうの充実をはかるため、地域特性に応じた具体的施策の展開方針等からなる当該地方公共団体における住宅の整備等に関わる計画を策定するための「住宅マスタープラン」を創設した。(表 3)

HOPE 計画もこの住宅マスタープランの中で「地域の住文化等に関わる住宅供給に関わる事項」として位置づけられ、従来にもまして、地域に根ざした住宅政策を展開することがより一層期待されることとなった。

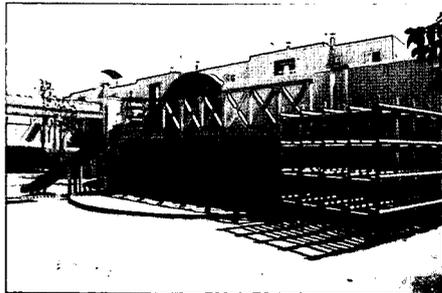
表 3 住宅マスタープランの概要

大都市地域における住宅供給促進
特定優良賃貸住宅等の供給促進
良好な住宅供給促進のための段階的住宅建設
地方定住促進に資する住宅供給
生涯学習のむらの整備に資する住宅供給
地域の住文化等に係る住宅供給に係る事項(HOPE計画)
多雪地域に係る住宅供給に係る事項
高齢者等に係る住宅供給に係る事項
住宅の情報化の推進に係る事項

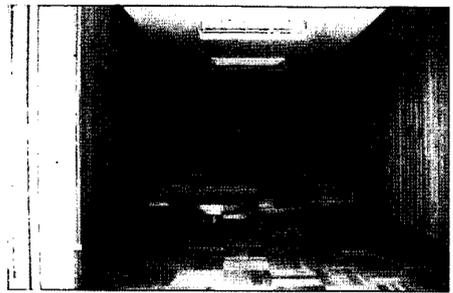
●各地のHOPE計画



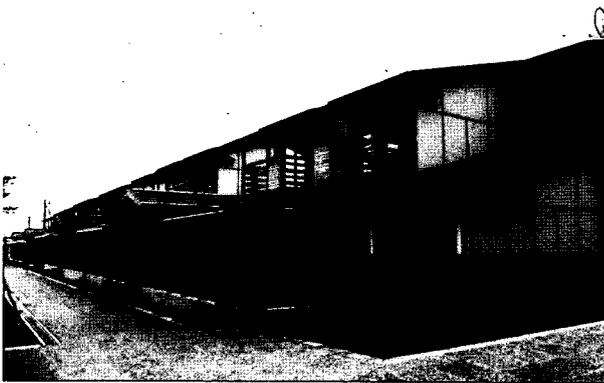
岩見沢市営日の出南団地入り口。入り口からスチールでできたしゃれた雁木が各住棟を結び、雪の季節でも移動が容易である。



岩見沢市営日の出北団地の木製遊具。子供たちの凍傷防止のため、遊具はスチール製ではなく木製となっている。



岩見沢市営日の出北団地の階段室内の遊び場。冬の子供たちの生活を考え、ガラス戸で仕切られた階段室内に砂場を設けている。



伝統的な形態をモチーフにした江差町の北海道檜山団地（木造公営住宅）



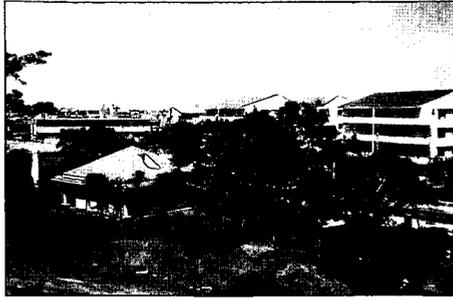
高断熱高気密工法による旭川ウッドタウン。ゆったりとした敷地で帯雪空間も確保されている。



中庭型の住棟配置の熊本市営の公営住宅。大都市を中心に囲み型配置によって居住者のセミパブリックな空間をとろうとする試みが行われている。



出雲市高瀬川沿道景観形成地区。河川、街路の整備によって風情のある町並みを形成しようと試みている。



平良市宮馬場団地全景



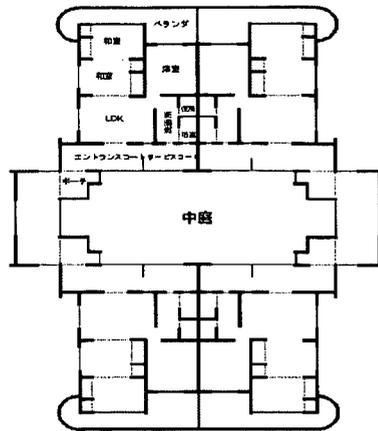
サンゴの石垣と亜熱帯性植物に彩られた喜界町コーラル喜界団地。



コーラル喜界団地の開放的な間取り。すべての部屋が続き間になり開け放つことができる。左奥の部屋の押入れの下にはガラリがあり、ここから床下の涼しい風が取り入れられる。



岡山市足守地区では、住民が自主的に町並み保存を行っており、市・県がそれに補助する形で町並み保存がはかられている。観光開発ではなく、小中学校の生徒の教材になる町にしたいという。



平良市宮馬場団地の平面プラン（1住棟4戸）。ここではポーチからエントランスコート（外部のベランダ）に入り、そこに下駄箱があって、そこからリビング等にはいる。玄関のなかった南西諸島の住文化の流れを汲んだ平面プランである。



平良市宮馬場団地の住棟に挟まれた中庭。夏の日の中高度 88.9° という強烈な日射をさけるための工夫。この中庭にはサンゴの砂利が敷かれている。



出雲市今市町では電柱にツタを這わせて景観向上を図る工夫をしている。



広島市の郊外の戸建て住宅団地彩が丘では、砂防河川を利用した親水公園がつけられている。

HOPE賞

1. HOPE 賞の創設

平成 15 年、HOPE 計画推進協議会では、HOPE 計画創設 20 周年に当たり、20 年にわたる HOPE 計画策定市区町村による活動と、都道府県、コンサルタントをはじめとしたこれら地域に根ざしたすまいづくり、まちづくりを支えてきたすべての人々の活躍を讃え、HOPE 賞を創設した。

HOPE 賞には、HOPE 賞、HOPE 奨励賞、HOPE 功労賞が設けられ、平成 15 年 10 月に長崎県島原市で行われた HOPE 計画 20 周年記念大会を契機に、毎年行われる全国大会において HOPE 計画推進協議会会長より授与されることとなった。

2. HOPE 賞

HOPE 賞は、各地方公共団体が策定した HOPE 計画に基づいて実施され、地域の住文化の発展に貢献していると考えられる作品、活動に授与される。

作品については、以下に示す HOPE 賞の選考内容を十分に具体化し、HOPE 計画において、あるいは他の作品の模範となるもので、デザイン的にも秀逸であると考えられる作品に授与される。

活動については、複数年以上(5 年程度以上)活発に継続して活動を行っており、地域の住文化の育成に大きく貢献し、HOPE 計画や他の地域での活動の模範となると考えられるものについて授与される。

- ・ 地域の住まい方や居住者特性等を考慮したプラン、配置等の工夫が行われている。
- ・ 通風や日照への配慮、雪対策や雨対策に対する工夫、高断熱化等の新技術など、地域の気候・風土に対応した工夫がみられる
- ・ 構工法において、地域の伝統的手法を用いている、あるいはそれらの研究に基づく新技術を用いている。
- ・ 木、瓦、土、紙、竹、石、陶磁器等をはじめとする地場産材や新素材等を工夫して活用し、地域の産業振興を図っている。
- ・ 伝統的建築物、およびその群を、地域の住文化の保存、保全ととらえ保存、保全、活用している。
- ・ 以上のような地域の住文化を具体化していると考えられる住宅（外壁、屋根等の一部も含む）、あるいは植栽、材料等によって景観に配慮した街なみ、集落を形成している。
- ・ 地域の住文化を具体化していると考えられる施設等で、周辺や地域の住環境等、または HOPE 計画の推進に貢献していると考えられる。
- ・ 地元の住民、あるいは建設業者等によって熱心に研究、開発された結果によって建設されている。
- ・ 地域の環境を考慮し、地球環境に貢献すると考えられる。
- ・ 地域の実情にあわせ、ストックを活用し、地域社会に貢献していると考えられる。
- ・ 以上のような手法等の継続的な推進、普及

を図り、地域の住文化の育成に貢献する、あるいはHOPE計画の趣旨に則ったすまいづくり、まちづくりを具体化させる活動を行っていると考えられる。

3. HOPE 奨励賞

HOPE 奨励賞は、HOPE 賞の選考内容を一部でも実現しており、HOPE 賞に準ずると評価される作品、活動に対して授与される。

4. HOPE 功労賞

HOPE 功労賞は、HOPE 計画を支え、その普及、促進に継続的に貢献したと考えられる以下のような個人、法人、団体等に対して授与される。

- ・ 多数の HOPE 計画の策定に参加し、HOPE 計画の手法の確立に努められたと考えられるもの。
- ・ HOPE 計画に関する研究活動を行い、HOPE 計画の普及、促進に貢献したと考えられるもの。
- ・ 興味深いシンポジウム、コンテスト、競技設計等の開催や、資料、マニュアル等の作成など、地域における HOPE 計画の趣旨を生かしたすまいづくり、まちづくり、あるいはそれらの活動に貢献したと考えられるもの。
- ・ その他 HOPE 計画の普及、促進に貢献したと考えられるもの。

5. HOPE 計画 20 周年記念特別表彰

HOPE 計画推進協議会は、HOPE 計画 20 周年を記念して、HOPE 計画 20 周年記念特別表彰を行う。特別表彰では、HOPE 計画創設以来

20 年間の長きにわたる熱心で、かつ継続的な地域に根ざしたすまいづくり、まちづくり活動とその成果を讃えるため、HOPE 大賞と HOPE 特別功労賞を設ける。

6. HOPE 大賞

HOPE 大賞は、長期間にわたり地域に根ざしたすまいづくり、まちづくりを熱心、かつ継続的に行い、HOPE 計画の精神を十分に具体化した街なみ、地区等が形成され、地域全体が HOPE 計画の成果と認められ、他の公共団体の模範となる、あるいはその地域の住文化を形成するための計画や産業振興等の手法が HOPE 計画全体の推進に大きく貢献したと考えられる地方公共団体に授与される。

7. HOPE 特別功労賞

HOPE 特別功労賞は、長年にわたりある一定期間において HOPE 功労賞に値する活動を継続し、HOPE 計画全体の発展、普及、推進に多大なる貢献をしたと考えられる個人、法人、団体等に授与される。

今回は初めての表彰であることから、HOPE 計画が創設された昭和 58 年度前後から HOPE 計画の立ち上げ、実施、推進に一貫して貢献があった個人、コンサルタントに対し授与することとした。

8. 平成 15 年度・各賞受賞者選考について

HOPE 賞、HOPE 奨励賞、功労賞は毎年設定するものであるが、HOPE 賞創設初年である今回は、その選考対象を昭和 58 年度の HOPE 計画創設時期から現在に至るすべての作品、活動とした。

選考対象は、昭和 58 年度の HOPE 計画創設以来、国土技術政策総合研究所が継続的に行ってきた現地調査と、平成 7、8 両年度に HOPE 計画推進協議会とともに行った現地調査※から選定した。

この平成 7、8 年度の調査は、HOPE 計画が住宅マスタープランに統合される平成 6 年以前の昭和 58 年度から平成 5 年度までのすべての策定市区町村を対象としている。平成 5 年度までの HOPE 計画策定市区町村の担当者に直接電話によるヒアリングを行い、それぞれの市区町村の HOPE 計画の策定内容を実現したと考えられる作品があるとの回答を得た市区町村で現地調査を行った。その結果、888 件に及ぶ作品を収集、整理した。この作品から今回の選考対象を選定した。

また、この現地調査時に建設中の作品、初期の活動等があったことから、当調査において把握し切れなかったものがあると考えられる、または平成 6 年度以降の住宅マスタープランによる活動も含め、新たな作品や活動があると考えられるため、短期間ではあったが、都道府県を通じて、平成 15 年度までに HOPE 計画、および住宅マスタープランを策定した市区町村において、HOPE 計画の趣旨に則って建設された作品、および活動についての調査をおこない、その結果からも選定した。

以上の結果、選考対象として 381 件の作品、活動が選ばれた。また功労賞の対象として 42 団体、および個人が選ばれた。この選考対象から HOPE 計画推進協議会に設置された審査委

※建設省建築研究所春期研究発表会聴講資料
「15.住宅の地方性に関わる問題について」(平成 11 年 5 月)参照。

員会において審査を行い、各賞を以下のように選定した。

a. HOPE 大賞	14
b. HOPE 賞	85
c. HOPE 奨励賞	179
d. HOPE 功労賞	28
e. HOPE 特別功労賞	14

当資料では、これら HOPE 賞のうち、作品、および活動に関わる表彰である HOPE 大賞、HOPE 賞、および HOPE 奨励賞を整理し、掲載した。この HOPE 賞、および HOPE 奨励賞の種別を以下に示す。

・ HOPE 賞	85 件		
建築物	48 件		
うち			
公営住宅		30 件	
住宅団地		7 件	
モデルハウス		5 件	
個人住宅		3 件	
施設		3 件	
活動	10 件		
協定、条例、助成等	2 件		
道路、公園等	5 件		
まちなみ整備	17 件		
地場産材の活用	3 件		
・ HOPE 奨励賞	179 件		
建築物	124 件		
うち			
公営住宅		92 件	
住宅団地		8 件	
モデルハウス		2 件	
個人住宅		3 件	
施設		19 件	

活動	17 件
協定、条例、助成等	6 件
道路、公園等	19 件
まちなみ整備	11 件
地場産材の活用	2 件

なお HOPE 功労賞、HOPE 特別功労賞は以下に掲載しておく。

・ HOPE 功労賞

- 株式会社 アール・アイエー大阪支社
- 株式会社 I・I・E 国際環境研究所
- 内井昭蔵建築設計事務所
- 株式会社 ウルム建築・計画研究所
- 株式会社 エム環境デザインシステム
- 株式会社 かいアソシエイツ
- 株式会社 計画技術研究所
- 株式会社 計画工房
- 株式会社 現代計画研究所
- 株式会社 国際技術コンサルタント
- 株式会社 じゅう・総合計画研究所
- 財団法人 住宅都市工学研究所
- 株式会社 住宅・都市問題研究所
- 株式会社 醇建築まちづくり研究所
- 株式会社 ズコーシャ
- 株式会社 創計画研究所
- 株式会社 地域計画リサーチ
- 株式会社 地域計画研究所
- 株式会社 地域計画建築研究所
- 株式会社 地域計画総合研究所
- 株式会社 地域まちづくり研究所
- 地区計画研究所
- 株式会社 ティ・アール建築アトリエ
- 株式会社 都市科学政策研究所
- 株式会社 都市・計画・設計研究所

- 都市計画研究所
- 株式会社 B・U・L 街づくり研究所
- 株式会社 ビュー環境計画研究所
- 有限会社 福永博建築研究所
- 株式会社 プランニングワークショップ
- 北海道開発コンサルタント株式会社
- 株式会社 マイスタジオ
- 株式会社 マヌ都市建築研究所
- 株式会社 村井総合計画事務所
- 株式会社 メイ建築研究所
- ランドプレーン株式会社

・ HOPE 特別功労賞

- 東京大学 名誉教授 渡邊 定夫
- 前三春町町長 伊藤 寛
- 熊本県
- 株式会社 アルセッド建築研究所
- 株式会社 市浦都市開発建築コンサルタンツ
- 大野建築アトリエ
- 環境コンプレックス株式会社
- 株式会社 コー・プラン
- 株式会社 高木富士川計画事務所
- 株式会社 ダイナックス都市環境研究所
- 社団法人 地域問題研究所
- 株式会社 テイク・ナイン計画設計事務所
- 株式会社 ラウム計画設計研究所
- 日本経済新聞社

謝辞：当資料の収集にあたっては、各都道府県、ならびに各市町村の担当者の方々にご協力をいただいた。また、当資料の編集においては HOPE 推進協議会ならびに（株）マイスタジオの岩田左紅氏、建設経済研究室の車田宇子氏、嶋田睦美氏に絶大なるご協力をいただいた。これら全ての諸氏に深く感謝するものである。

HOPE 大賞

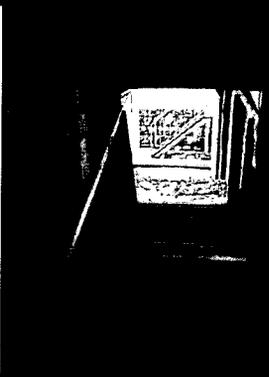
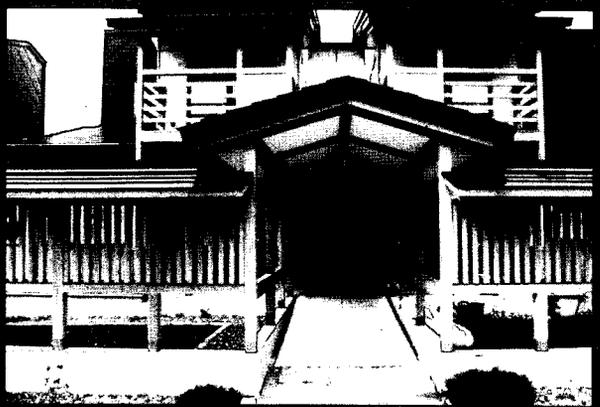
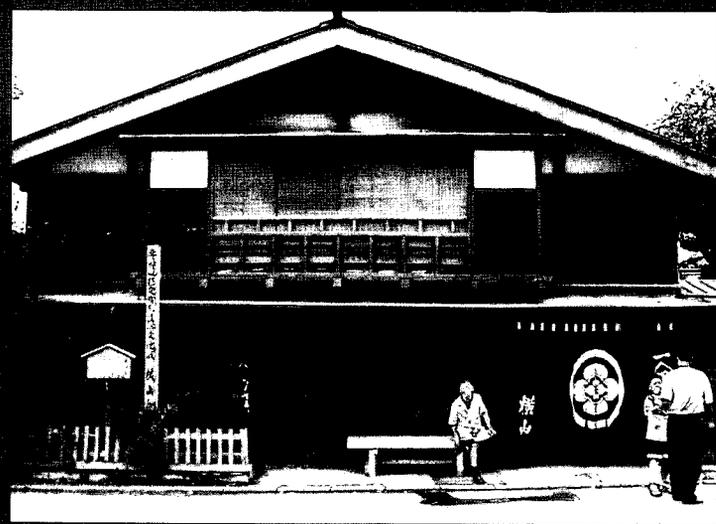
HOPE大賞受賞市町村



- | | |
|---------|---------|
| ①北海道江差町 | ②山形県金山町 |
| ③福島県三春町 | ④宮城県八尾町 |
| ⑤福井県大野町 | ⑥徳島県足助町 |
| ⑦静岡県天竜市 | ⑧鳥取県倉吉市 |
| ⑨京都市京都市 | ⑩徳島県脇町 |
| ⑪高知県佐川町 | ⑫佐賀県有田町 |
| ⑬長崎県島原市 | ⑭熊本県熊本市 |

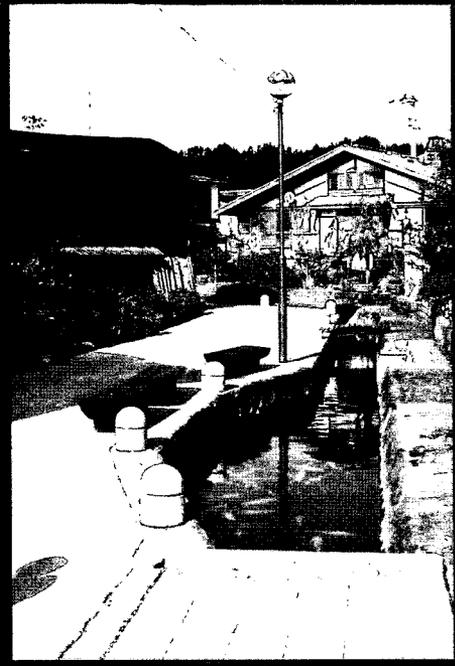
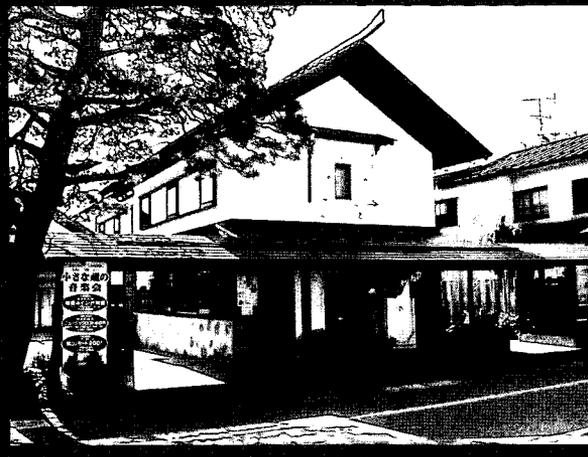
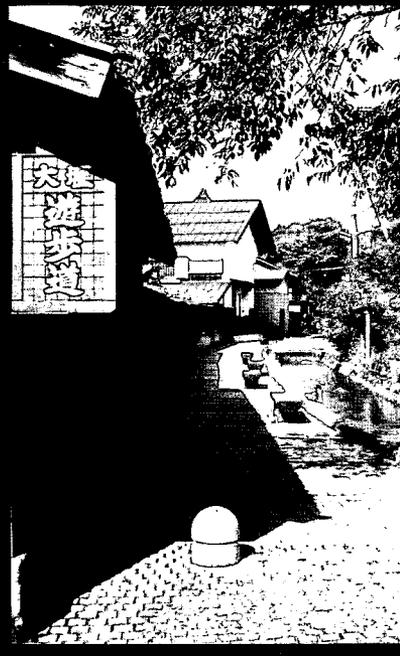
北海道江差町

ESASHI



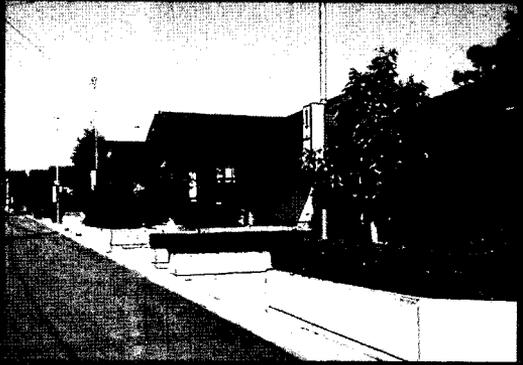
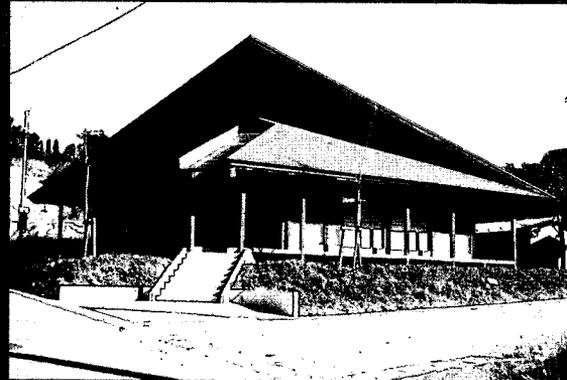
山形県金山町

KANEYAMA



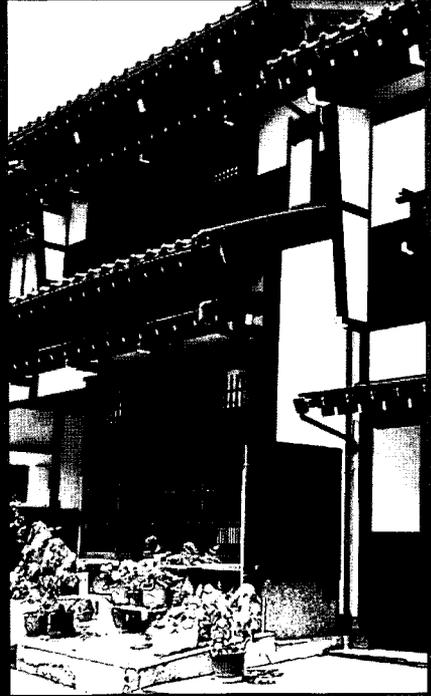
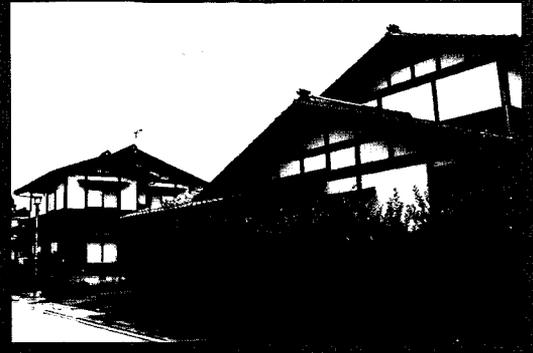
福島県三春町

MIHARU



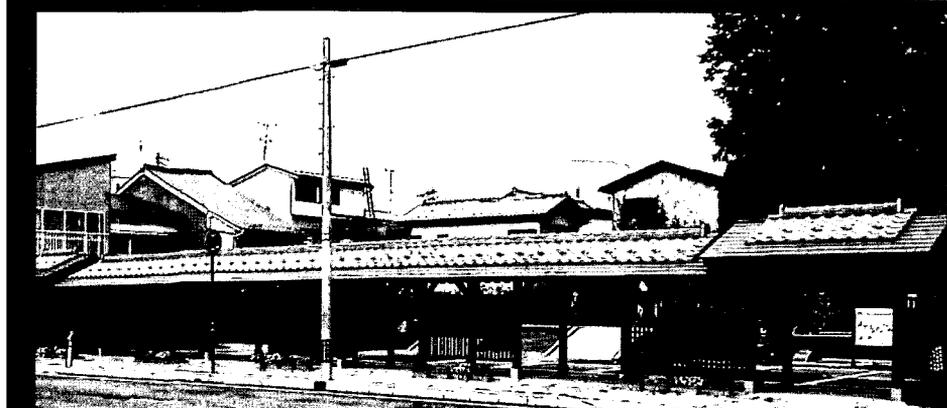
富山県八尾町

YATSUO



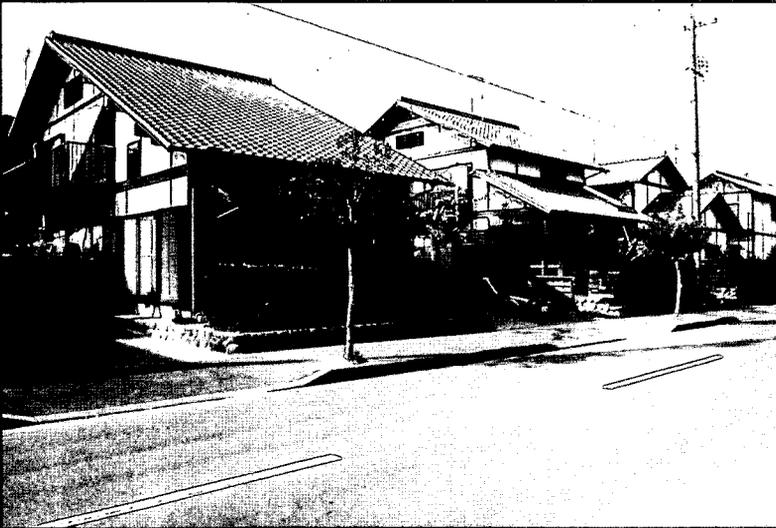
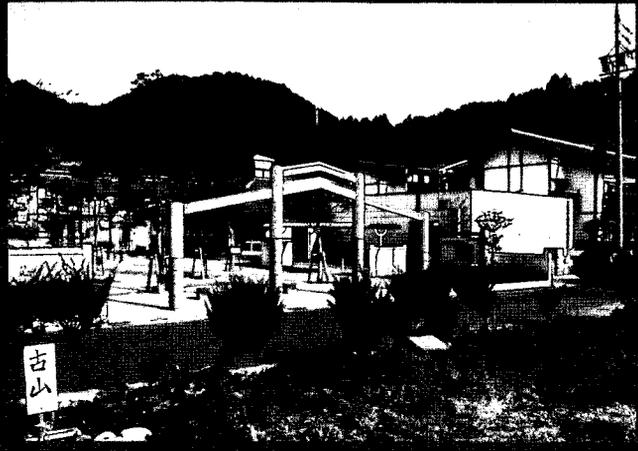
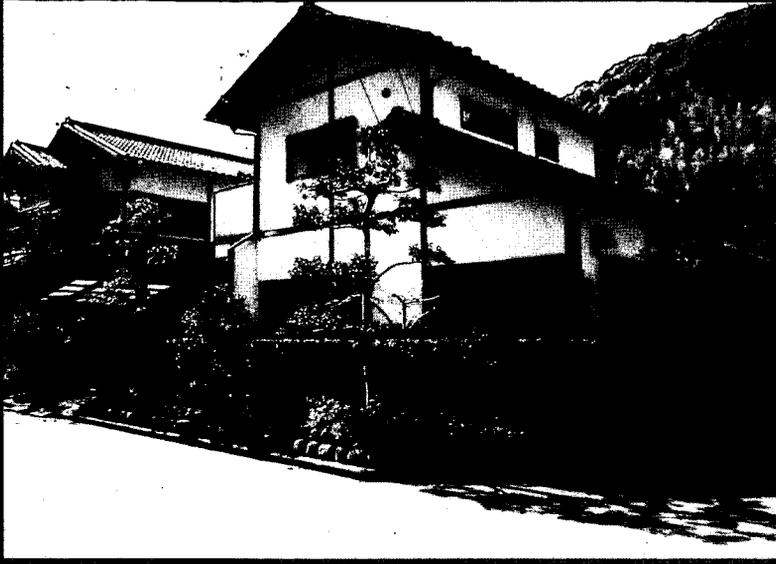
福井県大野市

OONO



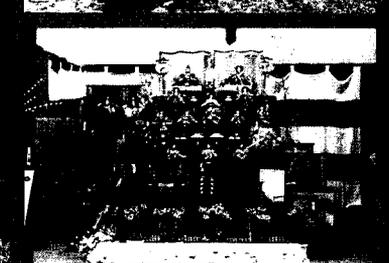
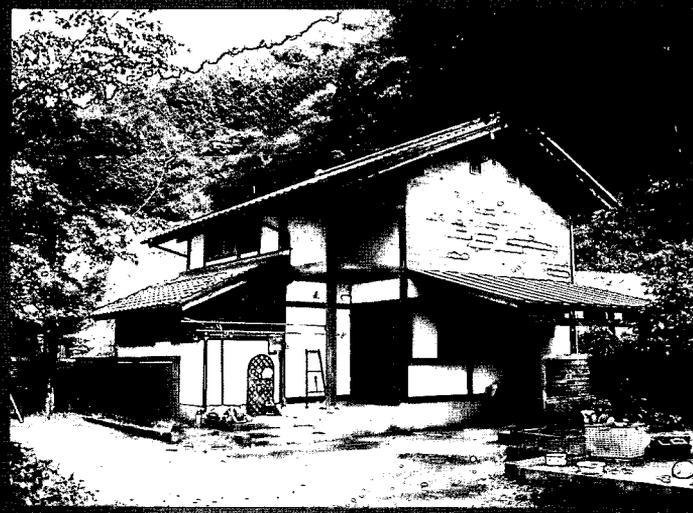
静岡県天竜市

TENRYU



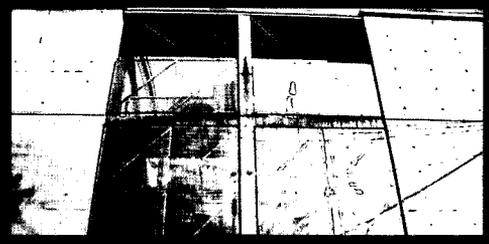
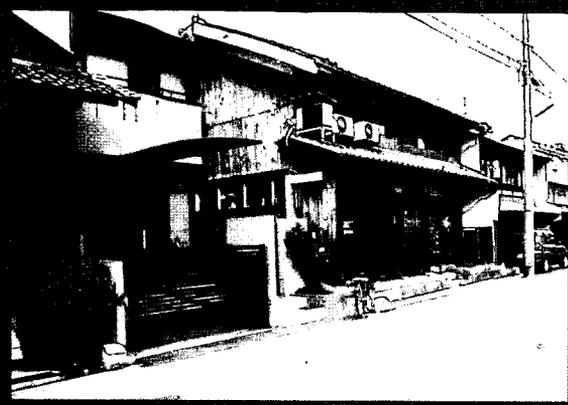
愛知県足助町

ASUKE



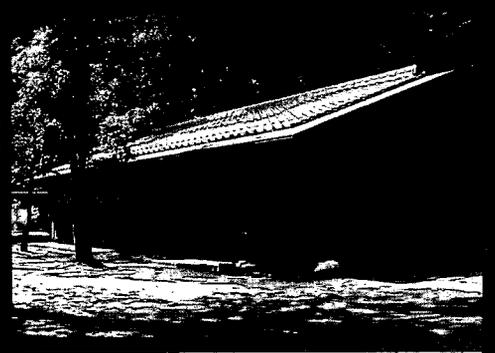
京都府京都市

KYOTO



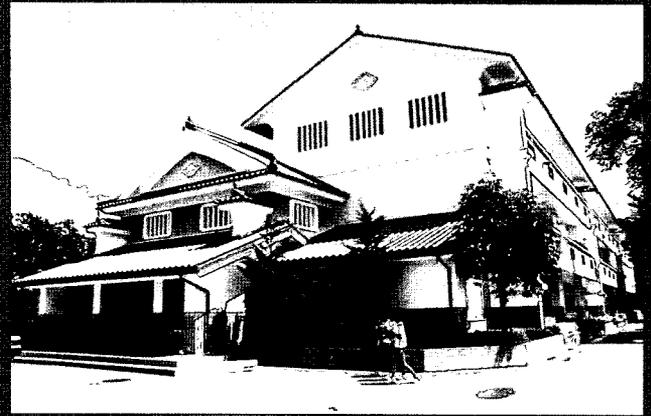
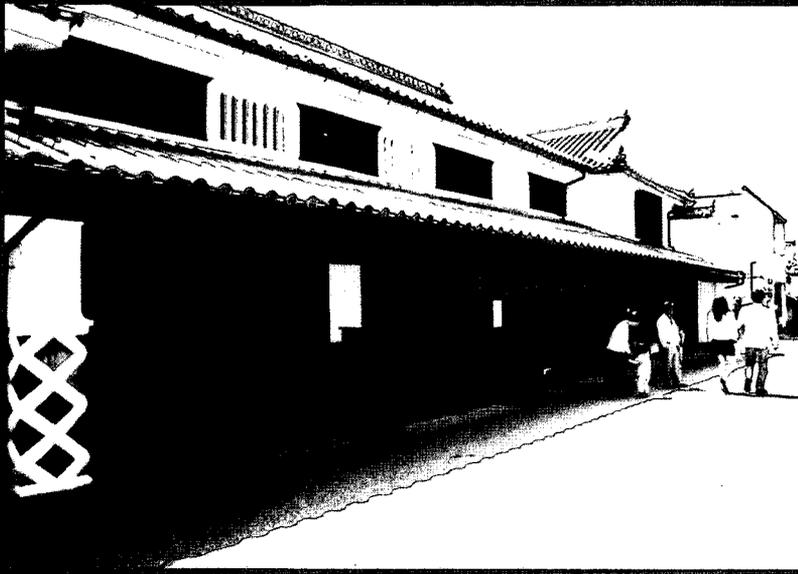
鳥取県倉吉市

KURAYOSHI



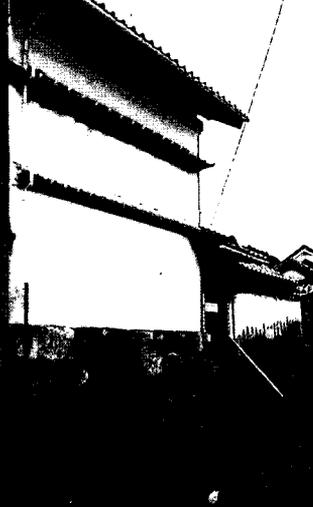
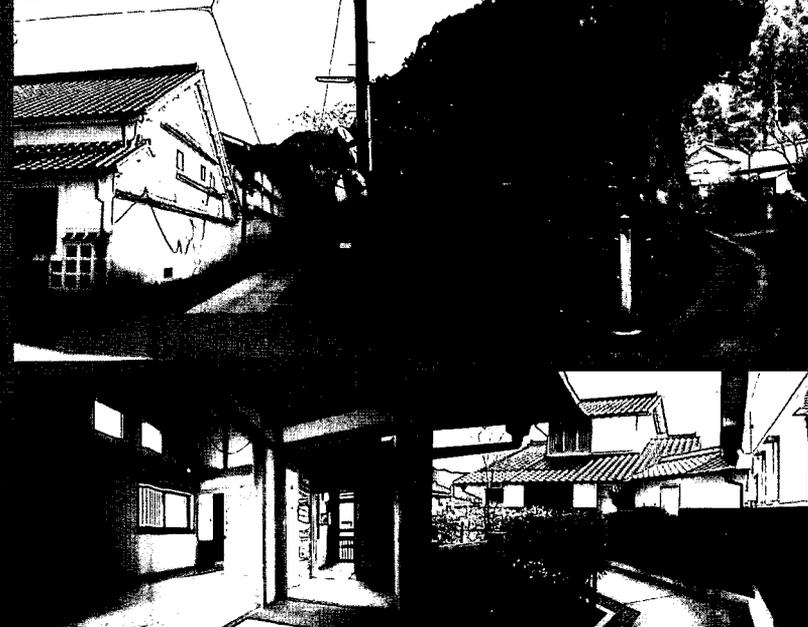
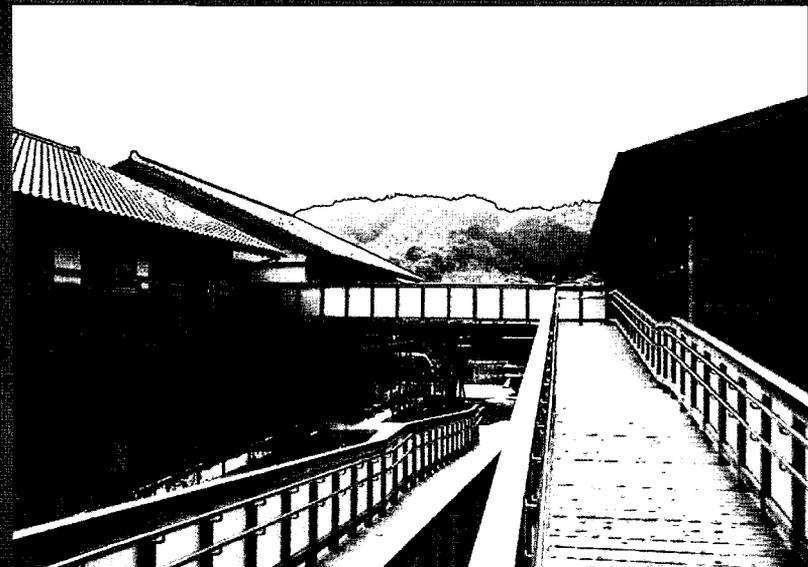
徳島県勝町

WAKI



高知県佐川町

SAKAWA



長崎県島原市

SHIMABARA



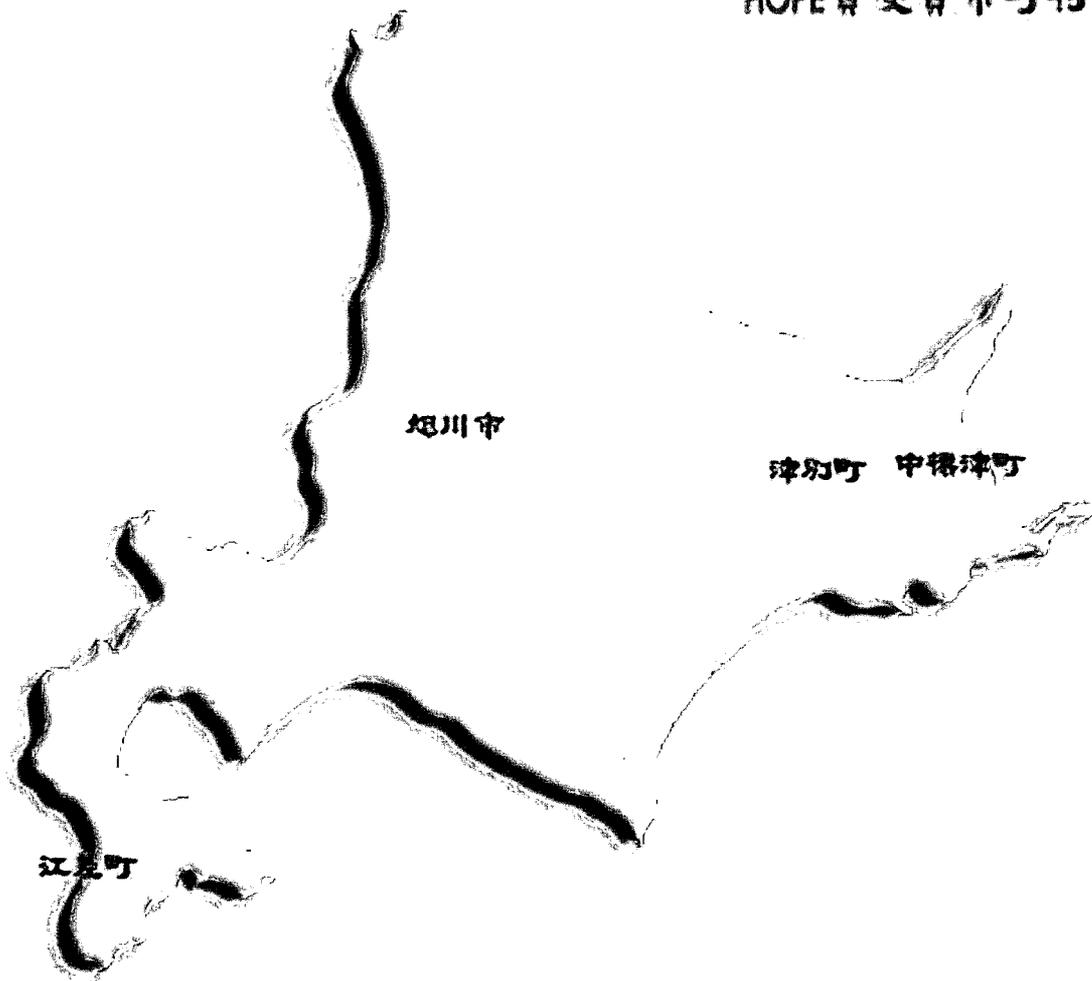
熊本県熊本市

KUMAMOTO



HOPE 賞

北海道
HOPE賞受賞市町村



江差町地域住宅計画推進事業



事業概要

整備方針により「たば風の吹く里」は、5つのゾーンに区分され、まち全体の既存住宅地を8つの家並み形成地区に分けている。まちの景観に関しては、空間を公共建築、公営住宅、民間住宅などの空間構成に分類し、量的な一般住宅と、地区の核となる公共施設とが一体となるバランスのよい空間づくりを目指している。

自然と家並み、室内環境と暮らしについて「借景」を通して、楽しみながら景観づくりを実現していこうとする考えを「住まい運動」として展開することである。

計画の策定は、産、官、学から構成される「江差町HOPE計画運営協議会」で検討され、実施へと進められてきた。



計画概要

江差町地域住宅計画は、地域の気候、風土のなかで、特に風と海と人が培ってきた暮らしの知恵や工夫を生かし、次の世代に継承していく住環境の創出を目指し、新しい施策の住宅づくりが、まちづくりの希望の風となる計画として進められている。「たば風」と呼ばれる冬の厳しい北風をキーワードに、まち全域を「たば風の吹く里」とネーミングし、実施対象としている。

計画の整備方針は、「住宅づくり」、「環境づくり」、「たたずまい」の3つの視点から市街地の住宅特性を調査し、江差らしさの資源の探求を図り、良好なまちの空間を構成することである。

事業実施場所	江差町全域
事業種別	住宅団地、個人住宅、公園、通路、道路、緑道、公共施設
事業制度	建築協定：「江差町建築協定条例」 地区計画：「江差町地区計画区域内建築物の制限に関する条例」、街なみ環境整備事業、公営住宅事業 公営住宅事業
事業主体	江差町
事業実施年度	平成3年度から

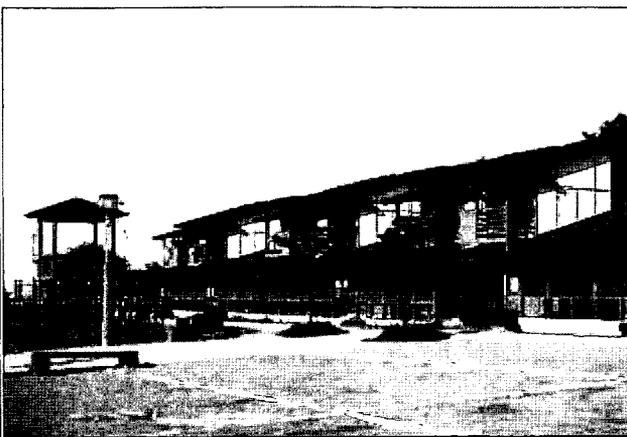


江差町道営住宅檜山団地整備事業



事業概要

江差らしい住宅市街地を形成するため、冬のたば風、一年を通じての潮風、傾斜地と土地の狭さ、和風文化の伝統など、江差町ならではの地域特性を反映し、伝統と風土に対し機能的に対応した密度の高い住宅環境と住宅地景観の定着により江差らしい住宅市街地の形成を図ることとし、江差町の風、雪、雨や夕日を意識することにより、屋根、窓、玄関回り、門、塀、生け垣など住宅を意識する構成要素について、各々の家並み形成を図った。

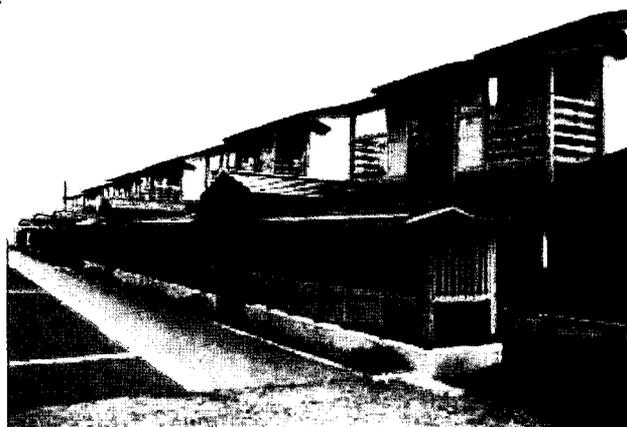


計画概要



敷地面積： 9,102.0㎡
 建築面積
 延べ床面積
 構造 木造5棟
 1棟鉄筋コンクリート造
 型式 積層型、接地型
 タイプ別住戸面積：
 3LDK:68.52㎡66.51㎡、66.49㎡
 2LDK:59.57㎡、58.0㎡
 住戸数 46戸
 階数等 木造棟2階建て、RC棟4階建て

事業実施場所 檜山郡江差町字円山
 事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅事業
 事業主体 北海道
 事業実施年度 平成4年度～平成7年度



☆ 旭川市 ☆

ウッドタウン緑が丘



事業概要

北国旭川の生活と風土に根ざした「住まい」と「暮らし」「まちづくり」について、ハード・ソフト両面から総合的に推進し、旭川HOP E計画に基づく「ウイントピア旭川をめざして」の理念と目標を具現化することを目的として行われた事業である。

木の街・旭川の特徴を生かし、まちづくりおよび住まいづくりのテーマとして「木」「緑」「美しい街並み」を掲げ、良質な性能をもつ北方型住宅の導入や木の内外観への利用、シンボルツリー設置等の景観に配慮した外構計画を行い、北国にふさわしいモデル団地として計画されている。

計画概要

敷地面積 29,657㎡
(住宅用地：20,096㎡ 公共用地9,561㎡)

区画数 70区画

建設戸数 戸建住戸 70戸

宅地概要 敷地面積 平均288㎡
(最大：381㎡, 最小：201㎡)

住戸概要 延床面積 平均150.79㎡
工法木造在来工法, ツーバイフォー工法
枠組パネル構造, 軽量鉄骨造等

団地概要 木製施設と小公園, 緑地の設置
木陰と植樹によるグリーンベルト帯の設置
歩道と車道(一部)のインターロッキングブロック仕上
電線(一部)の地中埋設化

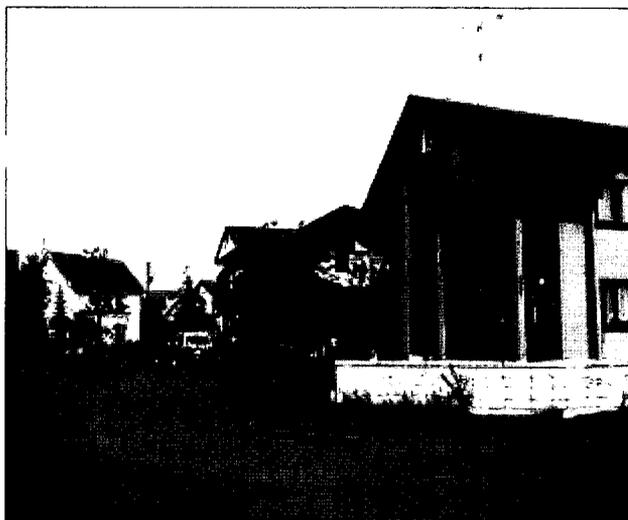
事業実施場所 旭川市緑が丘東2条3丁目

事業種別 住宅団地

事業制度 ウッドタウンプロジェクト
旭川市ウッドタウン緑が丘地区計画

事業主体 北海道住宅供給公社
(指導監理：北海道, 旭川市)

事業実施年度 平成2年



中標津町計根別団地



事業概要

計画の目的：地域の発意と創意に基づき、地域に根ざした住宅政策の展開。
 地域の活性化：独自の農業経済圏を背景にして、自立的で社会的な気風を保持している。
 地域の住文化：農村集落市街地としての自然的、社会的な資源及び特性、新たな取り組み、動き等をふまえて、また、自然環境（エコロジー）の重視、多様性への寛容、集中から分散、経済性重視から生活重視など社会的な価値観の変化を見据えたまちづくり。



事業概要

住宅団地	
敷地面積	2.2ha
建築面積	2750.9㎡
延べ床面積	4009.25㎡
構造	準耐火構造
タイプ別住戸	3LDK 72.49㎡
	2LDK-A 62.48㎡
	2LDK-B 61.95㎡
	3LDK 73.21㎡
	2LDK 18戸、3LDK 24戸
階数	平屋、2階建
公園事業	
敷地面積	0.26ha

事業実施場所 中標津町根別南1条西4丁目7番・
 3番～南2条西4丁目4番
 事業種別 住宅団地、公園、通路、緑道、
 集会所
 事業制度 公営住宅事業
 事業主体 中標津町
 事業実施年度 平成5年度～平成7年



地場産材の活用



事例その1 津別町特定公共賃貸住宅建設事業（シャレーイストウツ）

事業概要

HOPE計画において「木のつべつ木の里づくり」をテーマにまちづくりを行うことを方針として掲げ、地域整備の先導的役割として、町として初の中層住宅の外壁材に地場生産品であるトドマツ製羽目板を使用した。

また、同計画の住環境整備方針に則り、熱交換型換気を導入し生活環境の向上を図った。



計画概要	
敷地面積	2,145.79㎡
建築面積	606.52㎡
延床面積	1,308.32㎡
構造	鉄筋コンクリート造(中耐一部耐平)
型式	積層型
タイプ別住戸面	3LDKタイプ 67.62㎡×10戸
積及び住戸数	1LDKタイプ 40.52㎡×10戸
住棟住戸	2棟20戸
階数	3階建て
事業実施場所	津別町字東2条
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅建設事業
事業主体	津別町
事業実施年度	平成5年度年度

事例その2 津別町商店街木製店頭看板設置事業（商店街活性化事業）

事業概要

HOPE計画にある「木にこだわったまちづくり」の主旨に則り整備された事業。

商工会の「商店街活性化事業」の一環として、地場産材を使用した木製看板の設置を商工会が中心となり、各店舗に呼びかけ実現したものです。

すべての看板が手作りで、商店街のイメージアップと活性化そして「木のまちつべつ」を感じてもらうことを目的に設置されました。



計画概要

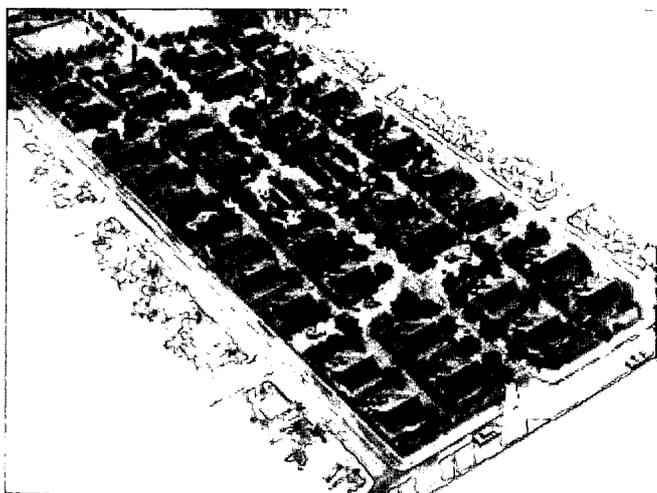
津別町商店街に木製店頭看板の設置	
整備個数	平成4年度 50基
	平成5年度 40基
規格	W1.0m×H1.2m程度
材質	地場産の松材使用
デザイン	各店に一任
事業実施場所	津別町内市街地
事業種別	木製店頭看板設置
事業制度	木とのふれあい施設整備事業 (H4)・木の体験広場整備事業(H5)
事業主体	津別町・津別町商工会
事業実施年度	平成4年度～平成5年度

事例その3 津別町公営住宅建設事業（豊永団地）

事業概要

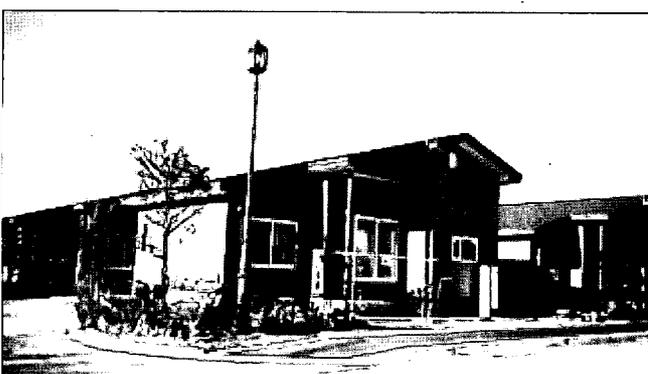
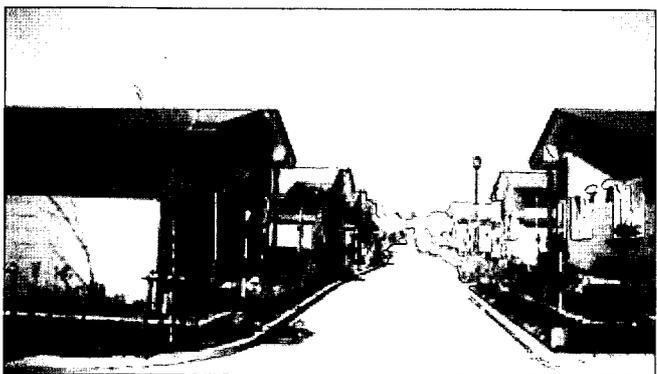
豊永団地の建替え事業は、平成元年度より行われていましたが、HOPE計画策定後その方針が反映されたのは、平成6年度以降に建設された住宅からです。

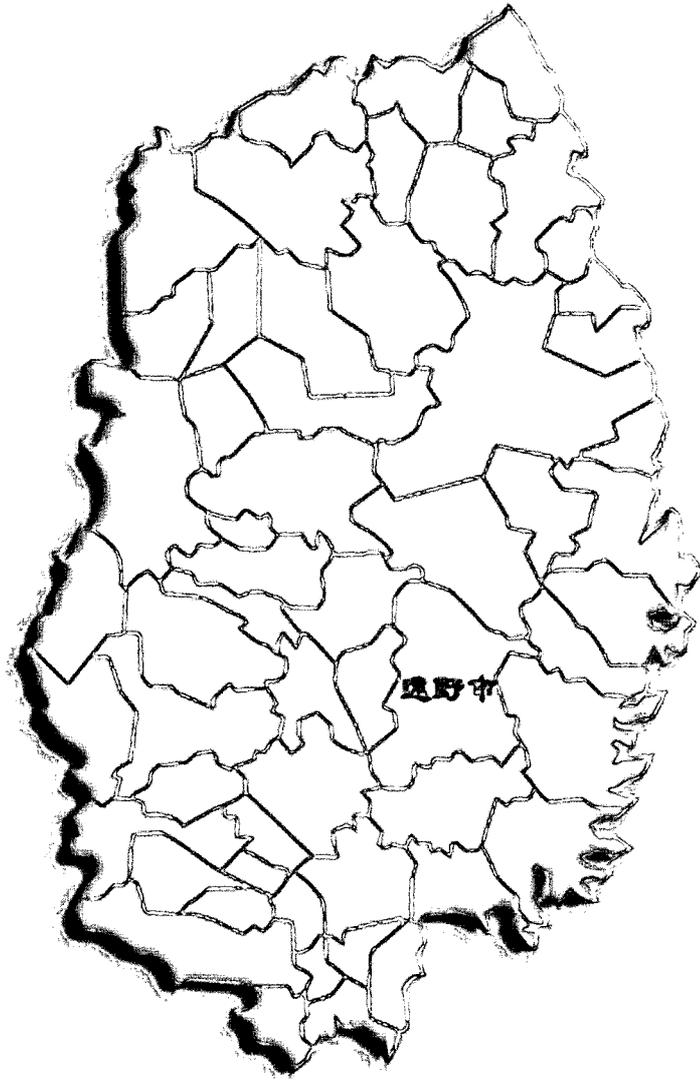
木造戸建ての高断熱・高気密化住宅は、地場生産の材を多く活用でき、地元建設事業者の技術向上や普及にも大きく貢献し更には、地域の活性化、民間住宅における住環境向上の啓発にも役立っています。



計画概要

敷地面積	12,861.80㎡
建築面積	1,014.67㎡
延床面積	956.25㎡
構造	木造（木平）
型式	戸建て
タイプ別住戸	3LDK-1Nタイプ 75.83㎡× 1戸
面積及び住戸	3LDK-2Nタイプ 72.71㎡× 10戸
数	3LDK-1Sタイプ 76.66㎡× 2戸
住戸	13戸（団地全体は35戸）
階数	平屋建て
事業実施場所	津別町字豊永
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅建設事業
事業主体	津別町
事業実施年度	平成6年度～平成8年度





岩手県
HOPE賞受賞市町村

☆ 遠野市 ☆

モデルハウス「遠野住宅」



事業概要

住宅づくりの基本理念に沿い、住まい方と技術的提案（多種多様な部材の合理化と供給体制のシステム化をねらう。）に検討を重ね、民家型構法を継承し、「遠野住宅」として建設した。またユーザー向けに木の良さと木造技術を再認識してもらい、販売供給をねらって試作・展示したものである。

建築概要： 木造2階建、延べ面積138.23㎡、事業費20,000千円。

- 基本コンセプト：
- ①木が呼吸できる、真壁構法の家
 - ②木組みで造る骨太の家
 - ③断熱材の適正使用で、省エネの家
 - ④大広間のある、ゆとりの家
 - ⑤健康的で快適な木づくりの家
 - ⑥高齢者が暮らしやすい、優しい家
 - ⑦結露対策に、木製サッシのある家
 - ⑧伝統美の薫る和室、床の間のある家
 - ⑨景観をつくり、景観に溶け込む家



計画概要

「いろりの心 遠野の住まい」を合言葉に住宅づくりを進めている。風土に培った日本の木造住宅の伝統工法や生活様式に学び、その技術や住まい方を継承し、さらなる発展を願い、次の考え方を基本としている。

- ①住まいの核である居間と食堂を「ワンルーム化」し、家族の温もりの醸成を図る。また、この空間の演出として、木材の仕様を基本とする。
- ②冬期間の暖房効率の低下を抑制するため、玄関に「風除室」を設ける。
- ③家事動線の簡素化や配管の単純化を図る「水廻り計画」に配慮する。

事業実施場所	遠野市青笹町糠前1-26-1
事業種別	住宅（試作・展示）
事業制度	地域木造住宅供給推進事業
事業主体	遠野市（ただし、展示及び管理は㈱リンデンバウム遠野）
事業実施年度	平成2年度



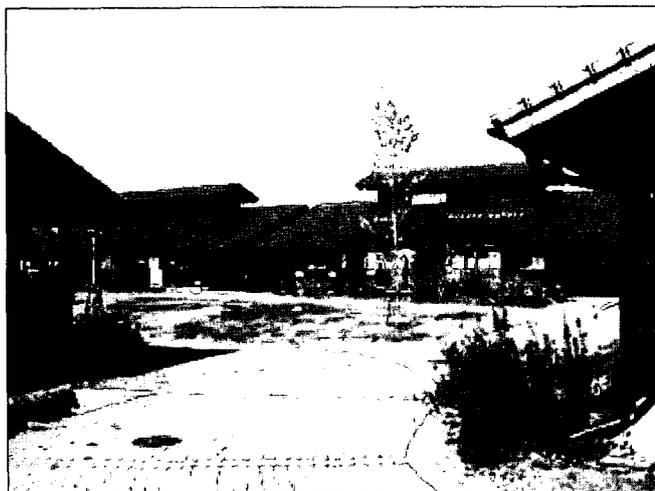
鶯崎市営住宅第6団地



事業概要

この公営住宅は、民家型構法を基本に、「新遠野住宅」の開発の試金石として建設している。伝統技術を継承し、「いろりの心」を創造する住まい、さらには林業・住宅産業の振興と工務店の近代化及び活性化を図ろうとするものである。「木材総合供給モデル基地」を背景に、原木から製材・乾燥、家具・建具、そして工務店までの連携によりコストの削減、部材・加工の合理化を図り、ユーザーに健康で安心できる住宅の供給ができる体制を整備しようとするものである。現在、取り組んでいる主な課題は、次の5つです。

- 課題：①信頼できる品質の確保<品質管理>
②合理的な新しい製材体系の創出<適材・適寸>
③近代化された生産システムの構築<地域性へのこだわり>
④パッシブな「中断熱・中気密」の実現<住宅の高気密化を避ける>
⑤高耐久性をもつ健康住宅<いろりの心>



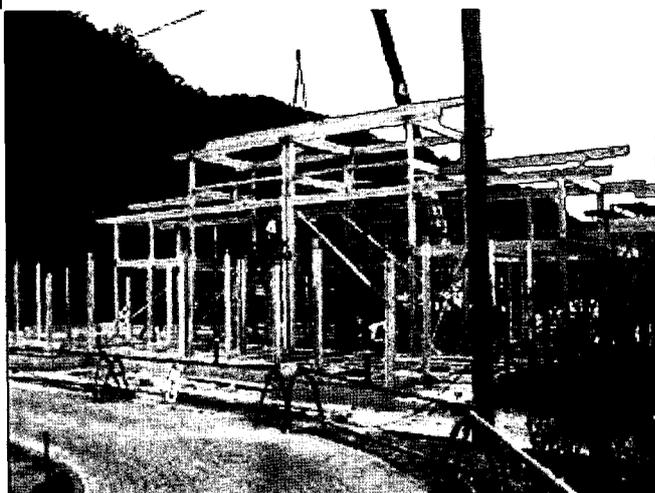
計画概要

景観に配慮しつつ、伝統的技術と生産性の高い近代的な技術の融合を図り、新たな住宅づくりの特記仕様に基づき建築する「新遠野住宅」具現化である。また、広場を中心とするコミュニティの形成や自然環境との調和に配慮した住棟配置、柱や梁を露出した真壁工法に、耐火性・耐久性・健康性を考慮した住宅としている。

建築概要

木造二戸一棟（40戸20棟）
1LDK（平屋建）：12戸 58.50㎡
2LDK（平屋建）：16戸 72.54㎡
3LDK（2階建）：12戸 83.07㎡
敷地面積 9,600㎡

事業実施場所 遠野市鶯崎町地内
事業種別 住宅団地（公営）
事業制度 公営住宅建設事業の補助
事業主体 遠野市
事業実施年度 平成9～12年度



下一日市地区土地区画整理事業



事業概要

事業に際し、建築士会の若手で、この地区の調査を行い、“中心市街地の目指すべき姿”を模索し（「町家の心」）、住民の合意計形成を経て、事業に着手した。この基本姿勢は、「“遠野らしさ”とは、新しいものをつくるだけでなく、いままで築き上げてきた、この地に存在するあらゆるものを組み立てなおし、再生することからスタートするべきである」としています。

具体的には、この地区にある観光施設と連動し、歴史的商家や土蔵を積極的に活用する蔵づくりを基調とした街なみや、地区に眠る貴重な財産を活用した施設を整備し、商店街の活性化を目指そうとするものです。

なお、この地区では、「下一日市地区景観形成住民協定」を締結し、建築物の創作的保全の街づくりを進めています。



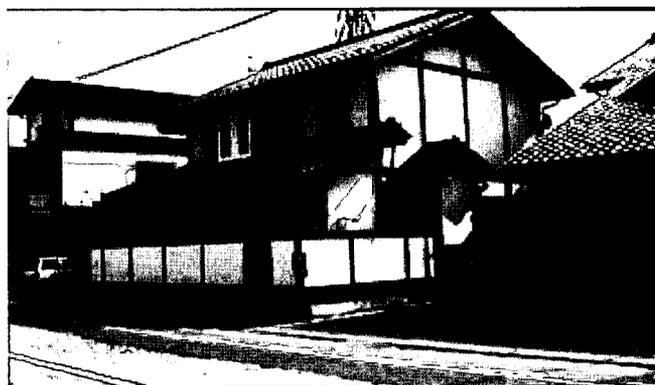
住民協定による街並み

計画概要

この下一日市地区は、大工町通りと隣接する位置にあり、大工町通りの完成をうけ、住民の街づくり気運が高まり、それが波及する形で、事業化に結びついたものである。大工町通りの線的な整備に対して、この地区は、面的な整備での取り組みである。また、遠野コリドール（回廊）計画に基づき、中心市街地の再生をも併せ持つ事業として取り組んでいる。

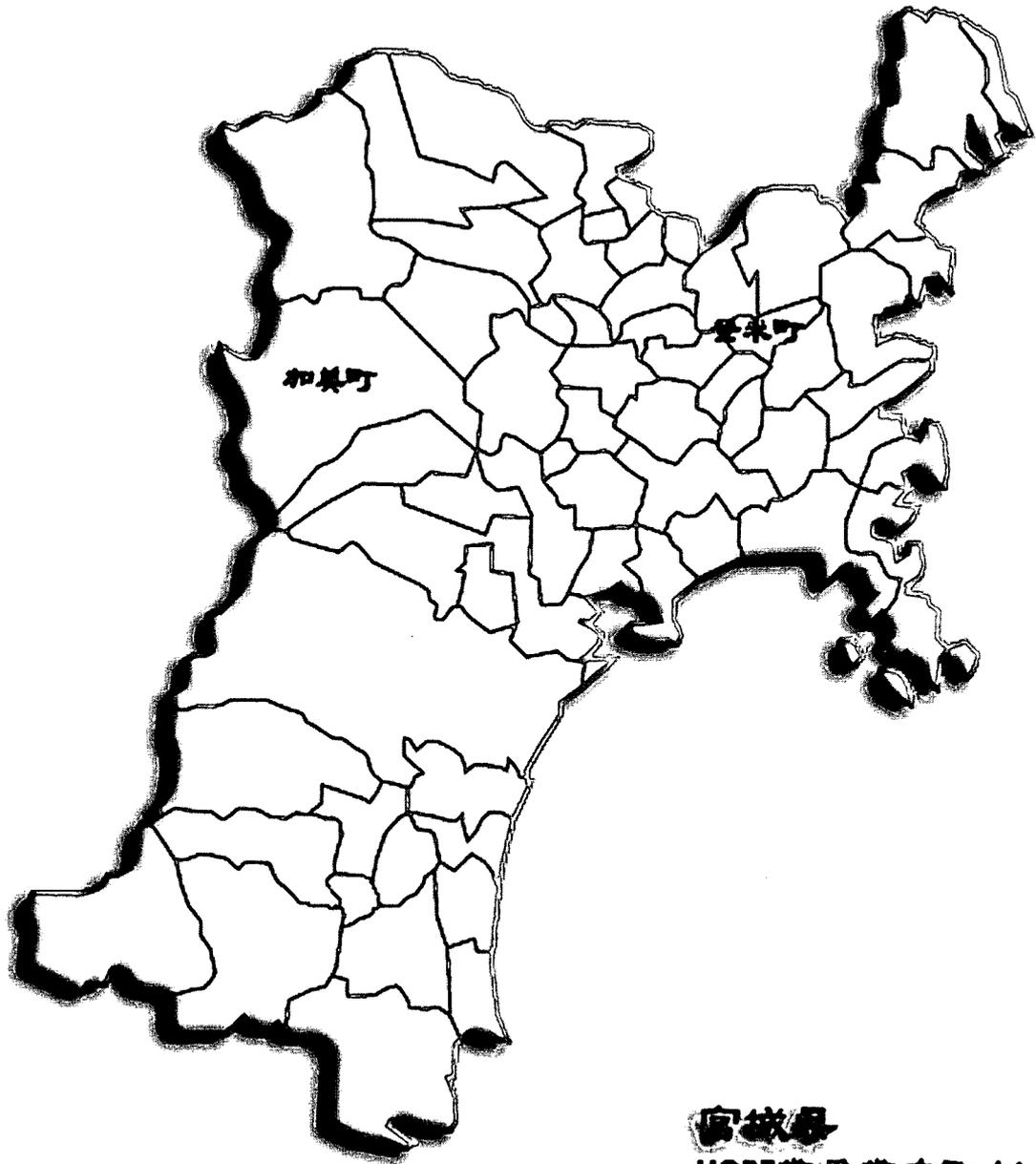
事業概要

施工区域面積約5.1ha
地権者65戸（移転率80%）
減歩率11.84%
総事業費36億円
進捗率59%（H14年度末）



新築された住宅の外観

事業実施場所	遠野市中央通り地内
事業種別	区画整理
事業制度	土地区画整理事業・まちづくり 総合支援事業
事業主体	遠野市
事業実施年度	平成5～18年度



宮城県
HOPE 安来町

中新田交流センター整備事業

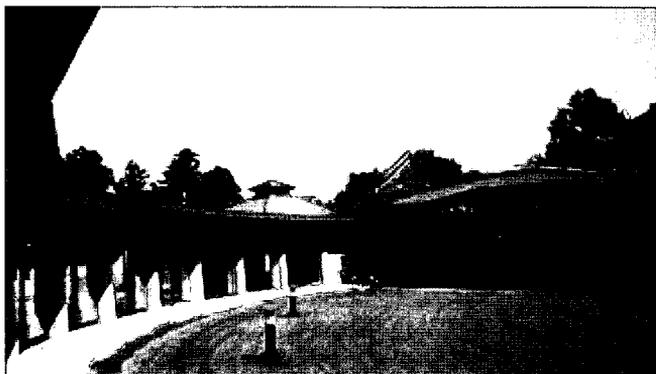


事業概要

本施設は、新鳴瀬小学校の移転新設にともない、旧鳴瀬小学校跡地に昭和8年に建設された旧木造校舎の建築意匠（コロニアルスタイル）の保存と生涯学習の拠点として現代によみがえらせた施設である。

整備にあたっては、半世紀以上地域のシンボルとして親しまれていた校舎の意匠を可能な限り残した。また、国内外の多くの人々が集い、ともに学び、ともに交流できる機能を持たせるため、本館となる旧校舎を南に約30m曳家の上改修し、円状の回廊で浴室などの付属棟を新設した。

木造校舎ならではの懐かしさを残しながらもモダンな内装でアレンジを加えよみがえった本施設は、今も地域の学校として地域と共に歩んでいる。



計画概要

敷地面積 17,000㎡

延べ床面積 2,676㎡

本館 木造一部鉄骨造2階建
1,635

食堂棟 鉄筋コンクリート
造一部木造平屋建 222㎡

浴室棟 木造平屋建 121㎡

回廊 鉄筋コンクリート造一部木
造平屋建 164㎡

多目的ホール 鉄筋造2階建 534㎡

事業実施場所 加美郡加美町下新田字松木
3番地宿泊交流研修施設

事業種別 宿泊交流研修施設

事業制度 町作り特別対策事業、活力
アル地域づくり推進事業

事業主体 加美町

事業実施年度 昭和63年度～平成3年度

街なみ環境整備事業



事業概要

- 計画の目的 区域内のゆとりとうるおいのある住宅環境づくりを推進するための道路整備
- 特殊工法 半たわみ性舗装・石畳風仕上げ
- 伝統的建築物保存 天然スレート塀、垣根、板塀、井戸端工植栽、火の見櫓保存整備
- 地場産材活用 登米町材骨材、天然スレート
- 住民参加等 登米町街なみ環境整備推進協議会により参画



計画概要

協議会活動助成、整備方 5.8ha
針策定

地区施設整備

通路（築造・舗装） L=116m、399㎡

小公園・緑地
（造成・植栽・造園） 1,322㎡

生活環境施設整備 1,231㎡

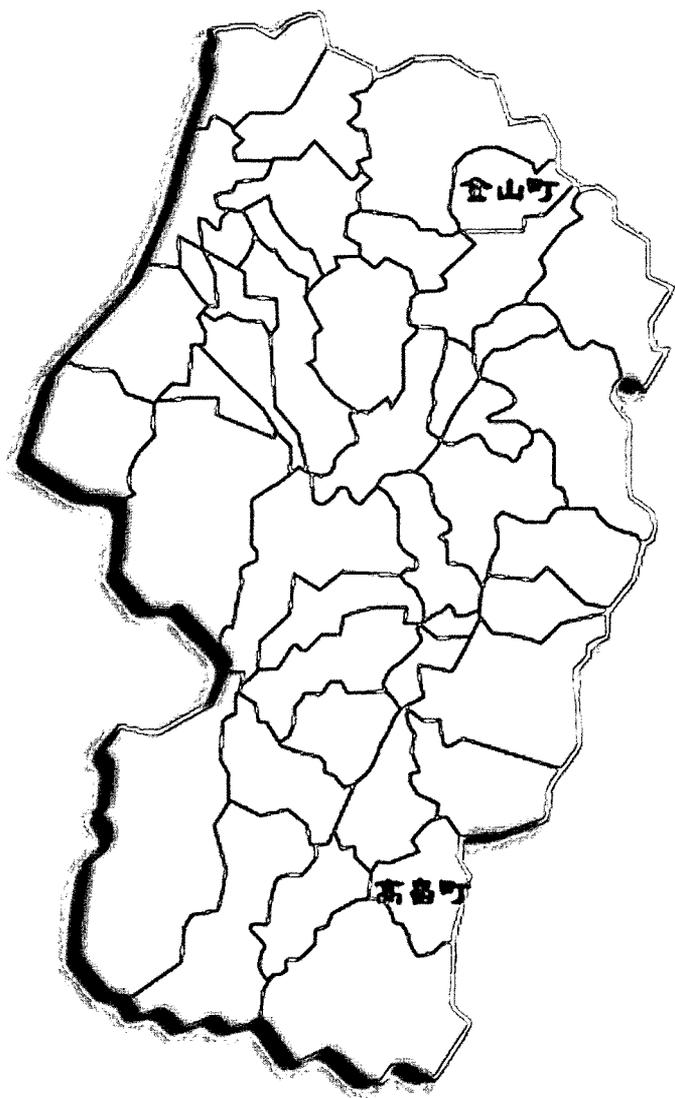
2戸1長屋建

ストリートファニチュア 4個

道路の美装化 L=197.5m、1,264㎡

事業実施場所	登米郡登米町寺池桜小路地区
事業種別	個人住宅、修景施設、通路、公園、集会所、ランドマーク
事業制度	街なみ環境整備事業、登米町街なみ景観整備要綱
事業主体	登米町
事業実施年度	平成7年度～平成10年度





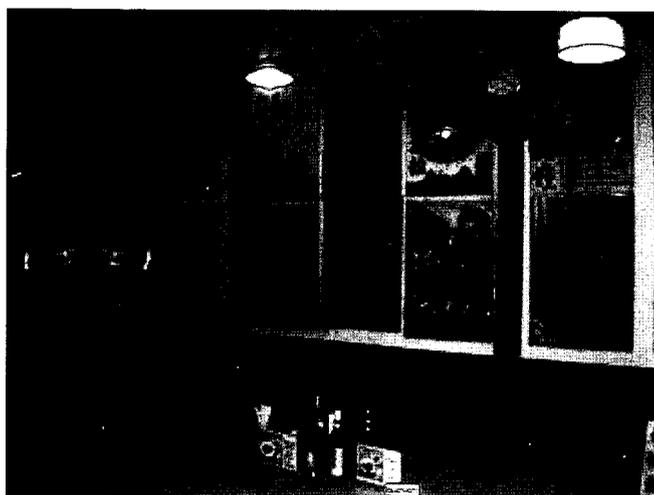
山形県
HOPE賞受賞市町村

中央通り商店街



事業概要

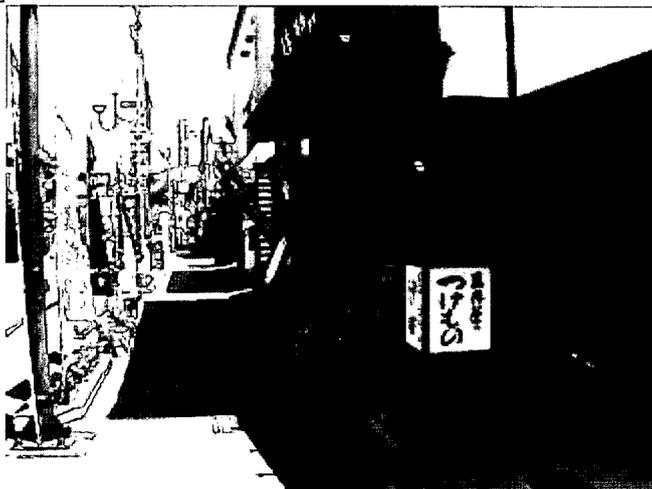
- レトロな雰囲気を作るために道路に面したブロック塀を板塀で覆い隠したり、店先の袖看板を撤去し業種にあった個性豊かな木製看板を設置する。
- 昭和30年代を演出するなつかしの写真やレトログッズの提供を呼び掛け、店の一部や空き倉庫等を利用し手作りのミニ資料館をつくる。
- 通りある約600個のプランターに花を植え楽しく、潤いのある「花の散歩道」づくりを行う。



計画概要

- 中央通りの個性を打ち出すために歴史を体験できる街づくりをと考え、昭和30年代にこだわった商店街づくりを進める目的で、当時の写真やポスターほかレトログッズを店の一部や空き倉庫を利用し展示する。
- レトロな雰囲気を演出する。（木製看板の設置や板塀の設置など）
- 通りを花でいっぱいにする。（プランターの植栽や空き地に花壇を設置する等）

事業実施場所	高島町大字高島地内
事業種別	中央通り集客力向上
事業制度	中小商業活性化助成事業
事業主体	高島中央通り協同組合
事業実施年度	平成6年度～平成13年度



☆ 金山町 ☆

街並み（景観）づくり100年運動



事業概要

個性豊かな街並み、自然の美観の維持並びに新しい街並み景観の形成に関する必要な事項を定め、もってわたしたちが自らの手でより快適で誇り高い郷土につくり上げることを目的とする。

- 金山町街並み形成基準
- 金山町街並み景観審議会
- 助成金交付要項



計画概要

先人が伝えてくれた金山らしい文化、自然を生かし、地域経済の活性化を促しながら、街並み景観づくりを進める。

- ・人と自然との関わりづくり、さらには人と自然との共生（調和）づくりの推進。
- ・美しい街並みの形成とC I（コーポレート・アイデンティティ）化、地域の個性化を推進する。
- ・地域風土、地域材、在来工法、杉を中心とした地域資源の有機的結合を図る。

事業実施場所	金山町全域
事業種別	金山町全域の景観づくり
事業制度	金山町街並み景観条例
事業主体	金山町
事業実施年度	昭和61年4月（金山町街並み景観条例施行）



☆ 金山町 ☆

街並みづくり資料館整備事業
(通称：蔵史館)



事業概要

明治30年代に建てられた二対の土蔵の、前蔵は食品や生活の雑倉庫として、後蔵は戦争直後まで米蔵として使用され、旧国道（羽州街道）を隔て、主屋と向かい合って今日まで残されていた土蔵を街並み景観に欠かすことのできない財産として町が買い取り再生した。

前蔵には金山町商工会の事務所を設け、後蔵は多目的ホールとして町のシンボリックな役割を担っている。現在では、ボランティアグループ「蔵の会」が組織され、訪れた方々をもてなしている。（毎週日曜日）



計画概要

敷地面積 1,120.54㎡
建築面積 308.31㎡
延床面積 348.70㎡
階数 地上2階
構造 土造

事業実施場所 金山町十日町地内
事業種別 古い土蔵の再利用
事業制度 モデルエコタウン整備事業（町単）
事業主体 金山町
事業実施年度 平成5年～平成7年

☆ 金山町 ☆

交流サロンぽすと



事業概要

町中心部の落ち着いた木造家屋が建ち並ぶ通りにおいて、昭和の初期に建てられた大正ロマン建築様式を醸し出す老朽化した旧郵便局舎（A=0.03ha）を「交流サロンぽすと」として整備し、再生を図った。※日本庭園含む

1階部分は、公衆トイレ・情報コーナー・交流エリア等で誰でもが自由に利用できるスペースとし、2階部分は、女性を主とする明確な目的をもった団体等に登録制で開放している。

平成15年度は6団体が2階使用に登録している。



事業実施場所	金山町十日町地内
事業種別	歴史的建造物の復元
事業制度	景観地域特定ポケットパーク整備事業（町単）
事業主体	金山町
事業実施年度	平成12年～平成14年

計画概要	
敷地面積	756.59㎡
建築面積	112.62㎡
延床面積	225.24㎡
階数	地上2階
構造	木造

☆ 金山町 ☆

街並み交流広場



事業概要

町民の憩いの場である「八幡公園」と地域コミュニティーの場として多くの人に利用されている「蔵史館」の前に広がる遊休地を、両方の施設を結びつける空間として整備した。金山町の特徴である「水清き金山」をイメージに水質浄化や水生生物との共生を試みる「せせらぎ」や多目的に活用できる「広場」の創造を図り、「憩いの場」や人々が交流する「賑わいの場」として町民にコミュニティエリアになっている。

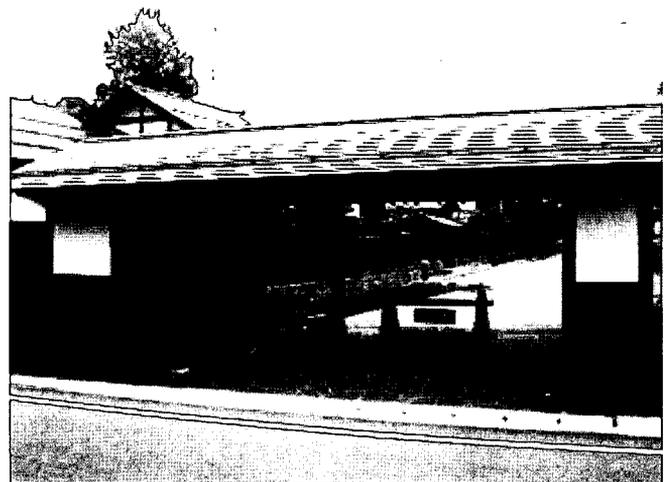


計画概要

敷地面積0.13ha

- 親水地
- 園路
- 休憩所
- 石積水路

事業実施場所	金山町十日町地内
事業種別	遊休地の活用
事業制度	景観地域特定ポケットパーク整備事業（町単）
事業主体	金山町
事業実施年度	平成12年



☆ 金山町 ☆

水と親しむふれあい小路
(めがね堰)



事業概要

地域住民より生活用水として利用され親しまれてきた水路「めがね堰」の老朽化がすすんだための改修に合わせ、地域住民の憩いの場の創出という住民の創意を取り入れ、家並みに合わせた道路の整備を行なった。

地域では、「めがね堰鯉を愛する友の会」を組織し、水路の清掃や鯉の放流など水辺環境の美化め、また、沿道の家々では草花を育み、付近一帯は四季おりおりに潤いと安らぎを提供している。鯉の放流にあっては、地域子供会も強力し、地域全体をとりこんだ活動として、地域コミュニティーを担っている。



事業実施場所 金山町十日町地内
事業種別 水路
事業制度 単独事業
事業主体 金山町
事業実施年度 昭和62年～昭和63年度

計画概要

- 延長 L=88m
- 幅員 W=4m
- 水路幅員 W=1.1m

水路は、自然石を利用した割石積工、舗装は半たわみ性。

☆ 金山町 ☆

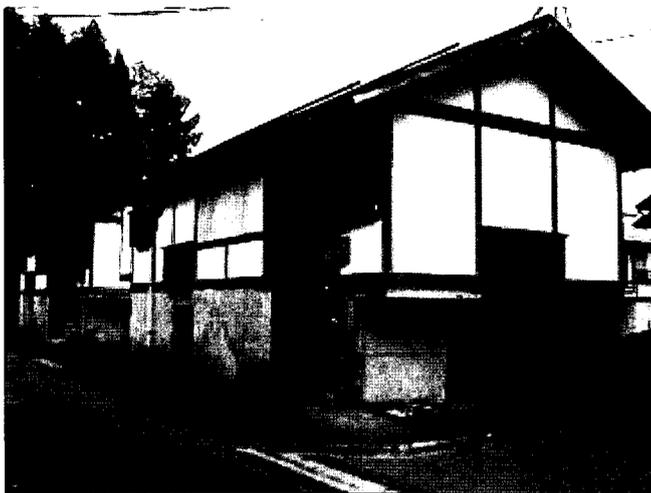
町営住宅羽場団地整備事業



事業概要

町営住宅の入居希望者が多く、既存施設だけでの対応が困難な状況になってきたことから、1戸建ての住宅を5棟整備した。

設計にあたっては、金山町HOPE計画及び金山町街並み景観条例に基づき、風景と調和するよう配慮するとともにモデルハウスの役割を担っている。

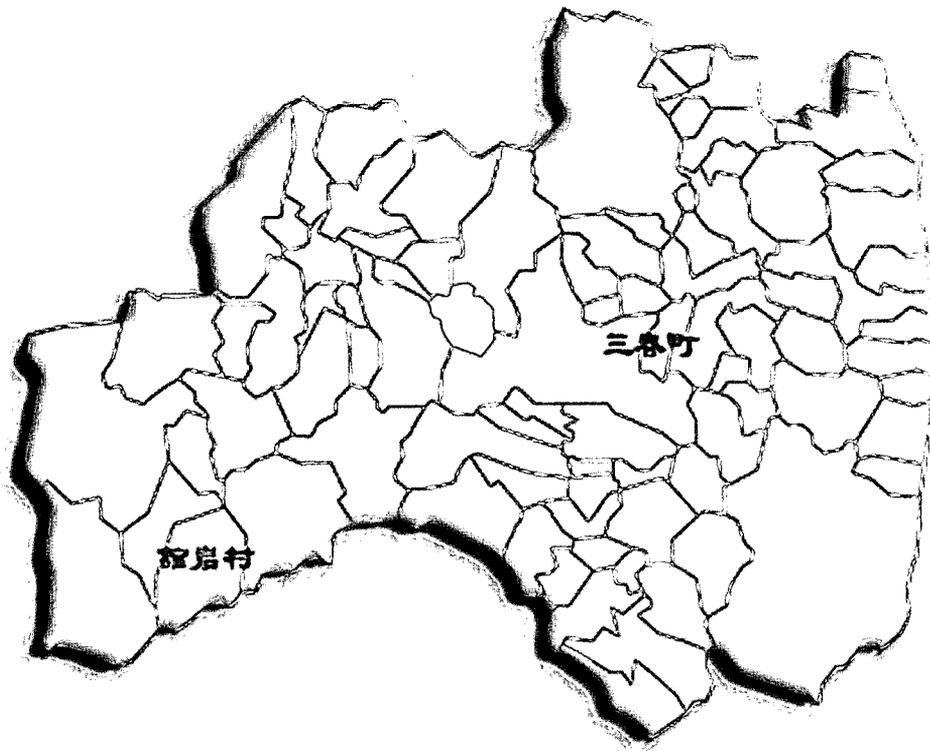


計画概要

敷地面積	1,400
建築面積	86.53
延床面積	113.04
階数	2階
構造	鉄筋コンクリート造・木造

事業実施場所	金山町羽場地内
事業種別	町営住宅
事業制度	公営住宅建設事業（国補）
事業主体	金山町
事業実施年度	昭和62年度





福島県
HOPE管受管市町村

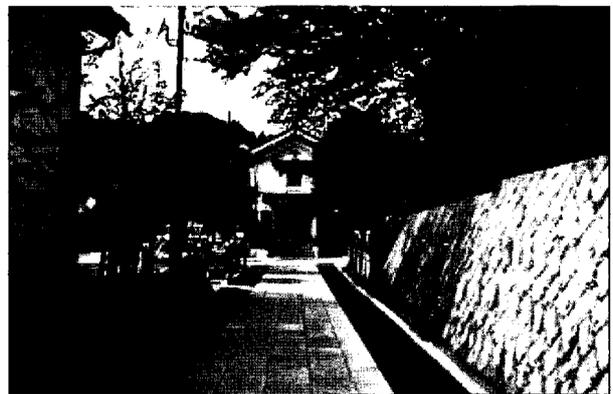
大町地区街なみ環境整備事業



事業概要

当該地区の敷地形状は、表通りから背後の山裾まで延びる城下町時代からの短冊型敷地が連なり、角地や参道に面する敷地の一部には、切り売り等された狭小宅地や不整形宅地が見られる。表通りに面して商店が建ち並び、敷地奥には住宅あるいは幾度かの大火を免れた蔵が建ち並んでいる。

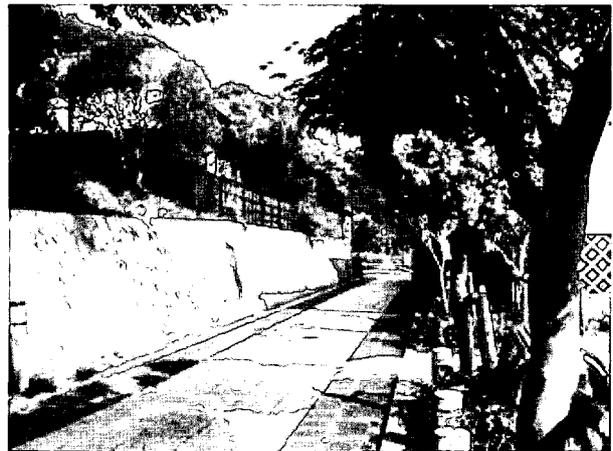
歴史と緑といった当地区の景観特性を活かし裏道（通路）を整備し、小公園をこらと有機的に結びつけて整備している。



計画概要

協定地区面積	1.19ha
通路延長	197.61m（御影石舗装）
小公園	2ヶ所
生活環境施設整備	木造 2階建1棟 土蔵 2階建2棟

事業実施場所	三春町字大町地内
事業種別	公園、通路
事業制度	街なみ環境整備事業
事業主体	みどりの小径街づくり協定地区
事業実施年度	平成3年6月26日協定承認



駅南部（八島台）コーポラティブ住宅建設事業



事業概要

当該地区は区画整理事業地区内における先導的拠点づくりとして、土地所有者、建築主、設計者、行政による協議に基づく「借地方式コーポラティブ住宅」として建設を実施している。また、この地区は、緑道や駅自由通路を通り三春駅に向かう動線上に位置しており、歩行者を主体とした区画街路の整備や、街路を住宅地区の一部として取り込める様な環境づくりを建築協定により定めている。



計画概要

- 区画整理事業地区内の換地の宅地化を促進するため、「借地方式」と「戸建コーポラティブの考え方」を組み合わせ、街区づくりの理念と建築協定制度に賛同する参画者（借地人）を募集し、全面道路添いのオープンスペースや、全体的にバランスのとれた木造住宅地の実現をめざした計画とした。
- 事業面積 : 1.54ha
- 対象住戸数 : 32戸

事業実施場所	三春町字八島台地内
事業種別	住宅団地
事業制度	建築協定
事業主体	三春町
事業実施年度	昭和62年度～



☆ 三春町 ☆

公営住宅かつぎばし団地建設事業



事業概要

当該事業は、公営住宅を建設し人が住む日常生活の場を作ることにより三春駅周辺を活性化させている。

路線敷を挟み南北に分離された極めて線型な敷地に呼応して、景観上優れたもので、かつ土地の有効利用を図る形態となっている。

駅に近接した公営住宅としての長所を生かし、更に八島台住宅地区との連絡も考慮した動線となっている。



計画概要

敷地面積	北棟4,487.78㎡、南棟3,268.70㎡
建築面積	北棟 863.97㎡、南棟 854.13㎡
延床面積	北棟2,600.04㎡、南棟2,352.45㎡
構造	鉄筋コンクリート造・4階建
型式	接地型
タイプ別	Aタイプ 75.61㎡ Bタイプ 72.62㎡
住戸面積	Cタイプ 64.25㎡ Dタイプ 64.25㎡
	Eタイプ 58.51㎡ Fタイプ 84.92㎡
住戸数	北棟28戸、南棟28戸

事業実施場所	三春町大字平沢字担橋地内
事業種別	公園、通路
事業制度	住宅団地
事業主体	三春町
事業実施年度	昭和62年度～平成2年度



館岩村湯ノ花団地



事業概要

計画の目的 伝統工法に新技術を取入れ技術の習得を図る。

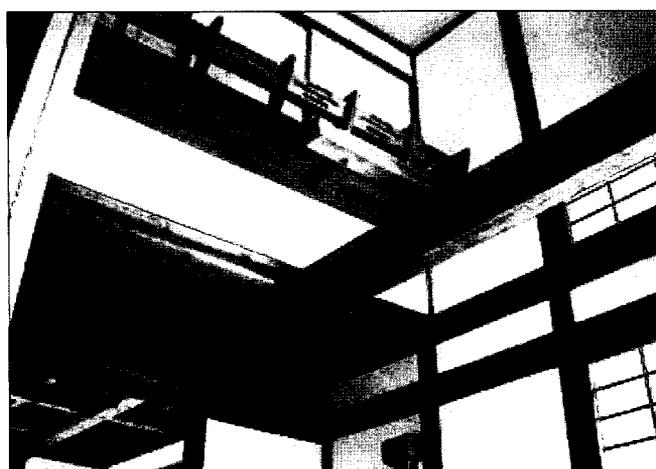
- 伝統工法 差鴨居などの継手仕口を採用
- 住民参加等 住まいづくり研究会にて、館岩らしい住まいづくりのポイントとまとめ、公営住宅に取入れる。
- 気候風土に関する工夫 冬期間の寒暖の差が激しいため、外断熱工法を採用し、豪雪地帯でも快適な空間を確保する。
- その他 地場産の木材を使用することによって、木のぬくもりを感じられる仕上げとしている。

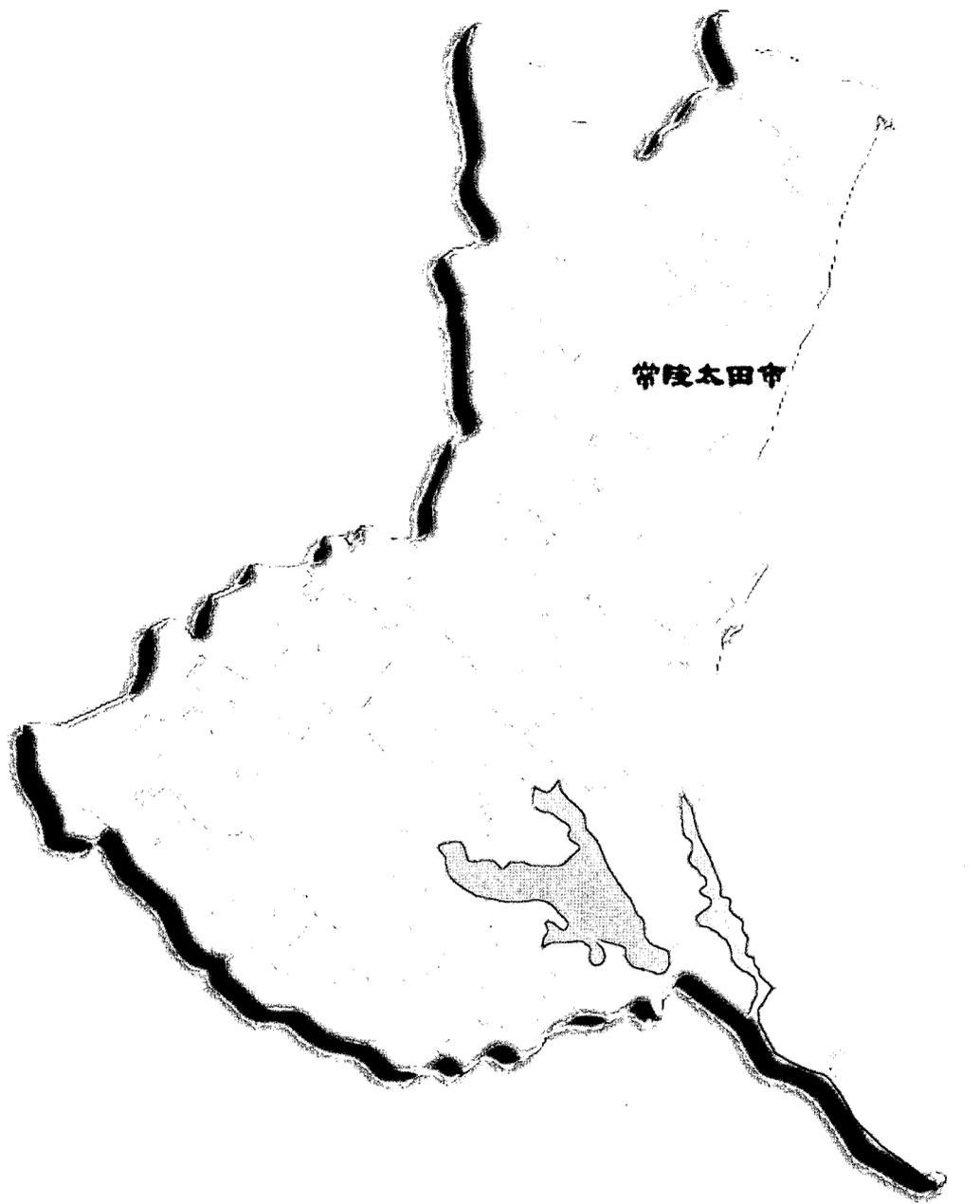


計画概要

敷地面積	3,155㎡
建築面積	156.84㎡
延べ床面積	75.12㎡ (一戸当たり専用面積) 78.42㎡(全住戸面積)
構造	木造2階
型式	2戸1タイプ
計画建築数	2戸1タイプ 4棟
平成12年度	2棟 A・B棟
平成13年度	1棟 C棟
平成15年度	1棟 D棟

事業実施場所	福島県南会津郡館岩村湯ノ花団地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	事業主体 館岩村 管理主体 館岩村
事業実施年度	平成12年度～平成15年度





常陸太田市

茨城県

HOPE常陸市町村

通り塩町地区街なみ環境整備事業



事業概要

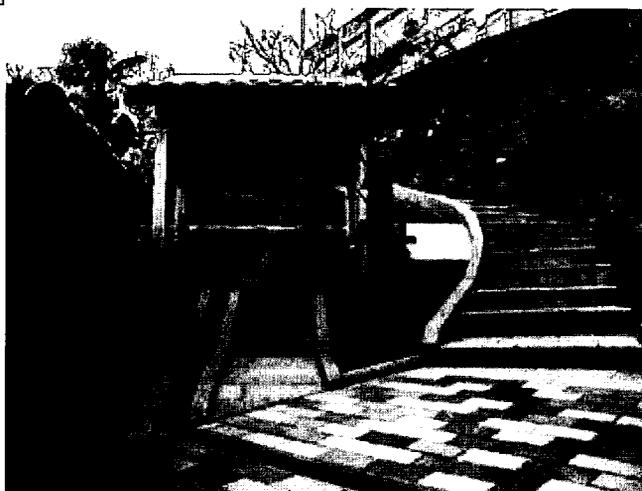
- 小公園緑地：地区住民の憩いの場として、都市のオープンスペースとして整備する
- 道路美装化・ストリートファニチャー：市街地の景観形成やアイストップとして、整備する
- 修景施設整備：まちづくり協定による修景助成により、ファサードを整備し景観形成を促進する



計画概要

- 対象面積 6.6ha
- 対象住戸数 111戸（歴史的建物 44棟）
- 道路の美装化（自然石貼り舗装）
- 小公園・緑地等整備（東の辻、金が井、塙坂緑地等）
- ストリートファニチャーの設置（塙坂の井戸等）
- 修景施設整備（建築物、工作物等の修景助成）

事業実施場所	寿町、西一町、西二町、東一町、東二町、塙町、金井町の各一部
事業種別	道路（美装化）、小公園・緑地、通路、修景整備（建物、工作物等）
事業制度	街なみ環境整備事業
事業主体	常陸太田市
事業実施年度	平成10年度～平成19年度





喜慶川町

栃木県

HOPE嘗受嘗市町村

☆ 喜連川町 ☆

フィオーレ喜連川



事業概要

温泉を基盤とした振興計画を立案し、その中で住宅の開発を含め6つのゾーン計画（住宅・工業・ショッピング・観光・スポーツ）を策定するなど、町の活性化を図る計画とした。

また、住宅団地の計画にあたっては、定住人口増加の促進や就業者に供給できる住宅団地となるよう配慮した。
[開発理念]

- ①振興計画の基本構想の遵守
- ②自然環境保全の重視
- ③公共施設の充実
- ④快適でゆとりある人間性豊かな生活空間の提供

[特徴]

HOPE計画に基づき建築協定を作成し、知事の認可を受けて宅地購入者全員と協定を締結し、独自の建築制限と環境保全に努めた。

- ①地域住宅計画推進委員会の設置
- ②建築協定地区の設定
建築協定に基づく
- ③用途、形態の制限
- ④敷地の利用制限、広告物の制限
- ⑤違反者の措置の明確化



計画概要

開発面積 82.3ha
計画人口 4,518人
計画戸数 1,221戸

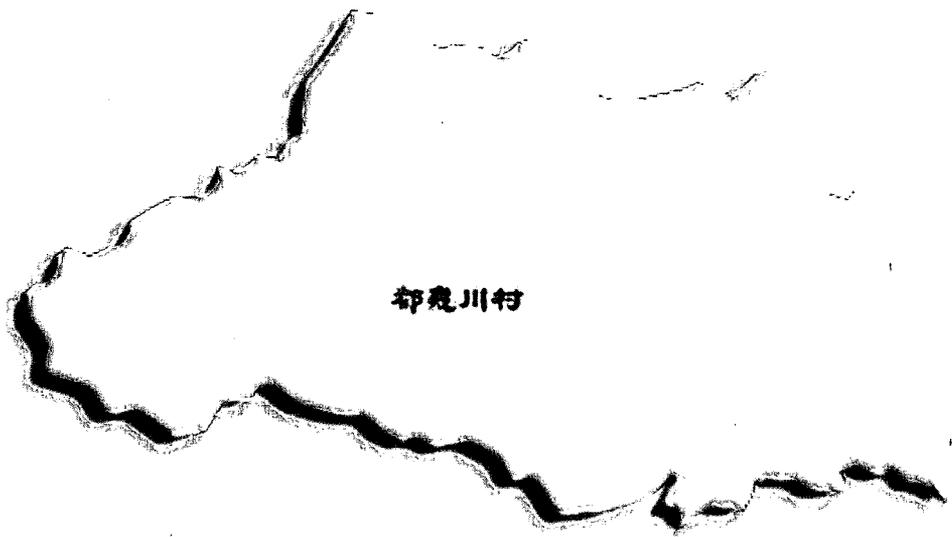
内訳

宅地分譲 894戸
住宅分譲 223戸(戸建)
104戸(マンション)

事業実施場所 塩谷郡喜連川町大字喜連川
事業種別 宅地開発事業
事業制度 住宅宅地関連公共施設整備
促進事業
事業主体 喜連川町
事業実施年度 平成2年度～平成10年度



埼玉県
HOPE賞受賞市町村



黒川村

☆ 都幾川村 ☆

木を活かした施設づくり（一連の作品）



事業種別

木を活かした施設づくり（一連の作品）



事例その2 八高線 明覚駅新築工事

事業概要

昭和63年11月JR明覚駅は、火災により焼失した。

村では「木の村」「建具の里」のコンセプト及び昭和63年度策定の都幾川村HOPE(地域住宅)計画 ときがわから、日本の風土、日本人の感性に合った木住文化を発信し、都幾川村らしい木住産業を再生し、豊かな居住空間と、村での魅力ある暮らし方を創造していこうとする計画によりJRに木造で建設することを強く陳情した。

協議の結果、村の木材を提供し、村の職人の手により平成元年現在の建物が完成した。

このことは、地場産材の有効活用をはじめとして、“木のむらの家マーケティング構想”の実現に向けて一歩を踏み出す契機となった。

さらに村の施工による、駅舎と一体となったデザインの木造公衆トイレにより、優れた景観を生み出し「木の村」の発信基地としての役割を果たしている。

この駅舎は平成9年「関東の駅100選」に選ばれ、村の玄関口として訪れる人々から好評を得ている。

計画概要

木造平屋建ファルトシングル葺 190.8㎡

事業実施場所 埼玉県比企郡都幾川村大字番匠
字宿475-2

事業種別 駅舎

事業制度 公営住宅事業

事業主体 東日本旅客鉄道（株）高崎支社

事業実施年度 平成元年度



東京都
HOPE常愛常市町村



公営住宅でつなぐまちづくり (桜丘一連の地区)



事業概要

計画の目的

残された緑の資源を生かしつつ、徐々に進行する市街地化に対して、住宅・住環境の整備の観点から、これを計画的に誘導する。本計画は、地区の将来の姿を想定し、地区住民の創意あるまちづくりと主体性に期待しつつ、これを区がバックアップするという、住民と区との協働によるまちづくり目標の確立を意図している。

都営住宅の建替改善

- 桜丘5丁目団地：HOPE計画の趣旨に合った公的住宅を実現するため、都に対して設計提案を行った。提案の中で周辺施設（公園・プロムナード）との一体整備を図っている。
- 桜丘2丁目団地：『桜丘2丁目西地区街なみ整備促進事業地区』の拠点施設にあたり、まちづくり協議会の中で、設計提案を行った。区内の都営住宅の中で特に地域住民の意見が反映された計画となっている。団地内公園については、住民参加によるワークショップによって設計を行った。

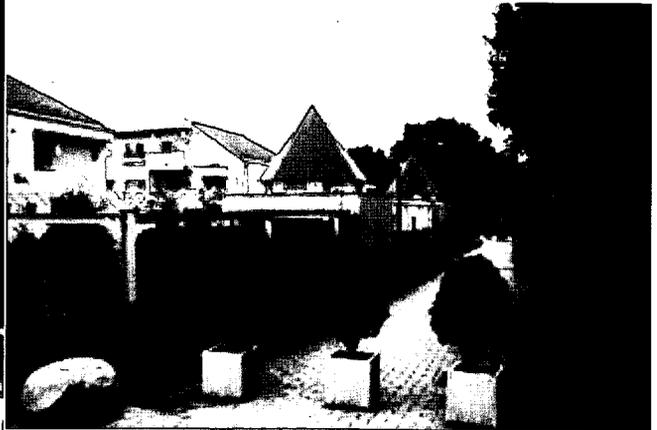
ソフトなインフラをめざすプロムナード整備

都の都市美モデル地区の指定を受けて、桜丘区民センターの建設に併せて周辺プロムナードを一体的に整備した（S58～S62）。
また、桜丘2丁目団地の建替えを契機として、地区のプロムナード及び小広場の整備、緑の保全育成を行った（H3～H11）。

地区特性と居住形態を考慮した住宅・街区整備のガイドライン設定

- 『世田谷区桜丘地区住宅・まちづくりガイド』の作成：桜丘地区の現況調査結果を踏まえ、住宅地、農地、空地、商店街での建替えの基本的なルールやマナーのパンフレットを配布し、住環境の意識向上の啓発を行っている。
- 桜丘3丁目松が根地区建築協定の締結：地元で環境意識の高まりをみせ、平成元年に協定締結に至った。協定では、用途、建蔽率、容積率、地盤面の高さ、壁面後退、建物の最高高さ、敷地あたりの戸数、戸当たり床面積について制限している。
- 『桜丘住宅・まちづくり通信』の発行：桜丘各地区で展開している住宅・街づくりの紹介や環境を考えた住宅の新築や建替えのマナーの啓発を行った。
- 『桜丘2丁目西地区街なみ整備促進事業』：桜丘2丁目団地の建替えを契機として、地区のプロムナード及び小広場の整備、緑の保全育成など街区の特性に合わせた良好な住環境の形成と快適な買い物空間の確保による商店街の活性化を目的として、「街並み整備促進事業」（現「街なみ環境整備事業」）を導入した。

平成2年7月に桜丘2丁目西地区まちづくり協議会が発足し、以来月1回の会合や街づくりイベントの開催等を通じて、身近な街の改善や提案の検討、街づくりの意識の醸成、地区住民の交流等活発な活動を展開している。



事業実施場所 世田谷区桜丘1～5丁目地区全域
事業種別 住宅団地、通路
事業制度 公営住宅建替事業、街なみ環境整備事業、建築協定、世田谷区街づくり条例に基づく「街づくり計画」
事業主体 世田谷区、東京都
事業実施年度 昭和58年度～平成11年度

計画概要

(1) 都営住宅の建替え改善

団地名	敷地面積	戸数	階数	間取り
桜丘二丁目団地	3512.09㎡	27戸	筋3	2・3DK
桜丘五丁目団地	3890.19㎡	30戸	筋3	3DK

(2) ソフトなインフラをめざすプロムナード整備

街なみ整備促進事業	
道路空間の整備	375m
広場の整備面積	721.31㎡
街づくり協定締結面積	3.4ha

(3) 地区特性と居住形態を考慮した住宅・街区整備のガイドライン設定

- ①『世田谷区桜丘地区住宅・まちづくりガイド』の作成
- ② 桜丘3丁目松が根地区建築協定の締結
- ③『桜丘住宅・まちづくり通信』の発行
- ④『桜丘2丁目西地区街なみ整備促進事業』



新潟県
HOPE新井市町村

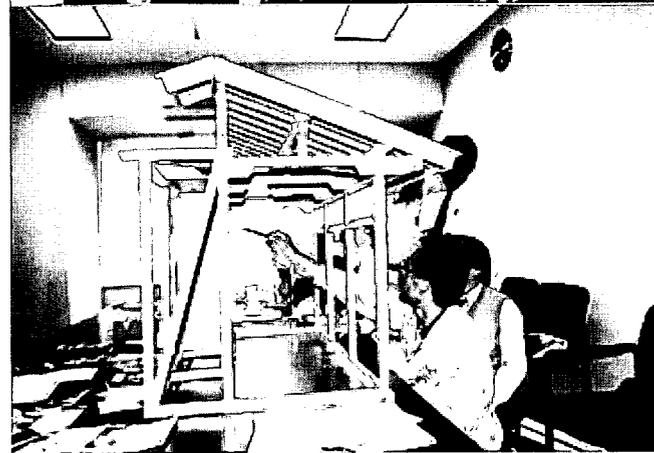
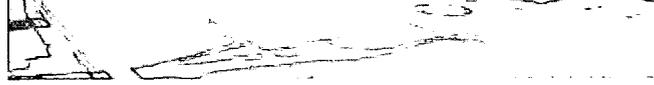
よったかり活動



事業概要

平成5～6年度 HOPE計画策定
平成8～10年度 HOPE計画推進事業

- 栃尾市地域住宅計画（HOPE計画）を計画的に推進するために、各部門のリーダーと学識経験者・民間企業・各団体・行政からの代表が集まり、今後の推進・調査研究・協議などまちづくりの方向性を決めていく。
- まちづくり推進協議会を発足し活動を展開。
- 「HOPE計画推進事業3年間のあゆみ」のとおり



計画概要

栃尾市のHOPE計画は、「よったかり」をキーワードに、栃尾の自然・伝統・文化・産業などの特性を生かしながら、住みやすい住宅や地域に根ざした住宅環境を創造するまちづくり計画です。この計画では「よったかり」の場となる種子(たね)を探し、その魅力を高めていくことをポイントにしています。

「よったかり」とは、栃尾の方言で「寄り集まる」ことを意味します。囲炉裏(いろり)に集まる家族。これが「よったかり」の原点です。栃尾のまちづくりは「よったかり」を出発点としています。囲炉裏や縁側での家族や隣近所のよったかりから、雁木、公園、集落、まち全体へと無限に広がる「よったかり」の種子(たね)から、4つのテーマが見つかりました。「道」「水」「場」「緑」の4つの観点からまちを見つめ直し、栃尾の未来を考えていきます。

テーマ「道」

(例) 雁木・路地・商店街・橋・散 歩道・通学路など

- 街路樹と花が目を楽しいけやき通り
- 城山に通じる遊歩道
- 昔ながらの雁木を残しながら少しずつ変わってきた大町の雁木通り

テーマ「水」

(例) 河川・池・沼・田んぼ・水路・井戸・流雪溝など

- 全国名水百選に選ばれた杜々の森
- 8月7日の石積み

テーマ「場」

(例) 住まい・バス停・公園・祭り広場など

- 秋葉公園にはたくさんの方が訪れます
- 道院のグレステンスキー場

テーマ「緑」

(例) 山・森・林・農作物・記念樹・プランターなど

- 田植え・稲刈も栃尾の風物詩
- 上杉謙信ゆかりの栃尾城跡(城山)

事業実施場所 新潟県栃尾市

事業種別 住宅団地 個人住宅(雁木含む)
公共施設(よったかり場)

事業制度 公営住宅事業(住宅団地)

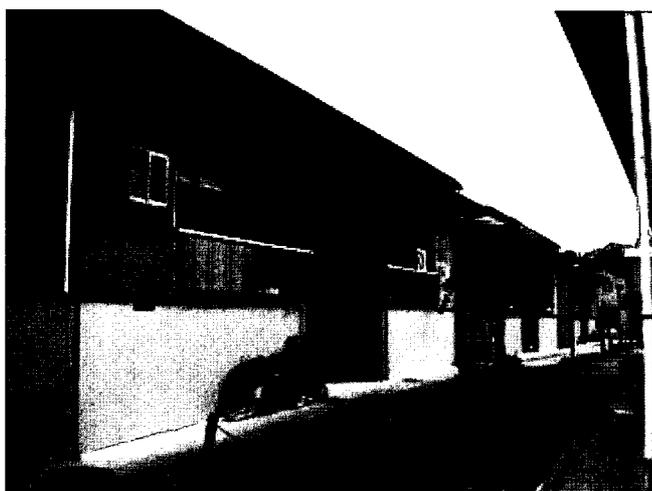
事業主体 栃尾市、民間団体(まちづくり推進協議会、表町区、よったかりうえ〜ぶ)

公営木造耐雪モデル住宅建設事業



事業概要

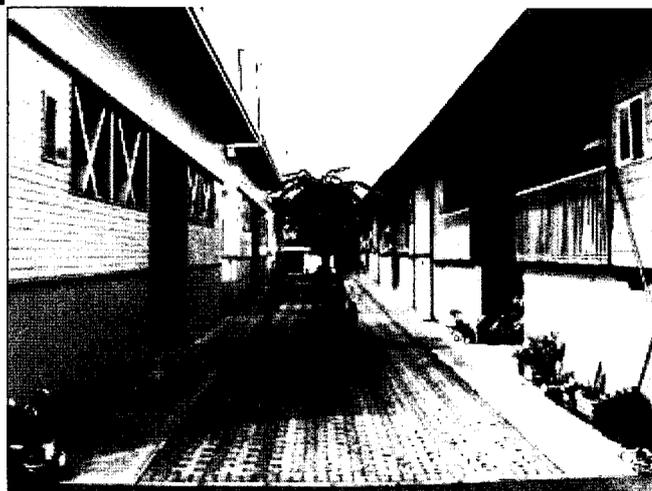
- 小千谷市では、昭和60年度建設省より地域住宅計画（HOPE計画）策定の指定を受けて「雪国にふさわしい住まいづくり」と「風土に根ざしたまちづくり」をテーマに自然、伝統、文化、産業などの地域の特性を生かしながら、将来に継承し得る質の高い居住空間整備と、良好な地域社会の形成を図ろうと小千谷市HOPE計画を策定しました。翌昭和61年度に、HOPE計画推進事業として公営木造耐雪モデル住宅建設事業の計画を決定し、設計に着手、昭和62年度・平成4年度・平成6・7年度に建設工事を行い完了いたしました。
- この事業の目的は、雪下しのいらぬ木造住宅の建設、木造耐雪住宅での住まい方の研究であります。又、建設においては、地元組合組織の参加により、木造需要の振興と地元耐雪技術の向上を図ろうといたしました。



計画概要

敷地面積	2842.9㎡
建築面積	902.1㎡
延床面積	719.64㎡
構造	木造高床平家建（戸当り住戸専用面積59.97㎡）
特長	木造耐雪3m構造

事業実施場所	小千谷市上ノ山2丁目3番21	
事業種別	公共施設	
事業制度	公営住宅建設事業	
事業主体	小千谷市	
事業実施年度	第1期：S62	1棟2戸建 計2棟4戸
	第2期：H4	1棟2戸建 計2棟4戸
	第3期：H6・7	1棟2戸建 計2棟4戸
	計	6棟12戸





八尾町

雲山縣
HOPE 雲山縣八尾町

上野かざみ台住宅団地造成事業



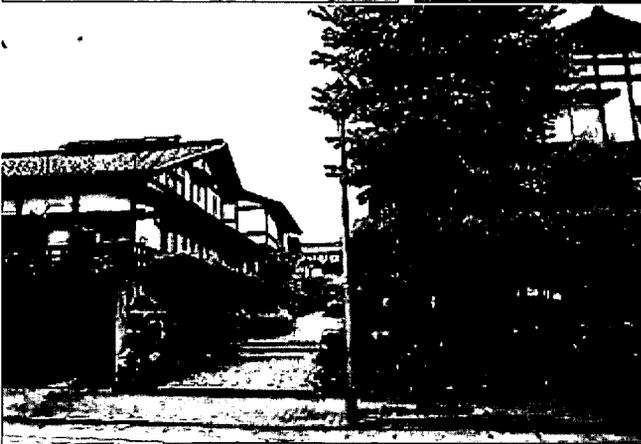
事業概要

- 計画の目的：八尾型モデル住宅団地の建設
- 特殊工法、伝統工法：
八尾和紙を挟む複層ガラス、出し梁工法等による屋根（軒部分）
- 地域の活性化：人口増の促進、地元建築関係業者の共同施工
- 地域人材の活用や地域人材の育成：
地元工務店協会（八匠）を組織し伝統工法による八尾型モデル住宅団地の建設による技術の継承が行われた。このことにより、その後八尾町では約100戸（平成14年度末）の八尾型住宅が建設された。
- 気候風土に関する工夫：
八尾の石垣景観を取り入れた自然玉石積の擁壁、伝統的在来工法による耐雪住宅



計画概要

- ・敷地面積 22,757㎡、35区画
 - ・平均面積 330㎡/区画
 - ・建築協定 上野かざみ台建築協定
 - ・地元建築関係者“八匠”による八尾型モデル住宅団地の建設
 - ・八尾町地域住宅相談所の開設
 - ・町民会議共催
- 事業実施場所 八尾町福島上野
事業種別 住宅団地
事業制度 ウッドタウンプロジェクト推進事業
事業主体 八尾町工務店協会（八匠）
事業実施年度 平成元年度～平成3年度



魅力あるまちづくり事業基本計画



事業概要

- 計画の目的：中心市街地の居住環境整備
- 背景
 1. 八尾町の中心市街地にある住宅は間口が狭く、空家または空地が発生し、町並みの連担性を失いつつあった。
 2. 道路拡幅事業の際に住宅前面を切取ったため、町並み景観が崩壊していた。
 3. 昭和61年諏訪町本通りが「日本の道100選」に選ばれたことや、また、HOPE計画による町並み復権を目指し街路整備を行う。
- 特徴
 1. 電柱を表通りから裏通りに移設し、無電柱化し、木製街灯と石製足元灯を設置する。
 2. 道路側溝を流雪溝と玉石洗い出し側溝にして、せせらぎの音の演出。蓋には曳山の車輪と町の花である椿をデザイン。
 3. ポケットパークとして防火水槽の上にベンチや案内看板、植栽、石張り舗装を施す。
 4. 道路は御影石4色をランダムに石張りとしている。

計画概要

街路事業：

諏訪町本通線L=640m、若宮線L=320m

石張り舗装、ポケットパーク3箇所、流雪溝、木製街路灯、石製足元灯

魅力あるまちづくり事業：

ポケットパーク 4箇所、無電柱化、下水道整備

事業実施場所 八尾町諏訪町

事業種別 道路

事業制度 歴史的地区環境整備街路事業、魅力あるまちづくり事業

事業主体 八尾町

事業実施年度 平成元年度～平成10年度



歴史的地区環境整備事業



事例その1

事業概要

- 計画の目的：井田川の周辺景観整備
- 背景
 1. 八尾町は、井田川の氾濫によって町立ての歴史を持つように、井田川との関係が深く八尾町のランドマークとして親しまれている。
 2. 同地区に昭和40年代に急傾斜地の保全事業でつくられた石積擁壁は、町を代表するシンボリックな景観として地域住民や観光客に親しまれている。
 3. この石積擁壁は老朽化が進行し、早急な補強・補修が必要であるため、集落を結ぶ階段や道路と併せた、井田川周辺景観整備を行った。
- 特徴
 1. コンクリート擁壁の表面を玉石で覆い、石積み風に仕上げている。
 2. 極力緑地を保存するよう配慮し、斜面の安定化とともに、うるおいとやすらぎの斜面空間を創出している。



計画概要

工事概要：玉石ブロック積擁壁工事
施行規模：延長約280m 幅約200m 高さ10～20m

事業実施場所	八尾町西町、今町、下新町
事業種別	石積擁壁
事業制度	急傾斜地事業
事業主体	八尾町
事業実施年度	平成7年度～平成13年度

事例その2

事業概要

- 計画の目的：井田川の周辺景観整備
- 特徴
 1. 老朽化に伴う橋梁の架け替えにあたり、HOPE計画の「井田川周辺景観整備」の趣旨に基づき「橋にも文化性を」をテーマにデザインを一般公募し、特選作品のデザインを基本に歩道専用橋として整備した
 2. 小・中学校生及び高校生等が毎日通学路として安全に・楽しく利用でき、中心市街地の石垣景観にマッチした町のシンボルとなる魅力と憩いのある橋梁となった。
 3. アルミ鋳物製おわら踊りのレリーフを高欄に展開
 4. アルミ鋳物製おわら編み笠型の照明を設置

計画概要

工事概要：玉石ブロック積擁壁工事
施行規模：延長約280m 幅約200m 高さ10～20m

事業実施場所	八尾町西町、福島
事業種別	橋梁
事業制度	町単独橋梁維持補修事業
事業主体	八尾町
事業実施年	平成2年度～平成3年度





白峰村

石川県
HOPE黨受黨市町村

伝統環境保全事業



事業概要

白峰村の伝統環境を自らの手で守り育てる条例に基づき、村内における建築物及び屋外広告物等の伝統環境に配慮した整備事業に対し、伝統環境保全助成金を交付する。

計画概要

白峰村の個性豊かな伝統環境を、村民のふるさとを愛する心の高まりにより、一人一人の手で育て、より快適で誇り高いふるさとを作り上げ、次代の村民に引き継ぐことを目的とし、条例の中で村長の責務、村民等の責務を掲げている。



事業実施場所	白峰村内全域
事業種別	
事業制度	白峰村の伝統環境を自らの手で守り育てる条例
事業主体	白峰村
事業実施年度	平成2年3月31日施行



大野市

福井県
HOPE事業市町村

御清水周辺整備事業



事業概要

日本名水百選の一つに選ばれた御清水は、良質な地下水が湧出しており、地域の人々に洗い場などとして親しまれてきた。老朽化した鉄骨造りの雨よけを景観に配慮した木造造りへと改修した。



計画概要

御清水屋根 $3 \times 29\text{m} = 87\text{m}^2$

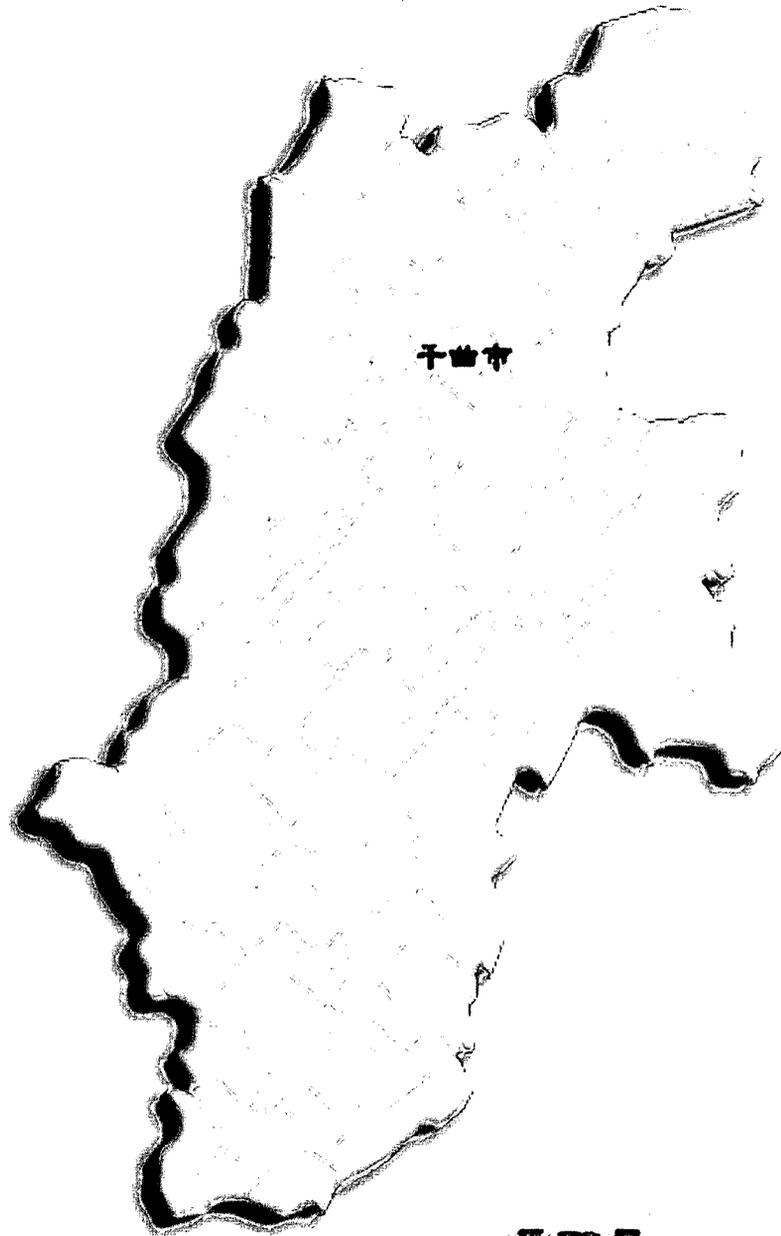
事業実施場所 大野市泉町

事業種別

事業制度 大野市HOPE計画

事業主体 大野市

事業実施年度 昭和62年度



千曲市

長野県
HOPE黨受審市町村

稲荷山土壁の街整備基本計画



事例その1

事業概要

- 昭和62年度から昭和63年度にかけて推進事業の一環として土壁造りの街並みを生かした住宅地景観の誘導を図るため「稲荷山土壁の街整備基本計画」を策定。
- まちづくりの核施設をつくる目的のひとつとして、蔵のまち稲荷山にふさわしい蔵造りをモチーフとした、稲荷山出身の政治まんがの第一人者近藤日出造氏の記念館として建設。



計画概要

- 「更埴ふるさと漫画館」
- 敷地面積 1,625.34㎡
- 建築面積 254.34㎡
- 延床面積 400.40㎡
- 構造 木造
- 階数 2階

事業実施場所 千曲市大字稲荷山
事業種別 公共施設
事業制度
事業主体 千曲市

事例その2

事業概要

- 昭和62年度から昭和63年度にかけて推進事業の一環として土壁造りの街並みを生かした住宅地景観の誘導を図るため「稲荷山土壁の街整備基本計画」を策定。
- まちづくりの核施設をつくる目的のひとつとして、空家となっていた建物・蔵をまちづくりの観点から活用を図り、幕末から明治にかけて生糸輸出の先駆者となった松林源之助の邸を修復・再現した。当時の商家の建築様式を伝え、民俗資料を展示している。

事業実施場所 千曲市大字稲荷山
事業種別 公共施設
事業制度
事業主体 千曲市
事業実施年度 平成11年度
計画概要

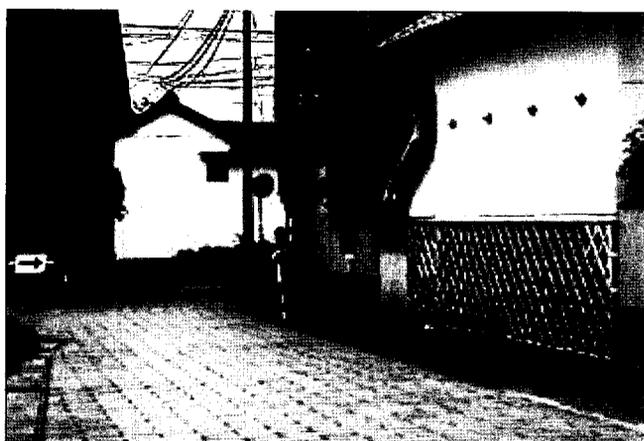
- 「稲荷山宿・蔵し館」
- 敷地面積 825.36㎡
- 建築面積 343.20㎡
- 延床面積 452.36㎡
- 構造 木造
- 階数 2階



事例その3

事業概要

- 昭和62年度から昭和63年度にかけて推進事業の一環として土壁造りの街並みを生かした住宅地景観の誘導を図るため「稲荷山土壁の街整備基本計画」を策定。
- 稲荷山に残されている歴史のみちすじの景観を保全し、安全で快適な生活の場を整備することを目的として、石畳風の特殊舗装やコンクリート二次製品を極力自然石を使う等歴史的な街並みになじむように道路改良を実施。
- 歴史的な街並みを「みちづくり」の観点から支援。



事業実施場所 千曲市大字稲荷山
事業種別 道路
事業制度 身近なまちづくり支援街路事業
事業主体 千曲市
事業実施年度 平成10年度

計画概要

- 事業延長695.3m(平成14年度まで)
- 施工概要：舗装の美装化

事例その4

事業概要

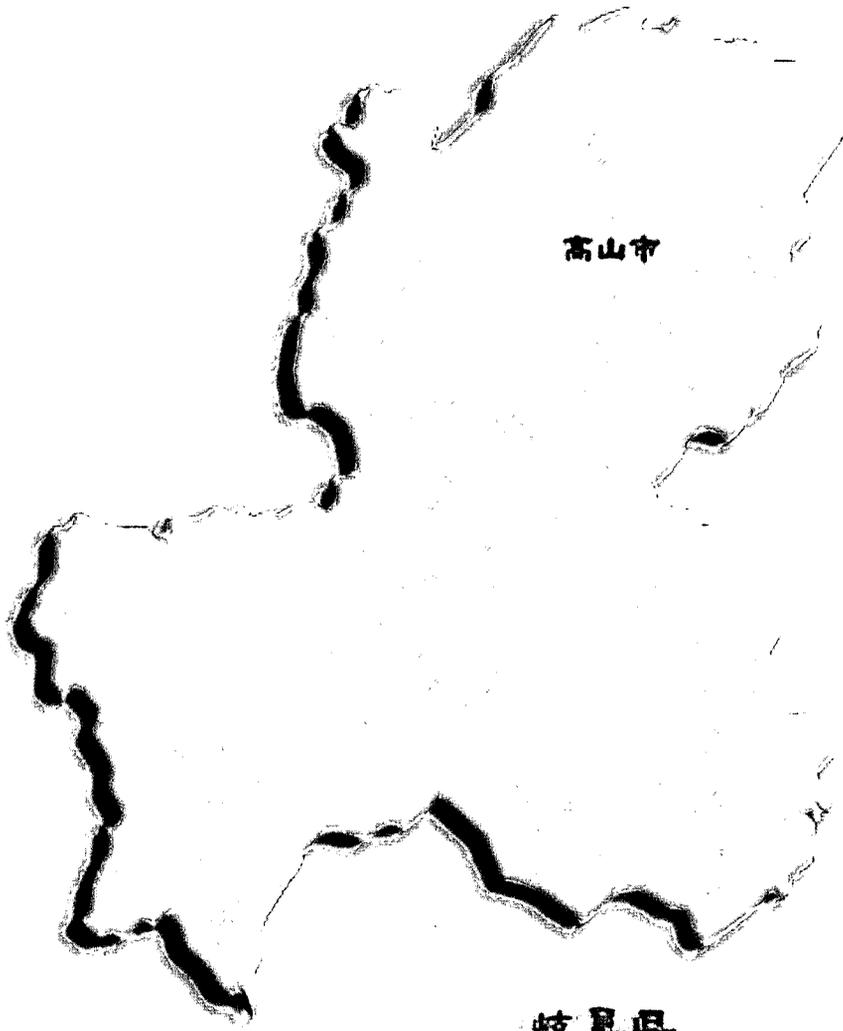
- 昭和62年度から昭和63年度にかけて推進事業の一環として土壁造りの街並みを生かした住宅地景観の誘導を図るため「稲荷山土壁の街整備基本計画」を策定。
- 伝統的な土蔵づくりの家並みを活用して沿道を整備したり、公衆トイレを土蔵をモチーフして建設した。



事業実施場所 千曲市大字稲荷山
事業種別 道路、公共施設
事業制度 花と緑の都市モデル地区整備事業
事業主体 千曲市
事業実施年度 平成2年度から平成3年度

計画概要

- 土壁の路整備
舗装の美装化 350m
- 土壁の路トイレ整備
敷地面積55.77㎡
建築面積14.9㎡
延べ面積14.9㎡



高山市

岐阜県

HOPE賞受賞市町村

☆ 高山市 ☆

住宅設計指針、ユーザーズマニュアル等の作成
(高山型住宅マニュアル)



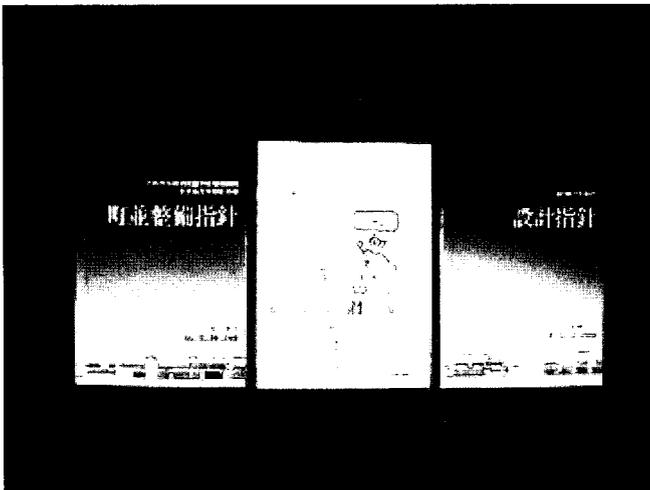
事業概要

〔昭和60年度〕

- ① 住宅の造り手向けの「設計指針」を作成した。
- ② 住まい手向けのマニュアル「風土にねざした住まいづくり」を作成した。
- ③ 住宅建設や住宅地開発をするに際して、町並整備に配慮してもらうための「町並整備指針」を作成した。

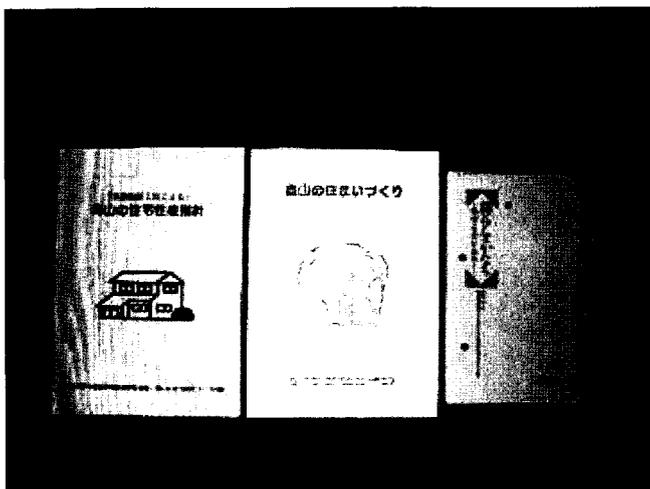
〔平成10年度〕

- ① 住宅のつくり手向けの冊子「高山の住宅性能指針」を作成。
- ② 住宅のすまい手向けの冊子「高山の住まいづくり」を作成。
- ③ 「高山の住宅指針について語る会」の開催（市主催：建築士、施工業者が参加して2回開催。）



計画概要

- 昭和60年度HOPE計画において、高山らしい「すまい」づくり「まち」づくりを基本理念とし、造り手と行政が協働して、高山の気候、風土を活かした住宅・住環境づくりを進めることとなった。
- 平成10年度住宅マスタープランにおいて、誰もが住みやすく住みたくなるまち飛騨高山を基本理念としつつ、造り手と行政が協働して、昭和60年度HOPE計画以降に向上した住宅機能等をあらたな指針としてまとめた。



事業実施場所	市内全域
事業種別	住宅のつくり手及び住まい手向けの小冊子の作成
事業制度	公営住宅等関連事業推進事業
事業主体	高山市
事業実施年度	昭和60年度事業開始



静岡県
HOPE愛管市町村

☆ 大須賀町 ☆

横須賀の一連の住まいからの素朴なまちづくり



事例その1 伝統的町家 竹内邸

事業概要

伝統的町家について、町家の年代は幅広く、安政の地震後（幕末）から、戦前に建築されたものがある。さらに町家は「東国」と「西国」の2つのタイプに別れ、その2つの町家が混合した街道が、大須賀町のまちなみである。

「東国」（例 山下邸）とは、江戸を中心とした東国に多く見られ、立面では出桁造が主流で塗籠（ぬりごめ）の壁を持ち、断面では1階の庇下が外部の場合等の特徴がみられる。

「西国」（例 神谷邸）とは、京都を中心とした西国に多く見られ、2階の建具のデザインは、虫籠窓・吹寄格子が用いられ、断面では1階の庇下が内部の場合等の特徴がみられる。

大正から昭和期に増築された建築物（例 竹内邸）は、屋根の勾配を保ちつつ、新たな居住空間を積層（2・3階座敷・本格的数寄屋座敷の実現）させていることから質的・技術的な高さが見られる。

事業実施場所	大須賀町横須賀地内
事業種別	個人住宅
事業制度	
事業主体	大須賀町
事業実施年度	平成3年度～平成6年度（終了）

計画概要	
敷地面積	456.00㎡
建築面積	211.74㎡
延床面積	366.83㎡
階数	3階
構造	木造



事例その2 伝統的町屋「西国」神谷邸

事業概要

調査の結果、街道沿いの588件中、伝統的町家（176件 30%）・空き家（42件 7%）・空き地（74件 13%）・セットバックしている住宅（113件 19%）・その他（183件 31%）であり、空き家は伝統的町家であり、その他も31%と多く占めているが、ほとんどが和風住宅である。しかし、空き地とセットバックしている住宅と合わせ、全体の32%を占めており、まちなみとしては虫食いの状態が見られるのが現状である。

また、空き地・空き家の原因に世帯数の大幅な減少が考えられ、特に一地区に関しては、約20年前と比べ世帯数が半分近く減少していた。

そのため今後の課題とし、伝統的町家を残していくだけでなく、空き地・空き家の利用方法についても住民を主体とし、検討していかなくてはならない。



事業実施場所	大須賀町横須賀地内
事業種別	個人住宅
事業制度	
事業主体	大須賀町
事業実施年度	平成3年度～平成6年度（終了）

計画概要	
敷地面積	856.82㎡
建築面積	190.80㎡
延床面積	313.61㎡
階数	2階
構造	木造

事例その3 伝統的町家 改築のモデルルーム

事業概要

「快適な田園的文化都市」を目標とした、自然や伝統を住宅づくりに生かし、ただ残していくだけではなく、現代のライフスタイルを考慮しながら、創造性あふれる遠州大須賀の住宅スタイルと住み方を地域の住民で考え、親から子、子から孫へと、生涯通じて学ぶ学習のできる町づくり。

大須賀町は、伝統的な祭りが盛んな町でもあり、町中の街道をネリが引かれることから、現代の住宅では街道の面影と趣が失われてしまい、従来の住宅の特徴（外観と気候風土の利用等）をそのままに、内装よっての改修を行い、角地においては外観を町家らしく修景する等のアイデアが住民主体で考えられ、一つのモデル住宅（案）が作成された。

現在も新築の家屋が建築されることから、アドバイザーグループを結成し、住宅の相談・住民主体でのまちづくり事業を行い、城下町の街道に昔ながらの面影を残していく方法が考えられている。

事業実施場所	大須賀町横須賀地内	計画概要	
事業種別	個人住宅 (モデルとしての個人住宅)	敷地面積	200.00㎡
事業制度		建築面積	135.21㎡
事業主体	大須賀町	延床面積	167.64㎡
事業実施年度	平成3年度～平成6年度(終了)	階数	2階
		構造	木造

事例その4 伝統的町屋「東国」山下邸

事業概要

城下町の街道に並ぶ伝統的町家の残るまちなみ、及びそこに構成される町家を調査することによって、大須賀町のまちなみと町家の形体的特徴を把握する。

敷地の利用については、敷地の形は南北に縦に長く、主屋は道に接道させることが原則となっており、座席に面して坪庭（採光・通風の役割がある）があり、坪庭の奥には蔵・離れ等の付属屋がある。

住宅集合については、隣棟間隔はほとんどなく、縦長の敷地に、道路から、主屋（座敷）・庭・離れのパターンが繰り返され、帯状の町が構成されている。

まちなみの形については、屋根、庇を持ち木造である伝統的町家が、わずか全体の半分しか占めておらず、新たに建替えられる住宅の場合、前面に駐車場等の設置による大幅なセットバックという形が多く見られ、まちなみの景観を損なう原因の一つと考えられる。また、空き地や空き家も多く見られ、町並みの統一性においても問題である。

事業実施場所	大須賀町横須賀地内
事業種別	個人住宅
事業制度	
事業主体	大須賀町
事業実施年度	平成3年度～平成6年度(終了)

計画概要	
敷地面積	196.38㎡
建築面積	59.88㎡
延床面積	102.43㎡
階数	2階
構造	木造



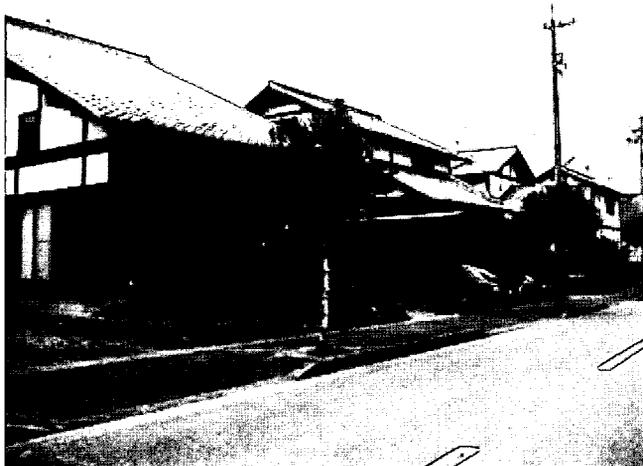
「天竜の家」山王団地建設事業



事業概要

- (計画の目的) 地域に根ざした新しい民家「天竜の家」の建設促進により、地場産材の活用と地場産業の活性化及び統一ある美しい街並みの形成を目指した。
- (伝統工法等) 当遠州地方に伝わる民家「釜屋造り」を現代風にアレンジした家くシンプルな骨組みの架構、白壁と杉板張りの家、軒の深い家>
- (地場財産活用) 杉材を主体とした天竜材を活用
- (地域の活性化) 地場産業であるプレカット加工の推進、天竜木材産地協同組合の組合員が施工

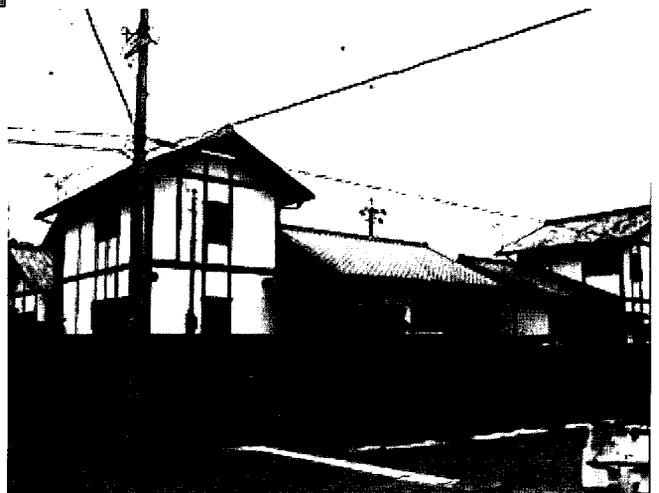
(街並みの形成) 5区画以上連たんの街区の道路に沿った敷地境界沿いに約1m幅の緑化帯(半公共空間)



計画概要

市の土地開発公社が宅地造成した住宅団地の一角を「天竜の家」建設用地として位置付け、建築条件付で土地の購入者を募った。
天竜市HOPE計画に基づく住宅づくりを行う。
5戸連たんした戸建て木造二階建住宅の群。
敷地と道路との緩衝地帯として、道路に面した敷地内を緑化(半公共空間の整備)

事業実施場所	天竜市山東字山王地内
事業種別	個人住宅
事業制度	天竜市HOPE計画(地域住宅計画)に基づく事業
事業主体	天竜市
事業実施年度	昭和59年度



「天竜の家」大谷南団地建設事業



事業概要

- (計画の目的) 地域に根ざした新しい民家「天竜の家」の建設促進により、地場産材の活用と地場産業の活性化及び統一ある美しい街並みの形成を目指した。
- (伝統工法等) 当遠州地方に伝わる民家「釜屋造り」を現代風アレンジした家<シンプルな骨組みの架構、白壁と杉板張りの家、軒の深い家>
- (地場財産活用) 杉材を主体とした天竜材を活用
- (地域の活性化) 地場産業であるプレカット加工の推進、天竜木材産地協同組合の組合員が施工

(街並みの形成) 5区画以上連たんの街区の道路に沿った敷地境界沿いに約1m幅の緑化帯(半公共空間)

計画概要

市の土地開発公社が宅地造成した住宅団地の一角を「天竜の家」建設用地として位置付け、建築条件付で土地の購入者を募った。

天竜市HOPE計画第3団地

8戸連たんとした戸建て木造二階建住宅の群敷地と道路との緩衝地帯として、道路に面した敷地内を緑化(半公共空間の整備)

事業実施場所	天竜市大谷地内
事業種別	個人住宅
事業制度	天竜市HOPE計画(地域住宅計画)に基づく事業
事業主体	天竜市
事業実施年度	昭和62年度～昭和63年度



「天竜の家」大谷北団地建設事業



事業概要

- (計画の目的) 地域に根ざした新しい民家「天竜の家」の建設促進により、地場産材の活用と地場産業の活性化及び統一ある美しい街並みの形成を目指した。
- (伝統工法等) 当遠州地方に伝わる民家「釜屋造り」を現代風アレンジした家<シンプルな骨組みの架構、白壁と杉板張りの家、軒の深い家>
- (地場財産活用) 杉材を主体とした天竜材を活用
- (地域の活性化) 地場産業であるプレカット加工の推進、天竜木材産地協同組合の組合員が施工

(街並みの形成) 5区画以上連たんの街区の道路に沿った敷地境界沿いに約1m幅の緑化帯(半公共空間)



計画概要

市の土地開発公社が宅地造成した住宅団地の一角を「天竜の家」建設用地として位置付け、建築条件付で土地の購入者を募った。

天竜市HOPE計画第2団地

6戸連たんした戸建て木造二階建住宅の群

敷地と道路との緩衝地帯として、道路に面した敷地内を緑化(半公共空間の整備)

事業実施場所 天竜市大谷地内

事業種別 住宅団地

事業制度 天竜市HOPE計画(地域住宅計画)に基づく事業

事業主体 天竜市

事業実施年度 昭和60年度

愛知縣
HOPE賞受賞市町村



町営 ^{くわだわ} 桑田和 住宅建設事業



事業概要

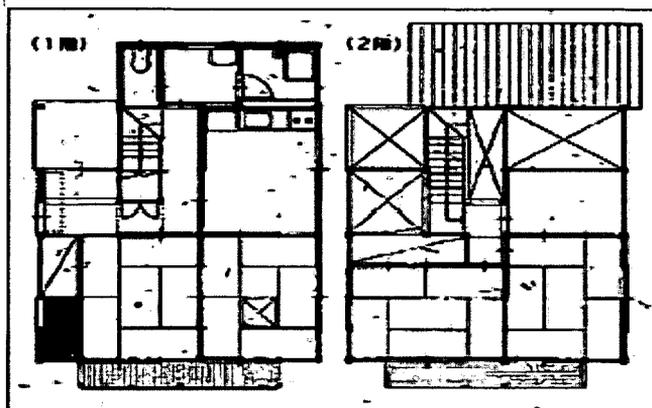
- 建築年次：昭和60年度
- 構造規模：木造2階建て 戸建て6戸
- 住戸面積：79.96㎡ 3LDK、4LDK



計画概要

足助の資源である足助産の木材（足助材）と伝統と技術を伝える人的資源（足助大工）を活用し、トータルファッションとしての家づくりを進めるため、合理的な住宅設計と部材生産・住宅供給システムを実現した民家型構法による「木住システム」を開発し、そのモデル的住宅として、町営桑田和住宅を建設した。

事業実施場所	愛知県東加茂郡足助町大字 桑田和字清水35-2
事業種別	町営住宅
事業制度	公営住宅建設事業
事業主体	足助町
事業実施年度	昭和60年度

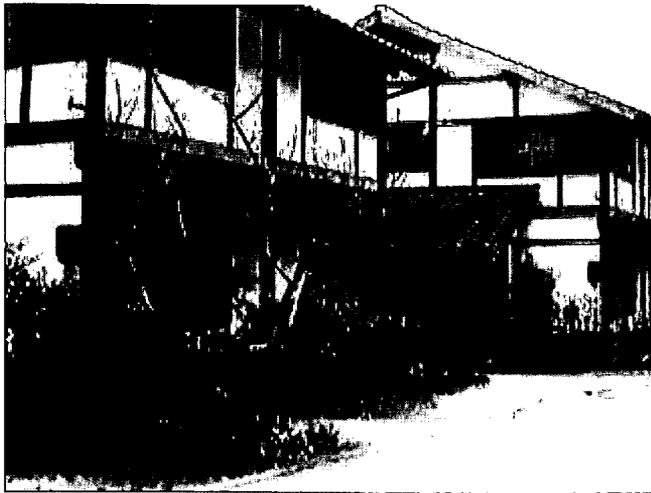


町営 千野^{ちの} 住宅建設事業



事業概要

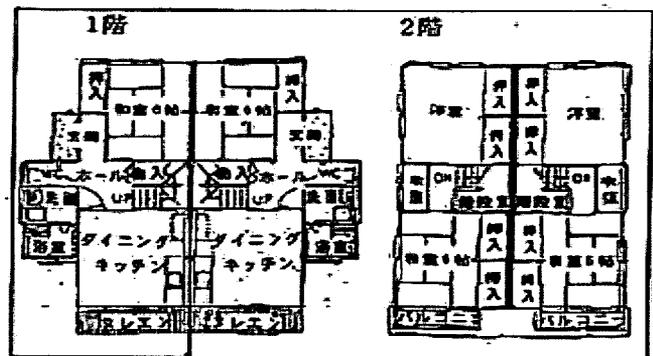
- 建築年次：昭和61年度
- 構造規模：木造2階建て 連戸建て6戸
- 住戸面積：71.28㎡ 3LDK



計画概要

足助の資源である足助産の木材（足助材）と伝統と技術を伝える人的資源（足助大工）を活用し、トータルファッションとしての家づくりを進めるため、合理的な住宅設計と部材生産・住宅供給システムを実現した民家型構法による「木住システム」を開発し、そのモデル的住宅の第2段として、町営千野住宅を建設した。

事業実施場所 愛知県東加茂郡足助町大字
千野字千ノ田11-1
事業種別 町営住宅
事業制度 公営住宅建設事業
事業主体 足助町
事業実施年度 昭和61年度



「集落コミュニティ」の創造



事業概要

三方山に囲まれた約2haの谷間の土地、高嶺下地区に農ある暮らしと新規居住者のエコロジカルな住宅開発を進める「高嶺下ファームビレッジ構想」を町が平成9年度策定し、町は構想を進める起爆剤として平成11年度に自然の斜面地形を利用した職員住宅を建築した。

[戸建てコーポラティブ]

- H10.8…拠点小屋づくり（地元推進組織「埜快」、サポーターグループ「洞を考える会」がワークショップにより実施
- H11.8～12.5…自然観察会などのイベントを開催
- H12.8～…入居希望者6世帯による暮らしイメージづくりワークショップの開催
- H12.12～13.3…町が住宅区域進入路工事の実施
- H13.7…入居希望者6世帯が住宅地整備組合設立
- H13.9～…住宅用地区画割、住宅地整備内容、資金などを検討
- H14.10…6世帯と地権者の間で住宅用地の売買契約
- H15.4～…新規入居者による住宅建設が始まる



計画概要

[高嶺下職員住宅]

建築年次：平成10、11年度

構造規模：木造2階建て 連戸建て6戸

住戸面積：76㎡ 2LDK

事業実施場所	足助町大字野林地内
事業種別	町職員住宅、個人住宅
事業制度	①町職員住宅建築 ②戸建てコーポラティブ住宅地整備
事業主体	①足助町 ②高嶺下住宅用地整備組合
事業実施年度	町職員住宅：H11年度 戸建てコーポラティブ：H12年



「木住システム」の開発



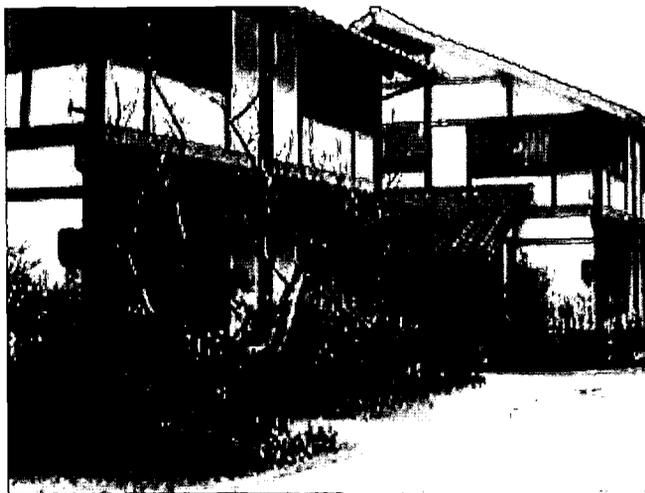
事業概要

[桑田和住宅]

- 建築年次：昭和60年度
- 構造規模：木造2階建て 戸建て6戸
- 住戸面積：79.96㎡ 3LDK、4LDK

[千野住宅]

- 建築年次：昭和61年度
- 構造規模：木造2階建て 連戸建て6戸
- 住戸面積：71.28㎡ 3LDK



↑ 町営千野住宅

計画概要

足助材と足助大工を活用した、民家型工法の木造住宅と供給システムを開発する第3セクターによる住宅建設会社「ほるくす」が設立された。

そのシステムを利用したものとして町営住宅の建設を計画した。

事業実施場所	桑田和町営住宅：足助町大字桑田和字清水35-2 千野町営住宅：足助町大字千野字千ノ田11-1
事業種別	町営住宅
事業制度	公営住宅事業
事業主体	足助町
事業実施年度	桑田和町営住宅：S60年度 千野町営住宅：S61年度



↑ 町営桑田和住宅



大山町

滋賀県
HOPE研究会町村

☆ 土山町 ☆

街なみ環境整備事業



事業概要

- 計画の目的
「土山の風景と環境を守り育てる条例」に基づき、土山宿らしさを活かした景観形成と、現代の生活に適した基盤整備、環境整備を行い、本事業の計画テーマである「にぎわいとやすらぎ・魅力ある土山宿の再生」の実現を目指した。
- 事業の背景
生活様式の変化に伴い、地区の歴史性が失われてきており、狭隘な道路の存在や緑の減少、河川水質の悪化等により生活環境も悪化傾向であった。そこで快適で安心して暮らせる生活環境を整えること、また、ここを訪れる人々との交流によって地域に刺激を与え、活力をもたらすことが必要であった。
- 重点事項
地域の活力源となる拠点施設整備
住民に安らぎとコミュニケーションの場を与える公園整備街なみに調和した道路空間の創出



計画概要

事業面積	44.1ha
地区内住宅戸数	397戸
公園、緑地整備	2,679㎡
下排水施設整備	4,299.3m
地区防災施設（防火水槽）	2基
生活環境施設整備	655.81㎡
水路整備	464.1m
案内板設置	9基
道路の美装化	13,549㎡
公共施設修景整備	1,504.61㎡
街路灯設置	63箇所
修景施設整備助成	8件

- 事業実施場所 滋賀県甲賀郡土山町大字北土山、南土山
- 事業種別 公園、道路、公共施設
- 事業制度 街なみ環境整備事業
土山の風景と環境を守り育てる条例
- 事業主体 土山町
- 事業実施年度 平成6年度～平成15年度



京都府
HOPE備受講亦町村



☆ 京都市 ☆

京都市HOPE計画モデル住宅展示場
(ハウス・ハンス・ギャラリー)



事業概要

事業目的

京都市HOPE計画の基本理念である「市民・民間事業者と連携して都市居住を推進すること」をモデル展示場を通して具体化し、京都の風土や文化に根ざした都市居住の意味・意義を啓発するとともに、展示場センターでの総合的な住宅相談業務を公社事業として展開し、市民に対する情報サービスを行う。

計画概要

敷地面積 約5,500㎡

施設概要

モデル住宅12棟、センター事務所他

事業実施場所

京都市北区衣笠

事業種別

住宅展示場

事業制度

事業主体

京都市、京都市住宅供給公社

事業実施年度

昭和63年～平成5年度

京都市HOPE計画モデル住宅展示場
(ハウス・ハンス・北山)



事業概要

事業目的

京都市HOPE計画の基本理念である「市民・民間事業者と連携して都市居住を推進すること」をモデル展示場を通して具体化し、京都の風土や文化に根ざした都市居住の意味・意義を啓発するとともに、展示場センターでの総合的な住宅相談業務を公社事業として展開し、市民に対する情報サービスを行う。

計画概要

敷地面積 約8,700㎡

施設概要

- モデル住宅7棟（都市型住宅敷地5棟）
- 一般型（住宅敷地2棟）
- センターハウス（相談コーナー、休憩コーナー、展示スペース事務室等）
- イベント広場
- 駐車スペース

事業実施場所	京都市左京区松ヶ崎壺町田
事業種別	住宅展示場
事業制度	
事業主体	京都市、京都市住宅供給公社
事業実施年度	平成5年～平成9年度

☆ 京都市 ☆

京都市住情報センター及び総合住宅展示場
(リ・ぶ・ら北山)



事業概要

事業目的

京都市住宅マスタープランに基づき市民、事業者、行政の連携による住情報の交流を促進し、高齢者にやさしい、安全、快適な住宅、ゆとりある都市居住、京都らしい良好なすまいづくりについて具体的に広く市民に住情報を提供し、もって良質で京都らしいすまいづくりを一層推進し、多様化する住宅ニーズに更にきめ細かく対応する。

計画概要

会場面積 3,547.36㎡
施設概要 モデル住宅6棟、住情報センター1棟
(平成15年6月時点)

事業実施場所 京都市左京区下鴨北野々神町20番地
他

事業種別 住宅展示場

事業制度

事業主体 京都市 京都市住宅供給公社
(株)京都すまいづくりセンター

☆ 京都市 ☆

景観・まちづくりコンクール



事業概要

■部門別に募集

○京都景観・まちづくり賞（建築物・緑地広場・土木工作物
屋外広告物）

○くらしの景観・まちづくり賞

■応募作展示

全作品を一般市民に公開

■審査

■表彰式及びシンポジウム

■コンクール記録集の作成

計画概要

京都のもつ個性、独自性を創出し、優れた都市景観の維持および向上に寄与していると認められる建造物や、地域住民によるまちづくりの取組等の事例を表彰するとともに、広く市民と共に景観・まちづくりについて考え、景観の保全・創造と質の高い住環境の形成など京都の魅力や個性を高めていくことを目的としている。

事業実施場所

事業種別

コンクール

事業制度

事業主体

（財）京都市景観・まちづくりセンター

事業実施年度

第1回：平成11年度
第2回：平成15年度

☆ 宇治市 ☆

炭山コーポラティブハウス建設事業



事業概要

- 炭山地域の伝統的な素材の開発、地場産業の育成
- 各戸のアイデンティティを創出（玄関アプローチ等に地元の陶器質タイルを使用。各住戸で独自の色合いを出す）
- 自然環境との調和
- 住民同士、住民と玩具館（炭山コーポラティブハウスに隣接して建設されている）を訪れる人々との交流

事業実施場所 京都府宇治市炭山大西1-1, 2-1
事業種別 個人住宅
事業制度
事業主体 炭山コーポラティブハウス建設組
合
事業実施年度 平成元年度

計画概要

戸建て個人住宅8戸
総敷地面積： 1,377.55㎡
総延べ床面積： 863.44㎡
総建築面積： 512.11㎡



大阪府

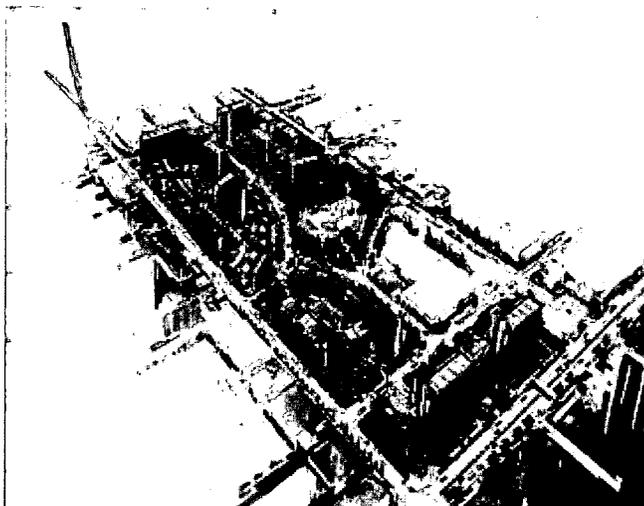
大阪府
HOPE賞受賞市町村

古市中住宅再生プロジェクト



事業概要

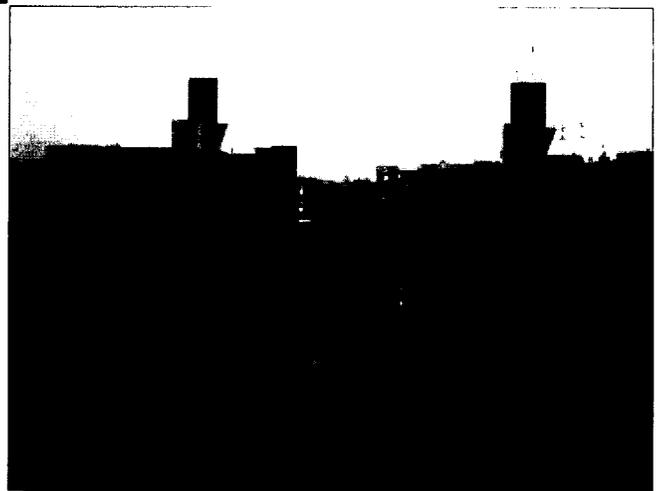
市営古市中住宅は戦後の公的住宅団地開発のモデルとなった団地であったが、建設後約40年を経過し、現在の水準から見ると、住戸規模も小さく、老朽化も進んできたため、平成6年度より建替事業を実施している。当住宅の建替事業にあたっては、旧住宅の計画の先進性を評価しつつ、21世紀に向けて建設する住宅として魅力ある都市居住を実現するため、良好な景観をそなえたアメニティ豊かな住宅形成地、生き生きとしたコミュニティの実現、今後の高齢社会にそなえた安全で住みよい住宅団地づくり、地球環境にやさしい住宅計画などの目標を設定して平成5年度に設計競技を実施し、地域特性にふさわしい定住性豊かな今後のまちづくりのモデルとなる新しい都市型集合住宅の開発に取り組んでいる。



計画概要

敷地面積	39,680.04㎡		
建築面積	11,661.656㎡		
延床面積	63,081.950㎡		
住戸数	845戸 (10棟)		
構造	RC、SRC造		
階数	4～14階建		
タイプ別住戸専用面積	2K	46.3～46.8㎡	219戸
	DK	56.3～63.6㎡	269戸
		67.2～71.6㎡	340戸
		66.9～70.5㎡	17戸
	計	845戸	

事業実施場所	大阪市城東区古市2丁目
事業種別	町営住宅
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	大阪市
事業実施年度	平成6年度～平成18年度(予定)



平野郷HOPEゾーン事業



事業概要

大阪市のHOPEゾーン事業は、市内において歴史的なまちなみや景観などの地域の特性を活かし、魅力ある住宅地の形成を図る施策の一つとして進めている事業である。すなわち、「地域性・歴史性の発展継承と居住地の魅力づくり」に向け、特色ある居住環境を形成すべきゾーンを設定し、地域住民と協力しながら、アメニティ豊かな住宅・住環境の形成と誘導を図るものである。

平成8年度から、歴史的・文化的雰囲気を残す地域として「平野郷地区」を選定し、事業化に向けて現況調査や整備方針の検討、地域住民の意向把握等を行ってきた。

事業の実施にあたっては、そこに住み働いておられる住民の方々が参加し、その意見を代表する地元協議会が設立され、住民と行政が連携して、あるべき地区の「修景ガイドライン」を定めて進めている。

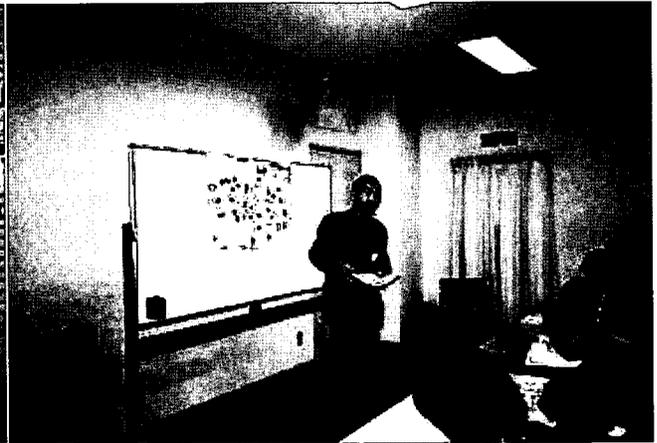
具体的には、建物や門・塀等の改修や新築についての「まちなみガイドライン」を定め、これに沿った建物等の改修工事費の一部に補助を行うとともに、道路・公園などの公共施設の修景整備を行い、歴史的なまちなみを活かした、良好な住宅地整備を進めようとするものである。

計画概要

面積 約80ha
人口 約13,000人

事業実施場所 大阪市平野区平野宮町1, 2丁目
及び平野市町3丁目及び平野上町
1, 2丁目及び平野本町1, 3,
4, 5丁目及び平野東1丁目1~
8番、2, 3丁目

事業種別 個人住宅、道路等
事業制度 街なみ環境整備事業
事業主体 大阪市
事業実施年度 平成11年度~平成20年度(予定)





出后町

兵庫県

HOPE 廣受廣市町村

町営住宅日野辺団地



事業概要

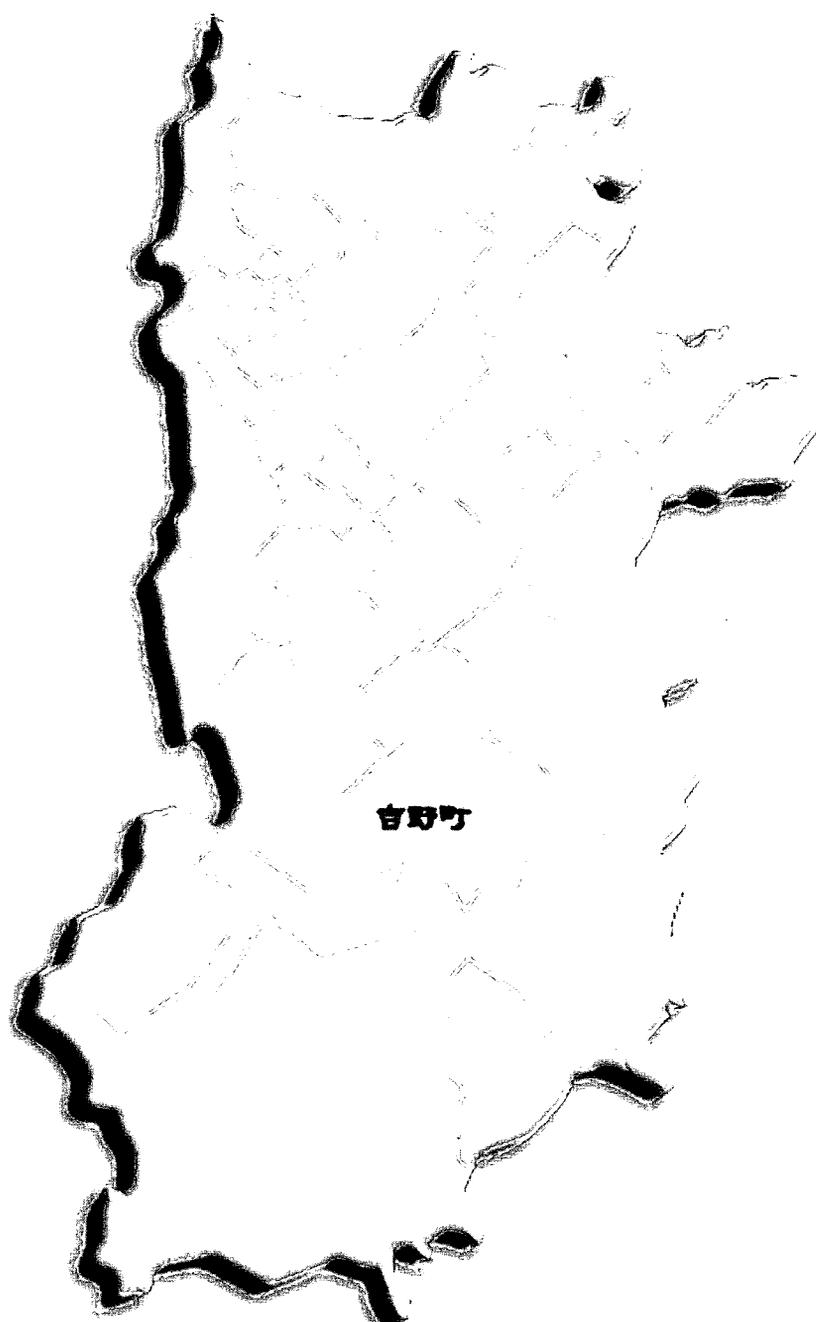
日野辺団地が隣接する日野辺地区は、町の中心部から3km程度離れ、北側の山を背にした30戸程度の農村集落である。集落内を小川が流れ、道に沿って南面開放の土壁、切妻に赤茶系の瓦葺き屋根の家屋が並んでいる。敷地と道路の境界は素朴な野面石積をしてその上に生け垣をめぐらしている等集落独特の景観を醸し出している。

公営住宅整備にあっては、その景観特性を活かした全体的に農村集落のようなイメージの住宅団地を建設した。



計画概要

敷地面積	5,273㎡
建築面積	1,169㎡
延床面積	1,387㎡
構造・階数	木造平屋建及び木造2階建
タイプ別住戸戸数	戸建（平屋）3LDK 10戸 戸建（2階）3LDK 8戸
事業実施場所	出石町日野辺字水坂16-
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	出石町
事業実施年度	平成2年度～5年度



吉野町

奈良県

HOPE賞受賞市町村

☆ 吉野町 ☆

吉野 山灯り



事業概要

吉野町HOPE計画で提唱している「木のある暮らし」をうけ、木製の照明器具を通して木のある住空間を提案する。実施にあたっては、地場産材の業者（製材、手漉き和紙、割り箸）による実行委員会で運営し、「環境保全型ものづくり」をテーマに吉野山灯り塾とコンテスト展を開催している。参加者は京阪神地区を中心に広くは関東、中部地方からきていただき、交流をはかっている。



事業実施場所 吉野町内
事業種別 地場産材の活用
事業制度 吉野町HOPE計画
事業主体 吉野 山灯り実行委員会
事業実施年度 平成9年度から現在継続中

計画概要
地場産材（杉、桧、和紙、割り箸）を使った照明器具の作成塾およびコンテスト展の開催



高知県
HOPE(高崎県)町村

「水と緑と文化のまちづくり」事業



事業概要

伝統的建造物群保存事業では、町家、土蔵、石垣や一枚石の石橋など伝統的景観の保全、修景復旧に努めるとともに、地域の生活環境整備を促進し、地域文化による歴史的景観を活かした「まちづくり」を図り、町家を修景改修して、多くの人々が訪れる食事処やバリアフリーに対応した町家に生まれ変わった。

公衆トイレの整備は、土蔵風、数寄屋風、町家風など設置場所の景観を重視した形で整備。特に身障者、幼児連れや幼児などに配慮したトイレを現在までに29ヶ所を整備した。単なるトイレのみとせず場所に応じ公衆電話、バス待合所、休憩所を併せ持ち、なかには、まちづくりセンターを併設したものもある。

住環境整備では公営住宅建替事業により、県と市が同一歩調を取り、デザインを共有化、市営、県営の住宅を敷地面積2,260㎡の一団の土地に整備し、中層耐火建築物5階建、階段室型3棟の合計40戸を整備した。

中心市街地活性化では、第3セクターの緋赤瓦を立ち上げ、土蔵群の所有者の理解を得て、醤油醸造場のもろみ工場(150坪)を改造し、地域の特産品、民芸品の販売店やギャラリーなどからなる核店舗の1号館として整備。この他にも、土蔵群周辺の建物を利用して、地域の伝統文化を紹介、展示、販売、体験の出来る2～8号館を整備した。



↑土蔵群改修事業→

計画概要

昭和60年に策定した倉吉市HOPE計画、及び以降の倉吉市の基本構想「水と緑と文化のまちづくり」、「躍動のまち倉吉！輝く人、緑のまちづくり」、「遥かな町との出会い、新交流都市」に基づき、住環境の整備や文化的なまちづくりを進めてきている。

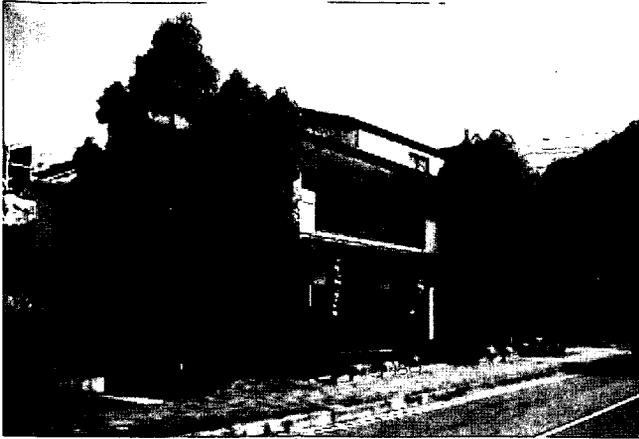
HOPE計画策定当時から「倉吉古い町並保存会」による土蔵群修復事業が行われてきたが、平成10年に打吹玉川地区が伝統的建造物群保存地区(面積4.7ha)に指定された。これまでに改修されてきた玉川沿いの白壁土蔵群のほかに、表通りに建ち並ぶ屋根の赤瓦と出格子や庇の形状など地域文化の特性が活かされている町家を保存、修景することにより、町並が変貌しつつある地区の保全と景観を守る。

また、「トイレからのまちづくり」を行い、食文化に相対する排泄文化の汚いところからきれいにと、暗い、汚い、くさい、怖いというトイレのイメージを変え、安心して住みよい社会を創出し、今後の下水道整備の促進に寄与し、自然、生活、社会環境の向上につなげる。

住環境の整備では、老朽化が進み、居住水準が低い明治町2丁目の市営、県営の住宅団地を建替える。整備にあたり外観は白壁土蔵風とし、入居者同士のコミュニケーションを重視した住宅団地とする。

また、高齢化、空洞化が進む中心市街地商店街の活性化を目的として、白壁土蔵群周辺に「見る」「食べる」「買う」「休む」の4つの機能を持ち集客力のある施設を設けることにより、人の流れを創出し商店街の活性化につなげる。

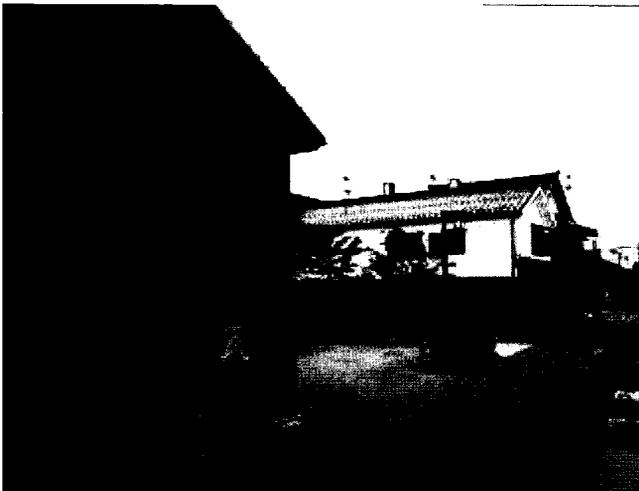
昨年開催したHOPE計画全国シンポジウムでは、小学生を含む地区住民が関わりを持ち、今後のまちづくり活動につなげた試金石となった。



↑町家風トイレ
(ポケットパークさわやかトイレ)



↑伝建群保存事業による町家改修例
(お食事処＝町家「清水庵」)

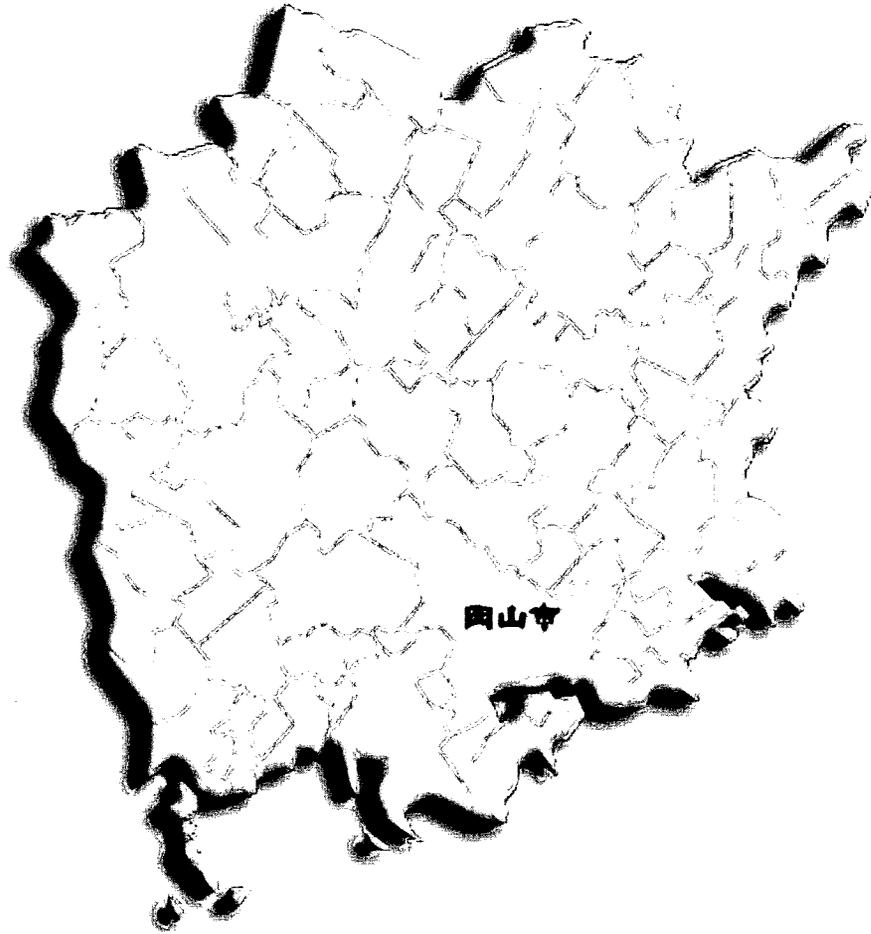


↑赤瓦1号館(旧醤油醸造場もろみ工場)



→土蔵風公営住宅(明治町2丁目住宅)

事業名称	景観保全修景	トルからのまちづくり	住環境整備	中心市街地活性化
事業実施場所	倉吉市東仲町他	倉吉市内各所	倉吉市明町2丁目	倉吉市新町1丁目
事業種別	建物修景	公共施設(公衆便所)	住宅団地	民間施設(店舗)
事業制度	伝統的建造物群保存事業	地域総合整備事業	公営住宅建替事業	先駆的商店街にぎわい創出事業
事業主体	地区住民、倉吉市	倉吉市	倉吉市、鳥取県	(株)赤瓦
事業実施年度	平成11年度から	昭和62年度～	昭和62年度～昭和63年度	平成9年度～平成10年度



岡山市

岡山市
HOPE新設新市町村

岡山市地域住宅計画（HOPE計画）推進事業支援制度



事業概要

足守地区では、計画策定の段階から、景観は「守る、創る、育てる」の3つの基本的観点から、「まちづくり」と「すまいづくり」について、地元住民が一体となって考え取り組んでいます。

ともすれば町並保存に観光開発が先行すると、そこに住む人々の生活がないがしろにされる等の点に配慮しながら、住まいの問題、町並保存、観光開発の共存を実現していくための方策を検討し、目標に向かって地域住民で取り組んでいます。

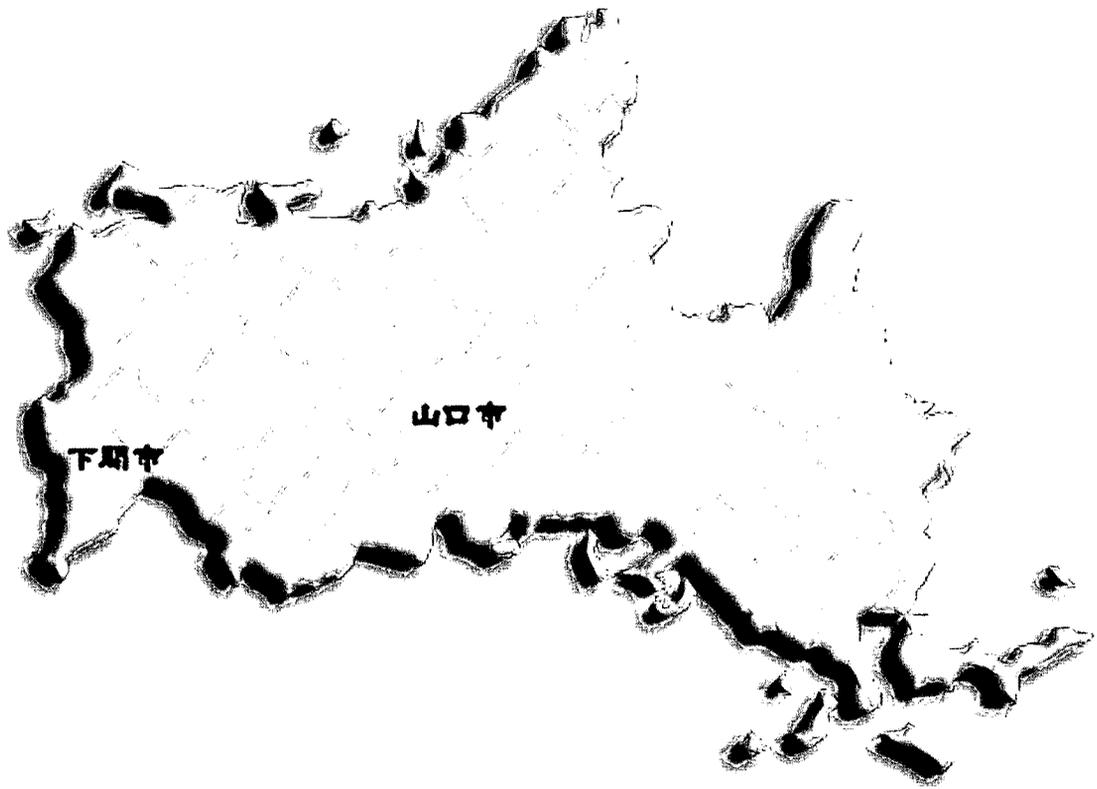


計画概要

足守地区では、地元住民と岡山市が一緒になって伝統的まちづくりに取り組んでいます。

- これまでに、まちなみ整備のために投資された金額は、公共施設関連投資が約7億円、民間による改修投資費は約2億円で、これまでの公民による資金投入によって、目に見える部分でのまちづくりが展開されています。
- 公共施設整備以外の民間改修事例を具体的にみると、家屋改修事例は63例（内訳：HOPE計画に基づく改修・生活改善事例34例、町並み保存による民家改修事例29例）となっており改修住戸数は45住戸に及んでいます。
- 改修内容の詳細については、45住戸中、新築が14件、改築（主要構造材を残す方法）13件、修繕（外部・内部）18件となっている。外観の改修状況については、前述の新築14件、外観改修30件となっています。（平成10年8月現地調査）
- ※HOPE計画補助実績（平成元年から現在）：43件

事業実施場所 岡山市足守地区
事業種別 個人住宅
事業制度 足守地区町並み保存
住宅改善事業
事業主体 岡山市
事業実施年度 昭和61年4月5日～現在に至る。



山口県
HOPE愛護会町村

平成5年度公営住宅白雲台団地（仮称）
1・2種高層新築工事



事業概要

集まって住むのが集合住宅である以上、そこには集まって住む楽しさがなくてはならない。また、公共建築としての集合住宅であるなら、生活及び地域的コンテクストへの配慮は当然のこととして、住み手にだけ閉じられた集主体ではなく、周辺＝街に対して開かれた関係をもたなくてはならない。

東に関門海峡、関門橋、西には響灘が広がり、絶好の眺望をもつ白雲台という固有の敷地に対して、住み手が自分たちの集主体への誇りと帰属意識をもてるような、そして楽しい生活が展開するという期待と夢をいただけるような集主体の創出を本計画で演出している。



計画概要

敷地面積	3,440.99㎡
建築面積	1,118.62㎡
延床面積	3,773.93㎡
構造	RC
型式	積層型
タイプ別住戸数・面積	Aタイプ = 67.0㎡ Bタイプ = 67.0 Cタイプ = 66.5㎡ Dタイプ = 68.3㎡ Eタイプ = 67.3㎡ Fタイプ = 66.5㎡
住戸戸数・階数	40戸 7階建

事業実施場所	下関市上田中町8丁目18
事業種別	公共施設
事業制度	公営住宅事業
事業主体	下関市建設部住宅課
事業実施年度	平成5年～平成10年度

山口市住宅マスタープラン推進事業
(NPO法人山口まちづくりセンター活動)

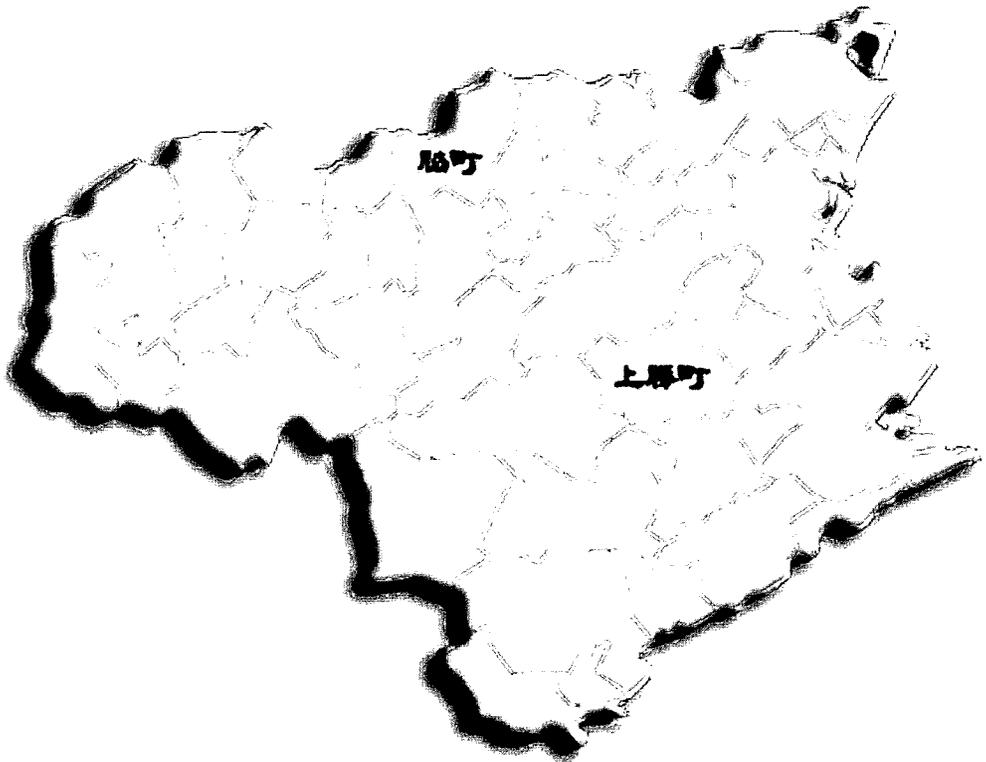


事業概要

1. 住まいづくり・まちづくり支援調査研究活動
 - ・古民家調査、情報収集活動
 - ・民家再生相談、提案
 - ・スケルトン定借住宅の研究、事業実施調査
 - ・山口型住まいの研究・住まいの相談、住まい講座
 - ・共生のまちづくりワークショップ・建物につけられた彫刻の写真展
 - ・一の坂川周辺地区の色彩現況調査
 - ・まちづくり団体への協力支援
2. 情報収集発信事業
 - ・住まい・まちづくりの情報の収集
 - ・まちづくり情報誌の発行・ホームページ等による情報発信
 - ・各種まちづくり会議等への参加
3. まちづくりの推進を図る活動に関連する受託事業
 - ・山口市住宅マスタープラン推進事業
 - ・山口市地域情報発信事業・大内文化まちづくり調査研究事業
 - ・古甲川単独河川整備基本方針調査事業



事業実施場所	山口市銭湯小路17-1
事業種別	個人住宅、民間施設等
事業制度	特になし
事業主体	山口市 特定非営利活動法人 山口まちづくりセンター
事業実施年度	平成10年10月事業開始 平成12年11月NPO法人認証



遠高郡
HOPE新設新井町村

上勝モデル住宅の建設



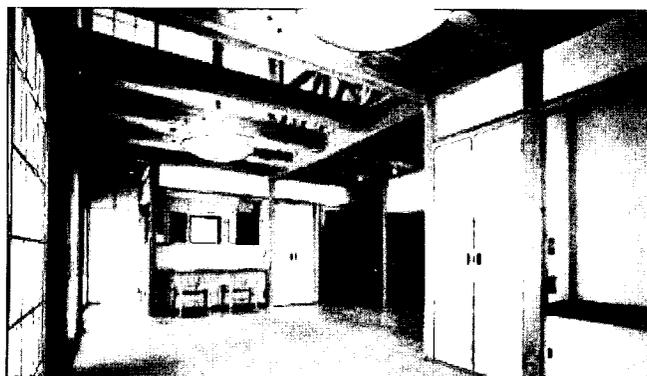
事業概要

上勝町で開発の厚板パネルを使ったモデル住宅
事業費 34,907,853円



計画概要

敷地面積	217.29㎡
建築面積	1F 76.83㎡ 2F 52.35㎡
延床面積	129.18㎡
構造・階数	木造2階建
事業実施場所	徳島県上勝町福原
事業種別	モデル住宅の建設
事業制度	住宅産業近代化計画に基づく事業
事業主体	上勝町
事業実施年度	平成8年度



☆ 脇町 ☆

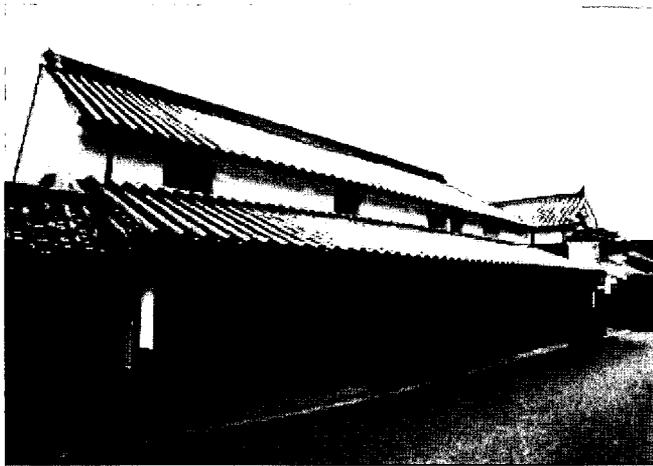
町並み保存事業



事業概要

「脇町市街地景観形成基本計画」は、脇町の文化遺産の優れた点を生かしながら、歴史的風致と脇町らしい市街地景観をまもり、そだて、つくることにより、住民一人一人にとって、愛着と誇りの持てる快適で個性豊かなまちづくりを目的とする。

そのために、「脇町市街地景観条例」を制定、その基本方向性を示し、他の計画と相互に関連しあう施策でありそれらと有機的連携の元に事業を行う。



計画概要

伝統的建造物群	42件(38棟)
修景物件	3件(1棟)
案内板	1件
補助対象工事費	335,688,090円
国庫補助額	228,560,560円
県補助額	40,219,000円
町補助額	67,680,560円
個人負担額	107,127,530円
補助対象工事費	44,779,950円

事業実施場所	脇町南町
事業種別	個人住宅
事業制度	脇町市街地景観条例 脇町歴史的町並み保存基金条例
事業主体	脇町
事業実施年度	昭和62年度～平成14年度末現在





後援
HOPE新民間市町村

街なみ環境整備事業



事例その1

事業概要

- 【小公園等】… オブジェとお堂のあるポケットパークを3箇所整備
- 【通路等】… 川側・山側のプロムナードを整備
- 【住宅等】… 木造瓦葺を基本とした住宅等の修景整備を図るため、「内子町街なみ環境整備助成事業補助金交付要綱」により整備を支援
- 【その他】… 地域の真中の道路をカラー舗装し街のメインアクセス路として整備する。地区内の雑排水をメインアクセス路の美装にあわせた排水路整備により環境改善を図る。



↑オブジェとお堂のある小公園

↑店舗の修景

計画概要

- 【HOPE計画】 「森と谷間の町づくり」
 - 【事業面積】 6.9ha
 - 【対象住戸数】 99戸
 - 【協定】 「成留屋地区街づくり協定」
 - 【整備箇所】 街なみのファサードの修景整備、
景観に調和した道路美装、川沿いと山際の通路の整備、地区内3箇所のポケットパーク整備
- 事業実施場所 内子町成留屋地区
 事業種別 地区施設、通路、及び住宅等
 事業制度 街なみ環境整備事業
 事業主体 内子町
 事業実施年度 平成11年度～平成14年度
 (平成21年度まで継続)

事例その2

事業概要

- 【小公園等】… 整備地区入り口にポケットパークを整備
- 【通路等】… 下配水管敷設後の道路景観を整備（道路舗装、犬走り）
- 【住宅等】… 歴史的な街なみに調和していない住宅や老朽化で補修が必要な住宅について、「内子町街なみ環境整備助成事業補助金交付要綱」により整備を支援
- 【その他】… 道路の修景にあわせて柵・塀・垣についても整備
既存の駐車 場等についても同様に整備



↑助成金で修景された店舗(2棟)

↑清栄橋の木製化

- 事業実施場所 内子町 内子地区
- 事業種別 道路、公園、及び住宅等
- 事業制度 街なみ環境整備事業
- 事業主体 内子町
- 事業実施年度 平成11年度～平成14年度
(平成17年度まで継続)

計画概要

- 事業面積 4.1ha
- 対象住戸数 102戸
- 条例 「内子町伝統的建造物群保存地区」
- 整備箇所 内子の歴史的な街なみを保存・活用した文化環境の整備及び住宅環境の整備を進めるため、道路と沿道の住宅等を一体的に修景整備していく。



高知県
HOPE館 佐川町 村

☆ 佐川町 ☆

歴史的町並み保全区域の整備

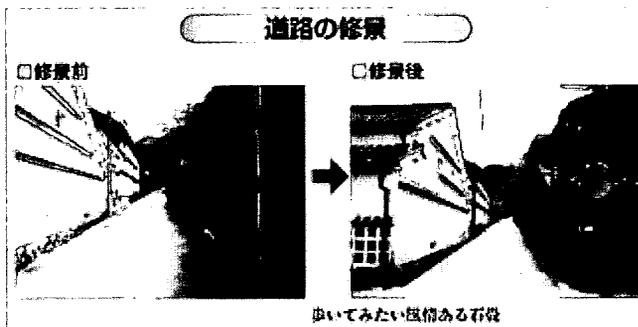
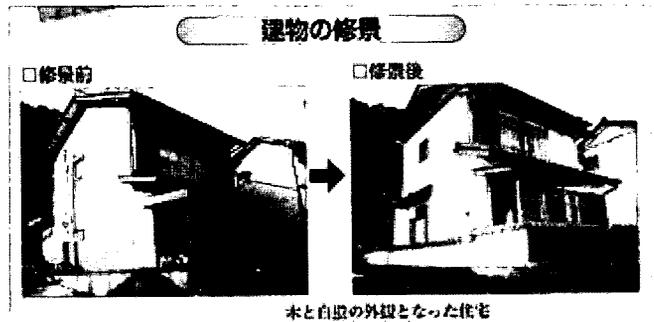


事業概要

区域内には高知県の伝統的建築様式を持つ江戸・明治時代の建築物等が多く残っており、これらが形成している街なみ景観は佐川町の歴史的なまち、文教のまちとしてのイメージや特徴をつくり出している。

このような歴史的街なみを保全し、佐川町の街なみの特徴づくりを進めるために、地区住民が行う住宅修景及びこれに併せた地区施設の整備を行う。

計画概要
 区域面積 11.23ha
 区域内住宅戸数 168戸
 佐川町街なみ景観条例（平成5年7月5日判定）



事業実施場所 高知県高岡郡佐川町西町、上町、東町
 事業種別 個人住宅・公園・道路等
 事業制度 街なみ環境整備事業
 事業主体 高知県佐川町
 事業実施年度 平成5年度～平成14年度

☆ 佐川町 ☆

三野2号団地建設事業



事業概要

- これからの高齢社会に備え、高齢者の方だけではなく、誰もが安全で快適に利用出来るように「住んでやさしいまちづくり」をテーマとし、HOPE計画に基づく「文教の街、佐川」らしい落ち着いた町並みを創造しています。
- 地域の伝統工法である日本瓦や土佐漆喰を屋根、外壁他に使用し、地場産業の育成を図っています。

計画概要

敷地面積	4,691㎡
建築面積	1,658㎡
延床面積	2,553㎡
公営延床面積	2,453㎡
構造・工法	木造2階、在来軸組工法
タイプ別住戸面積	2DK 32戸(専用床面積:53.0㎡)
及び住戸面積	3DK 4戸(専用床面積:63.3㎡)

- これからの高齢社会に備え、高齢者の方だけではなく、誰もが安全で快適に利用出来るように「住んでやさしいまちづくり」をテーマとし、HOPE計画に基づく「文教の街、佐川」らしい落ち着いた町並みを創造しています。
- 地域の伝統工法である日本瓦や土佐漆喰を屋根、外壁他に使用し、地場産業の育成を図っています。

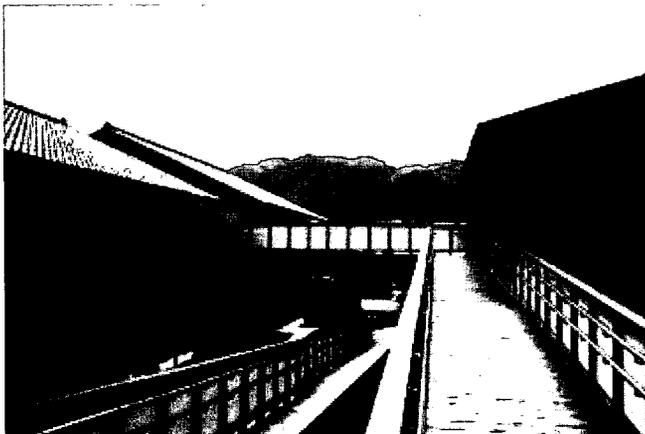
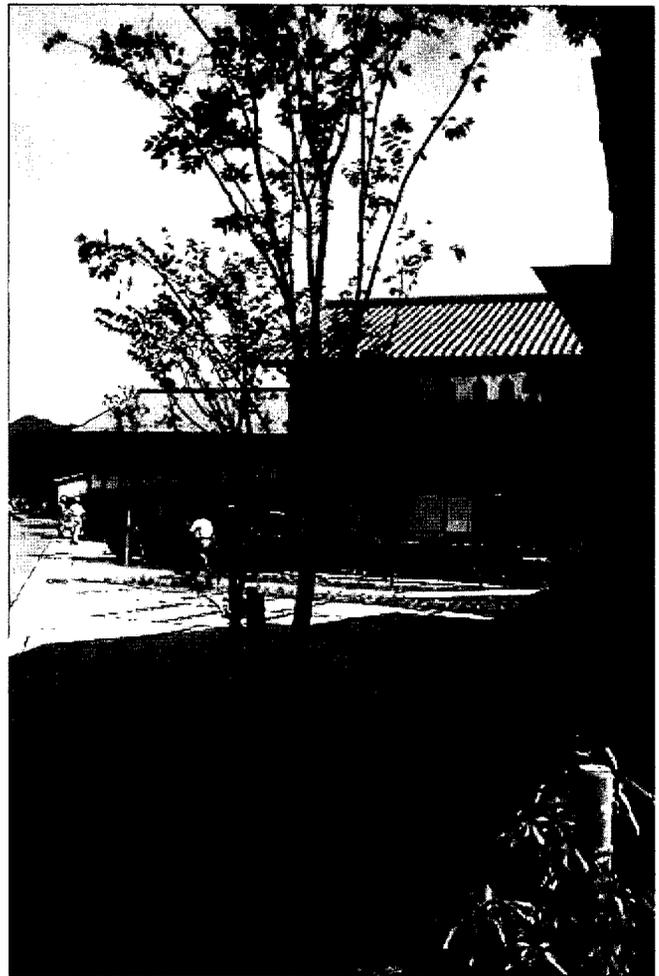
事業実施場所 高知県高岡郡佐川町乙2303番地5、乙2295番地3

事業種別 住宅団地

事業制度 公営住宅整備事業

事業主体 高知県佐川町

事業実施年度 平成10年度～平成12年度



☆ 栲原町 ☆

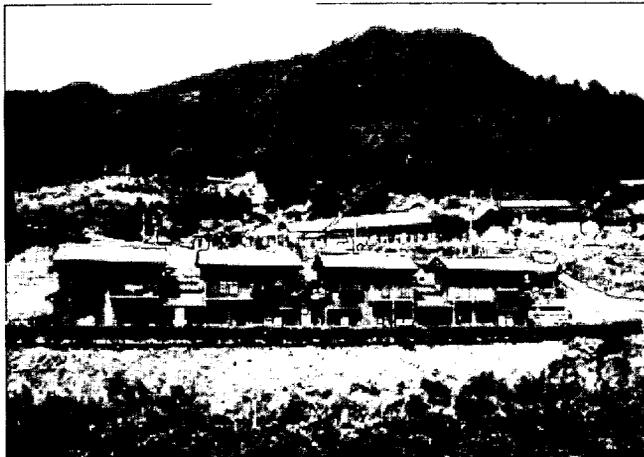
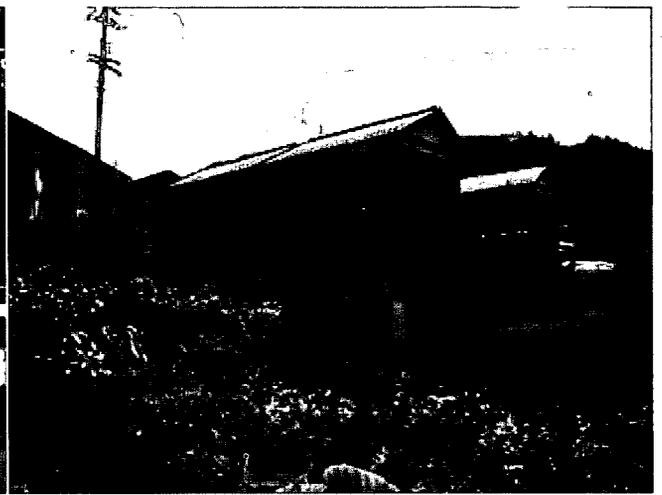
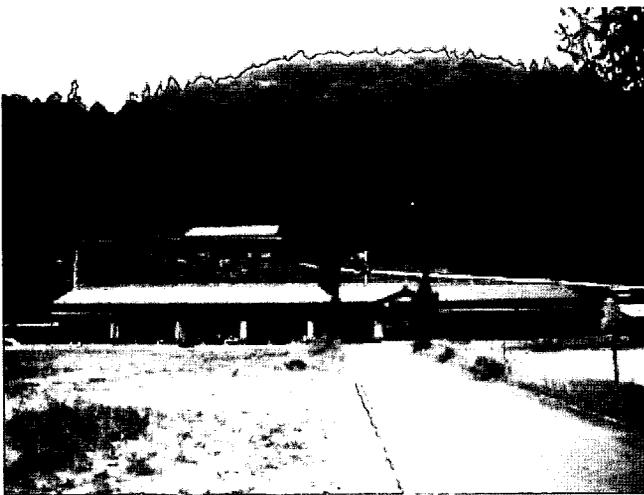
小規模木造公営住宅(一連)による過疎集落の維持



事業概要

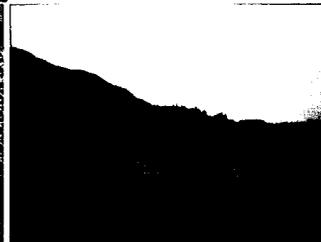
過疎化、高齢化が進む本町の状況において、若年世帯の定住と高齢者の居住生活を支える良質な住宅の供給が求められている。

そこで、HOPE計画に基づき地元産木材を積極的に活用した木造住宅を地域に分散したかたちで計画し、また地域活性化の点から、高齢者と若者が共に住める混住型木造住宅の建設を行うことで、周辺の住宅景観及び住環境を誘導していくモデル的な住宅の整備を行っています。



計画概要

平成2年	川西路公営住宅(4戸)
平成5年	松原教員住宅(3戸)
平成4~6年	越知面公営住宅(8戸)
平成6~10年	独身者住宅(18戸)若人交流館
平成10年	松原公営住宅(5戸)
平成12年	四万川公営住宅(5戸)
平成12~13年	大蔵谷公営住宅(4戸)
構造・工法	木造1~2階建、在来軸組工法
事業実施場所	高知県高岡郡栲原町内一円
事業種別	公営住宅
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	栲原町
事業実施年度	平成2年度~平成13年度



和紙の活用と伝統的建築物を核としたまちづくり



事例その1 土佐和紙工芸村新築事業

事業概要

和紙・工芸・自然を体験する施設づくり
伊野町の自然的、歴史的資源を有効活用し、都市住民との交流を通じた中山間地域の活性化と土佐和紙の振興を目的としています。
短期滞在の和紙づくり体験や農林漁業体験、和紙づくりの技術を習得する長期滞在のための研修施設です。

計画概要	
敷地面積	11,936㎡
建築面積	木造 639㎡ 鉄筋コンクリート 1,333㎡
延床面積	木造 679㎡ 鉄筋コンクリート 3,186㎡
構造・工法	鉄筋コンクリート造 瓦葺一部陸屋根 2階建 木造瓦葺 2階建
事業実施場所	高知県吾川郡伊野町鹿敷1226番地
事業種別	体験・研修・宿泊施設
事業制度	和紙ヶ森整備事業
事業主体	高知県伊野町
事業実施年度	平成5年度～平成7年度



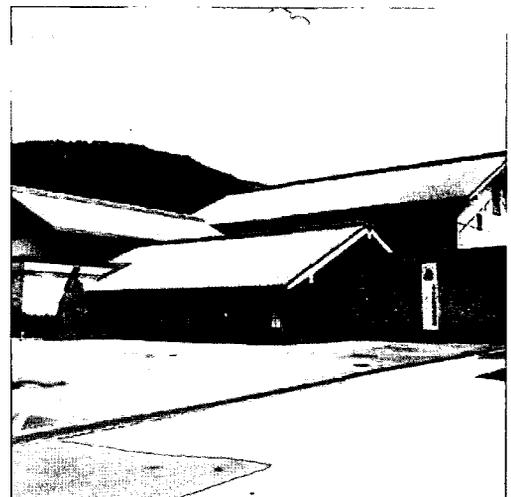
事例その2 土佐和紙伝統産業会館

事業概要

和紙に関する理解を深め、伝統的技術、技法の継承、後継者の育成及び紙業の振興に寄与することを目的として建築しました。
伝統的な町屋のイメージを継承しており、商工会館や幸町集会所等と一体的に町並みを形成するための核となっています。

事業実施場所	高知県吾川郡伊野町幸町110番地1
事業種別	公共施設
事業制度	伊野地区市街地整備事業
事業主体	高知県伊野町
事業実施年度	昭和58年度～昭和59年度

計画概要	
敷地面積	2,493.64㎡
建築面積	1,390.10㎡
延床面積	2,493.64㎡
構造・工法	鉄筋コンクリート造 瓦葺一部陸屋根 3階建



事例その3 紙の展示館建築事業

事業概要

伊野町の芸術文化に関する理解を深めるとともに、工芸の振興に寄与することを目的とし、紙の博物館分館として建築しました。

紙の博物館の展示内容から派生してくる新たな特別企画などの展示スペースとして位置づけ、町並みの周辺から中心へのつながりを図っています。



計画概要

敷地面積	399.64㎡
建築面積	234.50㎡
延床面積	450.90㎡
構造・工法	鉄筋コンクリート造2階建
事業実施場所	高知県吾川郡伊野町字寺門3626
事業種別	公共施設
事業制度	伊野地区市街地整備事業
事業主体	伊野町
事業実施年度	平成7年度

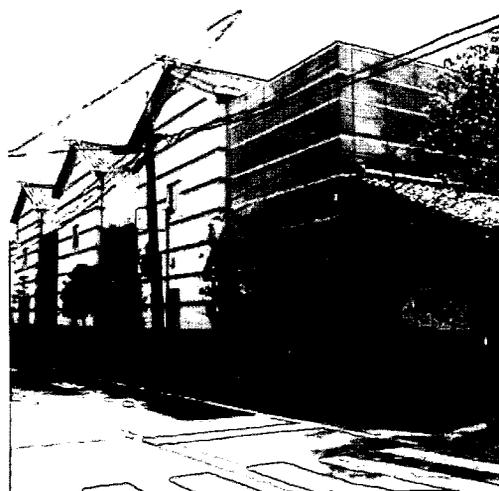
事例その4 伊野町立図書館

事業概要

教育の普及、充実に熱心であった伊野町の歴史を受け継ぎ、文化育成・発展の核施設として位置づけています。

計画概要

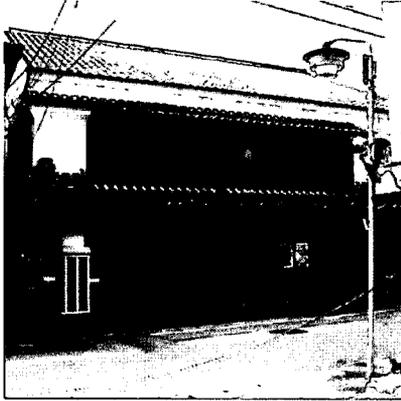
敷地面積	1,664.86㎡
建築面積	733.71㎡
延床面積	1,618.77㎡
構造・工法	鉄筋コンクリート造瓦葺3階建
事業実施場所	高知県吾川郡伊野町字田中3618
事業種別	公共施設
事業制度	伊野地区市街地整備事業
事業主体	伊野町
事業実施年度	平成9年度～平成10年度



事例その5 伊野町商工会館新築事業

事業概要

商店街通りに面した側は明治の商家の姿を再現し、周辺の歴史的建造物との調和を図っています。経済振興の拠点となっています。



計画概要

敷地面積	498.87㎡
建築面積	341.31㎡
延床面積	528.07㎡
構造・工法	鉄筋コンクリート造3階建
事業実施場所	高知県吾川郡伊野町3165-1
事業種別	公共施設
事業制度	伊野地区市街地整備事業
事業主体	伊野町
事業実施年度	昭和62年度

事例その6 高知地方法務局伊野支局

事業概要

公共事業代替用地等による新しい住宅地の中にあり、町並景観への配慮がなされ、建設されました。

計画概要

敷地面積	1,987㎡
建築面積	798㎡
延床面積	1,390㎡
構造・工法	鉄筋コンクリート造瓦葺2階建
事業実施場所	高知県吾川郡伊野町1290番地4
事業種別	公共施設
事業制度	伊野町の町並み住宅建設促進事業
事業主体	高知地方法務局
事業実施年度	平成9年度



事例その7 集会所等建築事業

事業概要

幸町の集会所をはじめとして、町並みの周辺から中心に向かってつながりをもちながら建設しています。公共施設を適正に配置し、町並みの核とするとともに、地区住民のコミュニティを図っています。

計画概要

敷地面積	3,767㎡
建築面積	357㎡
延床面積	397㎡
構造・工法	木造瓦葺平屋建 鉄筋コンクリート 木造瓦葺2階建
事業実施場所	高知県吾川郡伊野町
事業種別	公共施設
事業制度	伊野地区市街地整備事業
事業主体	伊野町
事業実施年度	昭和62年度～平成3年度





山田市営尾浦住宅団地（共同庭園型住宅）の建設



事業概要

本住宅団地は、HOPE計画の課題の1つである山田市の自然環境を活かしたすまいづくりとして、緑豊かな山に囲まれた山田の特性を生かし、身近な緑に囲まれた環境を持つ新しい住まい方を提示し、その普及を図るという目的で建設されました。

公営住宅と特公賃住宅の8棟16戸及び団地住民だけでなく周辺住民にも開かれた集会所1棟からなる混合団地です。

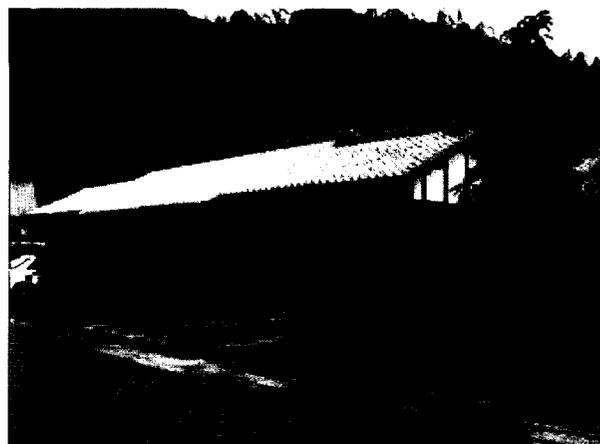
建物は、周辺の家屋と調和を保つために、平屋及び2階建の2戸1棟長屋住宅タイプの勾配屋根のある木造住宅を採用し、建物は、この住宅の特徴である共同庭園を囲んで配置されています。

共同庭園は、居住者が共同で管理することにより、連帯感を高め、コミュニティ形成を促進することを目的としています。

計画概要

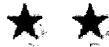
敷地面積	5,285.55㎡
延建築面積	1,297.36㎡
延床面積	1,477.89㎡
型式	2戸1棟長屋タイプ
タイプ別住戸構造および面積	

- 第1種公営住宅
 - ・木造2階建化粧石綿セメント板葺
 - ・北入り住棟（4戸）
建築面積 66.65㎡/戸
床面積 79.87㎡/戸
 - ・南入り住棟（2戸）
建築面積 70.46㎡/戸
床面積 79.84㎡/戸
- 特定公共賃貸住宅・木造平屋建日本瓦葺
 - ・北入り住棟（2戸）
建築面積 99.33㎡/戸
床面積 82.22㎡/戸
 - ・木造2階建日本瓦葺
 - ・北入り住棟（4戸）
建築面積 63.65㎡/戸
床面積 88.52㎡/戸
 - ・南入り住棟（4戸）
建築面積 62.78㎡/戸
床面積 88.15㎡/戸
- 集会所1棟
 - ・木造平屋建日本瓦葺一部金属板横葺
 - 建築面積 184.22㎡
 - 床面積 107.61㎡



事業実施場所	山田市大字上山田字尾浦292-1外
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅建設事業および特定公共賃貸住宅建設事業の補助事業
事業主体	山田市
事業実施年度	平成7年度～平成10年度

市営竹末団地



事業概要

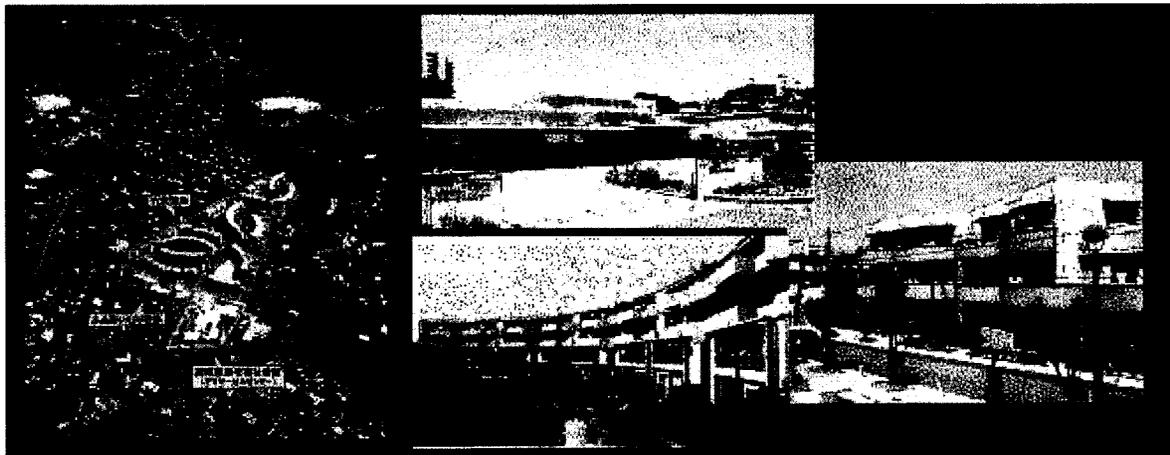
昭和30年代に建設された市営住宅団地（396戸）を建替えるにあたり、建築家内井昭蔵氏を基本計画段階から採用し、水辺や緑などの地域資源を活用しながら、高齢者も住みやすい団地づくりを実施したものである。

具体的には、急速に進展する高齢化社会に対応するため、高齢者も安心して住むことができる住宅整備を行うとともに、敷地内を南北に流れるせせらぎの流れにそって曲面状の住棟を対面させ、広場を囲むように配置し、住棟間のコミュニティづくりにも配慮している。せせらぎの周りにはデザインされた橋や石の広場・ベンチが設けられ、親水性の高い空間を作りだしている。

また、団地設計において、土地の高度利用を図りながら生み出された再生余剰地を活用して、シルバーハウジングである「ふれあいむら竹末」の整備や福祉施設である「西部障害者福祉センター」（デイサービスセンター）などの施設を整備した。

「ふれあいむら」については、高齢者の心身機能の低下に配慮し、バリアフリー、緊急通報装置等の整備を図るとともに、ライフサポートアドバイザーによる生活相談などのケアが行えるように、福祉施設と密接に連携が図られている。

竹末団地は、居住者が地域で安全に安心して暮らせるように配慮したものであり、北九州市でも代表的な市営住宅団地となっている。



計画概要

事業実施場所 八幡西区若葉一・二丁目
 事業種別 住宅団地、福祉センター
 事業制度 公営住宅整備事業、シルバーハウジング・プロジェクト
 事業主体 北九州市
 事業実施年度 平成4年3月～5年3月（建設）
 平成5年1月～（共用開始）

- (全体)
 - ・敷地面積 32,300㎡
 - ・従前住戸 396戸（簡二・簡平）
 - ・建替住戸 327戸（RC造3～4階建て）
- (ふれあいむら竹末)
 - ・敷地面積 : 1,926.5㎡
 - ・建築面積 : 963.2㎡
 - ・延床面積 : 1,978.8㎡
 - ・構造、階数 : 鉄筋コンクリート造
3階建て
 - ・タイプ別住戸概要 :
 - 高齢者単身向 20戸
(1K、1DK-38～45㎡)
 - 高齢者夫婦向 10戸
(1DK、2K-47～53㎡)
 - ライフサポート専用 1戸
(2LDK 60㎡)

北方地区環境改善事業



事業概要

当地区は、JR小倉駅から南へ約3.7kmに位置し、周囲を2級河川・紫川、国道322号線、小倉競馬場に囲まれた閉鎖した地区である。地区内の道路は狭く、また住宅は軒を重ね合わせるように密集しており、災害発生時の危険性など、多くの課題を抱えていた。当事業は、不良住宅の除却、道路の整備、市営（改良）住宅の建設、緑地等の整備を行うことにより、当地区を安全で快適な住環境に再生することを目的としている。

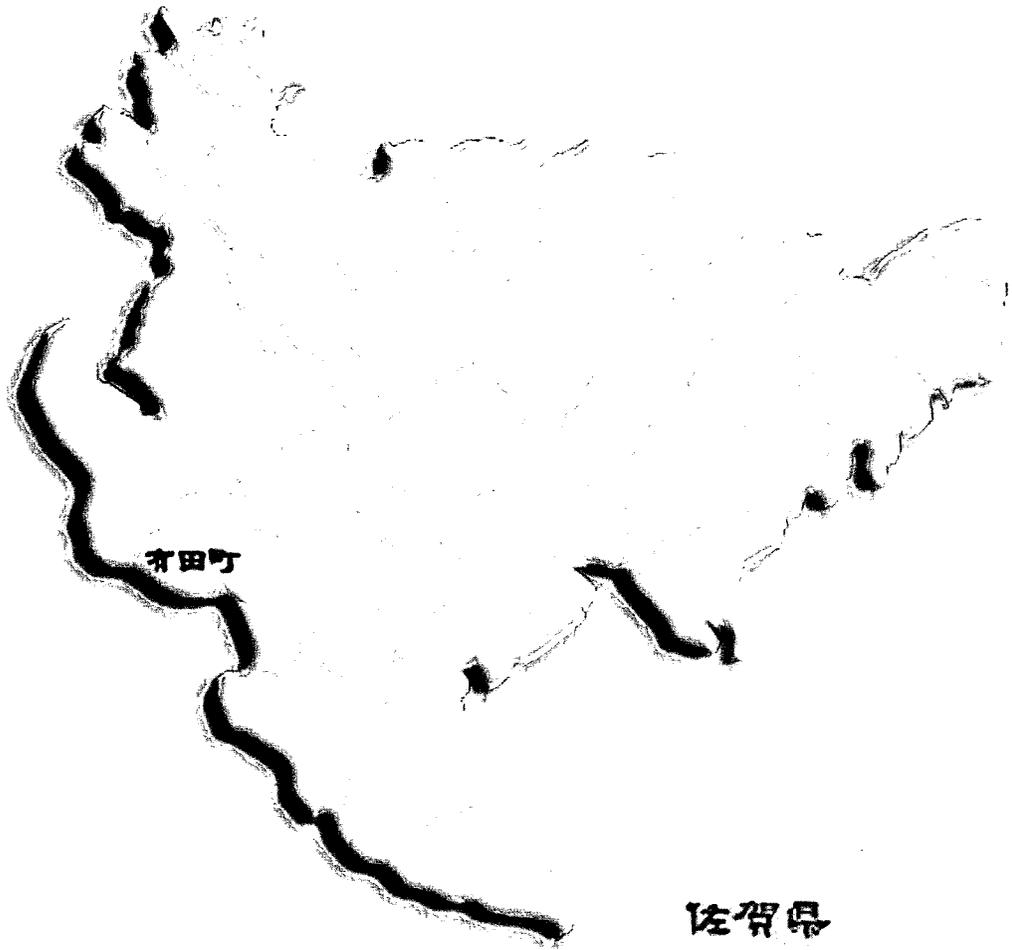


計画概要

- ・市営（改良）住宅建設戸数 409戸
- ・戸建て分譲用地整備 2.9ha（183区画）
- ・緑地等 2.1ha
- ・道路 5.0ha
- ・街路事業 0.84ha
（22m×400m 北方西線）
- ・都市公園事業 0.15ha
（1ヶ所）
- ・地区改善事業 0.1ha
（児童センター、1ヶ所）

事業実施場所	北九州市小倉南区北方三丁目
事業種別	市営（改良）住宅、戸建て用地、緑地、道路、上下水道、街路、公園、体育施設等
事業制度	小集落地区改良事業、都市公園事業、街路事業
事業主体	北九州市
事業実施年度	昭和59年度～平成6年度





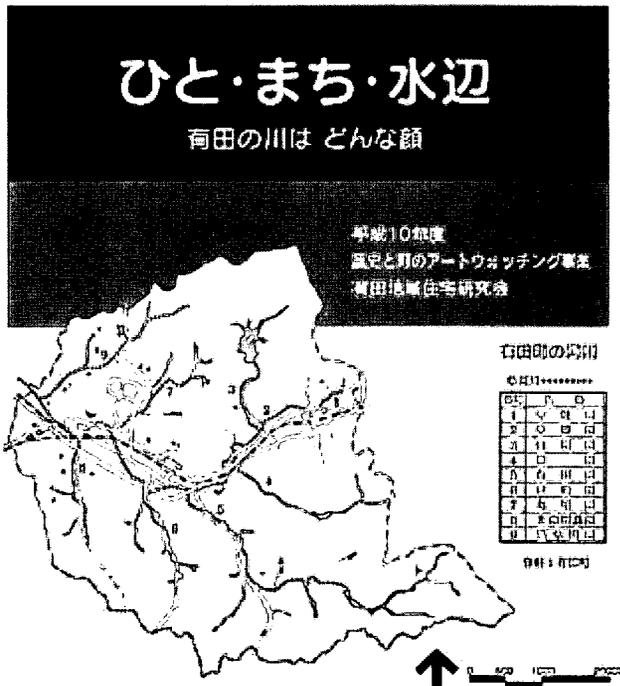
佐賀県
HOPE常受常市町村

有田地域住宅に関する普及・啓発活動



事業概要

- グッドリビングショーへの活動紹介パネルの出展 (S60. 9～S61. 5)
- 有田地域適合型住宅仕様の作成 (S61. 9～S62. 3)
- 有田郵便局建替計画の意匠検討 (S62. 11～S63. 2)
- 公報ありた年間連載「家づくり特集」への寄稿 (S63. 1～12)
- 地域住宅計画シンポジウム「わが家・わが町・わが器」の開催 (H1. 10～H2. 2)
- 民家再生の工事監理、施工を体験 (H1. 10～H3. 4)
- 有田内山地区保存家屋のヒアリング調査 (H3. 9～H4. 8)
- 有田内山地区町並み景観カタログの作成 (H4. 9～H6. 4)
- 景観カタログの域内各所への配布と内容説明 (H6. 10～H8. 3)
- 月刊誌「建築ジャーナル」の連載「有田から」への寄稿 (H10. 6～H11. 6)
- 歴史と町のアートウォッチング事業「ひと・まち・水辺 有田の川はどんな顔」の開催 (H10. 8～H11. 4)



計画概要

地域の住宅のあり方に関するシンポジウム、講演会、調査・研究活動により、地域住民の住意識の向上を図り、また、研究会活動の出版物等への発表や視察の受け入れ等を通じて、全国規模にわたる住意識の啓発を行う。

- 地域住宅等に関する調査、研究活動
- 地域住宅等に関するシンポジウム等の開催
- シンポジウム、雑誌等での活動紹介

事業実施場所 佐賀県西松浦郡

(有田町・西有田町)

事業種別 個人住宅等

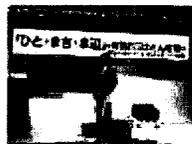
事業制度 有田内山伝統的建造物群保存地区 (A=15.9ha、H2.12指定)

事業主体 有田地域住宅研究会 (昭和60年5月設立、任意団体)

事業実施年度 昭和60年度～平成11年度



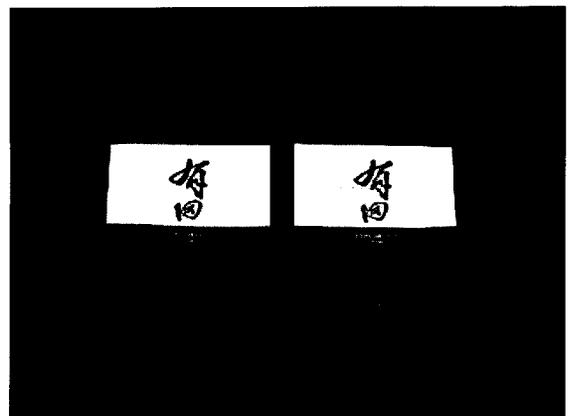
グッドリビングショー



伝統的建造物の復元



「作る」ワークショップ



☆ 有田町 ☆

有田内山地区街なみ保存に関する事業



事業概要

- 平成元年12月：有田都市景観条例制定
- 平成2年12月：伝建地区決定
- 平成3年4月：重伝建地区選定告示
- 保存修理実績：67件（平成14年度末）
- 江戸時代から現在に至るまで磁器生産の町であり、表通り沿いを中心とする約2kmの細長い街なみには、江戸時代から昭和初期の各時代を代表する商家、窯元の屋敷、洋館並びに社寺建築等、和風から洋風までのさまざまな意匠の建造物が数多く建ち並び、独特の景観を創り出している。
- これら伝統的建造物の復元修理等により、住民の街なみ保存に対する関心が高まり、焼き物の町としての歴史の古さに誇りを感じつつある。



計画概要

- 有田都市景観条例：
歴史的景観形成地域、風致保全地区、伝統的建造物群保存地区を指定し、有田らしい景観を守り保全するため、伝統的建造物の復元修理や環境物件（トンバイ塀等）の修復等を行う。
- 有田内山伝統的建造物群
保存地区：15.9ha
- 伝統的建造物：146戸
- 環境物件：128件
- 地区内世帯数：312世帯

事業実施場所	佐賀県西松浦郡有田町内山地区
事業種別	個人住宅
事業制度	有田都市景観条例
事業主体	有田町
事業実施年度	平成3年度～



有田黒牟田地区街なみ環境整備事業



事業概要

- 平成元年度：事業着手に向けて調査及び検討
- 平成2年11月30日：街づくり協定の締結、有田町への承認申請
- 平成2年12月1日：街づくり協定を有田町長が承認
- 平成3～13年度：事業実施
- 集会所は漆喰、板貼り、瓦葺き屋根等景観に配慮し、地区住民の学習や祭り事を通じた住民総参加の行事の場として積極的に活用されている。
- 案内案は有田焼の白磁陶版染付を用い、古窯跡周辺の散策路整備と併せ、街なみ全体のわかりやすい歴史的環境の保全が行われた。
- 街づくり協定により、地区内各所に生垣や景観に配慮した板塀が築造され、建物外観への改修や建替え等と併せて、街なみとの一体的な景観が形成された。



↑集会所(街なみセンター)

計画概要

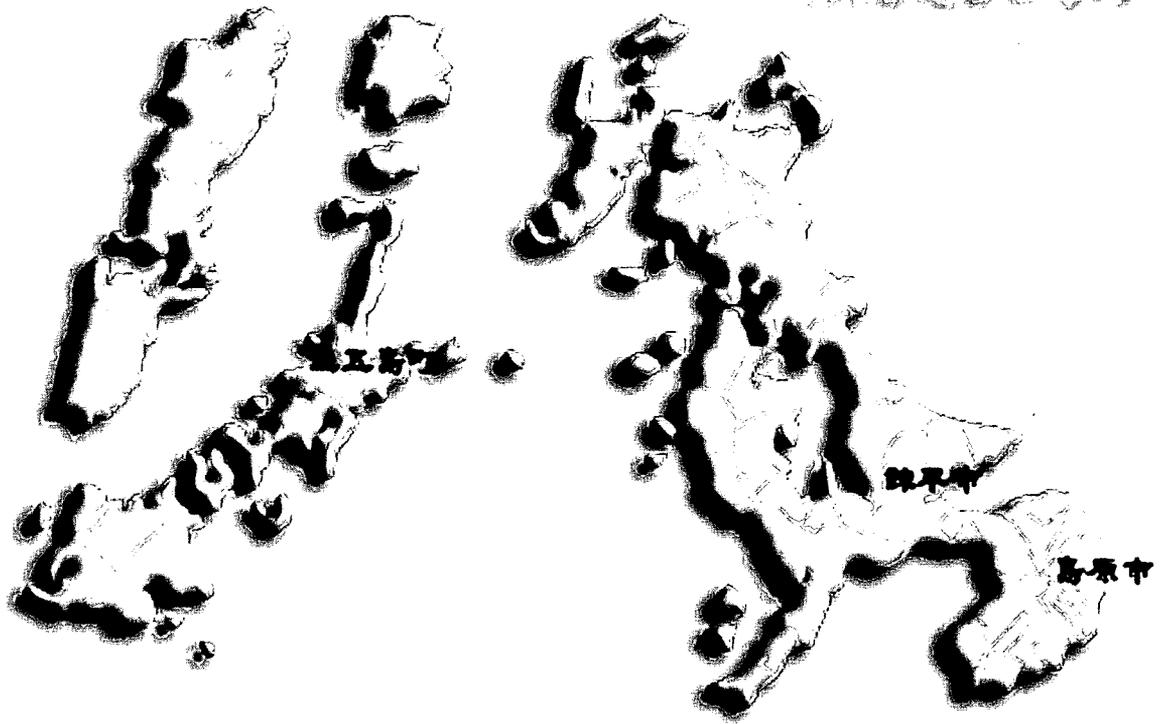
- 街づくり協定：個人住宅の外観、色彩及び形状等に一定のルールを設ける。また工作物及び駐車場に対しても景観に配慮した形状とする。
- 事業面積： 7.14ha
- 対象住戸数： 91戸
- 対象世帯数： 124世帯
- 区施設整備： 道路、通路、小公園、集会所、案内板等

事業実施場所	佐賀県西松浦郡有田町黒牟田
事業種別	地区公共施設、個人住宅等
事業制度	街なみ環境整備事業
事業主体	有田町 (管理主体：黒牟田地区)
事業実施年度	平成3年度～13年度



↑小公園

承德縣
HOPE新農村



☆ 島原市 ☆

街なみ環境整備事業



事業概要

- 中央公園の整備では、設計コンペを行い、実施設計に市民が参加し、子供たちも一部の整備工事に関わるなど、市民に親しまれる公園として平成11年3月に完成した。
- 道路の美装化では、石畳を基調とした趣のある通りを整備し、併せて排水と湧水を分流とする水路の整備を行い、道路脇の水路を流れる湧水の清流が島原のイメージを創出している。
- 街なみ協定による修景では、基準に沿った修景を行う市民に対して補助を行うことにより、島原市の象徴である湧水と城下町の歴史的街なみの整備保存が進んでいる。



事業実施場所 島原中心部商店街地区
事業種別 個人住宅、公園、道路等
事業制度 街なみ環境整備事業
事業主体 市区町村
事業実施年度 平成8年度～

計画概要

- 地区面積：35.2ha
- 整備方針承認：平成7年12月22日
- 森岳地区、大手地区、中心商店街地区、鯉の泳ぐまち地区の4地区を指定し、各地区の特徴に応じて、道路の美装化、公園やポケットパークの整備、河川・水路の美装化、街なみ協定による修景を行う

☆ 島原市 ☆

島原市まち並景観賞



事業概要

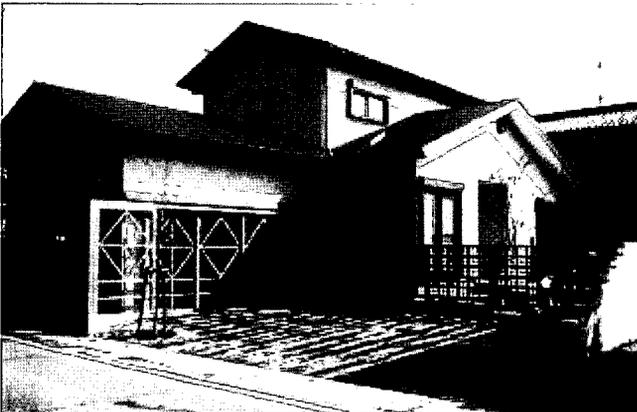
HOPE計画推進事業の一環として昭和62年度に制度を設け、雲仙災害時の平成3年度を除き、毎年行われている。



事業実施場所 島原市内
事業主体 島原市
事業実施年度 昭和62年度～

計画概要

島原市の全域において優れたまち並景観の形成に寄与していると認められる建築物、工作物、広告物、その他の物件を表彰することにより、まち並景観の向上とまち並景観に関する市民の意識の向上を図る。



『わが家でも水と緑の街づくり』

島原市地域住宅計画(HOPE計画)

島原市まち並景観賞

2002年表彰作品集



表彰銘板

島原市

島原市営柏野団地



事業概要

商家の漆喰壁と勾配屋根をイメージした住棟デザインを採用し、敷地周辺部にはメゾネット形式の住棟を導入し軒高を抑えて周辺木造住宅との調和をはかり、COMMONスペースに武家屋敷風の水路を横断させるなど、島原の自然環境、歴史・文化的環境、社会環境を踏まえて計画された住宅団地。



事業実施場所 島原市事業箇所住所を記入
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 島原市
事業実施年度 昭和62年度～平成3年度

計画概要
敷地面積 16,610.72㎡
建築面積 3,086.27㎡
延床面積 7,635.94㎡
構造 RC3階建て メゾネット式含
戸数 110戸
タイプ別住戸数 3DK (61.8～67.7㎡)
及び面積

本野けやき団地公営住宅建設事業



事業概要

- 自然地形の骨格に対応した配置構成システム
- 伝統的な仕口・継手による大架構構法（民家型構法）
- 地場財産活用
- 技術の伝承育成
- 独立柱で布基礎を少なくすることによる低コスト化
- 集落的景観づくりに寄与する住戸形態



計画概要

事業実施場所	諫早市上大渡野町12-2	敷地面積	8,395.78㎡
事業種別	住宅団地	延床面積	1,687.72㎡
事業制度	公営住宅事業	構造	木造
事業主体	諫早市	タイプ別住戸数及び面積	木造2階建 74.11㎡ 15戸 木造平屋建 59.80㎡ 7戸 木造スキップ平屋建 60.81㎡ 2戸
事業実施年度	平成2年度～3年度	住戸数	24戸
		その他施設	集会室、駐輪場、プロパン庫

上郷団地公営住宅整備事業



事業概要

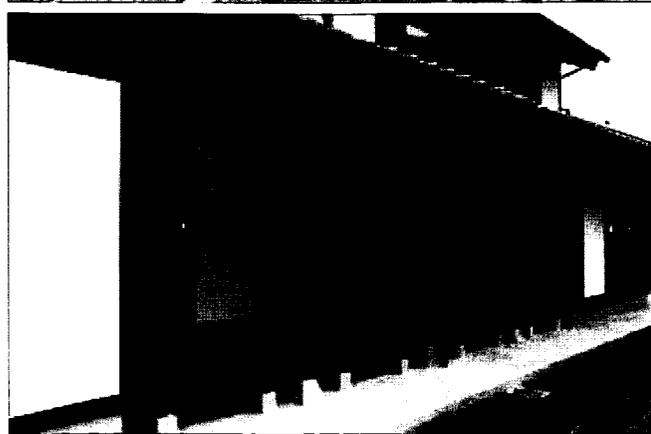
上五島町では平成11年度に住宅マスタープランの策定を行った。さらに平成14年にはISO14001の認定を受け、全町上げて資源の有効利用に取り組んでおり、当上郷団地においてもエネルギー循環型の社会のモデルとなるよう次のテーマで木造公営住宅の建設を行った。

- 1) 上五島町の今後の住宅づくりのモデルとなるような環境にやさしいエネルギー循環型の団地の建設に取り組む
集落景観と調和し、高温多湿の気候風土にあった省エネルギー型の次世代の『上五島型住宅』の研究・普及を行う。高耐久で耐用性が高く、維持管理がしやすい木造住宅により、環境にやさしい長寿命な公営住宅の建設を行う。九州（地域Ⅴ）での外断熱と土塗壁のハイブリッド工法に取り組み、断熱基準は次世代省エネルギー基準を採用した。さらに、地場産木材や土塗壁、ノンフロン断熱材、透水性舗装など環境負荷が少ない建材を使用している。また、建設時に発生するCO2の算定や入居後の居室内における空気環境測定を国土技術政策総合研究所の自立循環型住宅モデル事業の一環として共同で調査を行い、地域にあった住宅づくりの研究を行う。
- 2) 地産地消、地場の技術を活かす
可能な限り上五島地場産の木材を利用するといった観点から建設を進めた。上五島町は現在では林業があまり盛んでなく、地場産木材の流通もあまりない地域だが、森林資源が豊富にあることから将来の健全な森林資源の維持管理を視野に入れ、原木の切り出しから製材まで地域で行い、公営住宅の木材に活用することを目指した。上五島の次世代住まいづくりとして、地元工務店や大工、左官と一緒に伝統的な技術（在来軸組工法と土塗壁）と新しい技術（外断熱工法）の融合に取り組んだ。
- 3) 地域活性化策として若年層の定住促進や交流人口の拡大を目指す
人口減少が進む集落内に若年層の定住促進対策として、上五島町らしい魅力ある木造公営住宅の建設を行った。次世代型の住宅づくりを行うことで交流人口の増加を期待している。

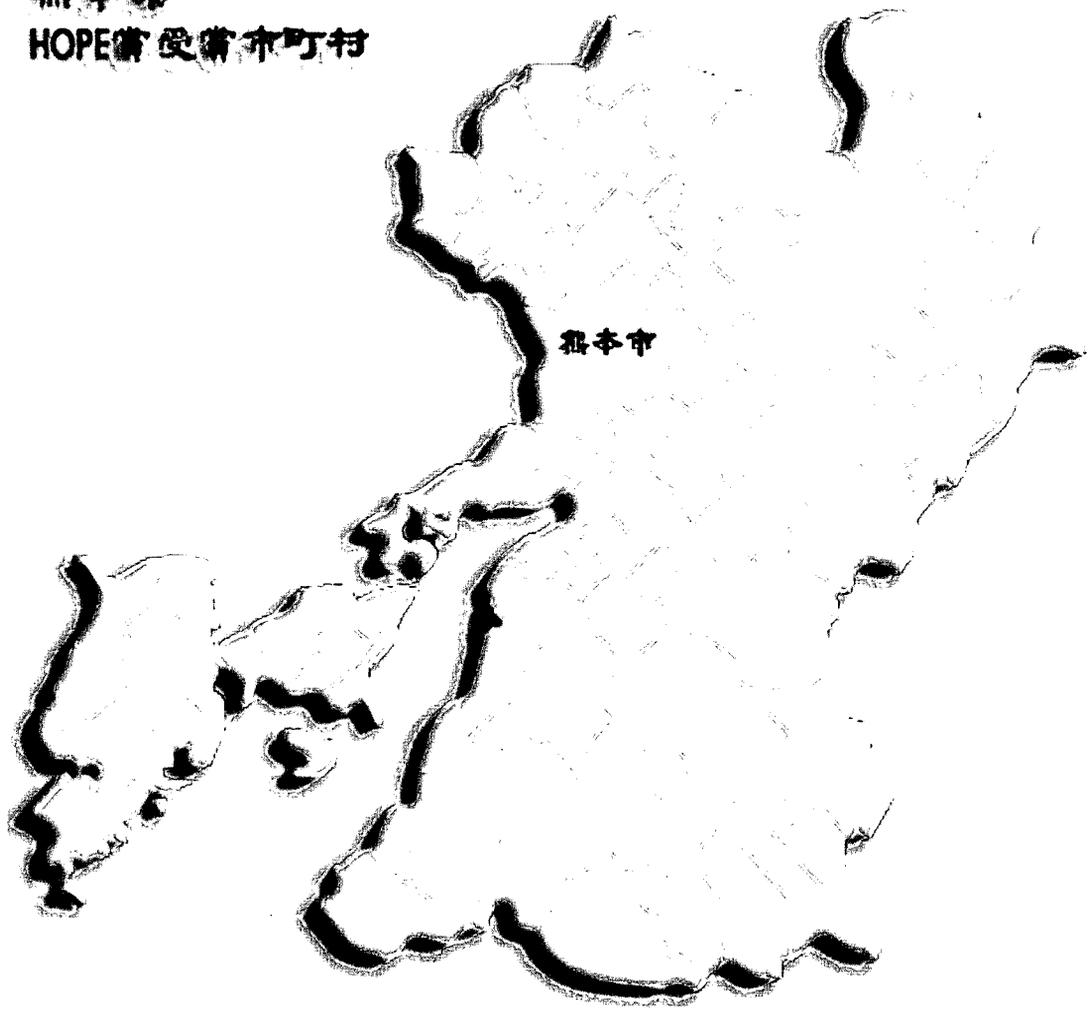




計画概要	
敷地面積	504.83㎡
建築面積	145.80㎡
延床面積	198.44㎡
構造・階数	木造2階建
型式	接地型、二戸一
タイプ別住戸面積 及び住戸数	2住戸1タイプ 79.3㎡（公住法床面積）
事業実施場所	長崎県南松浦郡上五島町奈 摩郷888-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	上五島町
事業実施年度	平成14年度～平成15年度



熊本県
HOPE備受市町村



市営花園団地



事業概要

傾斜地である為、団地の閉鎖性や周辺住宅地との交流などが課題であったが、団地中央の市道の整備や、道路から直接アクセスできる空中路地など、入居者の利便性だけでなく、地域との交流にも配慮した計画となっている。



計画概要

敷地面積	28,958㎡
建築面積	5,140.10㎡
延床面積	6,003.07㎡
構造	RC造(33棟200戸), 木造(2棟10戸)
型式	積層型) 中層3階, 木造2階
タイプ別RC造	2DK 52.20㎡ (他タイプあり) 5戸
住戸数	2LDK 66.00㎡ (他タイプあり) 19戸
及び面積	3K 67.76㎡ (他タイプあり) 8戸
	3DK 69.97㎡ (他タイプあり) 166戸
	3LDK 70.86㎡ (他タイプあり) 2戸
	合計 200戸
木造	2DK 49.94㎡ (5戸)
	3DK 59.94㎡ (5戸)

事業実施場所 熊本市花園6丁目24-1外
 事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅事業
 事業主体 熊本市
 事業実施年度 平成7年～平成9年



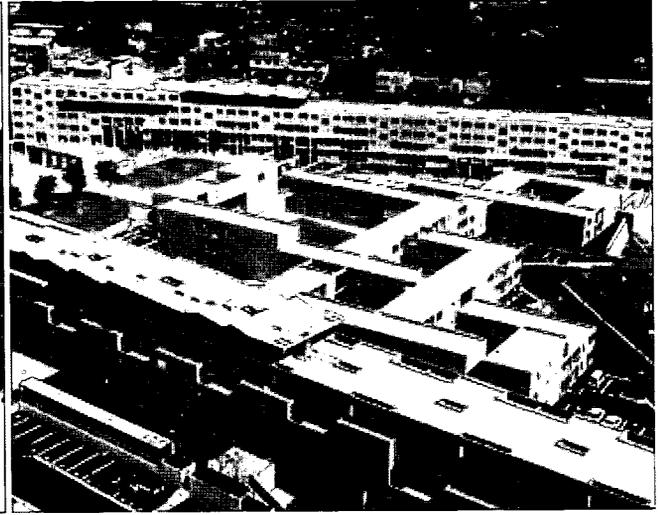
市営新地団地



事業概要

熊本アートポリスに参加したプロジェクトであり、まちなみや環境に配慮した、地域の整備・活性化を目標とした。

変化のある外観と共に、プールのある中庭や街路をイメージした空間など、特色のあるまちなみを形成している。



事業実施場所	熊本市清水町新地7丁目2-13外
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	熊本市
事業実施年度	平成元年～平成5年

計画概要	
敷地面積	126,985.90㎡
延床面積	82,702.24㎡
構造	鉄筋コンクリート造
型式	積層型 中層3～5階、高層7階
タイプ別	2DK 44.57㎡ (他タイプあり) 134戸
住戸数	2LDK 49.89㎡ (他タイプあり) 193戸
及び面積	3DK 58.92㎡ (他タイプあり) 743戸
	4DK 71.46㎡ (他タイプあり) 8戸
合計	1078戸
	※2C-1, 2C-2棟は除く

☆ 熊本市 ☆

市営託麻団地



事業概要

熊本アートポリスに参加したプロジェクトであり、まちなみや環境に配慮した、地域の整備・活性化を目標とした。

各住棟へは周囲の道路と中央緑道の双方からアクセスでき、3人の建築家による住棟がミックスして豊かな雰囲気をつくっている。



計画概要

敷地面積	37,526㎡
建築面積	8,934.07㎡
延床面積	13,070.43㎡
構造	鉄筋コンクリート造
型式	積層型) 中層4～5階
タイプ別	2DK 51.95㎡ (他タイプあり) 60戸
住戸数	3DK 65.06㎡ (他タイプあり) 301戸
及び面積	4DK 77.83㎡ (他タイプあり) 10戸
合計	371戸
※ 1棟～3棟は除く	

事業実施場所	熊本市西原3丁目2-3外
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	熊本市
事業実施年度	平成2年～平成4年



市営渡鹿団地



事業概要

敷地境界に塀を設けず、また敷地周囲に外周道路を設けることで、周囲への圧迫感の軽減を図っている。外観は色調をモノトーンにし、瓦を使用するなど、和風をイメージしたものとし、景観にも配慮している。

中庭を囲み住棟を配置し、渡り廊下で繋ぐことで、路地のような空間を形成しコミュニティ形成にも寄与している。

事業実施場所 熊本市渡鹿4丁目17、7丁目3
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 熊本市
事業実施年度 平成3年



計画概要

敷地面積	7,894㎡	
建築面積	4,800.18㎡	
延床面積	5,136.42㎡	
構造	鉄筋コンクリート造	
型式	積層型	中層3～4階
タイプ別	2DK 51.49㎡ (他タイプあり)	12戸
住戸数	3DK 73.49㎡ (他タイプあり)	51戸
及び面積	4DK 83.56㎡ (他タイプあり)	1戸
合計		64戸



県営保田窪第一団地

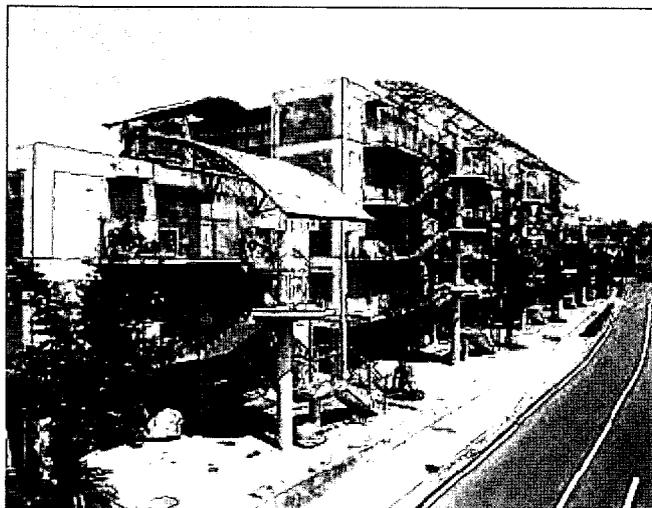


事業概要

当団地は、昭和31～33年に建設された低層住宅66戸を除却し、110戸の中層住宅に建て替えたものである。

団地は、熊本市の東部の住宅地にあり、各住戸が中央広場を囲むように配置され、この空間が団地全世帯のふれあいの場になるように計画されている。また、隣接する帯山A団地とともに新鮮な街並景観を創り出している。

くまもとアートポリスプロジェクト参加団地として〈共に住む〉をメインテーマに新しい共同住宅の在り方を提言している。



計画概要

敷地面積	11,184㎡
建築面積	3,562㎡
延床面積	8,753㎡
構造	鉄筋コンクリート造
階数	5階建て
戸数	110戸

事業実施場所	熊本市帯山1丁目28番地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	熊本県
事業実施年度	昭和63年～平成1年



県営帯山A団地



事業概要

当団地は、昭和30年に建設された低層住宅42戸を除却し、中層住宅52戸に建て替えたものである。計画にあたっては、くまもとアートポリスプロジェクトの一つとして公開コンペを行い、応募作品94作品の中から選ばれた。

隣接する保田窪第一団地との連続性を考慮したファサードを持ち、住棟間を結ぶダイナミックなスカイウォークと共用テラスで、人々が集まり出会うスペースを作り出している。



事業実施場所 熊本市帯山1丁目23番地
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅整備事業
事業主体 熊本県
事業実施年度 平成2年

計画概要
敷地面積 3,935㎡
建築面積 1,304㎡
延床面積 3,877㎡
構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
階数 5階建て 3棟
戸数 52戸

県営竜蛇平団地



事業概要

当団地は、昭和28年に建設された低層住宅54戸を除却し、88戸の中層住宅に建て替えたものである。

団地は、熊本市の東部の住宅地にあり、国道に近接しているが比較的静かな住宅地内にある。

くまもとアートポリスプロジェクト参加団地として、〈アプローチへの積極的な配慮〉をテーマに不整形な敷地形状及びレベル差を生かした雁行型の住棟配置、住戸の中間領域として広い玄関やルーフバルコニーの配置等を行っている。



計画概要

敷地面積	8,577㎡
建築面積	2,495㎡
延床面積	6,511㎡
構造	鉄筋コンクリート造
階数	3・5階建て
戸数	88戸

事業実施場所	熊本市帯山3丁目1番地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	熊本県
事業実施年度	平成3年



鹿兒島縣
HOPE新設市町村



☆ 喜界町 ☆

公営住宅整備事業



事業概要

<計画概要>

喜界町は鹿児島より南へ約380kmの奄美諸島に位置し、亜熱帯海洋性の気候を持つ、人口役1万人の町である。一島一町で、ほぼ全島が第四紀石灰岩でおおわれた隆起珊瑚の島である。本団地は、町中心部より南西へ約1.3km、モクマオウの生い茂った緑に囲まれた台地にあり、周辺には総合グラウンド、体育館、メンハナ公園等がある。計画にあたっては「自然を生かし、潤いと安らぎの中に活きの見出せる団地」を基本目標に以下のテーマに取り組み、良好な団地計画を課題とした。

<地域特有のイメージと景観の向上>

伝統的な珊瑚の石垣や、ガジュマルの生垣といった地域のイメージの補強、強化を図っている。外壁や外構を統一し、電柱等も極力地下埋設することにより、伝統的イメージを残しながらも、現代的なすっきりとした暖かみのある景観としている。

<気候・風土・習俗の地域性>

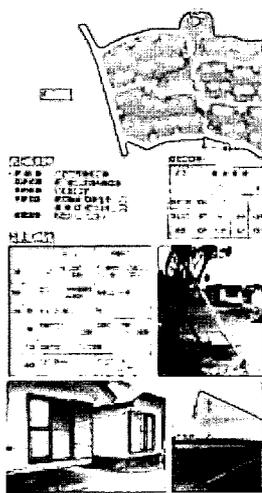
高温多湿で雨が多く、通風、換気への配慮が重要であり、今回新たな換気システムを考案、採用している。また、台風も数多く襲来するため強風の影響も考慮し全戸平屋建てとし、木造については筋違いの強化、垂木をとめている補強金物の採用、屋根の台風仕様採用等を図っている。残りの14戸は鉄筋コンクリート造として対応している。

<快適性・安全性>

道路は意図的に曲線とし、低速度でしか走行できないボンエルフを採用し、人と車の共存を図っている。

<ぬくもりとゆとりのコミュニティ計画>

住棟間は垣根を設けず芝生貼りとし、ガジュマルの木陰にベンチを配置し、教会を意図的に設けない事により庭を共有し、年齢を越えたコミュニティの誘発を図っている。



事業実施場所	鹿児島県大島郡喜界町中里地内
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	市町区村
事業実施年度	平成元年～平成4年
計画概要	
敷地面積	18458.83㎡
建築面積	3676.91㎡
延床面積	3390.30㎡
構造・型式	木造・RC造平屋
タイプ別	Aタイプ 65.92㎡ Bタイプ 64.14㎡
住戸面積	Eタイプ 58.45㎡ Fタイプ 68.62㎡
住戸数	県営 20戸 町営 30戸

☆ 喜界町 ☆

城久地区街なみ環境整備事業



事業概要

計画の目的

本町のような離島でも人口が市街地へ集中する傾向がありその他の地区の活性化を図るために本事業を取り入れた。

伝統文化継承

地場産材の珊瑚を活用し伝統的な石垣の継承保存。

協定、住民参加等：別紙による。

(気候風土に関する工夫)：別紙による。



事業実施場所 鹿児島県大島郡喜界町城久地内
事業種別 公園
事業制度 街なみ環境整備事業
事業主体 市町区村
事業実施年度 平成7年度～平成11年度



計画概要

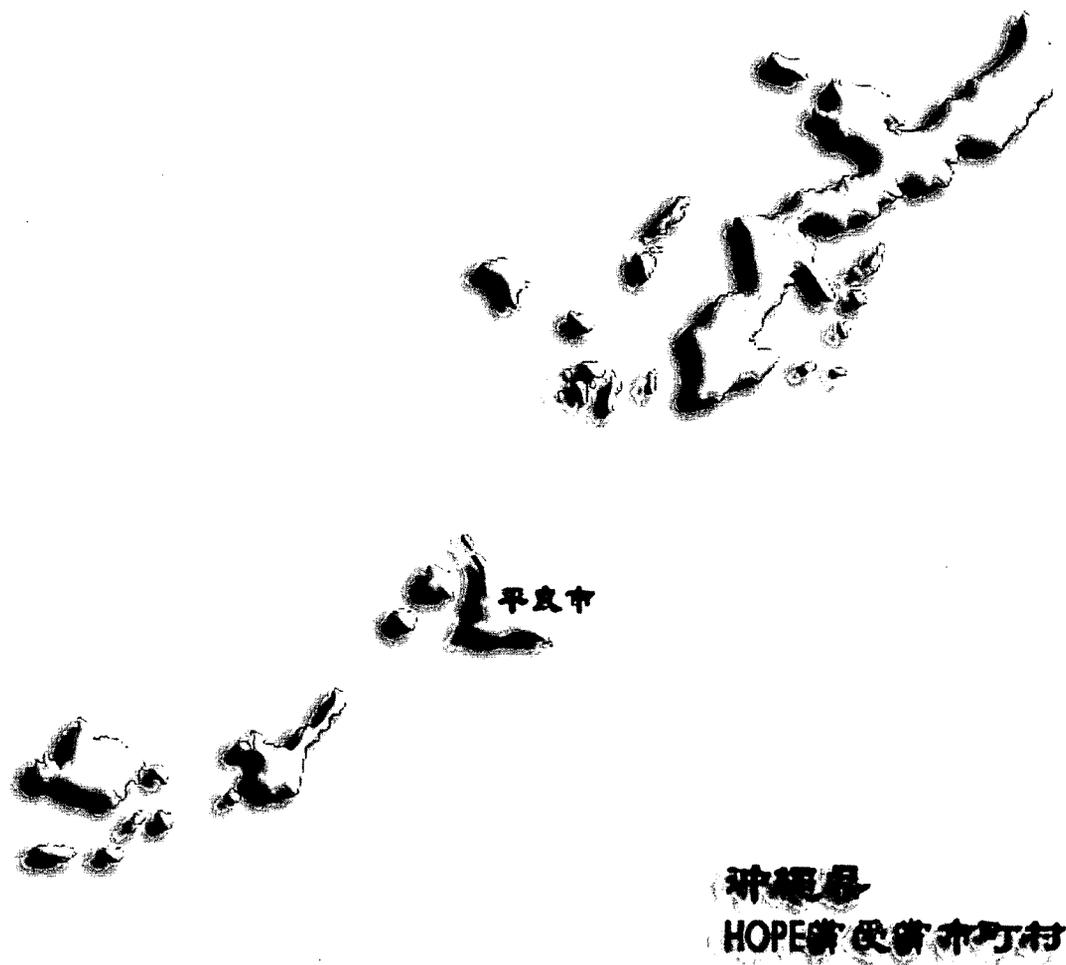
面積：多目的広場 1,751m²

ポケットパークNo1 859m²

ポケットパークNo2 1,567m²

ミニポケットパーク 8m²×4ヶ所





☆ 平良市 ☆

平良市営馬場団地



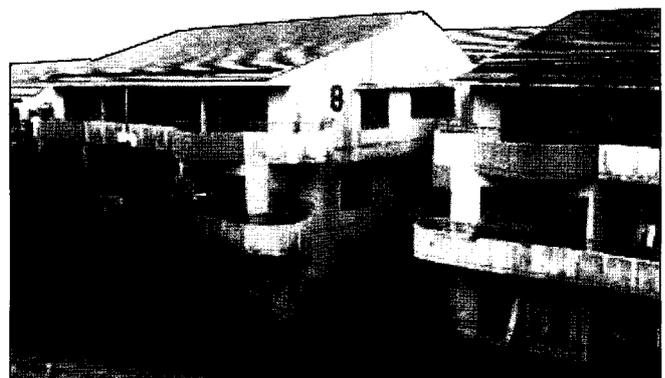
事業概要

- 設計趣旨：南島型の気候風土に適応し、地域の暮らしと住まい方を尊重するコンセプトに基づき建設された。居住空間は伝統的な生活習慣である南入りの住様式を踏襲したテラスアクセス方式及び、影空間となる中庭を設えた住棟配置によって特徴づけられる。
- 気候風土に関する工夫
沖縄の伝統的住宅手法を現代の集合住宅空間としてリデザインする。
光庭の吹抜けで涼風を呼び、バルコニーのそで壁で強風を調節する。
調湿のため床下に炭を敷き込み、床はチークフローリング、腰壁と押入は杉材を張る。（13棟）



計画概要	
敷地面積	18,495.79㎡
建築面積	5,385.34㎡
延床面積	13,885.64㎡
構造	壁式RC造
型式	積層型
タイプ別住戸面積及び住戸数	標準タイプ 3LDK 57.13㎡～66.40㎡ 単身タイプ 1LDK 36.40㎡ 大型タイプ 3LDK 79.46㎡ 身障者用 3LDK 65.33㎡
住戸数	13棟（177戸）
階数	3階建～4階建

事業実施場所	沖縄県平良市字下里1009-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	平良市
事業実施年度	平成元年度～平成9年度



県営平良団地



事業概要

昭和48・49年度に建設された当団地は、1戸当たり46.0㎡～54.3㎡と住宅規模が小さく、躯体及び設備の老朽化が著しい状況であったため、平成12年度から建替事業を行った。

建替に際して南北軸に住棟を配置し、住棟間に中庭を設けた。中庭には、活動的な広場、楽しみの菜園、住民の語らいを誘うパティオを設けた。

住戸計画では、暮らしと気候風土に適合した住宅を提供すると共に、コミュニティー形成のきっかけとなる空間構成とした。共用廊下と住戸間にセミパブリックな空間を設け住み手が我が家らしさを創出し、楽しい住環境づくりに参加できる仕掛けを作った。また、外廊下と住戸間に吹き抜けをもうけドラフト効果により、風通しを良くした。



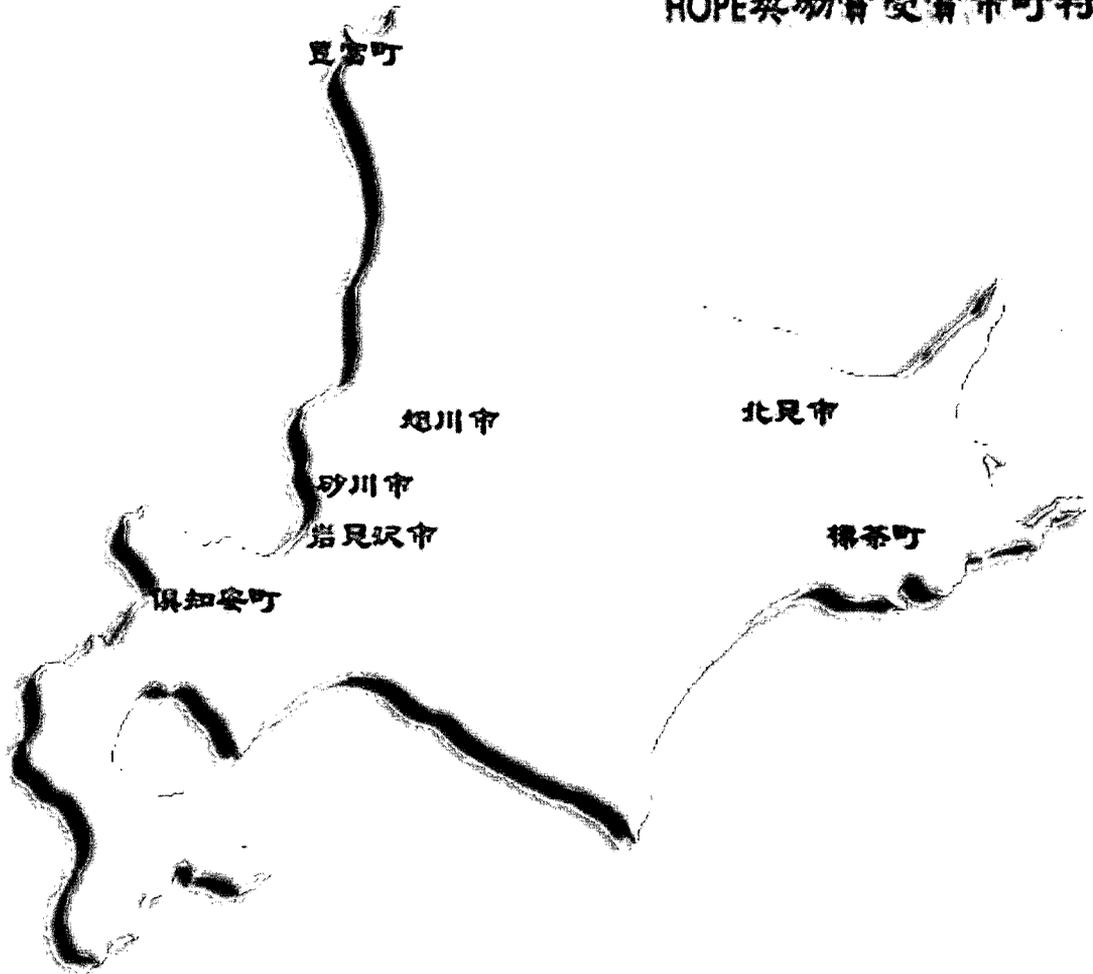
事業実施場所 沖縄県平良市下里228-1
 事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅建替事業
 事業主体 沖縄県
 事業実施年度 平成12～13年度

計画概要

敷地面積	18,000㎡		
建築面積	6,143.9㎡		
延床面積	11,727㎡		
構造	鉄筋コンクリート造3階10棟、6階1棟		
戸数	A1～5棟 69戸		
	B1～5棟 69戸		
	C 42戸	計	180戸
タイプ別住戸面積	1DK 38.72㎡	15戸	
	2DK 54.72㎡	6戸	
	2LDK 56.96㎡	33戸	
	3LDK(ハ) 68.64㎡	4戸	
	3LDK(A) 78.46㎡	37戸	
	3LDK(B) 71.93㎡	31戸	
	3LDK(C) 68.48㎡	42戸	
	4LDK 86.85㎡	12戸	

HOPE 獎勵賞

北海道
HOPE奨励賞受賞市町村



岩見沢ホープ住宅設計指針による
都市型住宅のモデルに「日の出南団地建替事業」



事業概要

- ・ 策定のテーマを「キビタキの詩が聞こえる都市に住みたい」とし、住宅の整備等に関する現状と課題に関し、良好な市街地形成、地域文化の育成、地域住宅生産の振興について、長期的な住宅整備方針並びに推進すべき具体的な施策をまとめ、同計画を完了している。
- ・ 「日の出南団地建替事業」は、岩見沢ホープ計画の中で都市型集合住宅のモデルとし、ゆとりのある敷地に低層住宅を配置し、周辺住民も利用可能な公園、オープンスペース、共同利用施設など地域に開かれ、また、自然とふれあうことのできる緑豊かな住環境を整備し、アトリウムなどによるコミュニティのしかげづくりを盛り込んでいる



計画概要

敷地面積	17.162㎡	
	Aタイプ 1棟18戸×2	
	Bタイプ 1棟18戸×3	合計5棟 90戸
建築面積	Aタイプ 561.85㎡	
	Bタイプ 543.80㎡	
延べ床面積	Aタイプ 1657.83㎡	
	Bタイプ 1516.96㎡	
構造・形式	RC（壁式）3階建 階段室型	
タイプ別住戸面積		
	Aタイプ 2LDK 64.04㎡	12戸
	3LDK 75.92㎡	4戸
	Bタイプ 2LDK 62.67㎡	18戸
	3LDK 72.75㎡	36戸

事業実施場所 岩見沢市日の出南1, 2丁目
 事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅事業
 事業主体 岩見沢市
 事業実施年度 平成6年度開始、平成10年度終了



日の出北団地建替事業（法定 重点団地指定）



事業概要

- 当団地は、緑豊かで閑静な成熟した住宅街に郊外型住宅として配置されてきたが、建物の老朽化や設備の不備により時代の生活水準に対応できないものとなっている。また、入居者も高齢化が進む中で公営住宅の果たす役割を十分考慮し、人と自然と社会の調和のとれた自然環境、都市環境、居住環境づくりを目的とする。
- 「緑とやすらぎのある環境へ」を基本テーマとして、寒さを克服し四季を楽しめる環境づくり、豊かな街づくりを意識した環境づくり、高齢化社会に対応した住みよい環境づくりに建替事業の主眼をおく。



計画概要

敷地面積	9,658㎡	
住棟	1棟24戸×2 1棟16戸×1	
	合計 3棟 64戸	
建築面積	1号棟 (24戸)	645.65㎡
	2号棟 (16戸)	445.00㎡
	3号棟 (24戸)	648.70㎡
延べ床面積	1号棟 (24戸)	1,954.00㎡
	2号棟 (16戸)	1,361.05㎡
	3号棟 (24戸)	2,018.19㎡
構造・形式	RC（壁式）4階建 階段室型	
タイプ別住戸面積	2LDK-1	54.95㎡
	2LDK-2	57.25㎡
	2LDK-3	58.12㎡
	3LDK-1	65.51㎡
	3LDK-2	67.81㎡
	3LDK-3	69.01㎡

事業実施場所 岩見沢市日の出北4丁目
 事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅事業
 事業主体 岩見沢市
 事業実施年度 平成3年度開始、平成5年度終了



第1東光団地建て替え事業



事業概要

『ウイントピアをめざす冬を快適にする住まいとまちづくり』をメインテーマに、地域に開かれた特色ある広場の設置や、ポリカーボネート製屋根の明るいカバードウオークの設置など、旭川HOP E計画の主旨を踏まえた、地域性の高い公営住宅団地の建替事業である。

計画概要

敷地面積	2,215㎡
建築面積	1号棟 540.69㎡、2号棟 757.03㎡ 3号棟 615.62㎡、4号棟 430.33㎡ 5号棟A 474.03㎡、5号棟B 373.48㎡
延べ床面積	1号棟 2,153.15㎡、2号棟 5,716.19㎡ 3号棟 3,555.33㎡ (うち公民館1,683.90㎡) 4号棟 3076.82㎡ 5号棟A 3,660.09㎡ 5号棟B 1,683.90㎡
構造	1・4・5号棟：鉄筋コンクリート造 2・3号棟：鉄骨鉄筋コンクリート造
型式	1LDK、2LDK、3LDK
417°別 住戸面積	1LDK 46.28㎡ 2LDK 53.14㎡～62.63㎡ 3LDK 63.26㎡～68.03㎡
住戸数	1号棟 30戸、2号棟 64戸、3号棟 36戸 4号棟 36戸、5号棟A35戸、5号棟B20戸
階数等	1号棟 5階建、2号棟 9階建、 3号棟 10階建、4号棟 6階建、 5号棟A 7階建、5号棟B 5階建



事業実施場所	旭川市東光10条3丁目
事業種別	公営住宅団地
事業制度	公営住宅建替事業
事業主体	旭川市
事業実施年度	昭和61年度～平成2年度

砂川市ハウジングアメニティ計画



事業概要

< 建設計画の理念 >

三砂団地の建設計画の理念は、砂川市の街づくりの目標（しあわせで緑豊かな公園都市の建設）、公営住宅建設の目標（心豊かな人が住まう緑豊かな快適環境都市づくり）、HOPE計画の目標（ナナカマド達が織りなす公園都市を目指して）を踏まえて、以下の通りと定める。

「花と暮らしと生きがいの街をつくる」

花は、砂川市の街づくり運動として定着している花づくり、緑づくりと高齢者の趣味活動である花づくり、土いじり及び花の咲き乱れる美しい住宅地景観を示す。

暮らしは、高齢者、若壮年、子供達など多様な居住階層相互と市民のコミュニティの交流による豊かな暮らしづくり、暮らしが生活の風景、風物詩となるような活気のある住宅地景観を示す。

生きがいは、高齢者が花づくりや趣味活動を通じて、生きがいを育み、いつまでも元気良く自立生活を営むことを示す。

< 整備の基本方針 >

① 花と緑にあふれる公園のような住宅団地をつくる

公園、緑地、法面や団地周辺の灌漑溝の公園化、市道の街路樹の植栽により、四季折々の花が咲き、樹木の色が変化する公園の中の住宅団地の整備を目指す。

斜面地の土地条件を生かし、視覚的な緑の印象を強調する花壇、法面緑地を配置するとともに、団地中央部の既存の樹木（ヤナギの木）を残すものとする。

ベランダ、雁木、自転車置き場にはプランターボックスの設置や地場の基幹産業である集成材の活用により、身近な生活の中で花や緑、木材に親しむ工夫を図る。

② 砂川市の駅東地区開発をリードする住宅団地をつくる

現在、三砂地区はJR函館本線によって、砂川市街地と分断された、交通利便性の劣る地域である。

砂川市は、街づくりの施策として、市街地形態を国道なりの形態から都心部を核とした同心円への誘導を目標としており、駅東地区の市街化が課題とされている。

三砂団地は、砂川市の駅東地区開発の先鋭的事業として位置づけ、道路、公園、下水道など都市施設の体系的、先行的整備と人口の定着、活気の創出を図る面的整備事業として事業展開を図るものとする。

③ 国、北海道、砂川市と住民の連係により、総合的な住環境をつくる

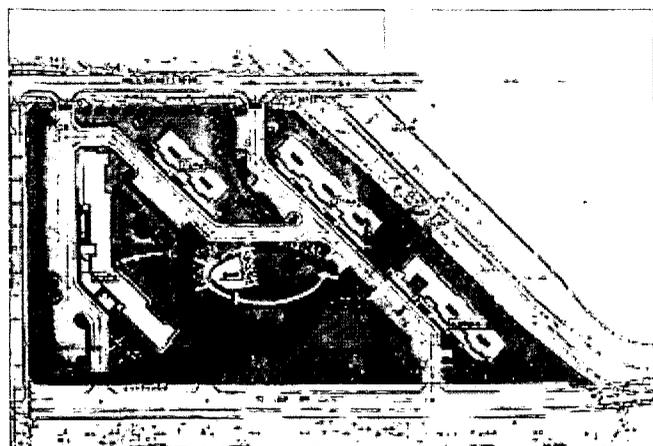
三砂団地の整備にあたっては、関連する主体ごとで以下に示す住環境づくりを図る。

国：団地に隣接する北海灌漑溝は農業法人である北海道土地改良区と国（北海道開発局札幌開発部）の国灌漑事業であり、その施設の高度利用を図り、北海道及び砂川市が公園化（灌漑溝公園）を進めている。

北海道：道営住宅70戸の建設を図る

砂川市：市営住宅18戸、市道三砂通と周辺道路の整備を図る。

住民：団地整備によって設けられた花壇、プランターボックススペースに住民の趣味と生きがい活動として、毎年、花づくりを行なうものとする



計画概要

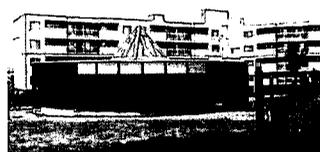
敷地面積 21,100㎡
構造、型式 鉄筋コンクリート造3階建3棟・5階建1棟
3LDK 70戸

事業実施場所 砂川市三砂町

事業種別 住宅団地

事業主体 北海道・砂川市

事業実施年度 平成4年度～平成6年度



☆ 豊富町 ☆

豊富町サロベツ住宅普及促進事業



事業概要

- モデル住宅設計事業
北海道が推進する「北方型住宅建設基準」に、風が強く雪が多い地域独自の気候条件、湿度をコントロールする性能が高い地場産材である珪藻土、地域の木材などを効果的に活用した、いつまでも住みつづけることができる住宅づくりを行う。
- モデル住宅地設計事業
雪処理を効率的に行う工夫、冬季の北風の処理を行う工夫、二世帯対応、隣地とのプライバシーの確保、敷地内の雪処理が円滑に行える余裕のある敷地規模を持つ住宅地づくりを行う。
- モデル住宅地整地事業
モデル住宅地（約0.8ha）の敷地造成、平均画地面積 395㎡、11画地の整備を行う。
- モデル住宅地公園緑地整備事業
地域の人達の日常的な交流の場となる小公園（ポケットパーク）の整備と共に、モデル住宅地北西側の外縁部に、冬の強い北風に対応するため、堰堤（緑のマウンド）の整備を行う。
[主な事業内容]
ポケットパーク（約100㎡×2カ所）、ゴミステーション
地区北西側の外縁部に堰堤整備（1,870㎡）、中高木の植栽
- モデル住宅地道路整備事業
歩行者が安心して通行できる「生活道路」を目指し、クルドサック方式を基本とすると共に、除雪時に一時的に堆雪するスペースがあるなど、豊富独自の気候、風土にも対応した道路の整備を行う。
[主な事業内容]
道路幅員 9m（車道部 7m+堆雪スペース 2m）、総延長 210m、雨水排水、照明灯、車止め



→丘室（手前）。ゼロエネギーで通年低温を維持できる収納スペース

事業実施場所	北海道天塩群豊富町西3条10丁目
事業種別	モデル住宅地整備〔（11画地）、道路、公園、緑地等〕 モデル住宅建設
事業制度	木造住宅総合対策事業
事業主体	豊富町
事業実施年度	平成年度から

計画概要

■計画の背景と目的

豊富町は、室内での化学物質の浄化、湿度調整に優れた性能を発揮する「珪藻土（稚内層珪質頁岩）」が産出され、素材としての性能が高い上に、町内外の企業によりタイルなどの市場性の高い製品開発が進められており、今後の地域経済を支える資源として、その活用が期待されている。

これにより、本計画の推進は、安定・成熟した地域社会の到来にふさわしい住宅づくりに取り組むために、地域密着型の中小工務店の大工技術ストックとメンテナンス能力と地域固有の資源を活かした住宅・住宅地づくりの具現化を図ることにある。

■計画づくりの手法

豊富町では、「豊富町サロベツ住宅普及促進事業」を進めるにあたり、「個性的で良質な住環境の形成」と「働く場の確保（地域産業の振興）」の2本を柱とし、全体を「全体構想策定段階」、「モデル住宅・住宅地整備段階」、「普及支援段階」の3段階に分け、それぞれの段階にふさわしい住民参加（住民会議、コアスタッフ会議、ワークショップ、セミナー等）の手法を設定した。

[実施事業成果]

1. 行政、住民による「将来の住宅・住宅地像」の共有化
 - ①「サロベツ住宅・住宅地づくり原則」(H11)
 - ②「モデル住宅・住宅地の計画、整備」(H13)
2. 地元各建設業者間の連携、技術取得意識の向上
 - ①「コアスタッフ会議」の組織(H12)
 - ②サロベツ住宅セミナーの実施(H13～)
3. 町独自住宅取得支援施策の施行
 - ①「サロベツ住宅建設促進支援制度」の施行(H13～)

■実現に向けた方策

1. モデル住宅（サロベツ住宅）づくり
サロベツ住宅は、豊富町住宅マスタープランの基本理念「生涯を通じて暮らしやすさが実感できる住まい、まちづくり」の実現に向け、地域独自の自然環境、建築素材を活用した住宅であり、町の良質な社会資産として、いつまでも住み続けることができることを配慮した住宅です。

2. モデル住宅（サロベツ住宅）整備の基本的な考え方

- 1) 「長持ちする」いえづくり
住宅を建てる時の家族構成や身体状況だけに対応できる住宅ではなく、子供の成長、親の同居など、将来の家族構成の変化、家族の身体状況の変化などに対応できるいえづくりを行う。
- 2) 「健康な」いえづくり
シックハウスや結露などの対策に高い効果が認められている自然素材、豊富町産出の珪藻土を住宅の内部に利用し、高気密高断熱ならではの住宅性能を活かした自然換気システムとするなど健康ないえづくりを行う。
- 3) 「生活感のある」いえづくり
地域で産出される住宅素材「珪藻土」や、古くから地域に伝わる生活の知恵「丘室（オカムロ）」をいえづくりにとりいれるなど、豊富ならではの生活感のあるいえづくりを行う。
- 4) 「冬の生活に配慮した」いえづくり
豊富町は、夏が短く冬が長いまちであることから、太陽の日差しをたっぷり住宅にとりいれ、天井も高く、ゆとりある冬でも開放的ないえづくりを行うと共に、冬季の落雪、堆雪空間にも配慮した住宅地づくりを行う。
- 5) 「共につくる」いえづくり
地域の「つくり手」、「住まい手」、「行政」が住宅・住宅地づくりに参加し、地域単位での「まちづくりルール」づくりによって単体としての「いえ」ばかりではなく、地域のことを視点にいれたいえづくり、住宅地づくりを行う。

■モデル住宅地（サロベツ住宅地）整備の基本的な考え方

モデル住宅地では、ご近所同士が、「家を建て」～「住み」～「住み続ける」という行為をとおり、豊かな住環境や近隣関係が生まれる住宅地づくりを目指して、住宅の建設方法は、コーポラティブ方式とすることで、同じ住宅地に住む人たちが、それぞれの夢、ライフスタイルなどを話し合い一緒に住まいを考えていく仕組みづくりを行う。

[住宅地の整備]

- 1) 敷地の最低規模は330㎡とする。
- 2) 建物の雪処理は、自分の敷地内で行う。
- 3) 区画道路は、通過交通が発生しない道路形態とし、冬季除雪による一時的な堆雪スペースを確保する工夫を施す。
- 4) 住宅地の北側、西側には冬の季節風を防ぐ緩衝緑地帯を整備する。
- 5) 区画道路に接する宅地部分は、半公共的な空間として、植栽スペースなどに活用し、秩序ある街並みの形成を図る。
- 6) 3軒～6軒で1つのユニットを構成することで「向こう3軒両隣り」で話し合いながら建物の設計を考えられるような仕掛けを施す。

虹別町営住宅建替事業



事業概要

『団地計画のねらい』

昭和34年から昭和50年に建設された既存の団地建替に当たり、標茶町『HOPE計画』の策定と整合性を図りながら、同計画のモデル団地として、酪農郷である地域特性を考慮し、場所替えにより『ゆとり』のある配置計画を行い、地域のシンボルとなる景観形成を図る。

住戸を木造平家建とし、外壁と内部の腰壁や天井に道産木材を使用することで『暖かさ』を求める。



計画概要

敷地面積	14,400㎡
建築面積	1,856㎡
延べ床面積	1,752㎡
構造	木造平屋建、10棟20戸
住宅タイプ	2LDK 10戸、住戸専用面積 61㎡ 3LDK 10戸、住戸専用面積 75㎡
屋外電線類	地中化（電気・電話・外灯）
団地内通路	幹線8m、補助幹線6m
幼児遊園	1個所、640㎡

事業実施場所	川上郡標茶町字虹別原野706番地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	標茶町
事業実施年度	平成7年度～平成10年度



望羊団地公営住宅建替事業



事業概要

計画の目的：

昭和30年代後半に建設された建物で、老朽化が著しく、居住面積も最低水準の半分にも満たない現状であり、建替により居住環境の向上を図る。

住民参加：

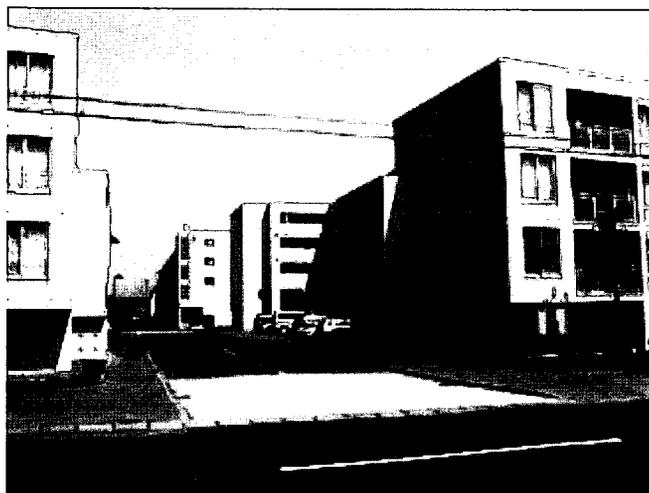
近隣にも親しまれる共同住宅を目指し、近隣と団地の代表者を集めた委員会を組織し、話し合いを重ね、実施計画を策定した。

気候風土に関する工夫：

豪雪地型集合住宅として高床式を取り入れ、住戸部分を積雪から守るとともに自転車置場、各戸の物置、オイルタンク置場、リサイクル庫等を高床部分に収納し冬期間も利用しやすくした。

地域活性化：

孤立していた団地に道路を縦断し、児童遊園を隣接させ、周辺住民の利用を考慮した配置計画とし、世代を問わないコミュニケーションの場として、地域にひらかれた団地を目指す。



計画概要

敷地面積	13,964㎡
建築面積	2,396㎡
延べ床面積	9,229㎡
構造	中層耐火構造
型式	片廊下型
階数	3階建及び4階建
棟数	3棟
タイプ別住戸面積	2LDK 57.8㎡ (22戸) 2LDK 69.6㎡ (33戸) 3LDK 78.1㎡ (28戸)

事業実施場所 俱知安町北4条4丁目3番地4

事業種別 住宅団地

事業制度 公営住宅整備事業

事業主体 俱知安町

事業実施年度 平成8年度～平成11年度

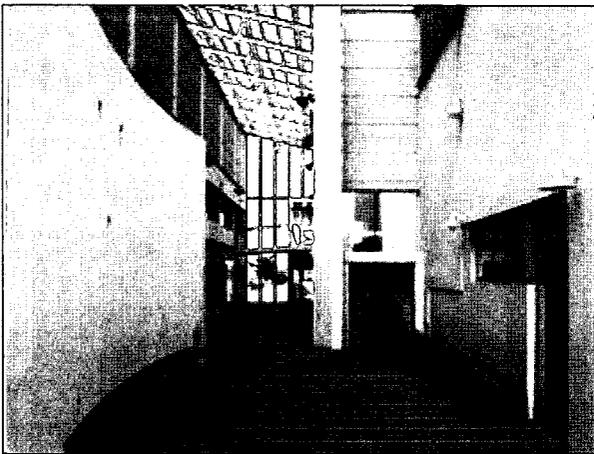


アグリタウン上ところ



事業概要

北見市地域住宅計画（HOPE計画）は“ふゆトピア構想”、「市街地整備基本計画」と連携し、住宅のもつ社会性、地域性を視点におき、住民参加による「地域に根ざした住まいづくり・まちづくり」を目的としている。上ところ地区は、農村地域のセンターとして機能を担っていることから、農業退職者の吸収策、増大する高齢者の生きがい対策、需要に応じきれない市の貸農園対策などに積極的に貢献することが期待できる。そこで、こうした地域特性を活かし、アグリカルチャー（農業）を計画のテーマとしたまちづくりを考え、今回、そのテーマに沿った公営住宅建設事業に併せ、中心市街地である駅周辺に公共公益サービスとして様々な複合施設を集約し、各世代交流のコミュニティー環境づくりと交通機関や公共機関が一体となった利便性の高い居住環境の整備を図り、潤いと活力のある環境形成と農村市街地における中心核としての先導的、誘導的役割を果たしている。また、さくらの名所としての知名度がある金刀羅山から上ところ市街地までに至る道路を整備し、沿道景観形成を通して地域文化の育成を目指している。



計画概要

敷地面積	8,777.85㎡
建築面積	1,898.85㎡
延床面積	4,348.85㎡
構造	鉄筋コンクリート造
型式	積層型
タイプ別	49.00㎡(1LDK)9戸
住戸面積	62.30㎡(2LDK)7戸
	63.30㎡(2LDK)2戸
	73.50㎡(3LDK)8戸
	74.50㎡(3LDK)4戸
住戸数	30戸
階数	5階
街路事業	上ところ1条道路延長(479.96㎡) 黒部の沢道路延長(1,925.15㎡)

事業実施場所 北見市上ところ682番地の1,686, 3-3
 事業種別 住宅団地、市役所出張所、地域会館、
 駅舎、駅前広場、駐車場道路
 事業制度 公営住宅事業、特定交通安全施設等整備事業
 事業主体 北見市
 事業実施年度 平成5年度～平成6年度

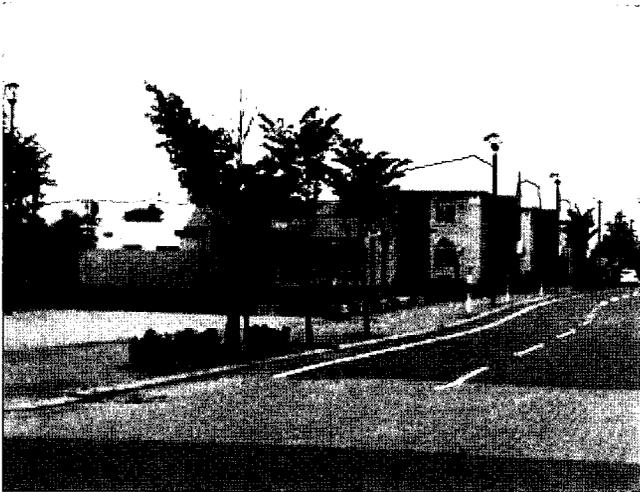
ウッドタウン相内事業



事業概要

北見市地域住宅計画（HOPE計画）は“ふゆトピア構想”、「市街地整備基本計画」と連携し、住宅のもつ社会性、地域性を視点におき、住民参加による「地域に根ざした住まいづくり・まちづくり」を目的としている。相内地区は、クラフト工芸、木材関連産業の集積が高く、市街地内には優良な樹木が多く見られ、近年、木の持つ柔らかさ、暖かさ、潤い、強さなどの特性が見直され、豊かな生活環境のシンボルとして多く活用されている。このことから、地場産業の地域特色を生かし、ウッド（木）を計画テーマとしている。今回、こうしたテーマに沿って地域整備の先導的、誘導的な役割として、公営住宅建設において、地場産業である木の活用や周辺沿道景観と調和した低層設置型の住宅環境景観づくり、更には駅前広場を再整備し集会場、駐輪場等、うるおいのあるコミュニティ環境づくり、自然素材活用の住宅環境づくりを目指した。

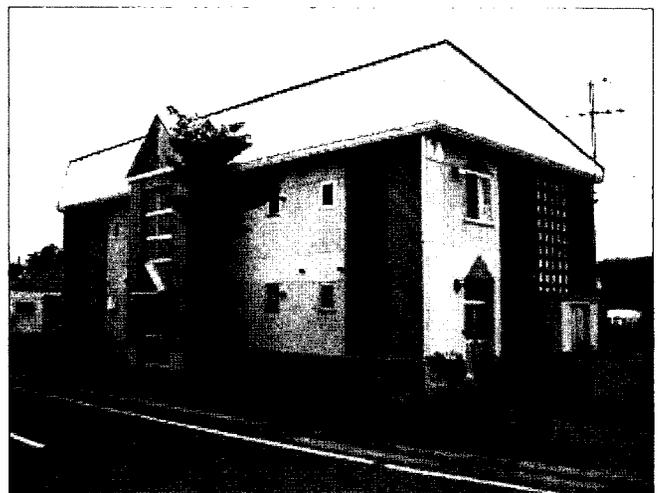
また、北見特有の気候・風土にあった雪と寒さに強い住宅環境づくりにも配慮している。

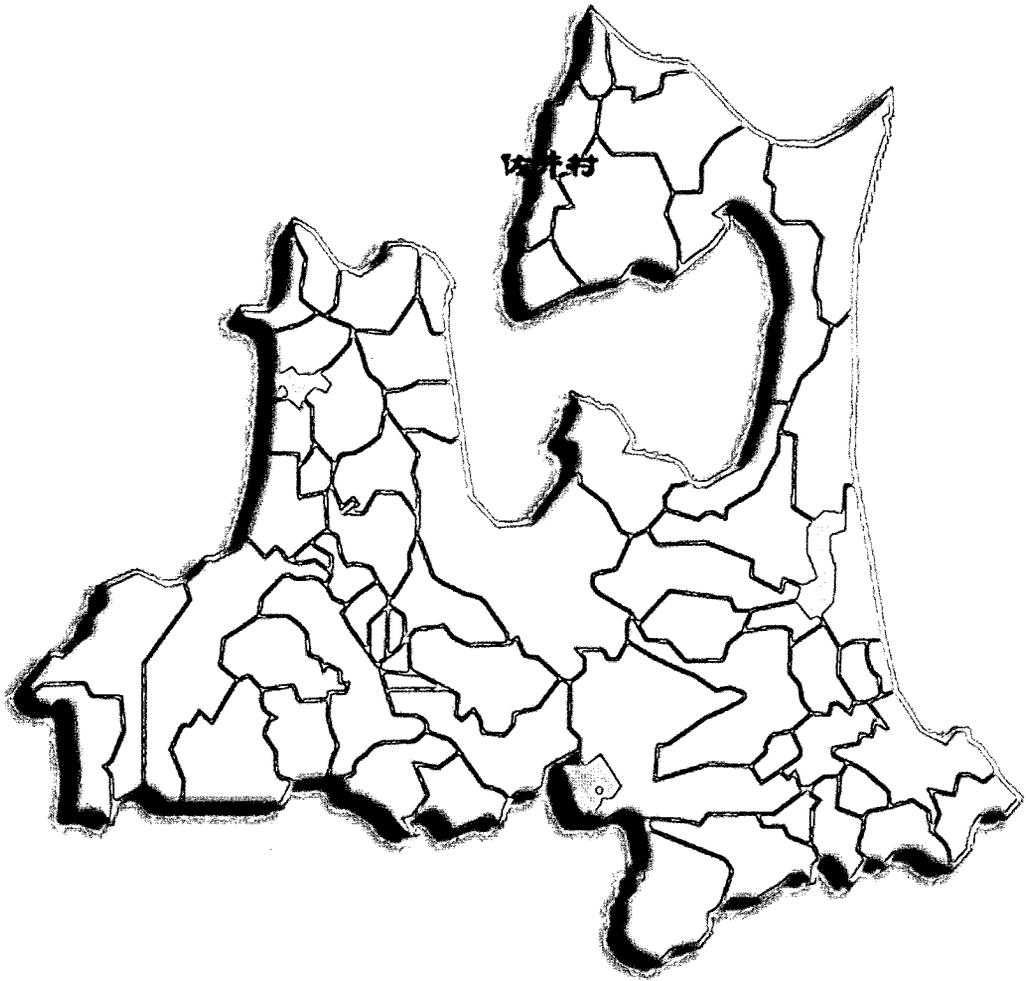


計画概要

敷地面積	2,965.64㎡
建築面積	172.10㎡ (1、3号棟) 177.34㎡ (2号棟)
延べ床面積	84.10㎡ (団地集会場) 323.02㎡ (1、3号棟) 332.66㎡ (2号棟) 67.23㎡ (団地集会場)
構造	コンクリートブロック造 一部鉄筋コンクリート造、木造 (団地集会場)
型式	積層型
タイプ別住戸面積	59.16㎡ (1、3号棟2LDK) 2戸 68.39㎡ (1、3号棟3LDK) 6戸 70.80㎡ (2号棟3LDK) 4戸
住戸数	12戸 (1棟4戸×3棟)
階数	2階
街路事業	相内駅前横道路延長 (551.71m) 駅前広場、駐輪場 (65台収容)

事業実施場所	北見市相内町357番地の6
事業種別	住宅団地、団地集会場、道路、駅前 駐車場、駐輪場
事業制度	公営住宅事業、特定交通安全施設等 市整備事業
事業主体	北見市
事業実施年度	平成7年度





青森県
HOPE奨励賞受賞市町村

古佐井大町地区村営住宅整備事業

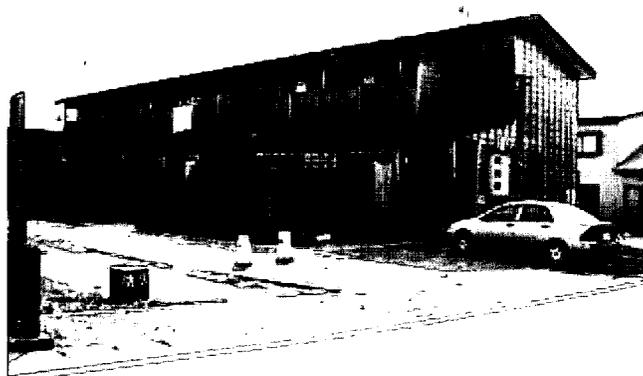


事業概要

- 住民参加により策定した住宅マスタープランが基本となっている。
- 佐井村マスタープランの周知等を図るためのモデル住宅としての役目を果たしている。
- 木の香る佐井村らしい家づくりのため、気候風土を生かし、昔ながらの町並み・雰囲気を変えない伝統的建築物を意識した外観として、外壁を下見板とした。また、伝統文化を継承する構造等として、ウッドデッキ設置等の工夫を行っている。
- 地場産材活用（青森ヒバ等）による住宅整備。
- 地域の活性化のための住宅整備。
- 地域人材の活用や地域人材の育成を考えた住宅整備事業。

計画概要

敷地面積	1275.7㎡
建築面積	269㎡
延べ床面積	399.9㎡
構造	木造2階
型式	1棟5戸2LDK
タイプ別住戸面積	79.9㎡
住戸数	5戸
階数	2階



事業実施場所	下北郡佐井村大字佐井字古佐井68番地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	佐井村
事業実施年度	平成10年度実施・完了

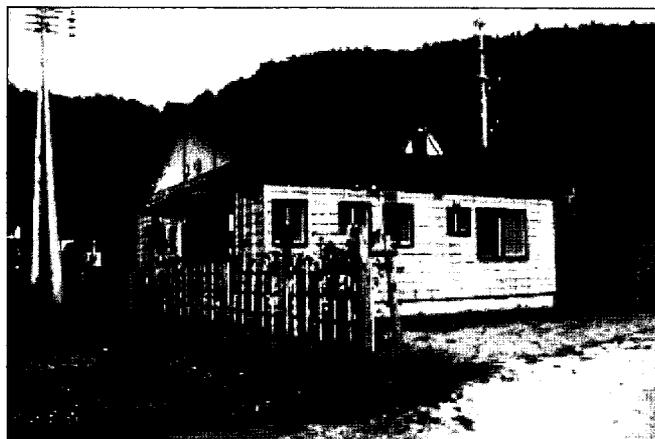
☆ 佐井村 ☆

大佐井新町地区村営住宅整備事業



事業概要

- 住民参加により策定した住宅マスタープランが基本となっている。
- 佐井村マスタープランの周知等を図るためのモデル住宅としての役目を果たしている。
- 木の香る佐井村らしい家づくりのため、気候風土を生かし、昔ながらの町並み・雰囲気を壊さない伝統的な建築物を意識した外観として、外壁を下見板とした。また、伝統文化を継承する構造等として、ウッドデッキ設置等の工夫を行っている。
- 地場産材活用（青森ヒバ等）による住宅整備。
- 地域の活性化のための住宅整備。
- 地域人材の活用や地域人材の育成を考えた住宅整備事業。

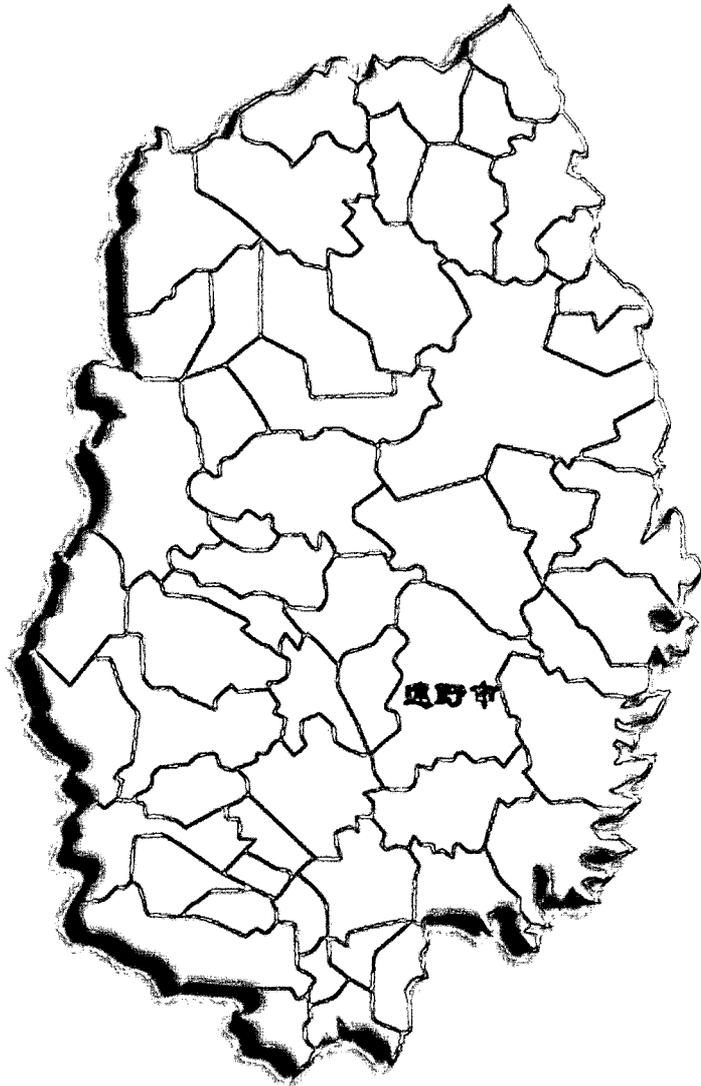


計画概要

敷地面積	1699.94㎡
建築面積	421.7㎡
延べ床面積	393.3㎡
構造	木造平屋
型式	5棟5戸2LDK
タイプ別住戸面積	78.66㎡
住戸数	5戸
階数	1階

事業実施場所 下北郡佐井村大字佐井字大佐井川目39番地13
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅整備事業
事業主体 佐井村
事業実施年度 平成11年度実施、平成12年度完了





岩手県

HOPE奨励賞受賞市町村

☆ 遠野市 ☆

遠野駅稲荷下線街路事業



事業概要

大工町通りの街並み形成が、他の地区にも何らかの影響を与えているようで、この通りも、その影響を受けた地区である。

これまで、各々が軒の高さや色彩を競っていたことから、歩調を合わせて街づくりを進めることが、自分の地域を自慢することになり、このことは、他から見ても、すばらしい事ように映るようである。

他方、建築士にも、少しずつ変化が見え始めてきている。これまでは、ユーザーから一方的な注文のみの姿勢から、景観づくりや街並み形成への意識が高まり、ユーザーを、自ら説得する姿勢が見えてきた。「自分たちの地域は、自分たちで創る。」という意識は、ホープ計画の本来の目的でもあり、この地に根ざしてきているようである。

この通りと稲荷下地区の街並みや家並みは、まさしくその前兆である。

計画概要

この通りは、市街地の東側で整備が進められている稲荷下地区土地区画整理事業区域と駅前商店街とを結ぶ幹線道路（新設）ある。

この稲荷下地区は、昭和55年頃から家屋の移転事業が進められ、新市街地としての様相を呈し始め、また大工町通りの影響を受け、遠野の新しい家並み景観を形成しつつあった。この通りは、この区域の導入部としての新たな街並みが期待されていた。

事業概要

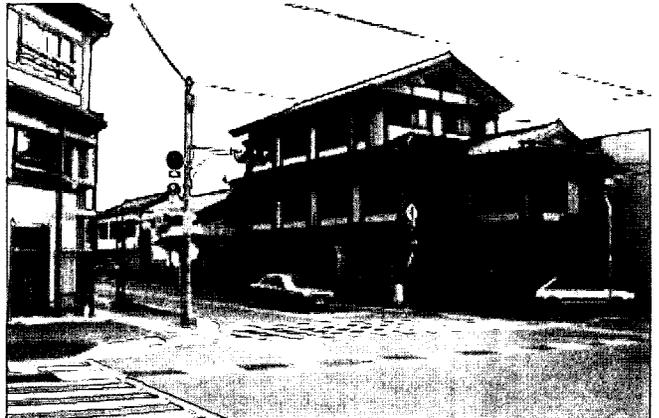
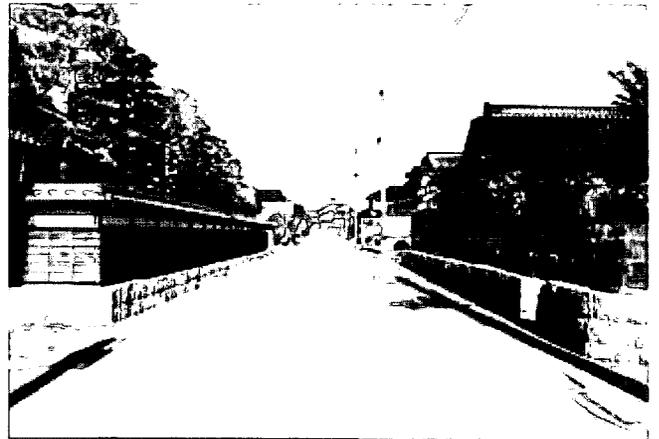
延長60m

幅員12m

地権者3戸

事業費210,000千円

(用地補償費204,200千円 工事費5,800千円)



事業実施場所	遠野市穀町地内
事業種別	道路
事業制度	都市局所管街路事業
事業主体	遠野市
事業実施年度	昭和62年度～平成元年度

☆ 遠野市 ☆

遠野駅周辺整備事業



事業概要

この計画を機に駅前再整備に着手し、中心市街地の核としての景観形成とその機能回復が図られた。

【機能回復】 狭小駅前広場を、用地を確保し、ロータリー化し、バス・タクシー・一般車両・歩行者の機能分離を図った。

【保存活用】 JRの合理化計画（縮小配置転換）中、駅舎の保存を要請した。結果、主屋を全面的に既存状態での改修を行い、さらに内部の模様替えを行い、ホテルとして再生された。

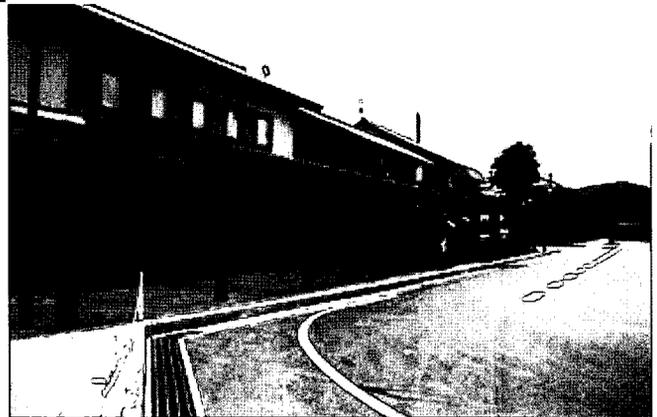
【機能附加】 唐松大断面構造用集成材を活用し、バスなどの乗降場（通路）を屋根で（アーケード的に）覆った。また同時に、駅前交番をカッパ風のデザインでの改築や観光物産館を（木造で）新築した。さらに「民話通り」の起点としてのポケットパークや彫刻を配するなど、「遠野の顔」としての機能の充実を図った。



計画概要

当市の中心市街地の自慢の一つに遠野駅舎がある。昭和20年代初期の建築様式（ブロック造）で造られ、国内で現存する数少ない駅舎の一つである。しかし、この駅前広場は、時代の変化と車社会の到来により、その機能低下が余儀なくされ、駅周辺の全体的な再整備が求められていた。こうした状況を踏まえ、駅舎の保存、改修と駅周辺の再編計画を提案。

事業実施場所	遠野市新穀町地内
事業種別	公共施設
事業制度	遠野市独自事業一部ふるさと創生事業（ポケットパーク）
事業主体	遠野市
事業実施年度	昭和63年度～平成2年度



☆ 遠野市 ☆

大工町通り



事業概要

街づくりのモデルケーススタディとして、また具体的整備計画案が即事業化に結びつくことを期待し、居住環境の整備地区として選定した。

沿線住民との街づくり懇談会を重ね、合意形成を図り、街路事業と並行し、街並みを整備した。街づくり計画では、法的な拘束力を避け、住民の紳士協定より景観形成を図った。協定の主な内容は次のとおりである。

- ①階数・高さ：階数は原則として2階まで 軒高は街並みに揃える
- ②屋根：原則切妻で、下屋等のある建物とする 勾配は隣接の建物に合わせる 原則瓦葺きで、色彩は黒系を基本とする 軒裏は化粧垂木とする。
- ③壁面：色彩は土壁風で、付柱、櫛形梁等により和風感を表現 腰は下見板張 開口部は木製建具、サッシは濃茶色とする（景観形成への補助は無）

公共空間のグレードアップとして唐松の木歩道板227m、木柱歩道灯、電話ボックス、案内板、掲示板等を整備した。また沿線住民による「もみじ会」が組織され、「大工町通りのうるおいある景観を守り育てる協定」が締結され、県の景観形成住民協定の認定（第1号）がなされた。

計画概要

- 1627年八戸南部からの移住で大工、左官、桶職人を住ませた通りで、職人町である。また、西には寺院が連亘して、門前町でもある。
- 街並みの形態は、階高の低い力天井の木造2階建築で、伝統技法の櫛形梁が随所にみられた。しかし、幅員が狭小のため事業が導入された。
- 事業概要 延長383m 幅員12m (4~6m)
地権者45戸
事業費816,000千円
(用地補償費510,000千円 工事費816,000千円)



事業実施場所	遠野市大工町地内
事業種別	道路
事業制度	都市計画街路事業 岩手県地域活性化事業推進補助等
事業主体	遠野市
事業実施年度	昭和53~63年度



☆ 遠野市 ☆

大手門通り



事業概要

街づくりのケーススタディの2番手として、住民の合意形成を図りつつ、街路事業と並行し、街並みを整備した。藩政時代の城下から山城の大手門に通じる路線であることから、城下町を意識した景観形成を図った。街づくり案は、紳士協定とし、大工町通りとほぼ同様であるが、この通りは白壁を基調としている。

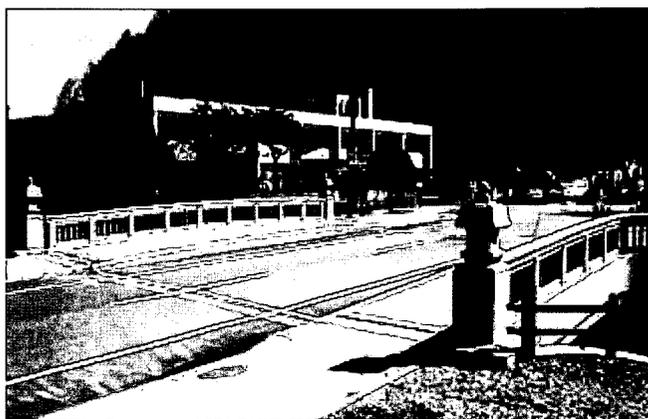
(景観形成への補助は無)

公共空間のグレードアップとして、歩道を洗出平板ブロック敷や大手橋の架け替えに伴い、親柱と高欄を石でデザインするなどイメージアップを図った。

また、この通りを含んで、遠野駅と市民センター・鍋倉公園を結ぶ都市軸としての街路に、「民話にちなんだ彫刻」を配したポケットパーク5ヶ所設け、この通りを「民話通り」と称し、市民や観光客に親しまれている。

計画概要

- 通りの南には遠野南部氏居城の鍋倉山がある。内堀の来内川を挟んで城下が形成され、この通りは、城の大手門と城下を結ぶ重要路線であった。
- 遠野物語をテーマにした「とおの昔話村」が隣接し、また白壁が基調な城下町のたたずまいである商家の土蔵がある。
- 事業概要 延長150m (橋梁含)
幅員15m (5m)
地権者7戸
事業費497,000千円
(用地補償費398,000千円 工事費99,000千円)



事業実施場所	遠野市中央通り地内
事業種別	道路
事業制度	都市計画街路事業等
事業主体	遠野市
事業実施年度	昭和61～63年度

☆ 遠野市 ☆

木工団地整備事業
(遠野地域木材総合供給モデル基地整備事業)



計画及び事業概要

豊富な森林資源に恵まれ、地域経済を支えてきた林業やその関連産業の生産力が低下している。また地域間競争に対抗するためコスト縮減対策や加工技術の向上が求められている。これらの状況を打開し、基幹産業としての森林・林業・木材加工産業を再生するため、川上から川下までの関連産業が協同組合を結成し、団地化を目指し、事業を展開してきた。

団地の施設概要：

- ①遠野地方森林組合<原木集出荷>
- ②(協)リッチヒル遠野<製材>
- ③遠野木材工業(協) <木材乾燥>
- ④(協)遠野グルーラム<集成材加工>
- ⑤遠野木材加工事業(協) <プレカット・パネル加工>
- ⑥(協)ノッチ・アート遠野<木製建具加工>
- ⑦北上山地家具製作(協) <木製家具加工>
- ⑧遠野住宅建築事業(協) <高次加工>
- ⑨森林総合センター<需要拡大・林業センター>
- ⑩遠野地方森林組合
- ⑪遠野高等職業訓練校

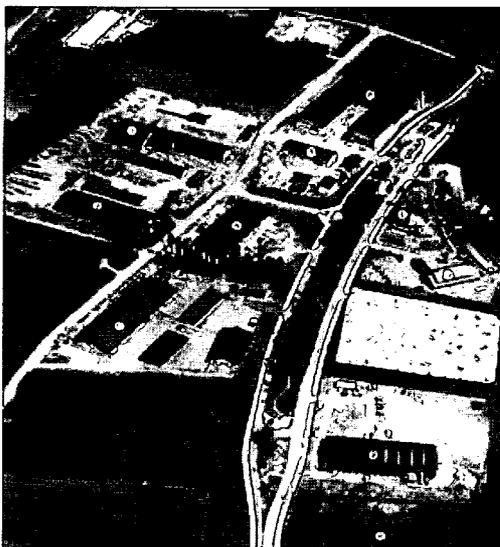
・総事業費7,507,410千円(施設整備・加工機械費6,352,760千円、基盤整備費891,650千円、用地費263,000千円)敷地規模約30㍍

<木材産業の総合システム化へ向けて>

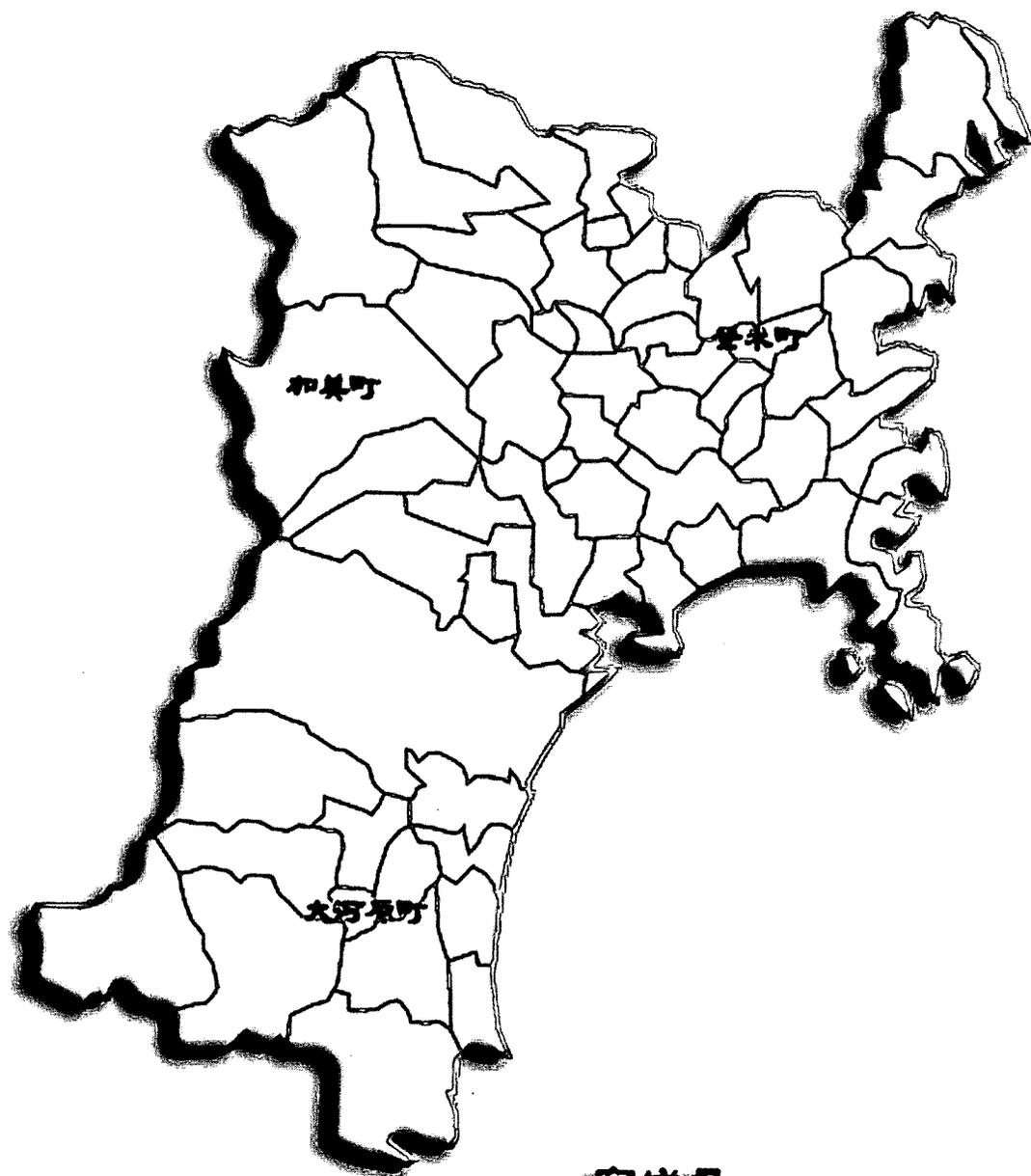
これまでは各組合独自の製造と販売であったが、加工集積基地として完成をみたいま、各施設の連携を高めた商品開発、需要者ニーズへの対応や最終加工商品化の供給体制の整備をすすめているところである。

体制整備の内容：

- ①モデル基地内の連携強化と商品開発<コストの低減、木材の有効活用>
- ②消費者ニーズへの対応<製品の信頼性>
- ③「新遠野住宅」供給システムの確立<コストから品質まで>
- ④外構部材の加工<環境配慮材>
- ⑤設計・営業の強化<専門家の配置>



事業実施場所	遠野市青笹町中沢地内
事業種別	民間施設等
事業制度	林業構造改善事業・林業地域総合整備事業
事業主体	遠野市・森林組合・協同組合等
事業実施年度	平成5～15年度



宮城県
HOPE経済圏及び市町村

町営並柳ホープ住宅建設事業



事業概要

町の風土、伝統、文化等を踏まえ、新たな伝統、文化を創造し個性ある町づくりを進める為に、町民一人ひとりの熱意と創意工夫による、地域にふさわしい住宅づくりをとおして、良好な街並形成を促進し、郷土を、より愛着と誇りあるものにする事を目指すものであり、また、木造軸組工法を推奨し、地域産業の活性化を図ることを目的として事業実施をしたものである。実施に際しては、これからの街並みや住まいづくりのモデルとなるよう、横丁と露地の連続性の景観を取り入れながら、藁の家並みを醸し出す為に瓦と漆喰と木で統一された家並み、情緒ある露地空間、火の見櫓、干支を彫り込んだ門、枕木の歩道等創意工夫をこらし、大工さんのほか地元職人が腕を奮って創りあげたものである。



計画概要

住宅団地敷地面積	5,030㎡
型別住戸概要	
Aタイプ戸当り床面積	68.73㎡
	木造2階建2戸1棟型 8戸
	木造平屋建戸建型 1戸
Bタイプ戸当り床面積	72.04㎡
	木造平屋建戸建型 3戸
Cタイプ戸当り床面積	74.94㎡
	木造2階建2戸1棟型 6戸
	木造平屋建戸建型 1戸
集会室床面積	68.73㎡

事業実施場所 加美郡加美町字赤塚190番地
 事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅事業
 事業主体 加美町
 事業実施年度 昭和62年度～昭和63年度



花楽小路(からくこうじ) 整備事業



事業概要

整備区域は古くから中心商店街として栄え、650年の歴史を持つ「火伏せの虎舞」や夏祭りなどに利用されてきた道で、道路機能のみならず町民の集う広場としての役割を担ってきている。そこで中心商店街の景観づくりと活性化のため、地域の個性を演出するフェスティバルモールとして住民と共に創りあげたものである。

街路は無電柱化とし、ナナカマドやシラカシの街路樹が植えられ、歩道と車道の段差をなくし、一体的な空間が保たれるよう工夫されている。

路面には全面みかげ石が敷きつめられ、西欧風の落ち着いた佇まいを見せている。また、歩道と車道を区分する車止めには、バッハの顔や音符が刻み込まれているほか、街路灯には宇宙をイメージさせた星座と音楽をイメージさせた楽器の飾りが付けられ「歩いてみたくなる」街路をめざした。

街路は「花楽小路」と名付けられ、「花楽市」を始めとする商店街の新しいイベント等も加わり、フェスティバルモールとして広く活用されている。



計画概要

商店街街路	
事業延長	459m
幅員	12m
御影石舗装(歩車道共)	5,180
車止め(赤御影石)	238基
街路樹	47本
ポケットパーク	1ヶ所
バス待合所	1ヶ所
街路灯(飾りの部分に音楽と宇宙をデザイン)	42基

事業実施場所 加美郡加美町字南町・西町地区

事業種別 商店街街路

事業制度 花と緑の都市モデル地区整備事業

事業主体 加美町

事業実施年度 昭和62年度～平成2年度



県営大河原結ヶ丘住宅



事業概要

大河原町営稗田前第二団地の老朽解体に伴い、事業主体を大河原町から宮城県に変更し、県営大河原結ヶ丘住宅の建設事業がスタート。大河原町では、大河原町HOPE計画に基づき基本設計段階から積極的な関わりを持ち、環境共生型住宅、コーポラティブ（共同育成）の提案を行ってきた。

結ヶ丘住宅は、3つの小グループによる住宅郡（結）によって構成され、それぞれの結は緑・風・光をテーマとし、それにふさわしい設え、デザインとした。具体的には、地球環境の保全という観点から、コンポストの設置、エアサイクルシステム（外壁通気工法）の採用、排熱塔の設置、高性能合併浄化槽の設置、この処理水を団地内のせせらぎ・池として利用、ごみ分別スペースの設置、耐久性の高い部材（青森ヒバ等）の使用、環境共生型ライフスタイルの啓蒙として、住まい方提案の手引きを入居者へ配布・説明を実施した。周辺環境との調和の観点から、画一的にならないデザインとし、各住戸の家庭菜園の設置、団地内の共同菜園の設置、折置組による木造伝統工法を採用し、屋根を瓦、室内の壁を塗壁とした。住宅内の住環境の健康性・快適性等の観点から、多目的スペース（作業場）の設置、浴室を高齢者仕様とし、便所、階段に手すりを設け、各室間の段差を解消するなど高齢者に配慮した設計としている。



計画概要	
敷地面積	3257.15
延べ床面積	全945.85
構造	木造
型式	戸建
タイプ別住戸面積	74.7～79.9 (3LDK6棟、4K6棟)
住戸数	12戸
階数	2階建

事業実施場所	柴田郡大河原町大谷字稗田前 56-1, 56-16
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	宮城県
事業実施年度	平成6年度

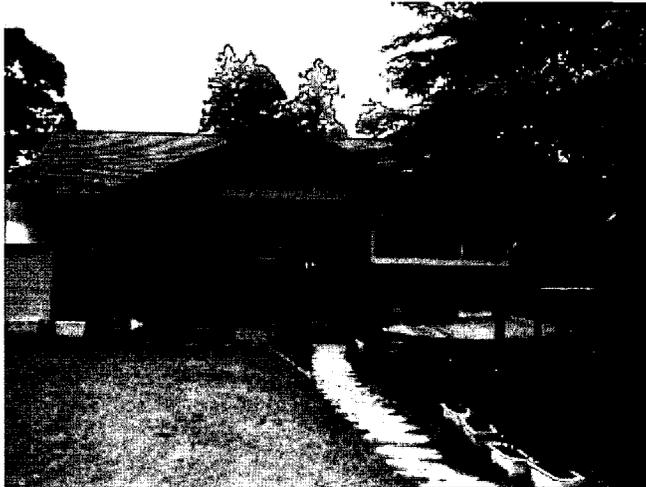


一連の集会所



事業概要

大河原町では、集会所等の新築・建替えの際に大河原町HOPE計画による大河原型住宅の理念に基づいた建設を行っている。平成5年度に完成した新開集会所については、自然素材を使用し景観に配慮した外観、通気工法を取り入れた屋根、排熱窓の設置や、和室・ホール・廊下との段差を無くし使い勝手を考慮した事に加え、外部にウッドデッキを設けコミュニティの屋外活動にも対応した設計としている。平成8年度に完成した金ヶ瀬中央集会所については新開集会所と同様に自然素材を使用し景観に配慮した外観、通気工法を取り入れた屋根、排熱窓の設置に加え、外構部の舗装を透水性舗装とした事や、シンボルツリーの設置、道路歩道部分と一体となったベンチの設置等を行っている。

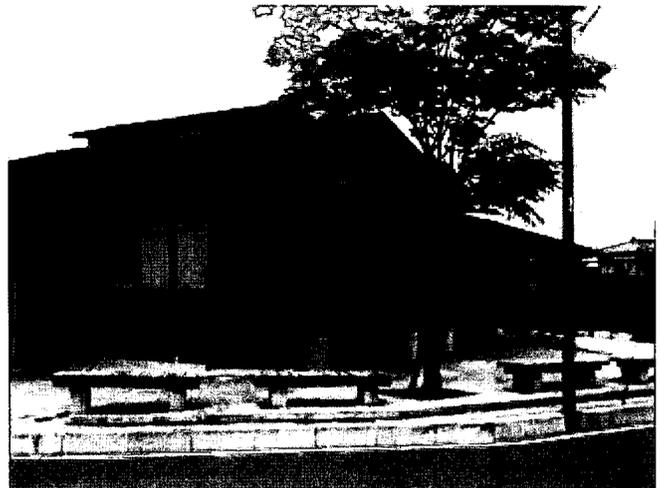


新開集会所

計画概要

新開集会所	
敷地面積	526.654
建築面積	77.805
延床面積	74.529
階数	1階
構造	木造
金ヶ瀬中央集会所	
敷地面積	479.39
建築面積	187.84
延床面積	173.07
階数	1階
構造	木造

事業実施場所	柴田郡大河原町金ヶ瀬字新開地内、金ヶ瀬字町地内
事業種別	公共施設
事業主体	大河原町
事業実施年度	平成5年度～平成8年度



金ヶ瀬中央集会所

☆ 登米町 ☆

県営登米前橋住宅建設事業



事業概要

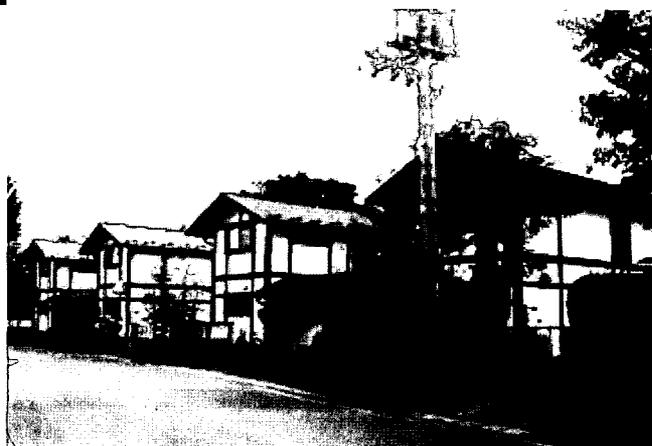
HOPE計画関連事業の一環として、町が「とよま・だてないえづくり公営住宅デザインコンペティション」を実施し、県が建設したものである。計画に当たっては、登米伊達家時代の町割りが残る武家屋敷地区、白壁の蔵づくりを中心とした町家地区及び旧登米高等尋常小学校、警察資料館、旧水沢県庁等の明治初期の洋風建築等登米町の歴史的な街なみ、風土と調和するとともに、豊かな地域生活を営むことができる新しい拠点となるような住居を創造し、とよまのいえのモデルとして、また、新しい街なみ形成のモデルとして先導することをめざした。

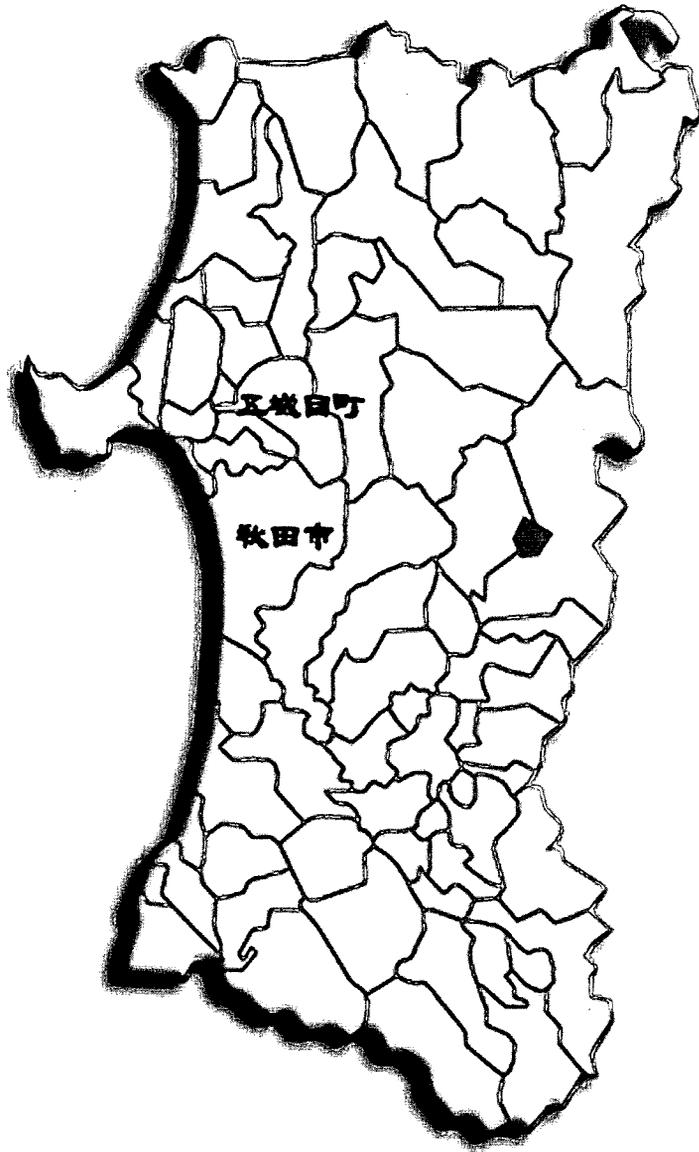


計画概要

住宅団地	
敷地面積	1,059.43㎡
建築面積	296.28㎡
延べ床面積	412.26㎡
構造・階数	木造2階建
型式	2戸1長屋建
住宅タイプ	2LDK
戸当り床面積	68.71㎡
住戸数	6戸
集会室	木造平屋建 79.50㎡

事業実施場所	登米郡登米町寺池前橋9-4、5
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	宮城県
事業実施年度	平成2年度





秋田県
HOPE拠点市町村

五城目町営矢場崎団地



事例その1 矢場団地整備事業

事業概要

区画街路③号線④号線道路築造事業

- 道路全体は曲線を用いた線形としシークエンス景観を創造し、横断部分にハンプ等を設け、みち並みに豊かさや変化を与え、地域の特色を引き出す道路とする。

緑道整備事業

- 緑道により公園・緑地・水路沿いをネットワークして地域のコミュニケーションを図り、緑豊かな人情味豊かな地域を育む。緑道は、木レンガや砂利等を有効に用いてアスファルトにない暖かさをだし、木樹・草花の植栽により、住民の親しみのもてる小路とする。

水辺修景整備事業

- 潤いのある街づくり・緑豊かな街づくりの一環として緑道と連結する団地脇の水路沿いを整備する。整備内容として、宅地の法面への石積み、樹木の植栽、地場産材を利用した秋田杉の柵、木レンガの設置等を行い、住宅以外への秋田杉の活用を推進する。

緑地整備事業

- 緑道及び水路沿いをネットワークされた公園・緑道を団地に限らず地区全体に憩いの場として、整備する。整備は、緑を基本とした老人、子供の遊び場や散策道路を設け、町のシンボル森山や馬場目川へ展開するネットワークの一部として位置づけるよう行う。



計画概要

区画街路	延長408m (③号線287m、④号線121m)
水辺修景	延長252m
公園	1,118㎡
緑地	804㎡ (①493㎡、②311㎡)
緑道	50m (①493㎡、②311㎡)
事業実施場所	南秋田郡五城目町川崎宇宮花地内
事業種別	住宅団地、公園、道路、緑道
事業制度	街なみ整備事業
事業主体	五城目町
事業実施年度	昭和60年度～平成元年度

事例その2 町営矢場公営住宅

事業概要

秋田杉の活用と需要拡大を図るため、住宅の構造材、造作における架構、部材の整理・規格化を行い、経費の削減、工期短縮を図ると共に、杉のもつ木目の美しさ、やわらかさを生かした地域性、街並の調和を配慮した、町・地元間連業界において、研究・開発されたモデル木造公営住宅。

計画概要

敷地面積	214.22㎡～413.11㎡
建築面積	61.27㎡～67.07㎡
構造	木造平屋、1戸建
タイプ別	第一種 67.07㎡
住宅面積	第二種 (1・2) 61.27㎡
事業実施場所	南秋田郡五城目町川崎宇宮花地内
事業種別	公営住宅
事業制度	公営住宅建設事業
事業主体	五城目町
事業実施年度	昭和60年度～平成元年度



☆ 秋田市 ☆

県営・市営旭南団地



事業概要

当団地は、JR秋田駅より西2km、秋田市役所より南東1kmに位置し、敷地の西側を県道新屋・土崎線が通っている。

狭小で老朽化が著しかった昭和27、28年建設の市営住宅と昭和32年建設の県営住宅を、県と市が一体となり建替事業を実施したもので、高層化により敷地を有効に活用し管理戸数を確保するとともに、デイサービスセンターの併設や高齢者用設備の導入など、高齢者への対応を積極的に進め、地域の福祉サービスの拠点となるよう整備を行った。



計画概要

敷地面積 4,624㎡ 市有地2,700.00㎡
県有地1,924.21㎡

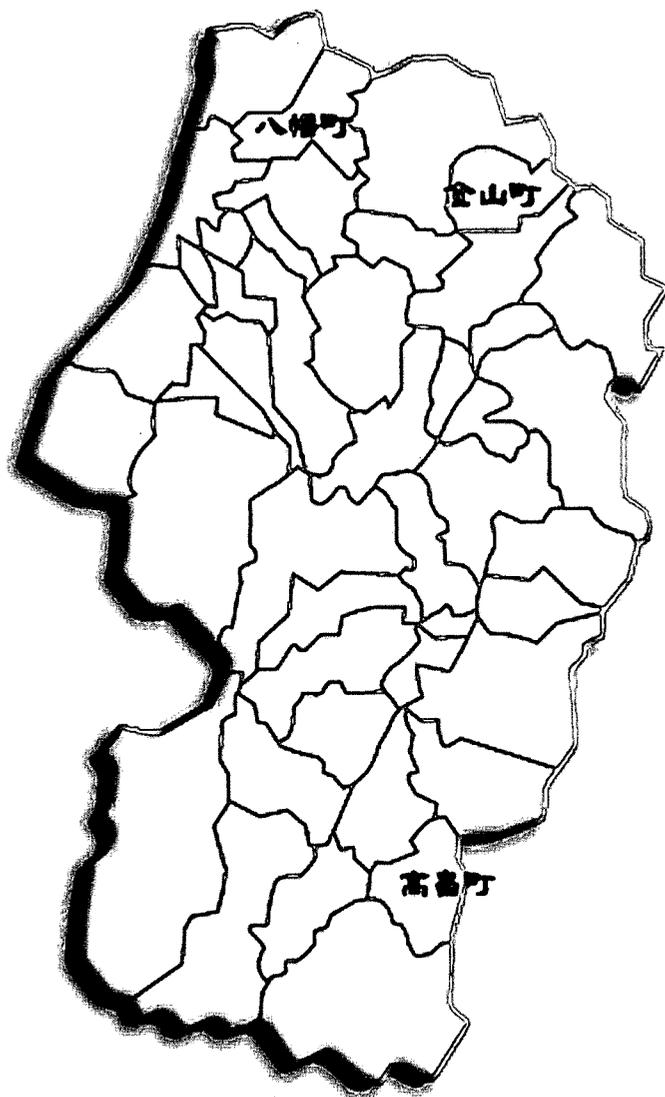
建築面積・延床面積・構造：

種別	構造	建築面積	延床面積
県営	中耐3	676.68㎡	1,743.12㎡
市営	中耐3	599.58㎡	1,417.59㎡
	高耐8		1,938.15㎡
サービス	耐火1	671.71㎡	530.48㎡

タイプ別住戸面積及び戸数：

種別	型別	戸数	住戸面積
県営	2DK	6戸	61.0㎡
	3DK	14戸	70.0㎡
市営	2DK	23戸	55.6㎡
	3DK	17戸	67.㎡

事業実施場所 秋田市旭南一丁目8番地
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 秋田県・秋田市
事業実施年度 平成5年度～平成6年度



山形県

HOPE奨励事業実施市町村

町営住宅御入水団地建設事業



事業概要

- 計画の目的
- HOPE計画を具体化したデザインとする。
- 屋根の形を明確に表現する。
- 住棟を分けることで周辺に対する圧迫感をなくする。
- 棟と棟の間に適当な大きさの中庭的空間を設けることで、豊かな表情を表現する共有の空間をつくる。



計画概要	
敷地面積	2,094㎡
建築面積	730㎡
延床面積	1,393㎡
構造	鉄筋コンクリート造
型式	積層型
タイプ別住戸面積	2DLK 57.5㎡ 2LDK 70.6㎡ 3LDK 71.3㎡～74.1㎡
住戸数・階数	16戸、2～4階
事業実施場所	高島町大字安久津地内
事業種別	町営住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	高島町
事業実施年度	平成4年度～平成5年度

☆ 金山町 ☆

集落移転事業（南沢住宅）



事業概要

金山町の中心部から西に1.2kmに位置する後川地域は、漆野地区に属するが、集落の中心地から4km、最寄のバス停まで8km程離れた山間僻地に5戸点在していた。当地域に通じる道路は幅員も狭く、土砂崩れや道路の陥落危険箇所が随所に存在し、地形的な制約から道路整備は困難な状況にあった。

このような状況の中、地域住民と協議した結果、町中心部に集団移転（5戸）する運びとなった。

住宅建築にあたっては、昭和59年度に策定したHOPE計画に基づいた、風景と調和する設計・デザインとした。



事業実施場所	金山町内町地内
事業種別	個人住宅
事業制度	過疎地域集落等整備事業（国補）
事業主体	金山町
事業実施年度	昭和61年度

計画概要	
敷地面積	1,125㎡（5戸：1戸あたり225㎡）
建築面積	63.60～80.99㎡
延床面積	113.15～136.57㎡
階数	地上2階
構造	鉄筋コンクリート造（1階） +木造（2階）

八幡町公営住宅荒町団地建設事業



事業概要

- 歴史的な町並みが将来の指針のないままリズムを失い、崩れつつあるため、町の歴史や風土、八幡らしい町並み形成プランを検討し開発した八幡型住宅で公営住宅を整備するもの。
- 切妻型で瓦屋根もしくは瓦屋根風。伝統的な景観に調和するような自然素材をできるだけ使用し、茶系又は無彩色。軒の高さを揃える。
- 八幡町地域住宅（HOPE）計画推進協議会が八幡型住宅を検討・提案したモデルで整備を進めた。



計画概要

敷地面積	2,099㎡
建築面積	938.56㎡
延床面積	838.88㎡
構造	木造
型式	戸建て 12棟

タイプ別住宅面積 及び住戸数

Aタイプ	69.40㎡	4棟
Bタイプ	70.92㎡	4棟
Cタイプ	69.40㎡	4棟

階数 平屋建

事業実施場所	八幡町麓字上川原
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	八幡町
事業実施年度	平成14年度

町営住宅桜ヶ丘団地建替事業



事業概要

- 用途地域の北端に位置し、東側には磐越自動車道・猪苗代磐梯高原ICから国道 115号線を経由し、県道米沢猪苗代線（裏磐梯へ向かう観光道路）が接続し、県道から団地後方には秀峰磐梯山が望め、優れた景観の場所である。
- 県道からの景観を考慮し、山の稜線を遮らないよう、中層（3階建）とする。また、猪苗代の基調色（7.5YR6/2）を基本色とし、景観に配慮した形態・色彩とする。また、電線の地中化を実施する。
- 建物の平面・配置プランは、平成4年から実施しているHOPE計画推進事業で地元住民参加による推進協議会（ワークショップ）で検討された、地域に根ざした質の高い住宅整備を図る。



計画概要

敷地面積	20,296.62 m ²
建築面積	2,516.88m ²
延床面積	5,310.00m ²
構造	鉄筋コンクリート
型式	積層型
タイプ別住戸面積	Aタイプ 73.77m ² Bタイプ 61.52m ² Cタイプ 75.81m ²
タイプ別住戸数	Aタイプ 45戸 Bタイプ 6戸 Cタイプ 12戸 Dタイプ 9戸 Eタイプ 9戸 Fタイプ 9戸
階数	地上3階
その他	幼児遊園1,000m ² 、集会場約70m ² 、 駐車場90台

事業実施場所	耶麻郡猪苗代町字欠上り地内
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	猪苗代町
事業実施年度	平成5年度～平成18年度

紅梅団地公営住宅建設事業



事業概要

小高町ホープ計画により提案された「海」「里」「街」の3つのタイプの公営住宅住棟を建設し、群としての住宅景観を目指しつつ、隣接する公園との一体的な整備を行った。



計画概要

敷地面積 12,425㎡
木造2階建1棟2戸タイプ 42戸

里の家 28戸
建築面積 114.28㎡
延床面積 177.22㎡

海の家 6戸
建築面積 135.81㎡
延床面積 170.59㎡

街の家Ⅰ 4戸
建築面積 109.31㎡
延床面積 178.87㎡

街の家Ⅱ 4戸
建築面積 121.96㎡
延床面積 177.22㎡
木造平屋建1棟2戸タイプ 2戸
高齢者タイプ2戸
建築面積 124.60㎡
延床面積 117.03㎡

事業実施場所 相場郡小高町西町二丁目地内
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 小高町
事業実施年度 平成6年度～平成14年度

シルバーハウジングプロジェクト
「富久山ふれあいタウン」



事業概要

- 人口の高齢化、高齢者世帯の増加を踏まえ、持ち家率の高い地方都市において、周辺住民に開放された高齢者福祉施設の整備、高齢者住宅の連携整備を図り、高齢化社会に向けて安全、安心、快適な暮らしが出来るように市営住宅の機能、高齢者住宅の機能、福祉サービスの3つの機能を持つ住宅団地。
- 中心部にデイ・サービスセンターを設け、緊急通報システムやライフ・サポート・アドバイザー（L. S. A）が勤務する。



計画概要

敷地面積	10,191.44㎡ (デ・サービス敷地 1,027.33㎡)
建築面積	1棟343.43㎡×5棟 合計 1,030.29㎡
延床面積	1棟766.74㎡×5棟 合計3,833.70㎡
構造	4棟 中層耐火3階建 1LDK 2戸 2LDK 2戸 3LDK 6戸 1棟 中層耐火3階建 1LDK 4戸 2LDK 4戸 3LDK 2戸
戸当り面積	1棟×10×5棟 合計5 1LDK 77.57㎡ 住居専用面積 51.78㎡ 2LDK 92.88㎡ 住居専用面積 67.52㎡ 3LDK 99.80㎡ 住居専用面積 74.35㎡
間取り	1LDK和6、LDK8（高齢者単身向） 2LDK和6、洋6、 LDK8（高齢者夫婦向） 3LDK和6×2、洋5、 LDK8（一般世帯向）

事業実施場所	郡山市富久山町久保田字大原123-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	郡山市
事業実施年度	平成5年度～平成6年度

商店街整備の推進



事業概要

- 駅前シンボルロード整備に合わせて、埴町商店街全体のリーディングプロジェクトとして位置づける。また、本プロジェクトをモデルとして他地域での共同店舗等開発計画を推進する。
- 駅前商店街の入り口に位置し、埴町に入るゲート的な商店の集積として機能させる。
- 大型店と競争し得る集積を形成するとともに、パティオ型大型店には無いアメニティ施設をもった空間を確保し、町内、周辺顧客の集客力を高める。
- 埴町として初めてのコンセプトをもった専門店集団を形成することによって、地元の、特に他地域に流出しがちな若い顧客の地元販売率を高める。



計画概要Forest Five (フォレストファイブ)

敷地面積	1,040.6㎡
店舗面積	856.3㎡
駐車場面積	264.4㎡
建築面積	682.6㎡
パティオ面積	358.0㎡
事業実施場所	駅前商店街
事業種別	商業施設
事業制度	埴町地域小売業活性化 推進事業（まちおこし 事業） 埴町中心商店街活性化 策定事業（中小商業活 性化事業）
事業主体	埴駅前商業協同組合
事業実施年度	平成3年度～平成9年度

☆ 埴町 ☆

町営金砂団地



事業概要

○計画の目的

桜木町団地等、既に耐用年限を経過し、老朽化が進行している、規模が小さい等様々な住環境上の問題を抱えている団地が存在し、建替等適切な活用を図ることが急務であった。

HOPE計画初年度の計画策定においても、「魅力ある住宅づくり」の一環として、町営住宅の活用・更新を図ることが挙げられており、地場産木材を活用した事業の展開が望まれていた。

以上の点を踏まえ、本計画は、町営桜木町団地の一部（B団地）の敷地を有効に活用すると共に、HOPE計画の主旨に基づき新たな町営金砂住宅団地を建設することにより、埴町の町営住宅団地全体の居住水準の向上と、新たな町営住宅団地の需要層に対応することを目的として計画した。

○特殊工法、伝統工法

より木造の趣を出すために外装の大壁に付け柱をして新壁風に。腰壁には下見板張りを使用した。

○地場財産活用

地域経済・産業の振興を図るため埴型住宅は木造住宅とする。

○住民参加

アンケート調査等におけるニーズへの対応（続き間を持つ住戸タイプの設定、DKと連続する和室の設置、2階居室は洋室とする等）



計画概要

敷地面積	10,875㎡
建築面積	1,836㎡(住戸面積)
構造	2戸1棟 木造軸組工法 2階建・平屋建
型式	2階建 20戸(全戸二種) 平屋建 6戸(全戸二種、高齢者施設対応)
タイプ別住戸面積及び住戸数	Aタイプ 20戸(二種・2階建) 3LDK・住戸専用床面積約 75㎡ Cタイプ(高齢者世帯対象) 6戸 (一種・平屋建) 2DK・住戸専用床面積約 53㎡
公園	二カ所 計 287㎡
事業実施場所	埴町大字桜木町他
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅
事業主体	埴町
事業実施年度	平成3年度～平成11年度

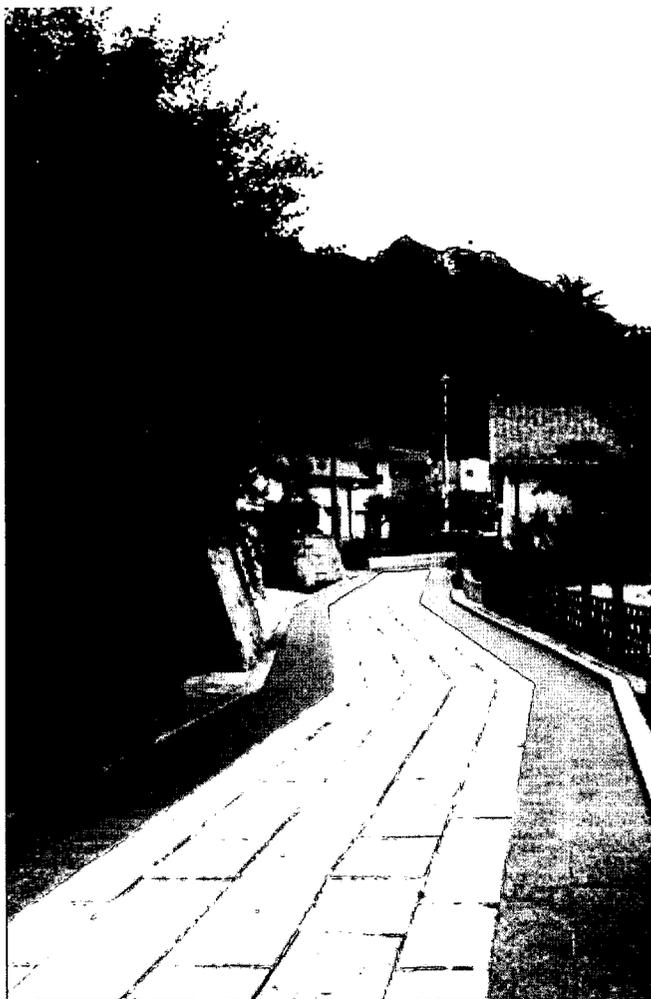
大町地区街なみ環境整備事業



事業概要

当該地区の敷地形状は、表通りから背後の山裾まで延びる城下町時代からの短冊型敷地が連なり、角地や参道に面する敷地の一部には、切り売り等された狭小宅地や不整形宅地が見られる。表通りに面して商店が建ち並び、敷地奥には住宅あるいは幾度かの大火を免れた蔵が建ち並んでいる。

歴史と緑といった当地区の景観特性を活かし裏道（通路）を整備し、小公園をこらと有機的に結びつけて整備している。



計画概要

協定地区面積	0.56ha
通路延長	85.45m(御影石舗装)
事業実施場所	三春町字大町地内
事業種別	通路
事業制度	街なみ環境整備事業
事業主体	みどりの小径(その2)街づくり協定地区
事業実施年度	平成5年12月14日協定承認



大町地区街なみ環境整備事業



事業概要

当該地区の敷地形状は、表通りから背後の山裾まで延びる城下町時代からの短冊型敷地が連なり、角地や参道に面する敷地の一部には、切り売り等された狭小宅地や不整形宅地が見られる。表通りに面して商店が建ち並び、敷地奥には住宅あるいは幾度かの大火を免れた蔵が建ち並んでいる。

歴史と緑といった当該地区の景観特性を活かし裏道（通路）を整備し、小公園をこらと有機的に結びつけて整備している。



計画概要

協定地区面積	0.77ha
通路延長	98.87m(御影石舗装)
小公園	1ヶ所

事業実施場所	三春町字大町地内
事業種別	公園、通路
事業制度	街なみ環境整備事業
事業主体	御蔵下街づくり協定地区
事業実施年度	平成6年3月3日協定承認



蔵移築再生事業



事業概要

喜多方市HOPE計画のテーマである

- 「喜多方のいきいきとした蔵なみづくりをめざして！」
- 蔵づくり文化を現在新たに」
- 「蔵づくりの建物のもつ生活文化やデザインの再生」に基づき、失われつつある、喜多方市の伝統的町並みの保存・再生を目指す。

既存の蔵を解体・移築再生することにより、喜多方の蔵の伝統技法について調査・研究し、資料の収集及びその保存継承を目的とする。



計画概要

敷地面積 4,350.67㎡
 東側ブロック1,679.63㎡ 西側ブロック2,671.04㎡
 建物群総合計 建築面積1,466.68㎡
 延床面積1,449.24㎡

東側ブロック(7棟)

イベント蔵 : (一部二階) 建築面積 121.29㎡
 延床面積153.21㎡

事務所蔵 : (一部二階) 建築面積 34.12㎡
 延床面積 51.06㎡

展示蔵A : (一部二階) 建築面積 41.44㎡
 延床面積 57.68㎡

展示蔵B : (一部二階) 建築面積 33.46㎡
 延床面積 45.37㎡

店蔵 : (一部二階) 建築面積 90.39㎡
 延床面積 106.57㎡

座敷蔵 : (一部二階) 建築面積 133.72㎡
 延床面積 124.70㎡

展示蔵C : (一部二階) 建築面積 48.25㎡
 延床面積 41.04㎡

旧外島家住宅(県指定重要文化財—郷頭住宅)
 建築面積 293.90㎡ 延床面積 269.85㎡

西側ブロック(2棟)

蔵美術館 : 建築面積 396.69㎡
 延床面積 302.71㎡

蔵収蔵庫 : 建築面積 280.63㎡
 延床面積 279.05㎡

事業実施場所 喜多方市字押切109
 事業種別 公共施設
 事業制度 まちづくり特別対策事業
 事業主体 喜多方市
 事業実施年度 昭和63年度～平成6年度

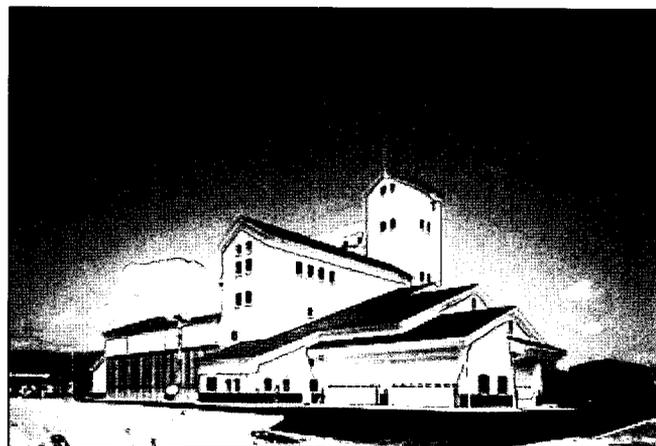
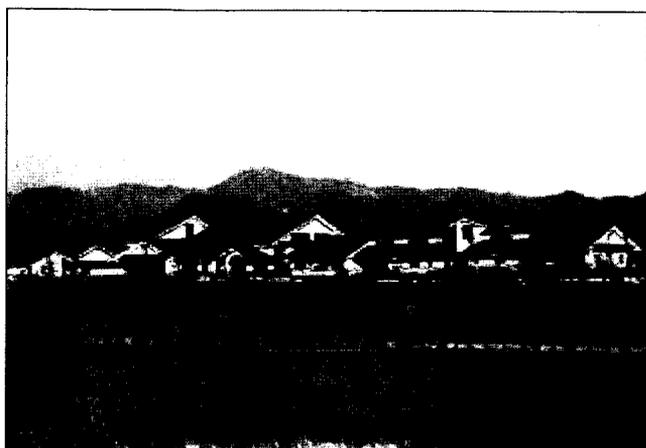


HOPE計画建築文化賞



事業概要

- 住宅建築の部
- 一般建築の部
- 修景・緑化の部
- バリアフリーの部



計画概要

喜多方市HOPE計画建築文化賞は本市特有の環境を生かし、市民の都市景観に対する関心と市の建築文化を高め、高齢者等に配慮する意識の高揚を図るとともに、個性的で魅力あるまちづくり運動の展開に寄与する事を目的とする。

事業実施場所 喜多方市内に建築された建築物
事業種別 個人住宅、一般建築物及び修景緑化

事業制度 喜多方市HOPE計画建築文化賞表彰実施要綱

事業主体 喜多方市

事業実施年度 平成元年度から第7回目までは毎年開催、平成8年度以降隔年開催



☆ 喜多方市 ☆

歴史のみちすじ



事業概要

喜多方の蔵の町並み(歴史的環境)を守りつつ、生活環境を改善し、住みよい街をつくるための街路事業。歴史のみちすじは(歴道)は、喜多方の環境にふさわしい道をつくり、住む人、訪れる人とが喜多方の歴史、素材にふれることのできる道空間として整備されています。

喜多方の産業を象徴する醸造蔵、漆器蔵と中心商業活動が調和する都市軸の形成を目指しています。道筋の途中には、小公園(ポケットパーク)を整備し、来訪者の憩いの場所であると同時に地域住民とのふれあいの場を提供しています。

ポケットパーク用地の無償貸付の協力や、特定郵便局を煉瓦造りに改築するなど地域の協力を得た街並みの整備が実践されています。



計画概要

「緑陰の道」、「蔵を訪ねる道」延長L=1,320m

「旧津川街道」延長L=234m

蔵並みに調和した落ち着いた雰囲気と快適な道空間を演出するため、舗装を石畳風にし、沿線にはポケットスペースを設置、案内板やトイレ等を併設し観光客の休憩や地域住民の憩いの場所を提供している。

地区の歴史的景観をたどる道筋として、来訪者を安全に楽しく導くための道づくりであり、居住環境の整備と沿線地区の活性化を目指した歩行者優先の道路として整備されている。

事業実施場所

喜多方市内(一本木寺町線・寺町花園線・寺町通り線)

事業種別

道路

事業制度

歴史的地区環境整備街路事業

事業主体

喜多方市

事業実施年度

昭和62年度～平成14年度

大荒井住宅建替業



事業概要

喜多方市H O P E計画地域住宅研究会において検討された喜多方市の伝統及び気候風土に適した木造住宅及び中層耐火による公営住宅の提案及び実現（高齢者対応型、雪国対策、二世帯住宅用木造住宅等）。



計画概要

建替計画 敷地面積16,600㎡
 計画戸数：139戸 既設戸数：118戸木造平屋20戸、簡易耐火平屋98戸

<p>中層耐火4階建 (階段室型、3棟—56戸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● RC1号棟：(24戸) 建築面積587.87㎡ 延床面積2,008.69㎡ ㌧㌧°別住戸面積：1F-2DK 61.69㎡, 2~4F-3DK 71.25㎡ ● RC2号棟：(16戸) 建築面積397.09㎡ 延床面積1,378.69㎡ ㌧㌧°別住戸面積：1F-2DK 61.69㎡, 2~4F-3DK 71.25㎡ ● RC3号棟：(16戸) 建築面積401.55㎡ 延床面積1,382.88㎡ ㌧㌧°別住戸面積：1F-2DK 62.99㎡, 2~4F-3DK 72.55㎡ 	<p>木造平屋・二階建 (二戸一、5棟—10戸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木造1~3号棟：(6戸) 建築面積152.92㎡ 延床面積144.52㎡ ㌧㌧°別住戸面積：平屋57.14㎡, 二階建79.65㎡ ● 木造4号棟：(2戸) 建築面積159.99㎡ 延床面積147.71㎡ ㌧㌧°別住戸面積：平屋58.79㎡, 二階建79.49㎡ ● 木造5号棟：(2戸) 建築面積155.53㎡ 延床面積143.71㎡ ㌧㌧°別住戸面積：平屋58.79㎡, 二階建79.49㎡ 	<p>木造平屋・二階建 (四戸一、2棟—8戸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 木造6・7号棟：(8戸) 建築面積287.81㎡ 延床面積286.51㎡ ㌧㌧°別住戸面積：平屋58.79㎡, 二階建79.49㎡ <p>中層耐火5階建 (片廊下型、昇降設備付3棟—65戸)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● RC5号棟：(20戸建設中) 建築面積587.87㎡ 延床面積2,008.69㎡ ㌧㌧°別住戸面積：2DK(10戸) 64.34㎡, 3DK(10戸) 75.14㎡ ● RC4号棟(20戸) 6号号棟(25戸)建設予定
---	---	---

事業実施場所 喜多方市松山町大飯坂字下川端2530
 事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅事業
 事業主体 喜多方市
 事業実施年度 平成4年度～平成21年度(予定)



駅前通りまちづくり協定



事業概要

喜多方市HOPE計画においてモデルプロジェクトに位置づけられた「駅前地区の市街地整備」から発展し、駅前周辺地区において住民自らが建築に関する協定を締結し、喜多方市の玄関口にふさわしい景観の形成と、その維持を図っていかうとするものである。

計画概要

喜多方市駅前通りの区域内において、潤いがあり喜多方らしさのある街並みを形成することを目的として制定された。

事業実施場所	喜多方市県道喜多方停車場線沿線及び駅前地区一帯
事業種別	個人住宅
事業制度	建築等に関する協定
事業主体	駅前通り景観運営委員会
事業実施年度	平成14年12月15日～平成19年2月14日

ふれあい通り（中央通り）地区の整備



事業概要

- 喜多方市中心市街地活性化基本計画
中小小売商業高度化事業 喜多方市TMO構想（会津喜多方商工会議所）
- 活力ある商店街支援事業（行灯設置）
- 花いっぱい香りの木植栽事業（ふれあい通り商店街振興組合）
- 喜多方プラザ自主文化事業（喜多方発21世紀シアター）



計画概要

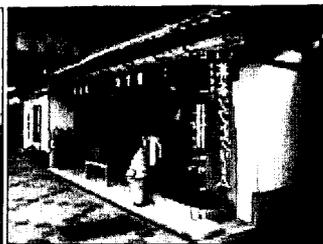
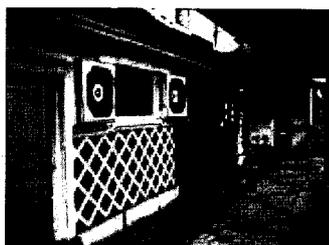
良好な住宅市街地の形成

蔵造りの町並みの保存と商業の活性化

ふれあい通り（中央通り）地区の整備



事業実施場所 喜多方市中央通り
 事業種別 道路、民間施設、
 事業制度 環境整備事業他
 事業主体 喜多方市、会津喜多方商工会議
 所、ふれあい通り商店街振興組合
 事業実施年度 事業開始 平成12年度計画策定



南郷村営和泉田団地



事業概要

建設の目的：若者の定住促進対策。特徴は下記のとおり。

- 1) 地域景観、克雪、高齢者に配慮した、HOPE仕様に基づいたモデル団地
- 2) 冬期間の厳しい自然環境に配慮した建物の形状を実施。特に屋根においては、強風に対応した向きとし、勾配も楽（落）雪を考慮した急勾配としつつ周辺の山並みとの調和を図っている。
- 3) 一棟二戸の住戸を分ける中央の通路は、入居者のプライバシーを確保するとともに、冬期間の出入りを容易なものとしている。（風向等により雪の積る場所が変わる。）
- 4) 地域の伝統的間取り、続間の採用により家族のコミュニケーションを形成している。



計画概要

敷地面積：	2,247.55㎡
公営住宅：	3棟6戸
建築面積：	124.30㎡、
延べ床面積：	186.03㎡、
構造：	木造2階建、
型式：	二戸一、
住戸専用面積：	79.31㎡
特定公共賃貸住宅：	1棟2戸
建築面積：	138.73㎡、
延べ床面積：	215.68㎡、
構造：	木造2階建、
型式：	二戸一、
住戸専用面積：	92.87㎡

事業実施場所	南郷村大字和泉田字谷地地内
事業種別	住宅団地（和泉田団地）
事業制度	公営住宅事業、特定公共賃貸住宅建設事業
事業主体	南郷村
事業実施年度	平成12年度～平成13年度



南郷村営山口団地



事業概要

建設の目的：若者の定住促進対策。特徴は下記のとおり。

- 地域景観、克雪、高齢者に配慮した、HOPE仕様に基づいたモデル団地
- 冬期間の厳しい自然環境に配慮した建物の形状を実施。特に屋根においては、強風に対応した向きとし、勾配も楽（落）雪を考慮した急勾配としつつ周辺の山並みとの調和を図っている。
- 一棟二戸の住戸を分ける中央の通路は、入居者のプライバシーを確保するとともに、冬期間の出入りを容易なものとしている。（風向等により雪の積る場所が変わる。）
- 地域の伝統的間取り、続間の採用により家族のコミュニケーションを形成している。



計画概要

敷地面積	1,439.29㎡
特定公共賃貸住宅	2棟4戸
建築面積	138.73㎡
延べ床面積	215.68㎡
構造	木造2階建
型式	二戸一
住戸専用面積	92.87㎡

事業実施場所	南郷村大字山口字村下地内
事業種別	住宅団地（山口団地）
事業制度	特定公共賃貸住宅建設事業
事業主体	南郷村
事業実施年度	平成6年度～平成7年度



公共公益等生活基盤整備事業



事業概要

- 目的：HOPE仕様住宅の普及、村内施設の統一
- 村内に建設される公共建築物をHOPE仕様で統一し、民間建築物等の誘導を図り南郷村らしい景観形成を図る。また、村花『ひめさゆり』をキャッチフレーズとした村内諸施設整備を推進し、村のイメージアップを図る。そのため下記事業実施する。
 1. 集会場建設事業
 2. 消防ポンプ車格納庫建設事業
 3. 観光施設建築物整備事業
 4. 老人福祉施設整備事業
 5. イメージアップ事業『ひめさゆり』デザイン
 6. 道路付属施設整備事業（橋梁高欄等の色彩の統一）



計画概要

敷地面積	1,439.29㎡
特定公共賃貸住宅	2棟4戸
建築面積	138.73㎡
延べ床面積	215.68㎡
構造	木造2階建
型式	二戸一
住戸専用面積	92.87㎡

事業実施場所	南郷村
事業種別	公共施設
事業主体	南郷村
事業実施年度	平成3年度より



☆ 南郷村 ☆

南郷村優良建築賞



事業概要

- 事業の目的：南郷村の街並に調和し、かつ、優れたデザインの建築物を表彰することにより、村民の街並み景観に対する関心と建築文化を高めるとともに、地場産業の振興を促進し、美しい住みよい村づくりを進める。
- 対象建築物：過去3年以内に竣工した村内の建築物
- 種類：1) 住宅建築部門、2) 一般建築部門（住宅以外）
- 表彰：優秀賞 1点、奨励賞 若干
- 選定基準：1) 建築美的に優れた外観を有し、かつ周辺の景観と調和していること。2) 周辺の生活環境を阻害することなく、その改善に資するものであること。



事業実施場所	南郷村
事業種別	顕彰事業
事業制度	南郷村優良建築賞に関する要綱
事業主体	南郷村
事業実施年度	平成5年度より

☆ 南郷村 ☆

HOPE仕様建築物助成事業



事業概要

目的：

個性豊かな美しい街並み景観をつくり育てるため、南郷村地域住宅計画に沿った住宅及び住宅の付属建築物（蔵、車庫、作業所等）の建築を行う場合、その工事に要する経費に対して助成する。

- 助成対象：村内で新築、増築又は改築建築される建物で、HOPE仕様に定める基準（建築基準）に適合させるための工事
- 建築基準：1) 屋根形状一切り妻、入母屋等、2) 屋根の色一焦茶、黒、3) 外壁形状一最低腰壁を板張り、4) 外壁の色一木部以外は白色系、5) サッシ等一焦茶、黒、6) 金属等一焦茶、黒
- 助成率及び限度額：助成率一1/3以内、限度額一住宅16万円、付属建築物9万円
- 実績 新築・改築H8-1件、H9-4件、H10-2件、H11-1件、H13-4件、H14-1件、合計13件。
（屋根塗装等〈H8～H13事業〉H8-5件、H9-47件、H10-34件、H11-55件、H12-71件、H13-29件、合計241件。）
- 成果
1、対象建築物以外にも、建設基準に配慮した（外壁に木を使用しないが色彩に配慮）住宅が普及した。
2、住民の景観意識が高揚



事業実施場所
事業種別
事業制度

事業主体
事業実施年度

南郷村
助成事業
南郷HOPE仕様建築物助成
金交付要綱
南郷村
平成8年度より

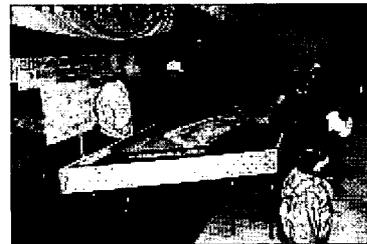
ホープ計画展



事業概要

目的：HOPE計画の普及、啓蒙。
展示内容

- HOPE計画の紹介
- HOPE計画の実績
- HOPE計画建築部会の活動報告
- まちづくりコンクール作品展示
- 南郷村建築文化賞作品展示
- まちづくり模型等の展示



事業実施場所	南郷村
事業種別	展示
事業制度	
事業主体	南郷村
事業実施年度	平成3年度より



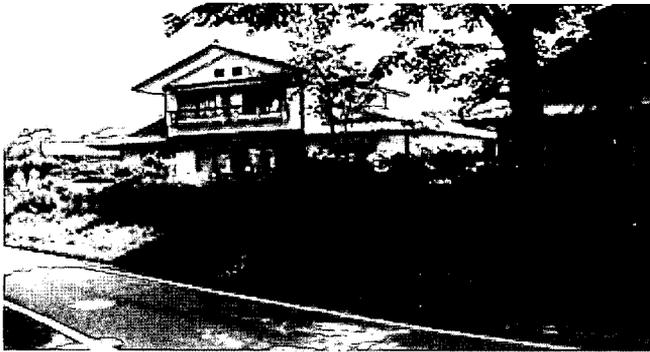
王塚第3団地



事業概要

本計画は、富岡町HOPE計画推進事業の一つである〈町営住宅高齢化対応ワール住宅の建設〉として位置づけられている。ワール住宅見学会の開催、パンフレットの作成等、これからの高齢者対応住宅の普及啓蒙に寄与している。

また、周辺に調和した接地性の高い住棟形態と周辺に開かれたCOMMON空間を形成し周辺住民とのコミュニティを誘導している。



計画概要

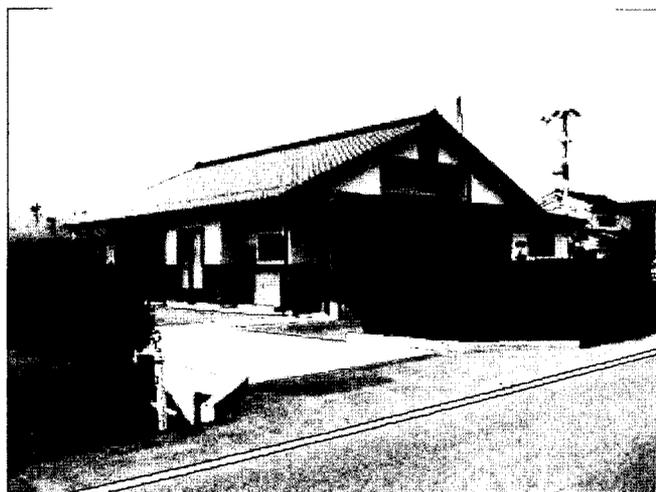
敷地面積	798㎡
建築面積	284㎡
延べ床面積	314㎡
構造、型式	木造2階建二戸タイプ 2棟4戸
事業実施場所	富岡町大字本岡字王塚516番地の1
事業種別	町営住宅
事業制度	公営住宅事業
事業主体	富岡町
事業実施年度	設計：平成5年度 建設：平成6年度

王塚集会所



事業概要

本集会所は、富岡町HOPE計画の考え方を取入れた集会所として建設された。外観デザインについては、住宅研究会が検討し、富岡型住宅のモデルとして入母屋形態を取入れ、また、景観への配慮から外壁を下見板と白壁の組合せ、屋根は和瓦とし、地域になじむ外観デザインとした。



計画概要

敷地面積 : 678.42㎡

建築面積 : 193.77㎡

延べ床面積 : 165.62㎡

構造、型式 : 木造平屋建

事業実施場所 富岡町大字本岡字王塚373 - 1地内

事業種別 集会所建設事業

事業制度 木材流通合理化整備特別対策事業

事業主体 富岡町

事業実施年度 設計 : 平成9年度

建設 : 平成10年度

公衆トイレ（森の花和屋）



事業概要

森の花和屋は、富岡町HOPE計画の考え方を取入れた公衆トイレとして建設された。外観デザインについては、住宅研究会が検討し、富岡型住宅のモデルとして入母屋形態を取入れ、また、景観への配慮から外壁を下見板と白壁の組合せ、屋根は和瓦とし、地域になじむ外観デザインとした。



計画概要

敷地面積	23557㎡
建築面積	67.53㎡
延床面積	59.99㎡
構造・型式	木造平屋建

事業実施場所

富岡町字夜の森北2丁目15地内

事業種別

夜の森公園便益施設整備事業

事業制度

富岡町

事業主体

設計：平成6年度

事業実施年度

建設：平成6年度

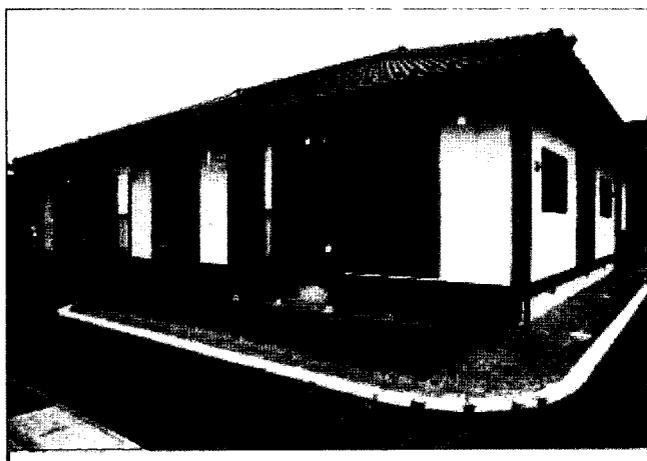
公営庫場団地建設工事



事業概要

本町における公営住宅の建替えにあつては、従来の公営住宅に対するイメージを一新し、「わが町に住んでよかった。この町に住み続けたい」という思いを抱かせるような公営住宅建設を基本とし、各戸にプライベートな庭を確保することにより、開放感のある公営住宅の立替とする。

- 本町の風土・文化・歴史的特性を生かして、中低層住宅を基本とし、木材をベースに石材や瓦などの自然素材を用い、質感豊かな住まいづくりを目指す。
- 住棟・住戸の外観は、シンボルとしての半田山、桃畑やりんご畑などの果樹園、蔵造りのある街並み、伝統的な文化・歴史的に配慮したデザインにすることとした。



計画概要

敷地面積	5,383㎡
建築面積	1,487.42㎡
延べ床面積	1,892.4㎡
構造	木造
型式	二戸一平屋建2棟、三戸一平屋建
2DK	2戸タイプ平屋建(戸当たり66.25㎡)2棟
2DK	3戸タイプ平屋建(戸当たり55.89㎡)2棟
3LDK	3戸タイプ 2階建(戸当たり82.84㎡)3棟
3LDK	3戸(特公賃)タイプ 2階建 (戸当たり91.08㎡)2棟
	合計25戸

事業実施場所
事業種別
事業制度
事業主体
事業実施年度

伊達郡桑折町字庫場15番地
住宅団地
公営住宅事業
桑折町
平成14年度～平成16年度



町福祉ホール建設工事



事業概要

計画の目的:

元気老人のデイサービス施設及びボランティア団体の拠点施設。

ホープ計画において策定した「田島らしい住宅のガイドライン・街並みづくりの手引き」に基づき地元設計事務所と行政及び施設管理者によるワークショップを実施し実施設計を完成させた。

「人にやさしいまちづくり条例」に基づきバリアフリーや点字ブロック・手摺・エレベーターの設置、外部スロープは冬期間を考慮してロードヒーティングを施工。

地球環境に配慮しオール電化施設とした。また、木材については、「地産地消」の精神に基づき地場産材（南山杉、南山松）を使用、修成材についても地元産唐松を使用した。



計画概要

敷地面積	420.0㎡
建築面積	272.1㎡
延床面積	491.0㎡
構造	木造2階建て

事業実施場所	田島町大字田島字後原
事業種別	公共施設
事業制度	介護予防施設建設事業
事業主体	田島町
事業実施年度	平成12年12月～平成14年1月

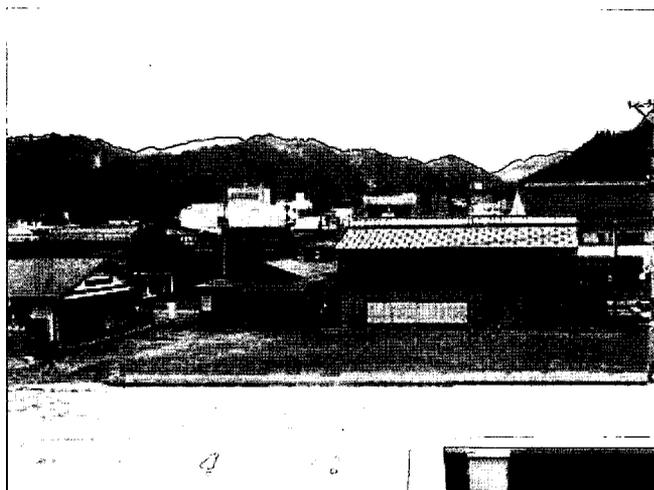
会津田島駅周辺地区土地区画整理事業



事業概要

計画の目的:

ホープ計画推進事業会議において平成13年度に「会津田島駅前広場整備に対する提案」を策定し、それに基づき建替を予定している民間商業施設3棟のデザインの統一や使いやすい配置計画などについてワークショップを実施し、街並みの統一や将来計画の駅前広場整備につながる計画となった。



計画概要

構造	木造平屋建 2棟 木造2階建 1棟
事業実施場所	田島町大字田島字西馬場
事業種別	民間商業施設
事業制度	区画整理事業に伴う民間施設の 建替え事業
事業主体	田島町
事業実施年度	平成14年4月～平成15年3月

町営栄田ニュータウン



事業概要

- 各ブロック毎に景観や植栽を整理し、個性化することによってまとまりを持たせると共に変化に富んだ潤いと安らぎのある団地を形成する。
- あづまや、ベンチ等地場産材の木材等を使用
- 住戸の外構整備に努めて地場産材を使用
- 敷地周りを生垣とし、庭の植栽は四季折々咲く樹種とする
- 伝統的和風をイメージ



計画概要

建築協定：

対象面積 49,592.02㎡
対象戸数 83戸

木のまち整備事業：

事業面積 16,595.35㎡
建売分譲 25戸
宅地分譲 15区画

事業実施場所 安達郡本宮町字栄田地内
事業種別 住宅団地
事業制度 木のまち整備事業、建築協定
事業主体 本宮町
事業実施年度 平成3年度



☆ 棚倉町 ☆

たなぐら建築賞



事業概要

応募作品の中から各部門ごとに審査し、表彰した。

審査の方法は、審査員の持ち点をそれぞれの作品に投票して優秀賞・奨励賞を決定し、表彰した。

なお、施主・設計士・施工業者が各部門ごとに受賞者となる。

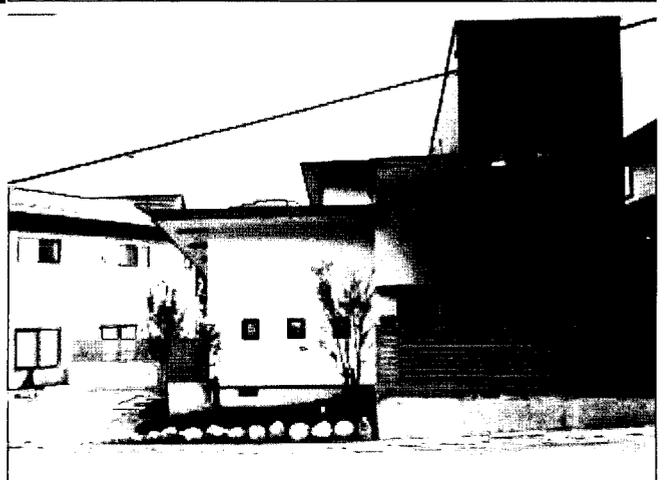
また、受賞作品をパンフレットに印刷し、関係者に配布するとともに、いつでも、誰でもが閲覧したり、持ち帰りができるよう公共施設等の窓口にコーナーを設け陳列してある。

計画概要

隔年ごとに地域【棚倉町】に根ざした、また調和した建築物を広く公募し、応募作品を審査し表彰することにより、HOPE計画そのものを広くPRすることを目的として開催する。

なお、対象建築物は、棚倉町内の建築物である。

審査員 棚倉町長
町関係者
棚倉町商工会長・女性部長
棚倉町HOPE計画推進委員



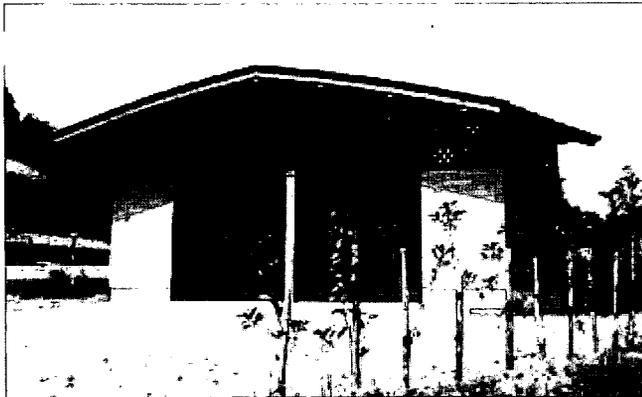
事業実施場所 棚倉町
事業種別 HOPE計画
棚倉町住宅研究会による建築賞
の審査及び表彰
事業制度 地域に根ざした住まいづくり・
住環境づくり
事業主体 民間団体（棚倉町住宅研究会）
事業実施年度 平成10年度、
平成12年度
平成14年度

住宅マスタープラン推進事業



事業概要

- 「新地町住まい・まちづくり研究会」を設立
- 地域特性に対応した住宅研究活動
- 住環境や景観へ配慮した住宅等整備の検討
- インターネットのホームページを利用した情報発信
- 和風木造の外観に仕上げた中里団地に調和したゴミステーションの整備計画



計画概要

面積 9.9㎡
構造 木造

事業実施場所 相馬郡新地町大字福田字清水
事業種別 公共施設（団地内ゴミ収集所）
事業主体 新地町
事業実施年度 平成13年度

ポケットパーク整備事業



事業概要

- 地場産材活用のモデル整備
- 工法等は特になし
- 完成後の管理は地元行政区に依頼し、意識の高揚を促す。
- HOPE研究会の資質が向上し、HOPE計画の広報・啓発に大きな効果が期待できる。
- 遠望が利き、誰でも気軽に利用できる植栽等の配置とした。



計画概要

- 船引東部土地区画整理地内に、地場産材用のモデルケースとして整備する。
- 面積約 170㎡
- 地場産御影石を活用した歩行路
- 地場産杉材を活用した藤棚・休憩ベンチの設置
- 植栽（ひば、ひのき、つつじ、つばき類）

事業実施場所	田村郡船引町大字船引字町七ツ担地内
事業種別	公園
事業主体	民間団体
事業実施年度	平成10年度

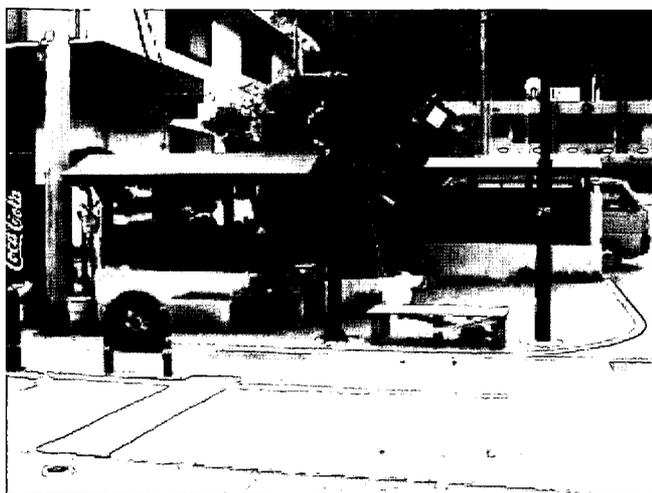


ふれあい公園



事業概要

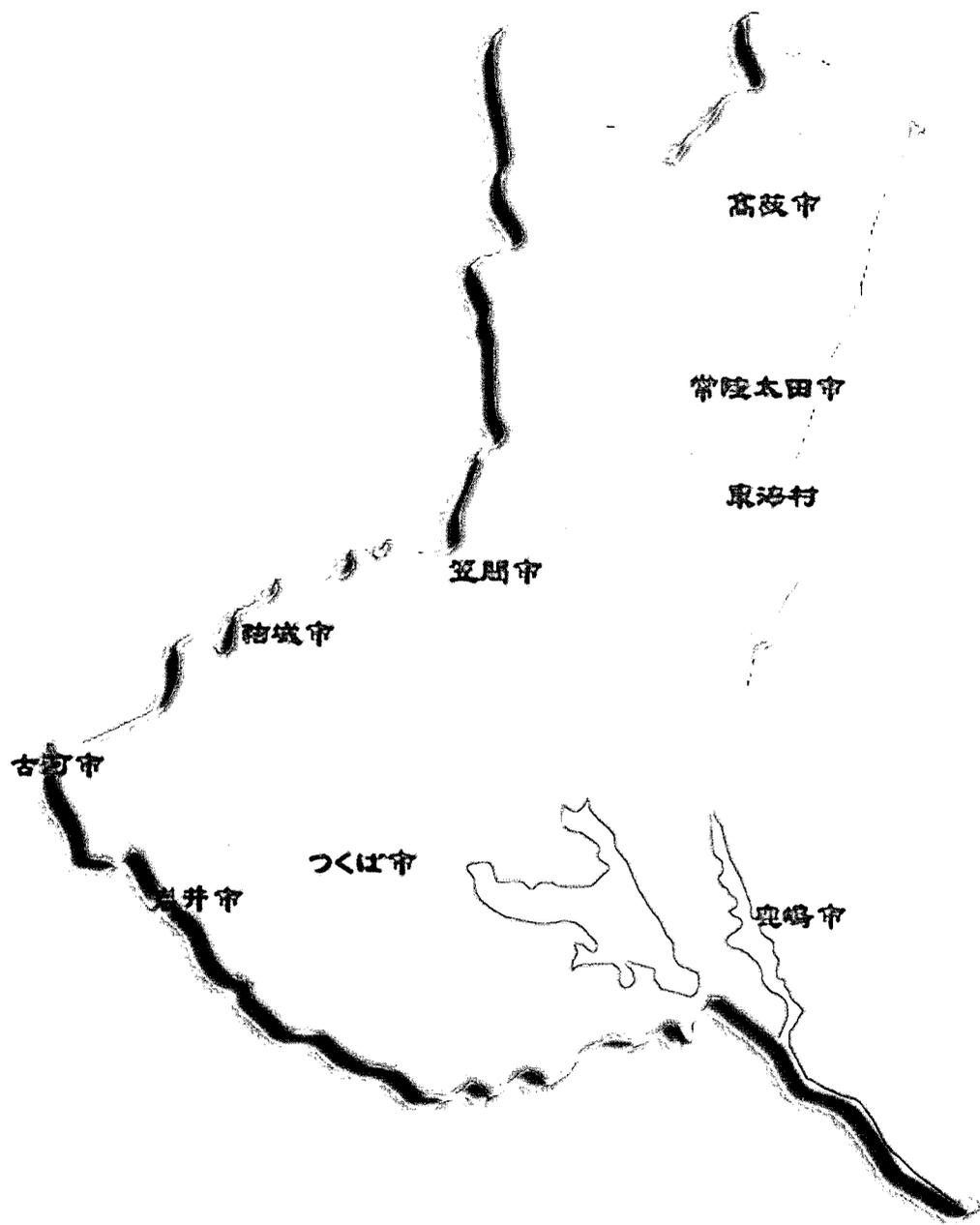
- 計画の目的
町民の触れ合い、語らいの場として整備
- 特殊工法、伝統工法
昔ながらの清水を活用した水場を整備
- 地域の活性化
町民の触れ合いの場



計画概要

- 1 工区（役場前） $A=32.2\text{m}^2$
- 2 工区（歯科前） $A=44.6\text{m}^2$

事業実施場所	大沼郡三島町大字宮下地内
事業種別	公園
事業制度	水力発電施設周辺地域交付金
事業主体	三島町
事業実施年度	平成13年度



茨城県
HOPE奨励賞受賞市町村

市営稲田第2住宅団地建設工事



事業概要

地場産業の活性化に寄与し、今後のモデル住宅のケーススタディとして、一般住宅へ波及、拡大していくことを目的とした。

地場産材の活用

- 笠間産土瓦の利用→屋根だけでなく、アプローチと通路・花壇等の見切り縁（ハネ物瓦）玄関、ポーチの床材（瓦タイル）
 - 笠間焼の利用→玄関照明器具、戸別表示板、内部室名札
 - 稲田石の利用→玄関アプローチ、外柵、東石
- 笠間らしさ（伝統ある笠間）
- 伝統的な民家の大屋根をイメージ。勾配を周囲の自然環境に配慮し、懐かしい煙出を配する。
 - 外壁を大壁しっくい塗り、腰壁は杉板押縁下見板貼とした。



計画概要

敷地面積	2,796㎡
1棟当り建築面積	175.06㎡
1棟あり床面積	153.56㎡
1戸当り建築面積	87.53㎡
1戸当り床面積	76.78㎡ 2LDK
構造	木造平屋（在来工法）
戸数	2戸×4棟 8戸
型式	2戸1棟型住宅

事業実施場所	笠間市稲田1870-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	笠間市
事業実施年度	平成9年度～平成10年度



笠間市営来栖住宅団地建設工事



事業概要

伝統的な木造在来工法を取り入れ、周辺の田園風景とバランスを保つように工夫。また、玄関ポーチを広く取ったり、大きなぬれ縁を設け、中庭での家族コミュニケーションに配慮している。

切妻屋根の採用

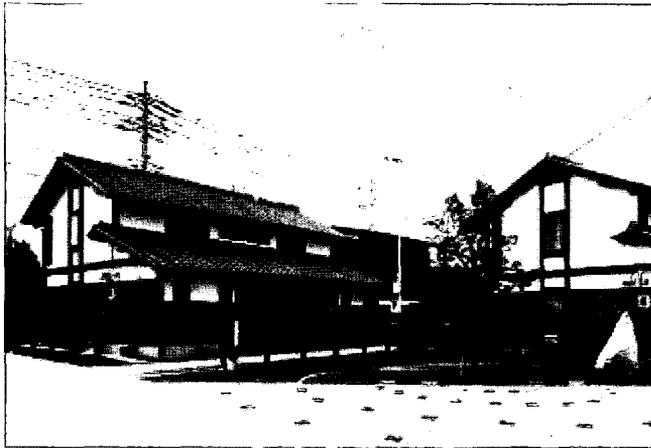
笠間地区の伝統的な住宅である切妻の大屋根と白壁を基調とし、デザインを十分に活かすために妻側に家並みを形成した。

外壁材

外壁には、木及び漆喰等を組み合わせて使用し、住棟のイメージとしては、「落ち着いた、静かな」雰囲気を出した。

地方性の創出

デザインのポイントとなるポーチ、玄関まわりへ笠間焼きによる照明器具を取り付け、個性ある空間とした。



計画概要

敷地面積	2,319.75㎡
1棟当り建築面積	94.40㎡
1棟あり床面積	138.28㎡
1戸当り建築面積	47.20㎡
1戸当り床面積	69.14㎡ 2LDK
構造	木造2階建て
戸数	2戸×8棟 16戸
型式	2戸1棟型住宅

事業実施場所	茨城県笠間市来栖1238-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	笠間市
事業実施年度	昭和63年度～平成2年度



商店街活性化街路事業
小売り商業街近代化事業



事業概要

中心商店街を活性化する機運を盛り上げ、多様化した消費者ニーズに対応できる自立都市、魅力ある商店街を目指した。



事業実施場所 岩井市大字岩井の一部（本町、仲町、新町）
事業種別 道路、公共施設、個別店舗
事業制度 岩井境都市計画道路事業3・4・5号辺田本町線
小売商業商店街近代化事業
事業主体 茨城県、岩井市本町商店街振興組合、岩井センターモール商店街振興組合
事業実施年度 平成元年度～平成7年度

計画概要
街路事業
延長L=500m、幅員W=16m
小売商業商店街近代化事業
岩井市本町商店街振興組合（L180m） 35組合員
岩井センターモール商店街振興組合（L320m） 52組合員
地区計画 面積約12.0ha

蔵造り街並み保存事業



事業概要

- 歴史的建造物の景観維持のため、改修・修繕
- 観光誘客の増進



事業実施場所 結城市大字結城 北部市街地内
事業種別 民間施設
事業制度 蔵造り街並み保存事業補助金交付要項
事業主体 民間
事業実施年度 平成4年度～平成14年度
今後も継続予定

計画概要

31棟中 13棟改修済

高萩いきいき住まいづくり人材育成事業



事業概要

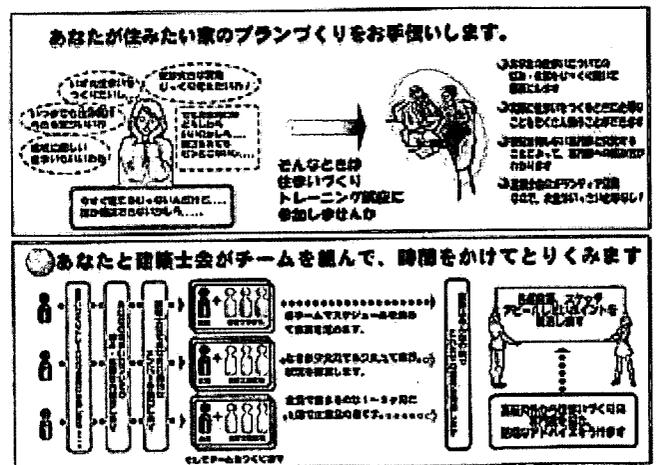
建築士会が中心となって、市民が参加できる継続的な活動の場をつくり、住まいづくりやまちづくりに対する問題認識の醸成、まちづくりの担い手の育成及び市民との交流を目的とする。

- 住まいづくりトレーニング講座（在宅介護の為の住宅、民家再生、ギャラリーのある家、他）
- 住まいづくり先進地の訪問（福島県三春町）
- 住まいづくり相談会の開催

計画概要

高萩いきいき住まいづくり学校の開催

- 「いきいき快適居住都市—高萩」を目標としたHOPE計画に基づき、「住まいづくりを担う人づくり」をテーマに、建築士会が中心となって一般公募による「高萩いきいき住まいづくり学校」を開催した。
- 専門家のアドバイスを基に各プランの策定を行い、「住まいづくり読本99~人づくり編」としてまとめた。



事業実施場所	高萩市全域
事業種別	個人住宅策定事業
事業主体	(社)茨城県建築士会 高萩支部
事業実施年度	平成9年度～平成10年度

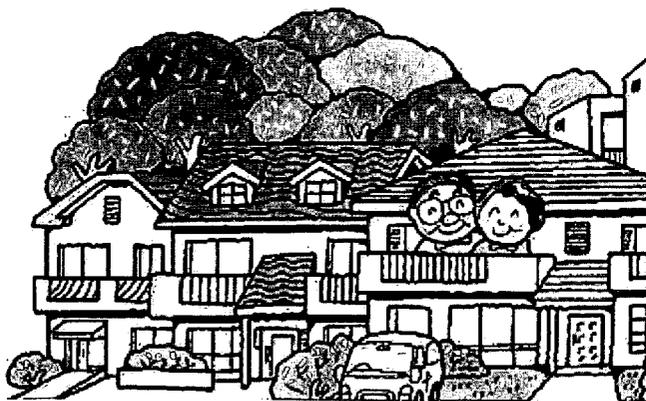
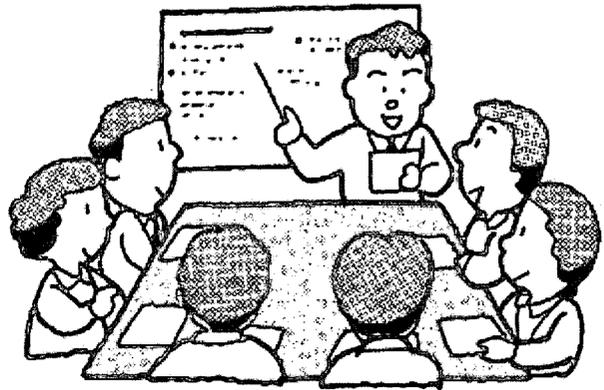
あんしん住まいのための相談事業



事業概要

- 民間団体、市民へ協議会の立ち上げを呼びかけ、参画したメンバーで「住まいづくり推進協議会」を設置する。協議会は毎月第2水曜日に行う。
- 協議会において検討された、住まいに関する相談窓口を開設し、毎月第2水曜日に相談を受け付ける。
- 施工業者の紹介を求められることに対応するため、協議会において事業者登録制度を定め、必要に応じて登録リストを相談者に提供する。
- 相談内容は毎月の協議会で報告される。その場で対応しきれなかった相談については、協議会の専門家ネットワークを通じて情報を収集し、後日相談者に連絡する。

事業実施場所	鹿嶋市大字平井1187-1 鹿嶋市中央公民館
事業種別	相談事業
事業主体	民間団体推薦者、市民及び 市担当者より組織した協議 会
事業実施年度	平成13年度～継続中



計画概要

住まいに関する問題点や不都合を取り除いていくために、専門家の協力を得ながら、市民にとってよりよい住まい方の提案、アドバイス、情報等を提供してゆく。

☆ 常陸太田町 ☆

桃源駐車場さわやかトイレ新築工事



事業概要

HOPE計画を推進する研究会の一つ、「すまいる研究会」による提案を受け行いました。メンバーは18人、一級建築士をリーダーに主婦、農業、市職員などさまざまな構成です。

メインテーマは歴史と自然、

- ①目立たず、さわやかに
 - ②環境を考えた水浄化
 - ③自然を大切にする、
- などを基本に据えました。

トイレのイメージを変えるため、北側を素通しのガラス張りとし、生垣をはさんで外が見える。排水については環境を重視し、一部をアヤメ園の栄養分に利用しております。

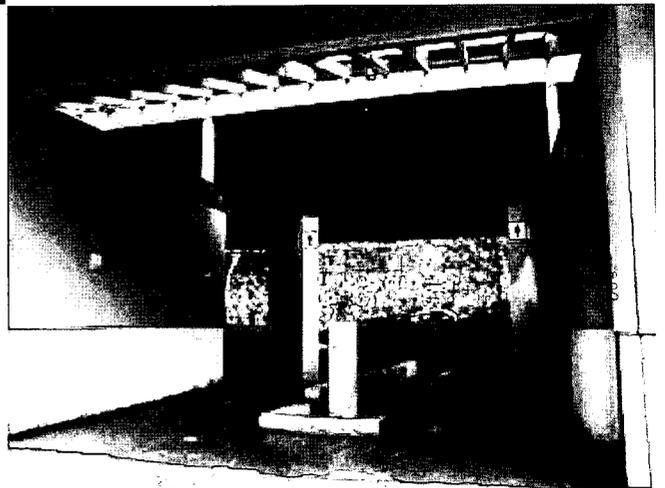
平成8年度、日本トイレ協会グットトイレ10に選ばれております。



計画概要

- ・構造 木造平家建
- ・床面積 90.02㎡
- ・外壁 ジュラク塗り 一部コンクリート小タタキ仕上げ
- ・屋根 銅板一文字葺き 一部トップライト
- ・内 部 床：石貼り 壁：石貼り一部板貼り
天井：化粧野地板貼り
- ・室 別 身障者トイレ 1
小児用トイレ 1
男子トイレ 1 (小便器 5大便器2)
女子トイレ 1 (大便器5)

事業実施場所 常陸太田市新宿町
事業種別 公共施設
事業制度 県さわやかトイレモデル整備事業
事業主体 常陸太田市
事業実施年度 平成7年度



常陸太田市立進徳幼稚園建設工事



事業概要

進徳幼稚園は、西洋文明が入ってきた明治末期に築造された佐藤進男爵家から寄贈されたものです。建替にあたっては、その雰囲気をもったデザインを基本とし、蔵のまちの歴史性を考慮しております。

遊戯室の八角形屋根・園児室棟の切妻屋根・外壁は漆喰とし、近代の中に歴史と伝統を含んだ計画としている。また、既存の楠木と本園舎が街なみ形成の上で、子供たちや近隣の人たちにとって、親しみやすいエントランスになるよう位置づけをしました。

園舎は在来工法による空間構成とし、遊戯室は集成材を使用して大空間のスペースを確保しました。



計画概要

敷地面積	4,701㎡
建築面積	1,032㎡
延床面積	999㎡
構造	木造平家建
屋根	土瓦葺き
外壁	腰下：杉板押縁下見板張り 腰上：珪外塗り下地、防水漆喰塗
内壁	杉板タテ張り
全体計画	園舎の南側開放による、明るい園舎づくり 既存の樹木を考慮した配置計画

事業実施場所	常陸太田市内堀町
事業種別	公共施設
事業制度	幼稚園整備事業
事業主体	常陸太田市
事業実施年度	平成6年度



市営幡町団地建替事業



事業概要

老朽化した市営住宅106戸の建替えに伴い、HOPE計画（住宅政策部会）に位置づけを行ない。市民参加型の団地計画とし様々な意見交換を行ないながら進めてまいりました。

「多様性の空間構成」・・・高齢者と若者が一緒に楽しみながら生活できる団地。多様な住宅プラン。

「共有空間の創出」・・・様々なレベルのコミュニティが重層し合う空間の共有を創出する。

「優しい空間の創出」・・・子供から老人などの弱者の安全や利便に配慮した計画。スロープ、スライド

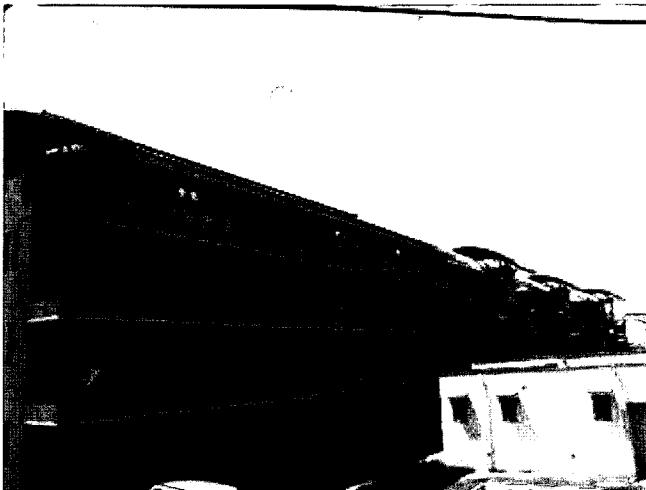
7、回廊（2階部分）、段差解消、手摺りなど。

地場産材の採用として、大理石による階数表示板。

地域に配慮しての勾配屋根、長屋門の設置。

計画概要

敷地面積	16,161㎡
建築面積	2,880㎡（7棟全体）
延床面積	8,820㎡（7棟全体）
構造	鉄筋コンクリート構造
型式	積層型（片廊下型）
タイプ別住戸面積	2DK 約89㎡ 3DK 約97㎡ 4DK 約104㎡
住戸数	7棟 114戸、集会場1棟
階数	3階（1棟）、4階（6棟） 集会場（1階）



事業実施場所	常陸太田市幡町
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	常陸太田市
事業実施年度	平成5年度～平成15年度

村民協働による住まいづくりの推進と継続



事業概要

- (1) 公的住宅のイメージのまとめ
- (2) 駅周辺市街地のモデルスタディ
- (3) 農村集落のモデルスタディ
- (4) 住まいに関する情報提供と相談窓口の充実
- (5) 公的住宅のケーススタディ
- (6) 住宅関連情報の提供と啓蒙
 - ① ホームページの開設
 - ② 相談窓口の開設
 - ③ 建築士会との連携による村文化祭への参加
 - ④ シンポジウムの開催



事業実施場所	東海村一円
事業種別	公的・民間住宅全
事業制度	公営住宅等関連事業推進事業
事業主体	東海村
事業実施年度	平成13年度～平成14年度

計画概要

- (1) 安心安全な住まいづくりの推進
 - ① 福祉施策と連携した高齢者等のための賃貸住宅の供給と持ち家改造の支援
 - ② 住宅の情報化の支援
 - (2) 質の高い快適住環境の形成
 - ① 民間住宅整備指針の策定
 - ② 民間活力を活用した公的賃貸住宅の整備
 - ③ 環境共生住宅の普及
 - (3) 住み手・作り手・行政の連携による住まい・まちづくりの推進
 - ① 住まい・まちづくり活動の支援・誘導
 - ② 住まいに関する情報提供・相談の充実

つくば市東光台HOPEモデル団地建設



事業概要

- 豊里地域の簡素な倉のイメージを、母屋と下屋の構成により現代的に表現した住宅となった。
- 伝統的農家の付属家をイメージした屋根附駐車場を、あらかじめ住宅と一体的に造るなどの入居後の景観造りも考慮した。
- 県産材の材木や瓦を使い地域の産業の向上を図るまた、建具や外観材に木材をふんだんに使用することで、人に優しい街づくりを第一に考えた。



計画概要

- 住宅団地：敷地面積1488.53㎡
- 住宅：木造2階、5戸
建築面積 (1) 洋風143.24㎡
(2) 和風139.94㎡
(3) 洋風142.41㎡
(4) 和風150.70㎡
(5) 和風147.39㎡
- 連続する生垣と町並ツリー及び県産和瓦（和風）や県産の杉を使った面格子木レンガによるアプローチ、木製の雨戸袋、門柱と一体になった木塀を前面に出し和風と洋風のスタイルの統合を図る。

事業実施場所	つくば市東光台2丁目16-1
事業種別	住宅団地
事業制度	つくば市豊里地区HOPE計画推進事業
事業主体	つくば市、茨城県住宅供給公社
事業実施年度	昭和63年度



赤松市営住宅第1工区建替工事



事業概要

- ①共同活動を軸にしたコミュニティ形成
 - ・近隣グループを核にしたコミュニティ活動の場の形成
 - ・居住者自身による共同空間の利用ルールの確立
- ②すべての居住者がふれあい、生き生きとくらするまち
 - ・人とクルマと自然が共生・融合する屋外環境
 - ・高齢者や身障者にやさしいまち
 - ・総合的な耐用性に配慮した住戸の実現
- ③古河の原風景を継承した地区景観の形成
 - ・雑木林と共生する住宅地モデルの創造
 - ・四季折々に彩りのある屋外環境

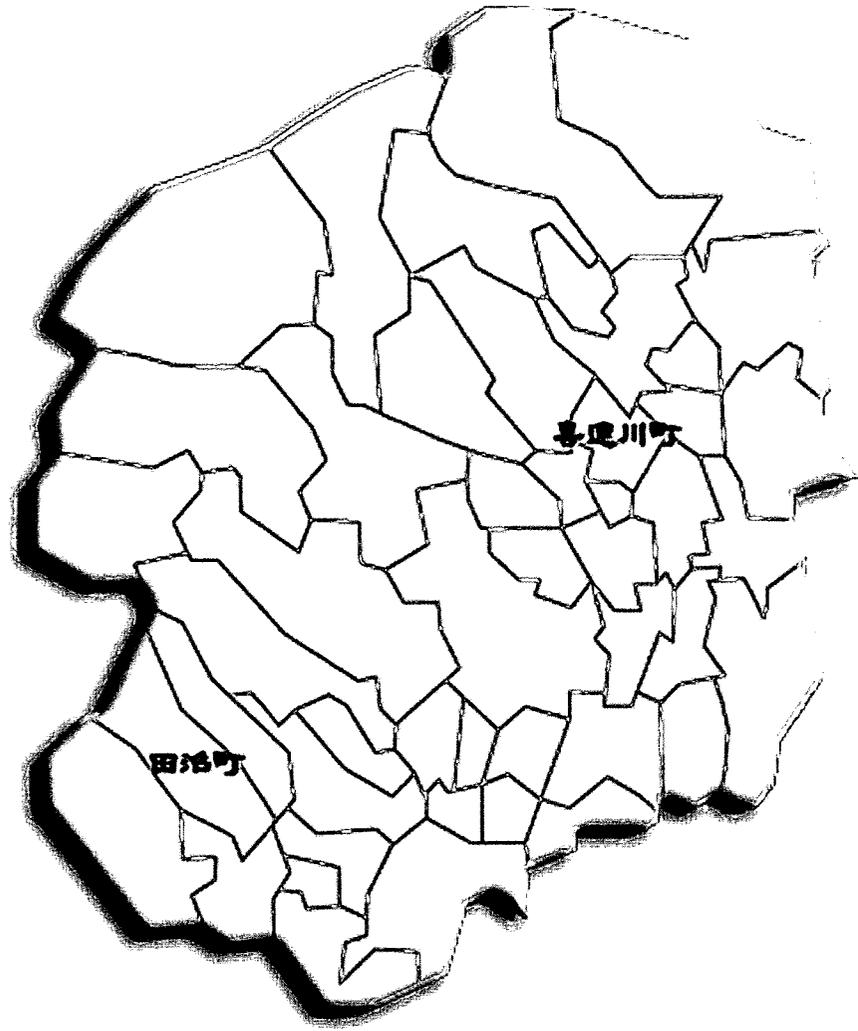


計画概要

工区数	1工区～4工区
敷地面積	9,226㎡ (第1工区 23戸完了)
建築面積	2,206㎡ (2工区 16戸未着工)
延床面積	6,262㎡ (3工区 24戸未着工)
構造	RC造
階数	3・4階建 (4工区 19戸未着工)
4工区計画内 1工区完了 1工区の概要	
敷地面積	2,308㎡
建築面積	598㎡
延床面積	1,821㎡
構造	RC造
階数	4階建
戸数	23戸

事業実施場所	古河市大字新久田222番地他
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅建設事業・国庫補助事業
事業主体	古河市
事業実施年度	平成6年度～平成7年度 (第1工区)





栃木県
HOPE奨励事業市町村

☆ 喜連川町 ☆

町営ひばりヶ丘住宅団地



事業概要

昭和34、35年度に建設された木造平屋建29戸であったが、住戸面積が35㎡以下と狭小で、老朽化が厳しい状況であったため建替が必要となり、HOPE計画をもとに行った。

理念

- ゆとりある開発と自然の保全
 - ・ 喜連川の歴史の見直し
- 住宅団地の開発と新旧住民の交流
 - ・ 文化の承継と創造

特徴

自然環境を生かし、傾斜の敷地を利用した住戸配置により、重なり合う連続した住戸の新しい街並みを構成。

地元産木材（杉・檜）、県産の大谷石を使用し、木造白壁、下見板張り、敷石を施した路地など城下町らしい景観を形成。



計画概要

敷地面積	9,530㎡
延床面積	3057.38㎡
住宅	
木造2階建	38戸
延床面積	2987.82㎡
3LDK	77.84㎡ 2戸
	75.64㎡ 30戸
木造平屋建	2戸
	3LDK 77.84㎡
集会所	
木造平屋建	1棟
延床面積	69.56㎡

事業実施場所	塩谷郡喜連川町大字喜連川 1085-3
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	喜連川町
事業実施年度	平成5年度～平成8年度



☆ 田沼町 ☆

町立閑馬小学校



事業概要

既存校舎の老朽化に伴う改築事業に際し、ゆとりと潤いのある校舎計画を進める上で、HOPE計画で提案された地域の特性を生かした地場産材の活用と各専門職組織の活用という側面から木造構造の校舎改築が行われた。

具体的には、屋根材に地瓦を採用すると共に地場材の伐木から製材加工まで一貫した町内供給がおこなわれ、構造材から内外装の板材まで大半を天然木とした。また、教室と廊下の間や廊下コーナー一部等にワークスペース、コモンスペースと称するエリアを設ける等、木の温かみのある教育環境に配慮した。



計画概要

敷地面積	12,549㎡
建築面積	1,151㎡
延床面積	1,617㎡
構造・階数	2階建 木造部 1,489㎡ RC造 128㎡

施設概要

普通教室6室、理科室、音楽室、視聴覚室、図工課程科室、図書室、保健室、児童会室、教員室、校長室他

事業実施場所	安蘇郡田沼町大字閑馬911番地
事業種別	公共施設（小学校校舎）
事業制度	校舎改築事業
事業主体	田沼町
事業実施年度	平成1年度～平成2年度



☆ 田沼町 ☆

吉水町営住宅



事業概要

本町は、古くから野州粘土瓦や豊富な森林を背景に木材等を供給してきた。地域の特性を生かし、地場産材の活用と各専門職を組織化し、地域型木造住宅を開発・供給しながら住宅生産を振興するために、田沼型モデル住宅の実践として本団地を位置づけ、地域に根ざした工法及び様式を検討した。

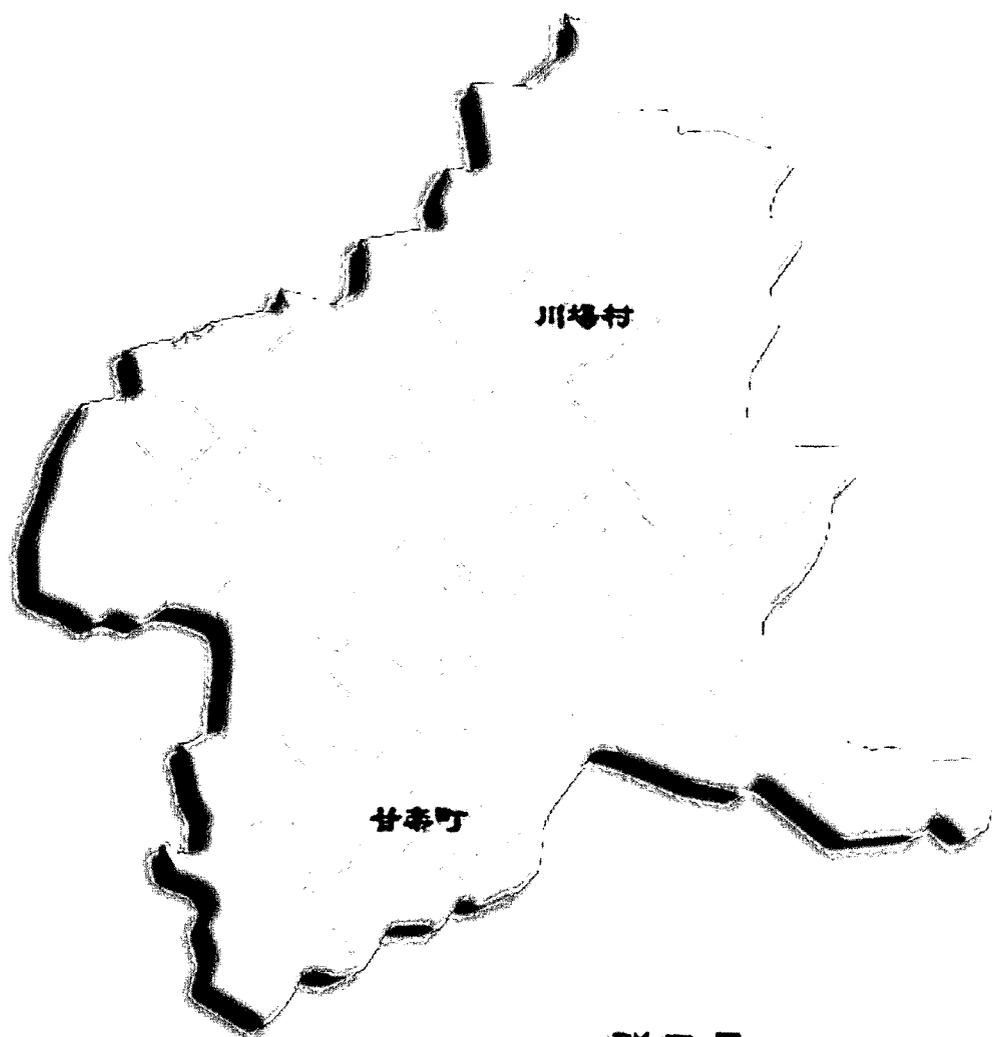
居住性を確保しながらコミュニティーゾーンを配置すべく、二戸一形式を採用し、野州瓦葺屋根と地場産材を基本とした木造構造とし、町内はもとより、町外からの転入者のニーズや様々な年齢構成の世帯を想定して4タイプの住棟を計画した。

計画概要

敷地面積	11,172.2㎡	
建築面積	2,149.4㎡	
延床面積	2,334.0㎡	
構造	木造	
型式	平屋建て	
	2階建二戸一型式	
Aタイプ	1F (3DK) 69.56㎡/戸	12戸
Bタイプ	1F (3DK) 61.28㎡/戸	6戸
Cタイプ	1F (3DK) 67.90㎡/戸	8戸
Dタイプ	2F (4DK) 73.70㎡/戸	8戸
	合計	34戸



事業実施場所	安蘇郡田沼町大字吉水500番地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	田沼町
事業実施年度	昭和61年度～平成3年度



群馬県
HOPE奨励賞受賞市町村

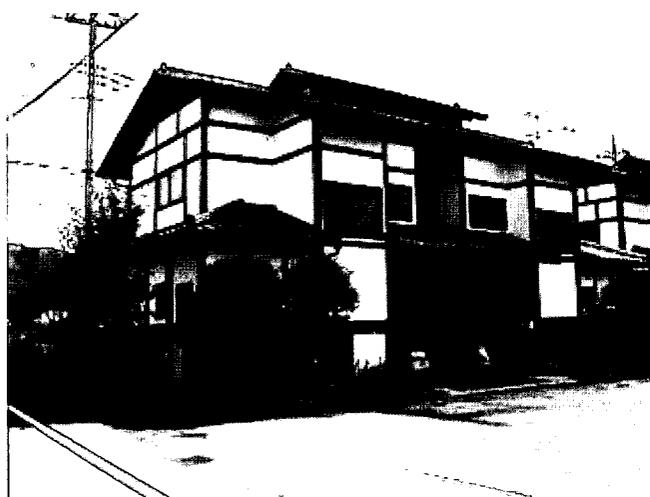
町営住宅二日町団地整備事業



事業概要

地域性にマッチした外観、地域産材の活用を進めるとともに住環境、生活環境のあり方を示す「地域適合型」のモデル団地として整備。

- 木造の公営住宅
- 地域産材の活用
- 町並み、コミュニティーに配慮
- 在来工法の採用
- 豊かな外部空間づくり
- 地域の伝統・文化・生活習慣に適合した住宅



計画概要	
敷地面積	3,656.0㎡
建築面積	834.7㎡ (92.7㎡×3棟) (92.7㎡×6棟)
延床面積	1,367.0㎡ (150.7㎡×3棟) (152.6㎡×6棟)
構造	木造2
型式	二戸一

事業実施場所 甘楽郡甘楽町大字小川603
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 甘楽町
事業実施年度 平成4年度～平成6年度

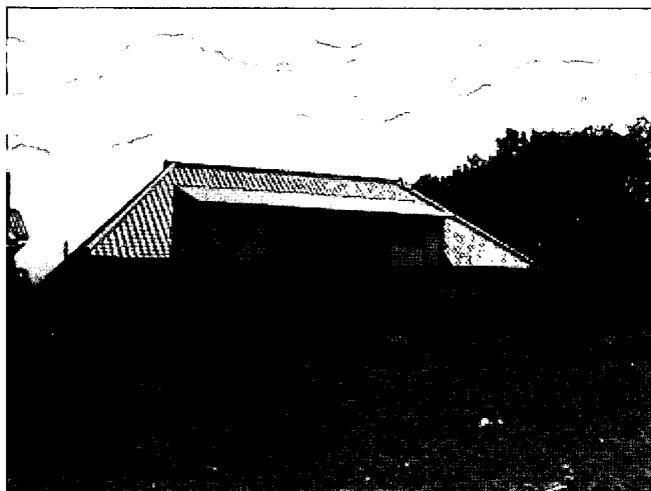


村営住宅事業



事業概要

川場村では、田園環境を守り、育てるために、川場型モデル住宅として村営住宅の整備を図った。



計画概要

延床面積	311.36㎡
構造	木造2階建
住戸面積	77.84㎡
住戸数	2棟 4戸

事業実施場所	利根郡川場村大字谷地地内
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	川場村
事業実施年度	平成6年度





高松市
HOPE奨励市

☆ 杉戸町 ☆

日光街道杉戸宿みなみがわ散策道整備事業



事業概要

農業用水路という本来の機能を失っている南側用水路を暗きょ方式によって整備、上部に植樹・ポケットパークをつくり通勤通学路・散策道として利用し地域住民のコミュニティーの場として整備を行う。

この南側農業用水路は旧日光街道と平行しこの日光街道は、明治時代の大火に会い昔の街道の面影は少ないが、それでも昔ながらの格子のある町家が数件残っている。また、街道であることから杉戸宿の本陣跡および数々の神社も残っている、これらの歴史や自然も散策できる道として整備を行っている。



計画概要

- 平成2年度～平成5年度（整備延長824. m）
- 平成5年度～平成6年度（整備延長130. m）
- 平成6年度（整備延長220. m）
- 平成7年度（整備延長410. m）
- 平成8年度（整備延長280. m）
- 平成9年度（整備延長230. m）
- 平成10年度（整備延長170. m）
- 平成11年度（整備延長170. m）
- 平成12年度（整備延長190. m）
- 平成13年度（整備延長104. m）
- 平成14年度（整備延長200. m）



事業実施場所	南側農業用水路
事業種別	農業用水路
事業制度	※ 各補助事業の該当がなく町単独費により事業を実施。関係する条例等制度なし。
事業主体	杉戸町
事業実施年度	平成2年度

☆ 庄和町 ☆

西宝珠花北団地



事業概要

庄和町固有の自然環境を活かしながら「家はまちであり、まちは家である。」という理念のもとに、庄和町のまちづくりの手法である住民総参加方式により、住宅や住環境をよりよいものにしていくにはどうしたらよいかを町民みんなで考え、まちづくりしていくことを目指したものである。



計画概要

敷地面積

1,626.24㎡

建築面積

512.32㎡

延床面積

986.28㎡

構造及び型式

(3棟13戸)

東棟 木造二階建て3戸

(73.40㎡/戸)

南棟 木造二階建て4戸

(73.40㎡/戸)

西棟 中耐三階建て6戸

(56.90㎡/戸)

事業実施場所 庄和町大字西宝珠花地内

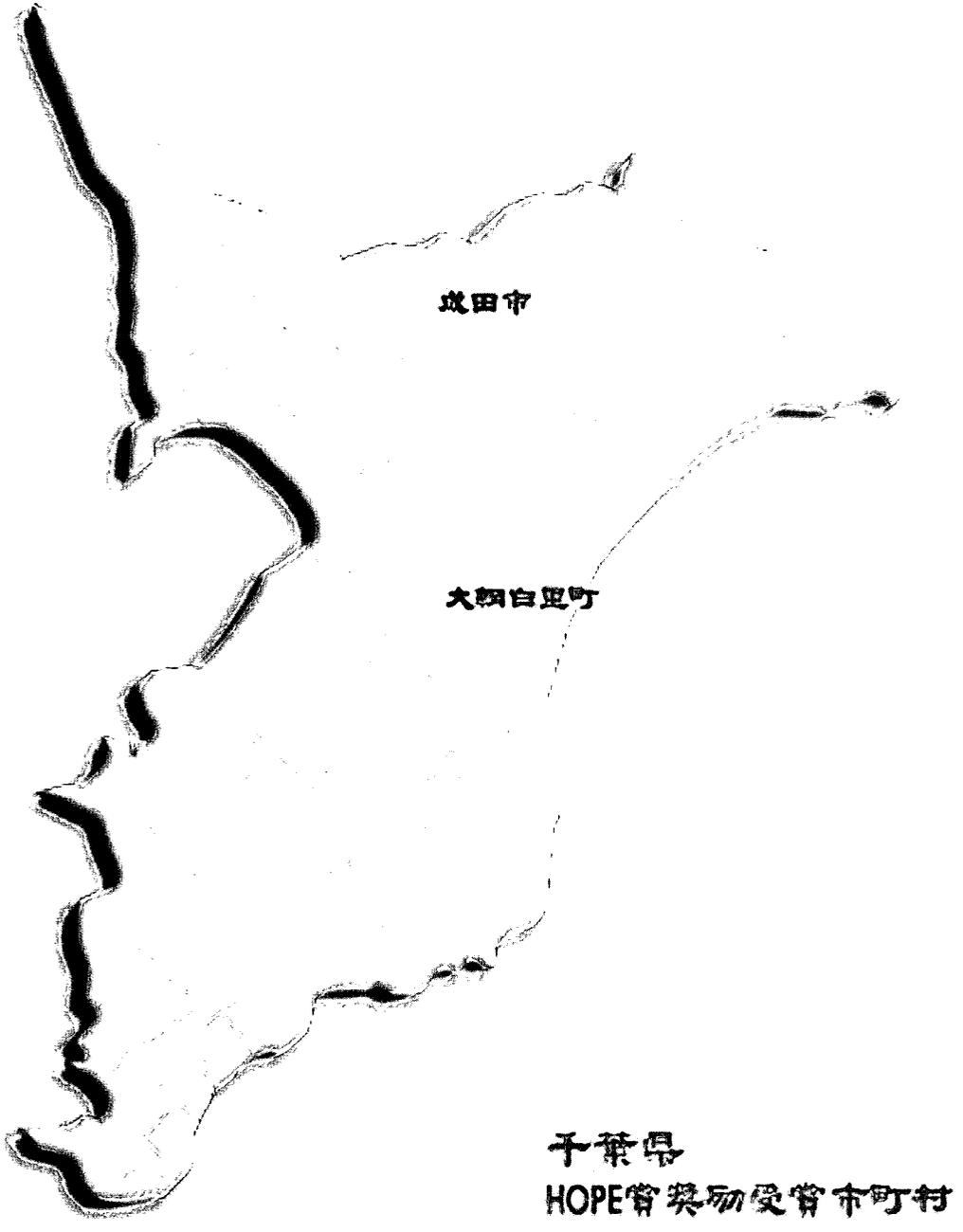
事業種別 住宅団地

事業制度 公営住宅事業

事業主体 市区町村

事業実施年度 平成元年度から平成4年度まで



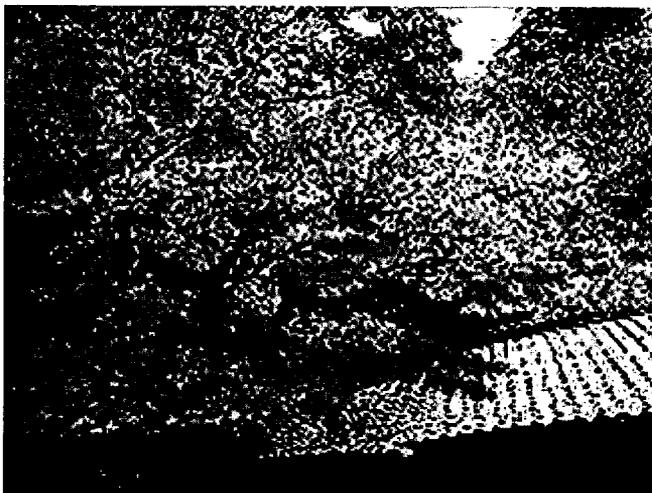


公津の杜



事業概要

- 物語性のある個性豊かな街づくりの実現
- うるおいのある緑豊かな住宅の実現
- テーマを持った特色ある住宅街区の形成
- 快適な歩行者空間を備えた住宅地の実現



計画概要

総面積 187,524㎡
総区画 864区画

事業実施場所	成田市公津の杜
事業種別	住宅団地
事業制度	街なみ環境整備事業
事業主体	京成電鉄（株）
事業実施年度	平成5年度～

「HOPE計画モデル団地」質の高い住宅地づくりの推進



事例その1 みやこ野地区

事業概要

- ① 生垣、庭木、芝による敷地内の緑化
- ② 落ち着いた色合いの屋根と外壁
- ③ 住宅の材料に地場産材を活用



計画概要

- ① 目的
 - ・ 質の高い住宅地づくりの推進
 - ・ ゆとりある住空間の形成
 - ② 事業面積 20.0 ha
 - ③ 計画人口 3,500人
- 事業実施場所 駒込土地区画整理事業区域〔みやこ野地区〕
- 事業種別 住宅団地
- 事業制度 「HOPE計画モデル団地」質の高い住宅地づくりの推進
- 事業主体 土地区画整理組合
- 事業実施年度 昭和62年度（仮換地指定）から

事例その2 ながた地区

事業概要

- ① 生垣、庭木、芝による敷地内の緑化
- ② 落ち着いた色合いの屋根と外壁
- ③ 住宅の材料に地場産材を活用



計画概要

- ① 目的
 - ・ 質の高い住宅地づくりの推進
 - ・ ゆとりある住空間の形成
 - ② 事業面積 25.8ha
 - ③ 計画人口 3,500人
- 事業実施場所 長田土地区画整理事業区域〔ながた野地区〕
- 事業種別 住宅団地
- 事業制度 「HOPE計画モデル団地」質の高い住宅地づくりの推進
- 事業主体 土地区画整理組合
- 事業実施年度 昭和62年度（仮換地指定）から

事例その3 みずほ台地区

事業概要

- ① 生垣、庭木、芝による敷地内の緑化 ② 落ち着いた色合いの屋根と外壁 ③ 住宅の材料に地場産材を活用

計画概要

① 目的

- ・質の高い住宅地づくりの推進
- ・ゆとりある住空間の形成

② 事業面積 69.7ha

③ 計画人口 7,100

事業実施場所 瑞穂土地区画整理事業区域〔みずほ台地区〕

事業種別 住宅団地

事業制度 「HOPE計画モデル団地」質の高い住宅地づくりの推進

事業主体 土地区画整理組合

事業実施年度 昭和62年度（仮換地指定）から



事例その4 みどりが丘地区

事業概要

- ① 1区画180㎡以上の敷地 ② 生垣、庭木、芝による敷地内の緑化
③ 落ち着いた色合いの屋根と外壁 ④ 住宅の材料に地場産材を活用

事業実施場所 緑ヶ丘土地区画整理事業区域〔みどりが丘地区〕

事業種別 住宅団地

事業制度 「HOPE計画モデル団地」質の高い住宅地づくりの推進

事業主体 土地区画整理組合

事業実施年度 平成7年度（仮換地指定）から

計画概要

① 目的

- ・質の高い住宅地づくりの推進
- ・ゆとりある住空間の形成

② 事業面積 88.6ha

③ 計画人口 8,510人



事例その5 季美の森地区

事業概要

- ① 1区画180㎡以上の敷地 ② 生垣、庭木、芝による敷地内の緑化
③ 落ち着いた色合いの屋根と外壁 ④ 住宅の材料に地場産材を活用



計画概要

① 目的

- ・質の高い住宅地づくりの推進
- ・ゆとりある住空間の形成

② 事業面積 132.2ha

③ 計画人口 6,745人

事業実施場所 季美の森土地区画整理事業区域〔季美の森地区〕

事業種別 住宅団地

事業制度 「HOPE計画モデル団地」質の高い住宅地づくりの推進

事業主体 土地区画整理組合

事業実施年度 平成3年度から



神奈川県
HOPE奨励賞受賞市町村

☆ 川崎市 ☆

「川崎HOPE計画・上小田中地区まちづくりガイドプラン」に基づく
市営上小田中住宅建設事業



事業概要

1 経過、目的

- 川崎市は、住宅・住環境の整備による総合的なまちづくりを目的として、昭和60年に「かわさきHOPE計画」を策定し、市南部地区中心に優良再開発事業等の事業展開を図ってきたが、平成元年には、市中部のスプロールエリアの修復、改善等を推進するため、「かわさきHOPE計画・上小田中地区まちづくりガイドプラン」を作成した。
- 上小田中地区は、基盤が未整備で、農地等の低未利用地が点在する一方、老朽した木造賃貸住宅が連担するなど低層住宅が密集した市中部地区の典型的なスプロール地区である。
- 当該事業は、このガイドプランに基づき、まちづくり拠点として市営住宅の建設（建替え）を行い、これをモデルとして、計画エリア内の住宅の更新、開発等に対するガイドプランへの誘導の推進を狙ったものである。

2 上小田中まちづくりガイドプランの主な内容

1. ゾーン別の整備方針
2. 老朽住宅等の更新、共同化、協調化建替えの推進
3. ガイドプランに沿った住宅開発の誘導
4. アメニティ生活道路（歩道状空地）の整備
5. 区画道路整備
6. 拠点的モデル団地（市営住宅）整備

3 団地計画の概要と特徴

(1) 配置計画

- 2項道路に接道する部分について、道路を拡張し歩道を設けると同時に、敷地内に歩道と一体となった公共的空間（歩道状空地）を創出している。
- 敷地周辺にはフェンス等を設けず、通り抜け通路、プレイロット、地域集会所を設け、地域と連続した開放された配置としている。

(2) 建築及びデザイン計画

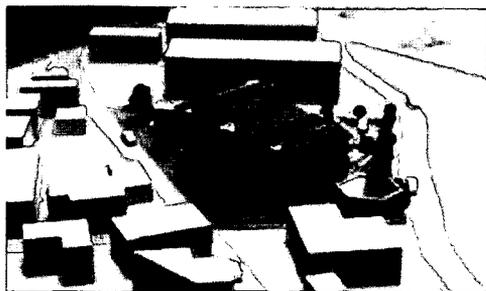
- 勾配屋根、雁行プラン等を用いて、地域の街並との調和及び良好な景観形成を図っている。

(3) コミュニティ計画

- 1つの棟に老人世帯向け住戸、身体障害者向け住戸、ファミリー世帯向け住戸を設け、構成、世代等の多様な世帯による健全なコミュニティの形成を目指している。

4 その他ガイドプランの実績等

- 民間住宅開発誘導等による歩道状空地の整備（延長約100m）
- 地区区画道路整備（延長約500m）



計画概要

敷地面積	1,740㎡
建築面積	429㎡
延床面積	1,342㎡
構造	鉄筋コンクリート造 2~4階建
タイプ別住戸	一般世帯向け 60㎡ 14戸
面積および住戸数	老人世帯向け 55㎡ 5戸
	身障者世帯向け 60㎡ 1戸
	地域集会所 51㎡ 1棟
	プレイロット 1箇所

駐車場 7台（身体障害者用1台含む）
事業実施場所 川崎市中原区上小田中794番ほか
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業

かわさきHOPE計画・上小田中地区まちづくりガイドプラン

事業主体 川崎市
事業実施年度 平成元年度～平成3年度



新潟県
HOPE奨励賞受賞市町村

良寛いの整備事業



事業概要

沿道の街なみ整備を誘導し、市民のうるおいとやすらぎのある散策路としての整備を進めている。

良寛さまゆかりの地点11カ所にはそれぞれの案内板、4 Kmのコースには30カ所道標を配しており、年次計画でインターロッキングやカラー舗装を施している。



計画概要

良寛の道は、三条市内（主に市街地）に点在する良寛さまの史跡や歌碑など、良寛さまゆかりの地点11カ所を結んだおよそ4 Kmの散策路としてルートを決めた。

事業実施場所	三条市内（市街地）
事業種別	小路（通路）
事業制度	まちづくり事業
事業主体	三条市
事業実施年度	平成3年度から

特定公共賃貸住宅建設事業



事業概要

- 住宅の供給～鹿瀬の特徴をもった町営住宅の建設（雁木空間の利用による冬囲いによる圧迫感の解消など）
- 町営住宅は、若者世帯の町外への流出の歯止め、さらに町外の世帯への鹿瀬の暮らしの魅力を紹介を行う役割を担うことを目的とする。



計画概要

- 向鹿瀬団地
平成11年度建設 5戸
木造2階建405.75㎡
- 向鹿瀬団地
平成12年度建設 2戸
木造2階建162.3㎡

事業実施場所 向鹿瀬地区
事業種別 住宅建設
事業制度 特定公共賃貸住宅事業
事業主体 鹿瀬町
事業実施年度 平成11年度から平成12年度



☆ 小千谷市 ☆

天竺地区街なみ環境整備事業



事業概要

計画の目的

小千谷市では「雪国にふさわしい住まいづくり」と「風土に根ざしたまちづくり」をテーマに自然、伝統、文化、産業など、地域の特性を生かしながら、将来に継承し得る質の高い居住空間整備と、良好な地域社会の形成を図ろうと昭和60年度にHOPE計画、昭和62年度に克雪タウン計画を策定しました。また、昭和63年度にその実施手法として「街なみ環境整備促進事業」を取り入れ、地域の施設整備と、住民による住宅及び敷地の整備により、ゆとりと潤いのあるまちづくりを目指したものです。

信濃川の河岸段丘に位置する景観に優れた当地区の特性を生かし、信濃川沿いの桜並木に遊歩道を整備すると共に、地区内にポケットパーク、街角広場を整備することにより、歩行者空間のネットワークを形成し、消雪パイプや半公共空間に冬季における雪処理のための流雪溝を整備し、雪に強いゆとりある住宅地として整備しました。



事業実施場所 新潟県小千谷市日吉（天竺地区）
事業種別 通路、道路、緑道、公共施設
事業制度 街なみ環境整備事業
事業主体 小千谷市
事業実施年度 平成3年度～平成12年度

計画概要

街なみ環境整備事業や建築協定等：
事業面積（3.76ha）、
対象住戸数（192戸）、
対象世帯数等（192戸）
緑道整備、通路整備、
街角広場整備、
流雪溝・消雪パイプ整備

松和町コーポラティブ住宅建設促進事業



事業概要

- コーポラティブ住宅として敷地の一部(駐車場, 通路等)の共同化を図る。
- 管理組合を設置し共用部分の将来的な確保を図る。
- まちづくり協定を設置し, 「美しい街並み」「落ち着いた景観」「緑豊かな空間づくり」を図る。
- コーディネーター契約により地域人材の活用を図る。



計画概要

事業面積: 1,713㎡

区画数: 12区画

共有地負担: 道路, 駐車場, 花壇を共有地として負担

管理組合: 共有通路等の維持管理を行い通路の現状の位置, 幅員を将来に渡り確保

住宅づくりのためのコーディネーター契約:

建設時に新潟市建築設計協同組合並びに(財)新潟市開発公社とコーディネーター

契約を締結

まちづくり協定:

「美しい街並み」「落ち着いた景観」

「緑豊かな空間づくり」を目的として

協定を設定

事業実施場所 新潟市松和町地内
事業種別 個人住宅
事業制度 なし
事業主体 新潟市土地開発公社
事業実施年度 平成7年度～



☆ 相川町 ☆

上町集会施設改修工事



事業概要

相川町は金山の町として栄え、その遺構、史跡が数多く残っていて、当時の面影に接することが出来る、日本でも数少ない町である。また、天領の町として400年の歴史がある町でもある。

この事業は、町全体に点在している金山の遺構、史跡を展示物としてとらえ、これらを結ぶ遊歩道の整備、ポケットパークの設置、住環境の整備、古い町並みの保存、修復を図り、快適で潤いのある町づくりを進めることを目的として計画されたが、この集会施設は、その一環として、佐渡鉾山時代の社宅を、当時の面影を最大限に残した改修を行い、街並みの保存と地域の活性化を図ろうとするものです。



事業実施場所 佐渡郡相川町大字下京町7番地
事業種別 公共施設
事業制度 街なみ環境整備事業
事業主体 相川町
事業実施年度 平成10年度

計画概要
敷地面積 519.87㎡
改修面積 127.86㎡
延床面積 127.86㎡
階数 平屋
構造 木造日本瓦葺平屋
型式 1戸建



富山県
HOPE奨励事業実施町村

☆ 新湊市 ☆

内川周辺整備事業 (魅力あるまちづくり事業、まちのかおづくり事業)



事業概要

新湊市の既成市街地ゾーン中央を流れる「内川」周辺は、海運の要所としての歴史の趣が、また現在も小型漁船など船舶の停泊に用いられ、内川と共に生きる生活が今も残る地域である。

この内川周辺を、市民が親しみを感じる場として整備することは、この土地に「住みたい」「訪れてみたい」と思わせることにつながる効果が十分ある。そして、内川沿いの家並み等、気候風土に合った原風景である景観を継承して、新湊型ライフスタイル・住文化や、地域人材の活用・育成による健康で活気あふれる、元気な町を目標にまちづくりを進めるものである。よって、これらを重要な資源・財産として認識して整備を行うものである。

また、新湊の活性化に向け、魅力を増すよう以下の点に重点を置き、資源活用を十分に図る計画で進めている。

- 市民の利用促進：安全で快適な散策路・環境として整備する。
- 交流人口の誘引：市街地東部に位置する、観光・交流拠点施設の海王丸パークに来場する、多くの観光客を市内へ誘引するための起爆剤として、また新湊の個性を伝える 装置・海の回廊として内川周辺を整備する。
- 既存市街地の活性化：住宅投資や、商業等、事業投資の誘致を促し魅力度を向上させる。（川面を眺望出来る飲食店街等）



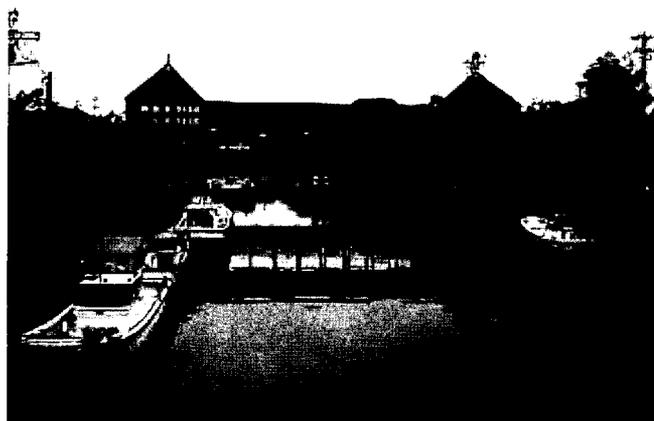
↑山王橋－神楽橋間の整備イメージ

計画概要

川を中心としたまちづくり

- 橋梁事業：文化性・特徴のある橋の整備を行う。（現在架かる13の橋の内5つが整備済み。）
- 街路事業：遊歩道（舗装）、緑道（街路樹）の整備 [延長3.3km]
- 公園事業：ポケットパークの整備（ベンチ、パーゴラ）

事業実施場所	新湊市 八幡町、立町、放生津町、中央町、本町、港町
事業種別	橋、遊歩道、広場(ポケットパーク)、緑道(街路樹)、等
事業制度	国補助—道路（橋梁整備事業）、まちづくり総合支援事業 県補助—まちのかおづくり事業
事業主体	新湊市
事業実施年度	昭和60年度～



↑東橋（歩行者専用の屋根付き橋、両端は休憩室）

公営住宅妙川寺団地



事業概要

- 計画の目的：八尾型モデル住宅団地の建設地域住宅関連産業の振興
- 地域の活性化：人口増及び建築関連産業活性化の促進
- 地場財産活用：八尾和紙を挟む複層ガラスを採用、石積擁壁
- 気候風土に関する工夫
 - 雪に対する配慮から、八尾住宅の特徴である屋根の出し梁工法を採用した、また、窓は2重サッシを用いた。
 - 壁は白壁として腰壁に板張りを採用した。



↑ 妙川寺団地

計画概要

○ 妙川寺団地

敷地面積：15,318㎡、延床面積：7,002㎡

構造：中層耐火3階建て、8棟

戸数：84戸（2DK42戸、3DK42戸）

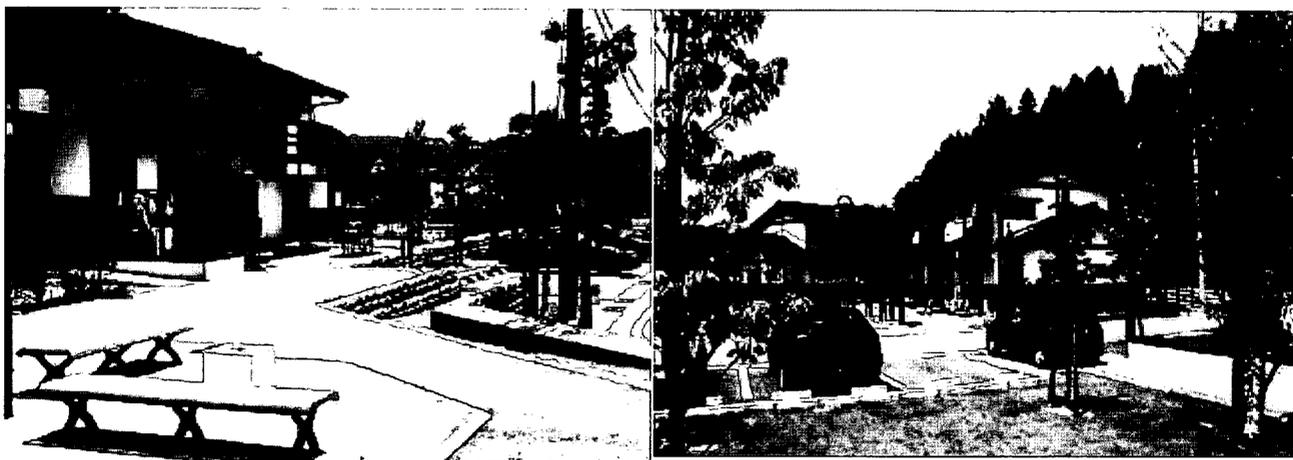
事業実施場所	八尾町妙川寺
事業種別	公営住宅等団地
事業制度	公営住宅事業、特定公共賃貸住宅 建設事業
事業主体	八尾町
事業実施年度	平成元年度～平成15年度

公営住宅高熊団地



事業概要

- 計画の目的：八尾型モデル住宅団地の建設地域住宅関連産業の振興
- 地域の活性化：人口増及び建築関連産業活性化の促進
- 地場財産活用：八尾和紙を挟む複層ガラスを採用、石積擁壁
- 気候風土に関する工夫
 - 雪に対する配慮から、八尾住宅の特徴である屋根の出し梁工法を採用した、また、窓は2重サッシを用いた。
 - 壁は白壁として腰壁に板張りを採用した。



計画概要

○高熊団地

敷地面積：8,834㎡、延床面積：1,741㎡

構造：木造1,2階建て、13棟

戸数：26戸（2DK4戸、2LDK12戸、3DK10戸）

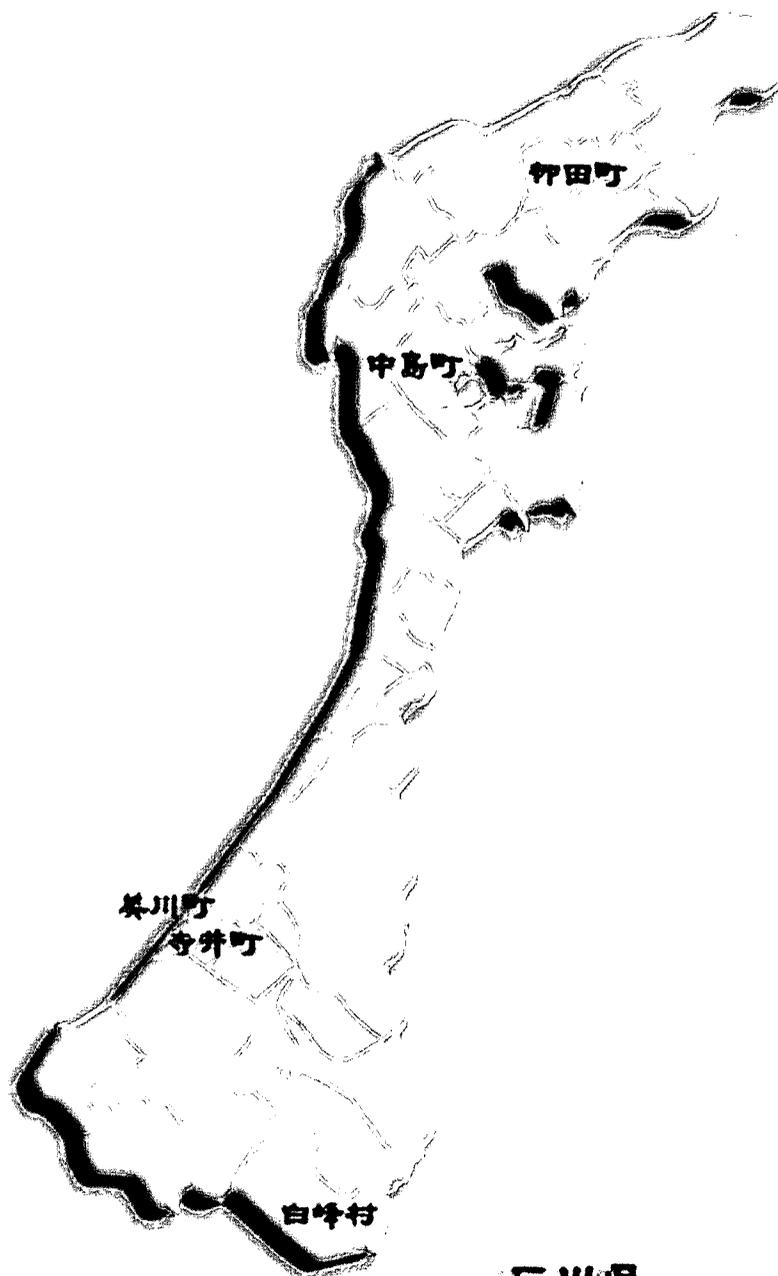
事業実施場所 八尾町高熊

事業種別 公営住宅等団地

事業制度 公営住宅事業、特定公共賃貸住宅
建設事業

事業主体 八尾町

事業実施年度 平成元年度～平成15年度



石川県
HOPE奨励賞受賞市町村

町営中島団地建替事業



事業概要

- 計画の目的／老朽化した木造町営住宅を公営住宅と特定公共賃貸住宅に建替る
- 地場産材活用／内装下地材として地場産材と地場の黒釉薬和瓦等使用
- 地域活性化／定住支援策として町内初の特定公共賃貸住宅建設
- 協定、住民参加等／街なみ環境整備の協定に準じ、建物高さの抑制、勾配屋根や外壁色彩など外観デザインへの地域性導入
- 気候風土に関する工夫／冬季の屋外活動スペースとしてピロティの整備、日本有数の住戸規模の住宅事情に対応し、広い住戸規模、接地性やバルコニー面積を確保

事業実施場所 鹿島郡中島町字中島地内
 事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅事業＋特定公共賃貸住宅整備事業
 事業主体 市区町村／中島町
 事業実施年度 平成8年度～平成10年度



計画概要
 敷地面積 2,480.58㎡
 建築面積 756.70㎡
 延床面積 1,478.47㎡
 構造 RC造
 型式 フラット＋メゾネット型
 タイプ別住戸面積 左表の通り
 住戸数 18戸(公営14戸＋特定公共4戸)
 階数 3階

建設年度	住宅種別	タイプ	間取り	戸数	住戸専用	公住面積
H8	公営	A-1	2LDK	4	63.29	75.77
"	"	A-2	2LDK	1	63.29	74.31
"	"	B	3LDK	1	76.63	87.63
"	"	C-1	3LDK	2	79.94	94.30
"	"	C-2	3LDK	2	79.94	92.84
"	"	D	3LDK	1	79.94	92.82
"	"	E	2LDK	1	76.98	89.86
"	"	F	3LDK	1	76.11	88.47
"	"	G	3LDK	1	76.98	90.68
H10	特定公共	H	4LDK	4	99.38	113.16
計				18		

街なみ環境整備事業



事業概要

- 計画の目的／地域の中心市街地の総合的な住環境整備と活性化
- 伝統文化の継承／平安時代から続く「御館^{おたち}の水」を保全する公園整備
- 地域の活性化／町唯一の地域商店街の景観整備、高齢者の生き甲斐となる菜園公園の整備
- 地域人材の活用育成／「まちづくり粋旗会」を中心としたまちづくり研究や住まいづくりガイドブックの作成
- 協定、住民参加等／まちづくり協定の導入と公園整備におけるワークショップの導入
- 気候風土に関する工夫／「住まいづくりガイドブック」を作成し、伝統的な様式や外観の住宅づくりの普及

事業実施場所 鹿島郡中島町字中島地内
事業種別 公園、通路、道路、緑道等
事業制度 街なみ環境整備事業
事業主体 市区町村／中島町
事業実施年度 平成2年度～（平成15年度
現在継続中）



計画概要
事業面積 16ha
対象住戸(世帯)数 116戸
道路・通路 5,313m
公園緑地 9ヶ所、4,500㎡
下排水路 5,300m
防災施設 耐震性防火水槽1ヶ所



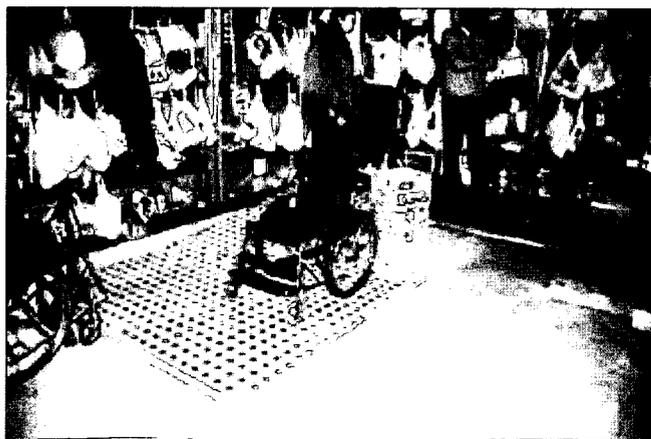
高齢者・身体障害者の住まい方調査・改善指導事業



事業概要

- 事業目的 HOPE計画に基づき、住まいの中で最も課題の多いものの1つである「高齢者・身体障害者の住まい」について、町住宅建設部局と福祉部局が連携して実態を調査すると共に、その場で課題解消のための技術指導・生活指導を行った。
- 実施数
 - ・平成 8年度 4世帯（下肢障害2級1世帯・＼1級1世帯・視力障害1級2世帯）
 - ・平成 9年度 2世帯（高齢世帯2世帯）
 - ・平成10年度 2世帯（下肢障害1級1世帯・視力障害1世帯）
- 調査者 作業療法士1名 建築士1名 役場2名（町建設整備課・住民福祉課）

事業実施場所 石川県鹿島郡中島町全域
事業種別 個人住宅調査・改善指導
事業制度 町単独事業
事業主体 市区町村／中島町
事業実施年度 平成 8年度～10年度



わかすぎ住宅建設事業

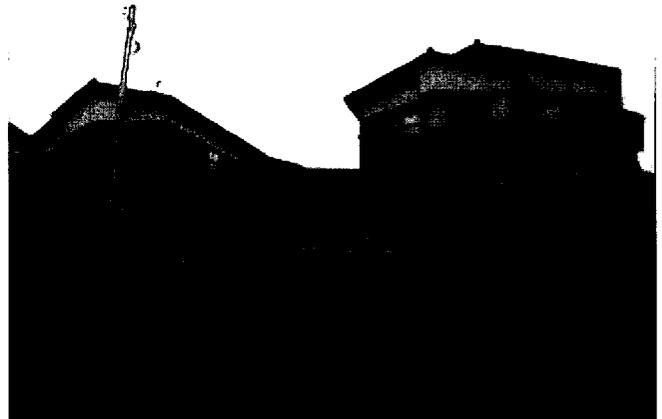


事業概要

若者の定住促進による地域の活性化
伝統的建築工法の継承
地元産材の活用による林業振興

計画概要

敷地面積	506㎡
建築面積	288㎡
延床面積	576㎡
構造	木造2階建 2棟
住戸数	10戸
事業実施場所	白峰村字白峰地内
事業種別	公営住宅
事業制度	公営住宅建設事業
事業主体	白峰村
事業実施年度	平成8年度



特定公共賃貸住宅さくら団地



事業概要

- 計画の目的： HOPE計画に基づき、主として若者の定住促進、人口増加を進めるための堅 所得者層向けの拠点団地をめざす。
- 伝統文化継承： 本村の民家景観と調和した景観配慮型とした。
- 地場産材活用： 木材の県産材活用率 約80%
- 地域人材の活用や地域人材の育成： 在来工法へのこだわり。（大工の活用、育成）
- 気候風土に関する工夫： 居室はすべて南面させ採光や通風に配慮しつつ、1つの集落としてのまとまりのある景観とした。



計画概要

敷地面積	8,400.00㎡	
	住宅敷地4,640㎡	幼児遊園950㎡、
	道路等2,810㎡	
建築面積	1,423.52㎡	
延床面積	1,970.00㎡	
構造	木造2階建瓦葺	
型式	接地型二戸一型式	
戸数	18戸 北入り(Aタイプ)8戸(3LDK)	
	北入り(Aタイプ)8戸(3LDK)	
	南入り(Bタイプ)10戸(3LDK)	
総事業費	370,700千円	

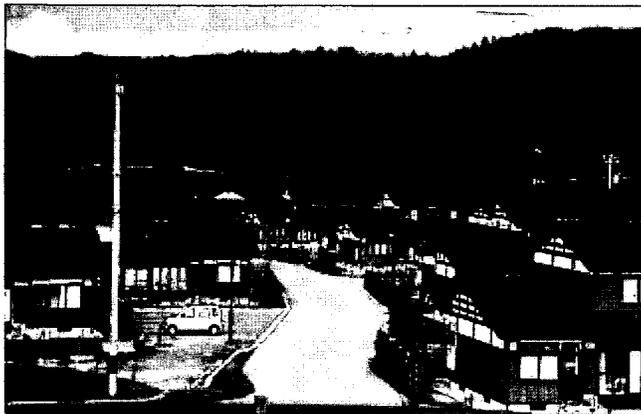
事業実施場所	鳳至郡柳田村字柳田龍部14番地
事業種別	住宅団地
事業制度	特定公共賃貸住宅建設事業
事業主体	柳田村
事業実施年度	平成5年度～平成6年度

特定公共賃貸住宅わすみ団地



事業概要

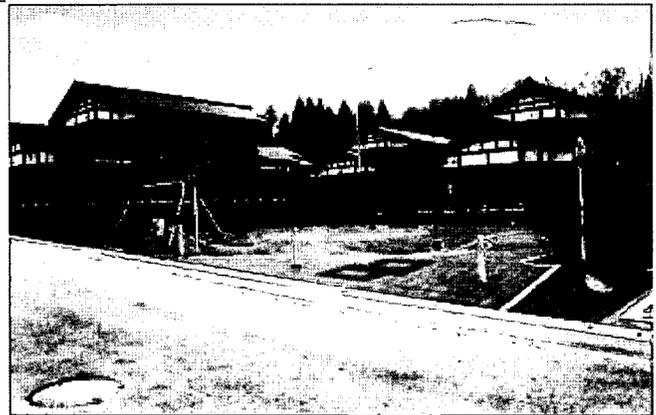
- 計画の目的： HOPE計画に基づき、若者のU・J・Iターンによる定住促進、高齢者との同居を踏まえて、これからの地域、村づくりの活性化を先導する拠点団地とする。
- 伝統文化継承： 本村の民家景観と調和した景観配慮型とした
- 地場産材活用： 木材の県産材の活用 約80%
- 地域人材の活用： 在来工法へのこだわり（大工の育成等）
- 気候風土に関する工夫： 民有地（田）を購入し、緩やかな傾斜地の特性を活用し、周辺の環境へ溶け込んだまとまりのある、まちなみ景観の創出を目指した。
- 高齢者への配慮： 裏庭からスロープの他、内部においても段差解消等バリアフリー化に努め、又、高齢者の生きがい創出のため、共同菜園を設けた。



計画概要

敷地面積	12,000.00㎡
	住宅敷地6,720㎡ 幼児遊園425㎡、 道路等4,855㎡)
建築面積	2,219.98㎡
延床面積	3,086.72㎡
構造	木造2階建瓦葺
型式	接地型二戸一型式
戸数	26戸北入り（Aタイプ）14戸（3LDK） 北入り（Aタイプ）8戸（3LDK） 南入り（Bタイプ）12戸（3LDK）
総事業費	798,000千円

事業実施場所 鳳至郡柳田村字上町ほ字27番地
 事業種別 住宅団地
 事業制度 特定公共賃貸住宅建設事業
 事業主体 柳田村
 事業実施年度 平成11年度～平成14年度



一連の九谷焼平板を活用した街並み整備



事例その1 北国街道復活事業

事業概要

- 計画目的：伝統文化の継承と昔の北国街道の復活
- 北国街道の松並木を復元し、地場産材である九谷焼陶板を境界壁面に活用。



計画概要	
敷地面積	219㎡
事業延長	73m
歩道幅員	3m
事業実施場所	寺井町字東任田地内
事業種別	歩道
事業制度	町単独事業
事業主体	寺井町
事業実施年度	昭和63年度

事例その2 街角整備事業

事業概要

- 計画の目的：九谷陶芸村を訪れる観光客へのPR、九谷の個性と文化性を備えた町づくり。
- 陶板のデザイン
(テーマ桜「寺井の四郡田歴史古墳時代」)
 - つつじ(夏) 町花(現代)
 - 稲(秋) 田園風景(明治～昭和)
 - 松(冬) 北国街道(～江戸)

計画概要	
事業延長	8m
陶板	14枚
各主陶板の大きさ	最大30×40cm
事業実施場所	寺井町字泉台地内
事業種別	個人住宅
事業制度	町単独事業
事業主体	寺井町
事業実施年度	昭和61年度



美川町まちなみ景観づくり整備事業



事業概要

美川町まちなみ景観条例に基づき、建築物等の敷地、構造、規模、形態、用途、位置、意匠、建築設備又は色彩に関する基準を協定し、当地区の伝統的な住環境を保全し、快適な生活ができるまちなみを形成する。



事業実施場所 美川町字新町 西地区
事業種別 個人住宅、道路、公園等地区内における住民によるまちづくりの活動
事業制度 美川町まちなみ景観条例
事業主体 新町西町内街づくり協議会
事業実施年度 平成14年度より10年間

計画概要

美川町HOPE計画の趣意に基づき、町内住民の生活基盤を損なうことなく、将来に向けて、より魅力ある町並み、住みよい街づくりの推進のため、住民一体となって協議、活動を行う。



福井県
HOPE奨励賞受賞市町村

インフィル型市営住宅



事業概要

民間資本の活用や市の財政負担の軽減を図ることから、民間が建設する特定優良賃貸住宅を、市が一括して借り上げし、公営住宅として賃貸する。

また、中心市街地の活性化を図るため、中心市街地に建築された伝統的な町家風の住宅を借り上げしている。



計画概要

大野市西二番町家住宅敷地面積

敷地面積	697.82㎡
建築面積	473.08㎡
延床面積	1214.69㎡
構造	鉄筋コンクリート構造
階数・戸数	3階建 10戸

大野市東二番町家住宅

敷地面積	994.66㎡
建築面積	419.98㎡
延床面積	1135.07㎡
構造	鉄筋コンクリート構造
階数・戸数	3階建 10戸

敷地面積	177.02㎡
建築面積	107.35㎡
延床面積	193.16㎡
構造	鉄筋コンクリート構造
階数・戸数	2階建 2戸

事業実施場所	大野市元町・大野市明倫町
事業種別	住宅団地
事業制度	特定優良賃貸住宅供給促進事業
事業主体	大野市
事業実施年度	平成13年度

☆ 大野市 ☆

明治公園整備事業



事業概要

南部第二土地区画整理事業地区の南端に美しい水が流れる公園と体育館・武道場・弓道場・テニスコート等を備える総合運動施設を整備。



計画概要

面積：1.63ha

事業実施場所

事業種別

事業制度

事業主体

事業実施年度

大野市桜塚町

公園

大野市HOPE計画

大野市

平成元年・平成2年

☆ 丸岡町 ☆

振興地型住宅モデル・「丸岡のいえ」の提案



事業概要

質の高い住宅を建てるため、「丸岡のいえ」は①最低敷地規模200㎡以上②間口12m以上③2階建てで和風を基調とした外観④屋根は越前瓦を使用⑤外壁は無彩色⑥地場産材の素材を用いる等の条件等を付けると共に住宅金融公庫の優遇貸し付け、また、頭金の一部として財形住宅貸付制度及び年金融資制度が利用できることとし、また、福井県持家づくり資金利子補給制度の利用できるよう支援を行った。



計画概要

丸岡町は、南部地域や国道8号線を中心に福井市のベッドタウンとして発展し、全国一律的な間取りや外観をしたローコストの住宅が多い。このため、丸岡の伝統的な住様式を踏まえつつ、地域の特性に合った、質の高い新興地型モデル住宅「丸岡のいえ」(HOPE仕様)の提案を行った。

事業実施場所	丸岡町一本田福所地係
事業種別	個人住宅
事業制度	新規住宅団地開発に係わるまちなみ誘導指針
事業主体	福井県住宅供給公社
事業実施年度	平成元年～平成2年



南アルプス市

山梨県
HOPE奨励賞受賞市町村

☆ 南アルプス市 ☆

白根町HOPE計画



事業概要

- 計画の目的： 地域の特性を踏まえた質の高い居住空間の整備、地域発意と創意による住まいづくり又、地域に根ざした特色のある住宅づくりを目的とした。
- 建築 工法： 改良型在来工法
- 建築 協定： 敷地周辺は生垣をして頂く。
- 地域の活性化： 桃源郷（仮称）という自然に恵まれた住宅環境を守るため地元商工会の中の技能部門が中心となり本計画に基づき白根町住宅共同組合が設立され、施工については地元優良業者が行うことで地元の気候風土にあった住み良い住宅環境を創出し町住宅建設活性化と地域人材の育成に大きな役割を担っている。

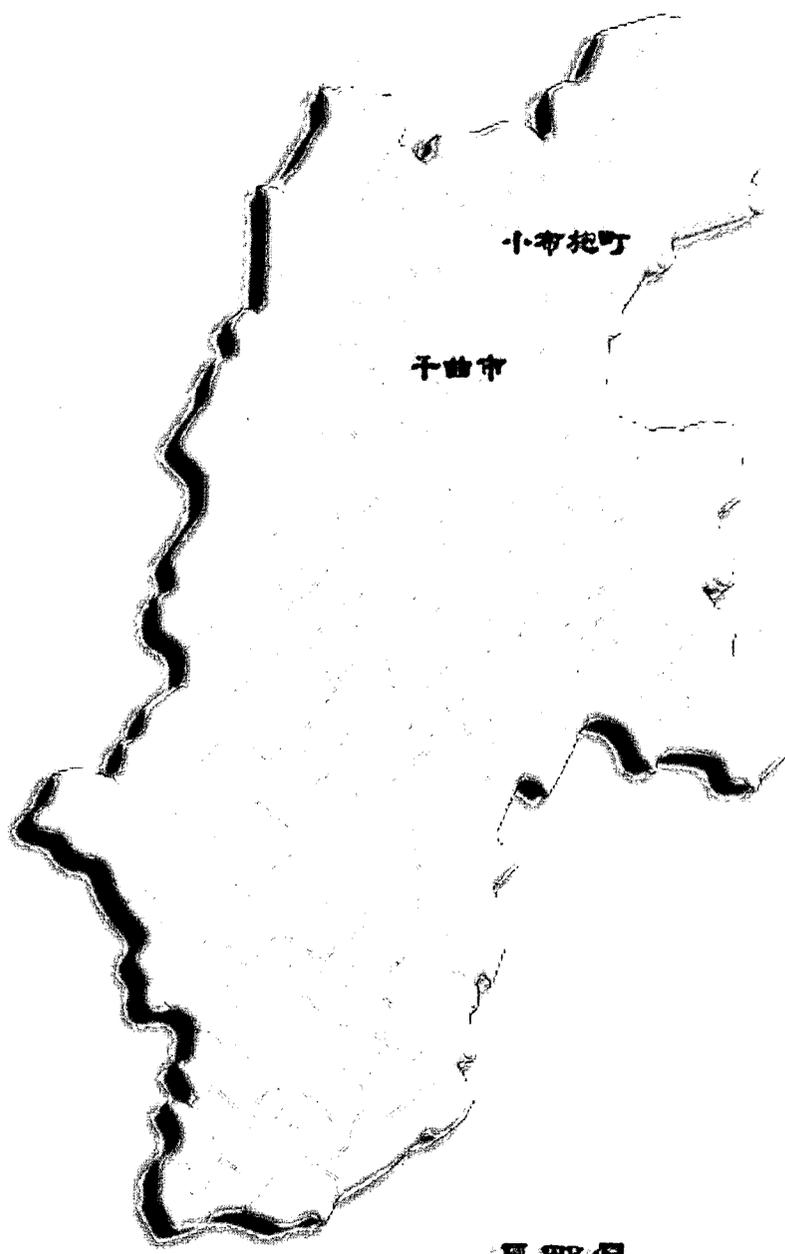


計画概要

- ・ 旧白根町は甲府盆地の西縁南アルプス山麓に位置し県都甲府市より西方に10kmのところにあり、町の平坦地の大部分は古来御勅使川の氾濫によってできた典型的な扇状地の上に展開している町である。その中にある飯野地区（計画地）は旧白根町と旧櫛形町の町境付近に位置する北上がりのゆるい傾斜地で、敷地はほぼ平坦である。
周囲の桃畑は敷地を完全に取り囲み、その木ごしに東南方向に富士山を眺望できる。
- ・ 計画敷地面積=15,420.47㎡
宅地総面積=12,000.48㎡
- ・ 専有敷地面積=80~100坪/戸 平均86坪/戸
- ・ 計画戸数=42戸

- 事業実施場所 白根町飯野
- 事業種別 住宅団地の造成
- 事業制度 建築協定（生垣に対する協定）
- 事業主体 白根町
- 事業実施年度 昭和62年～63年





長野県
HOPE奨励賞受賞市町村

まちかど公園計画



事業概要

- 昭和61年度推進事業の一環として「まちかど公園計画」を策定。
- 住宅地の交差点や道路に面するまちかどの遊休地、公共施設用地等を活用した点的な整備を行うことにより、周辺住宅地の景観整備を誘導していく事業。そうした修景ミニ広場を「まちかど公園」と呼び、周辺への修景効果のほか、休憩スペース、広報の場、モニュメントの設置スペース等様々な機能と意味をもたせている。



計画概要

- | | |
|-----------------|--------|
| ① あんず街道まちかど公園 | 140㎡ |
| ② 千曲川展望公園 | 500㎡ |
| ③ 粟佐橋ふれあい公園 | 2,300㎡ |
| ④ 土口・屋代線ポケットパーク | 70㎡ |
| ⑤ 安全橋まちかど公園 | 100㎡ |
| ⑥ 真光寺橋まちかど公園 | 300㎡ |
| ⑦ 岡森池ポケットパーク | 30㎡ |
| ⑧ 郡峰3号線まちかど公園 | 150㎡ |
| ⑨ 四十八枚田アプローチパーク | 350㎡等 |

事業実施場所 千曲市大字屋代ほか市内一円
 事業主体 千曲市・長野県
 事業実施年度 昭和62年度から

あんずの里地区景観整備計画

事業概要

昭和61年度に推進事業の一環として日本一のあんずの里にふさわしい住宅地景観の誘導を図るため「あんずの里地区景観整備計画」を策定。

景観整備の啓発を誘導する目的のひとつとして、母屋の建設に加え、既存蚕室や土蔵を地域の景観に配慮して改修し、隣接のあんず園(4,415㎡)と一体となり、あんずの里の景観や展望を生かしながら地域住民と来訪者の交流の場として整備。



計画概要

敷地面積 4,599.33㎡
 母屋(休憩室・展示室・公衆トイレ)
 建築面積 198.74㎡ 延床面積 110.43㎡
 構造 木造(一部RC造) 階数 2階
 門(旧蚕室改修)
 建築面積 95.28㎡ 延床面積 129.19㎡
 構造 木造 階数 2階
 事業実施場所 千曲市大字森
 事業種別 公園
 事業主体 千曲市
 事業実施年度 平成12年度

景観整備計画

事業概要

- 昭和61年度に推進事業の一環として日本一のあんずの里にふさわしい住宅地景観の誘導を図るため「あんずの里地区景観整備計画」を策定。
- 景観整備の意識啓発を誘導する目的のひとつとして、公衆トイレや消防施設を地域景観に配慮し建設した。



計画概要

公衆トイレ2ヶ所(平成9年度、10年度)
 建築面積31.42㎡ 延べ面積31.01㎡
 構造 コンクリートブロック造 階数 1階
 防災資機材地域備蓄施設(平成13年度)
 敷地面積50.07㎡ 建築面積19.87㎡
 延べ面積19.87㎡ 構造 鉄骨造 階数 1階
 事業実施場所 千曲市大字森
 事業種別 公共施設
 事業主体 千曲市
 事業実施年度 昭和61年度から

モデル住宅団地北堀団地



事業概要

更埴市のHOPE計画に基づき良好な低層集宅地開発とした。住宅地景観、コミュニティの育成等総合的な居住環境整備による公的分譲住宅地開発で民間の住宅地開発へのモデルとした。

計画概要

敷地面積 20,080.2㎡
区画数 54区画
平均区画面積 257.9㎡



事業実施場所	千曲市大字八幡
事業種別	住宅団地
事業制度	
事業主体	長野県住宅公社
事業実施年度	平成2年度から平成4年度

モデル住宅団地八幡団地



事業概要

- 更埴市がHOPE計画に基づき策定した「更埴市地域型木造住宅建設基準」をカバーしたモデル街区を設定し、一般の住宅建設にあたり地域型木造住宅建設の促進を促した。
- 住宅地景観、コミュニティの育成等総合的な居住環境整備による公的分譲住宅地開発で民間の住宅地開発へのモデルとした。



事業実施場所 千曲市大字八幡
事業種別 住宅団地
事業制度
事業主体 千曲市
事業実施年度 昭和62年度から昭和63年度

計画概要
敷地面積 16,608.2㎡
区画数 47区画
平均区画面積 257.2㎡

モデル住宅の建設（市営住宅志川団地）



事業概要

- 平屋建市営住宅及び一般の木造住宅のモデルとして建設。
- 木材の素材感を強調し、地域産材を活用するために構造材、内・外装材に唐松を使い、県産の木製建具、瓦も取り入れています。
- 市内の伝統的住宅にみられる越屋根を設け、外壁を漆喰塗りとする等、地域の景観を継承しつつ新たに創り出す試みをしています。



計画概要	
敷地面積	274.35㎡
建築面積	123.21㎡
延床面積	119.24㎡
階数	1階
構造	木造
型式	二戸一棟型
1戸別住戸面積及び住戸数	3K 59.6㎡ 2戸

事業実施場所	千曲市大字八幡
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	千曲市
事業実施年度	昭和60年度



市営住宅の建替え(市営住宅屋代団地)



事業概要

- 老朽化した市営住宅を蔵造りをモチーフしたRC造3階建2棟、隣接する民家との調和を図った真壁・切妻大屋根木造2階建3棟からなる団地に建替えた。
- 地場産材である唐松を内・外装材に使用した。



事業実施場所 千曲市大字屋代
事業種別 住宅団地
事業制度
事業主体 千曲市
事業実施年度 昭和61年度から昭和63年度

計画概要
敷地面積 4,687.08㎡
建築面積 1,156.22㎡
延床面積 2,712.73㎡
構造 鉄筋コンクリート造及び木造
型式 積層型(RC造)、二戸1棟型(木造)
タイプ別住戸面積及び住戸数
(RC造) 3DK-64.4㎡・30戸
(木造) 3DK-74.5㎡・6戸
階数 (RC造)3階建て・(木造)2階建て

市営住宅の建替え(市営住宅鑄物師屋団地)



事業概要

- 緑と安らぎを配慮した団地計画とし、地域の景観や特色を生かした建替事業により一般住宅のモデルとして近隣への波及効果を狙ったもの。
- 地場産材である唐松を内・外装材と木レンガに使用した。
- 住棟外観は伝統的な木造塗壁を基調とし、切妻大屋根及び越屋根のある民家をモチーフした家並みとし地域の伝統的な住宅地のイメージを踏襲した木造公営住宅とした。



事業実施場所 千曲市大字鑄物師屋
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 千曲市
事業実施年度 平成元年度から平成4年度

計画概要
敷地面積 4,708.21㎡
建築面積 1,161.47㎡
延床面積 1,543.36㎡
構造 木造
型式 二戸1棟型
タイプ別住戸面積及び住戸数
2DK-58.4㎡・4戸
3DK-74.3㎡・16戸
階数 1階(2棟)・2階(8棟)

☆ 小布施町 ☆

高速道路事業に伴う収用移転



事業概要

高速道路事業に伴う収用移転で、長野県が区画を行い、個人が住宅を建設するに当たり、町が行っている住まいづくり相談を受け、HOPE計画やまちづくり条例による住宅建築に協力いただき、地域の個性を大切し緑豊かで、景観、歴史や風土と調和した集落の形成を図る。



計画概要

長野県による25区画。
木造2階建て戸建住宅。

事業実施場所 小布施町大字小布施 山王島集落
事業種別 個人住宅
事業制度 小布施町うるおいのある美しいまちづくり条例
住まいづくり相談
事業主体 個人
事業実施年度 平成4年度から平成5年度



☆ 小布施町 ☆

町営住宅水上団地



事業概要

老朽化が著しい公営住宅の建替えに当たり、HOPE計画やまちづくり条例における「地域の個性を大切に、景観、歴史や風土と調和したまちづくり」の考えを踏まえ、主に木造2階建てによる建替えを行う。公園・緑地を中心としたコミュニティーを形成し、緑豊かな住宅地とし、他の住宅のモデルとなるような安らぎとるおいのある環境とする。

事業実施場所 小布施町大字雁田992-6~9
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 小布施町
事業実施年度 平成9年度から平成16年度予定



計画概要

敷地面積	約9,995㎡
建築面積	約1,789㎡
延べ床面積	約3,369㎡
構造	木造（一部鉄骨造有）
型式	棟建
タイプ別住戸面積および住戸数	
	A：72.04㎡、32戸
	B：59.62㎡、10戸
	C：74.11㎡、2戸
	D：69.56㎡、2戸
	平屋：41.76㎡、4戸
階数等	2階建、平屋

☆ 小布施町 ☆

おぶせミュージアム・中島千波館 建設事業



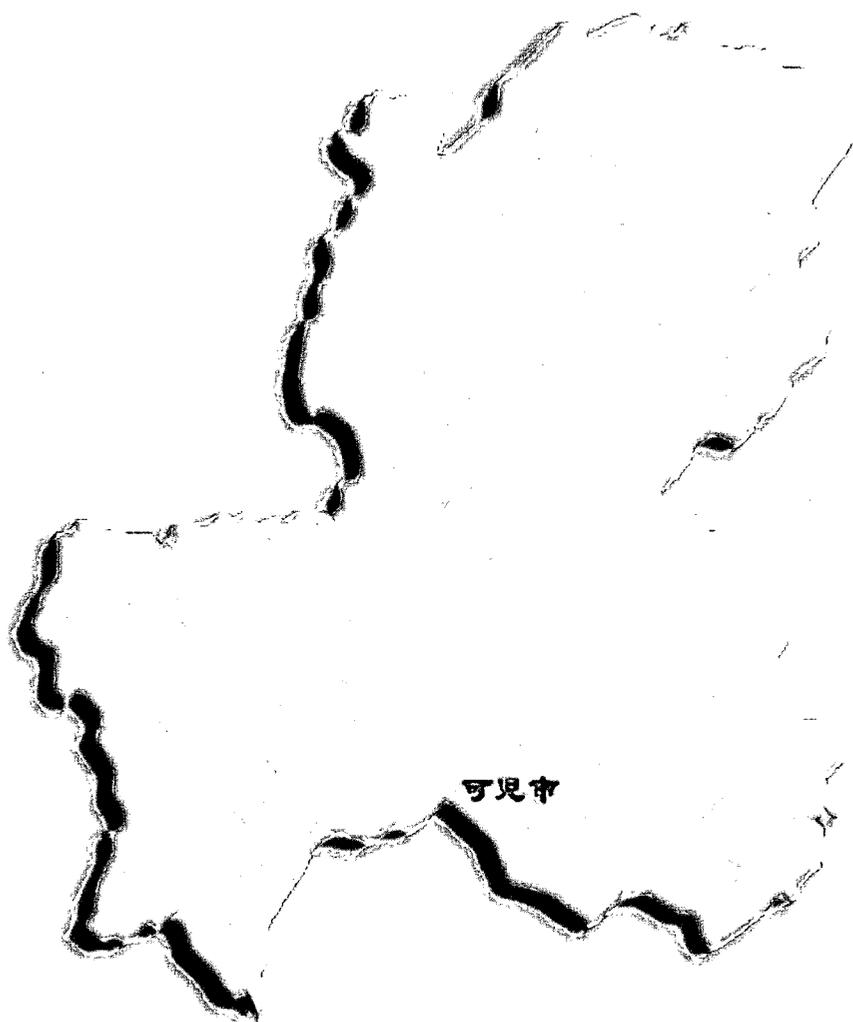
事業概要

人と地域と共存する小布施町の新しい文化拠点として建設する。建設地が、第1種低層住居専用地域であるため、HOPE計画やまちづくり条例における景観に配慮した建築物とし、美術館の敷地に四季おりおりの花や木をあいしらい、季節感あふれる庭づくりを目指した。



事業実施場所 小布施町大字小布施595番地
事業種別 公共施設
事業制度 美術館建設事業
事業主体 小布施町
事業実施年度 平成3年度から平成4年度

計画概要
敷地面積：9,000㎡
建築面積：1,584㎡
延床面積：1,643㎡
構造：RC造、切妻、一部2階



岐阜県
HOPE奨励賞受賞市町村

☆ 可児市 ☆

久々利地区街なみ整備促進事業



事業概要

可児市の中でも、最も自然・歴史・伝統・文化が息づいている久々利地区は市の中心市街地から東へ約5 kmに位置し、農地が広がり、背後に山地を有し美濃焼発祥地としての古窯跡をはじめとする多くの史跡を有する古くから開けた農村地帯であり、自然、歴史、文化の強い地域である。

その中心集落地としての当街なみは、旧旗本の武家屋敷町としての面影を残す土塀、石垣、水路等が一部にみられ、落ち着いたたたずまいを呈しているが、近年その風情や景観と調和しない新しい住宅が建てられたり、古くからの街なみのため公園、広場等のコミュニティースペースが不足していた。

この歴史性のある美しい街なみを対象に、歴史的な景観や風情を活かして、生活通路・小公園・広場等の地区施設を整備し、地区住民が自主的に結んだ「街づくり協定」に基づいて、住宅の建て替え時にける適切な指導を行うことで、より良好で個性的な住宅地の形成ができる。そして、そこに住む人たちが愛着と誇りを感じ、訪れる人たちの印象に残るような「美しさ」「ゆとり」「うるおい」のある、ふるさと性豊かで快適な住環境を備えた街なみの形成をめざしています。



計画概要

地区面積	23.13ha
対象住戸数	324戸

事業実施場所	岐阜県可児市久々利
事業種別	公園、通路、道路
事業制度	街なみ環境整備事業 (街なみ整備促進事業)
事業主体	岐阜県可児市
事業実施年度	平成4年度～平成8年度





新潟県
HOPE奨励賞受賞市町村

市営大谷団地住宅建替事業



事業概要

- (計画の目的) 老朽かつ狭小過密及び地盤沈下による損傷著しい低層住宅161戸の団地を、第2HOPE団地と位置づけ、「木のまち天竜市」を代表する団地として建替えた。
- (地場財産活用等) 「天竜の家」を基調として地場産材をふんだんに活用した木造住宅と、瓦葺き屋根と間伐材を利用したデザインバルコニーのある3～4階建ての住宅が、木の香りする和風的で落ち着いた雰囲気醸し出している。



計画概要

敷地面積	24,149㎡
建築面積	5,636.72㎡
延べ床面積	15,227.32㎡
(住棟) 鉄筋コンクリート造3階建～4階建	9棟163戸
木造2階建(1棟4戸建)	8棟 32戸
団地計	17棟195戸
(地域関連施設)	
集会室(鉄骨造平家建)	150.56㎡
(住戸タイプ)	
木造(1棟4戸長屋建)	
3LDK専用面積77.01㎡	32戸
中層耐火構造(階段室型)	
3LDK専用面積71.94㎡	38戸
中層耐火構造(階段室型)	
3LDK専用面積73.67㎡	4戸
中層耐火構造(階段室型)	
3LDK専用面積76.45㎡	6戸
中層耐火構造(階段室型)	
3DK専用面積67.50㎡	14戸
中層耐火構造(階段室型)	
3DK専用面積66.74㎡	20戸
中層耐火構造(階段室型)	
3DK専用面積65.67㎡	6戸
中層耐火構造(階段室型)	
2LDK専用面積58.45㎡	48戸
中層耐火構造(階段室型)	
2LDK専用面積62.63㎡	10戸
中層耐火構造(階段室型)	
2DK専用面積52.19㎡	17戸
事業実施場所	天竜市大谷100
事業種別	公営施設(公営住宅)
事業制度	公営住宅整備事業(公営住宅建替事業)
事業主体	天竜市
事業実施年度	平成元年度～平成7年度

市営天神団地住宅建替事業



事業概要

- (計画の目的) 老朽かつ狭小過密の低層住宅57戸の団地を、「木の文化都市をめざした街づくり」の代表事例の一つとして、地場産の天竜材を活用した団地に建替えた。
- (地場財産活用等) 木の街づくりのイメージを基本に、外壁バルコニー部分を南京下見板張りとし、室内の床、壁、天井を板張りするなどふんだんに地場産材を使用するとともに、間伐材を利用した木れんがの歩道や幼児遊園の木製遊具など、内外部に木材を効果的に演出した住宅づくりを目指した。



計画概要

敷地面積	8,956㎡
建築面積	2,061.03㎡
延床面積	5,567.33㎡
(住棟) 鉄筋コンクリート造2階建～2階建	7棟 76戸
団地集会室(木造平家建)	67.49㎡
(住戸タイプ)	
中層耐火構造(ツノット型)	3LDK専用面積76.71㎡16戸
中層耐火構造	3LDK専用面積65.72㎡ 8戸
中層耐火構造(階段室型)	3LDK専用面積68.60㎡24戸
中低層耐火構造(階段室型)	3LDK専用面積70.23㎡ 5戸
中層耐火構造(階段室型)	2LDK専用面積58.29㎡ 8戸
中層耐火構造(階段室型)	2LDK専用面積62.09㎡12戸
中低層耐火構造(階段室型)	2LDK専用面積63.72㎡ 3戸



事業実施場所	天竜市二俣町阿蔵485-1
事業種別	公営施設(公営住宅)
事業制度	公営住宅整備事業(公営住宅建替事業)
事業主体	天竜市
事業実施年度	昭和59年度～昭和63年度

☆ 富士宮市 ☆

「富士の里・活性化プロジェクト」
山水のある庭園集落づくり



事業概要

猪之頭集落地において、歴史的な集落景観を尊重し潤いのある美しい集落、さらに、国際交流観光レクリエーション拠点にふさわしい魅力ある住宅地をめざす。

具体的には、集落環状道路整備として、道路幅員の拡幅、舗装の整備（周囲の緑に調和したカラー舗装）、道路境への擬木の設置を沿道修景等に配慮して進めた。これにあわせて、トイレ、駐車場の整備、案内板の設置を行い、集落内の歴史的資源、陣馬の滝など、自然資源を活用した観光拠点としての整備も行った。



計画概要

事業延長 L=750.0m

道路幅員 W=4.0m

事業実施場所 富士宮市猪之頭地内

事業種別 道路（拡幅、舗装）

事業制度 静岡県観光レクリエーション施設整備事業

事業主体 富士宮市

事業実施年度 昭和60年度～昭和62年度



愛知県
HOPE奨励賞受賞市町村



田原町

「はなとき通り」街路整備



事業概要

[旭町はなとき通り]

- 都市計画道路整備 延長110m 幅員20m
- 店舗協調建替え 12店舗
- ストリートファニチュアーb



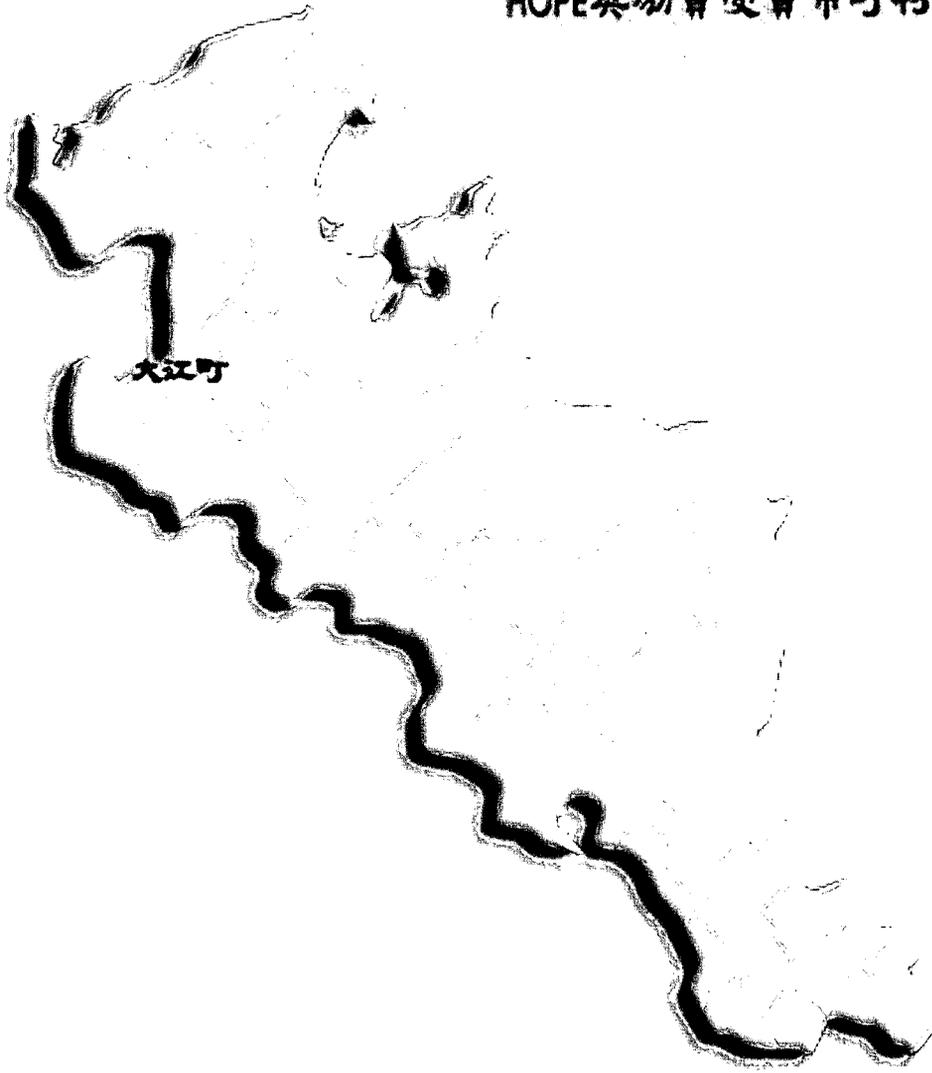
計画概要

街路整備事業に併せて取得した地区外への転出者の残地を地区内に再建築する商業者間の協議、協調により任意の法廷外の交換分合を行い宅地の区画を整理するとともに、店舗の壁面を道路から8.2mセットバックし、駐車場やイベントなど共同利用できるような多目的広場を歩道と一体的に創出した。

事業実施場所	田原市田原町築出
事業種別	街路整備
事業制度	街路整備事業
事業主体	田原市
事業実施年度	H3年度からH7年度



京都府
HOPE奨励賞受賞市町村



まちなみ誘導型町営住宅
仲町団地



事業概要

- 計画の目的
本住宅は、大江町HOPE計画の一環としてまちなみ誘導型公営住宅として位置づけており、加えて過疎対策としての若者向け住宅の供給を目的としている。
- 設計の主旨
 - ①まちなみの再生・誘導
 - ②伝統性に配慮した新しいデザインの創出
 - ③若者への配慮
 - ④大江町らしさの創造

計画概要

敷地面積 482.2㎡
建築面積 A棟66.06㎡ B棟57.70㎡
延床面積 A棟79.07㎡ B棟79.79㎡
構造規模 木造2階建 2戸

事業実施場所 大江町字河守
事業種別 公営住宅
事業制度 公営住宅建設事業
HOPE計画推進事業
事業主体 大江町
事業実施年度 平成元年12月1日～平成2年3月25日



大阪府
HOPE奨励賞受賞市町村

個性豊かな住環境づくり事業



事業概要

○平成4年度策定のHOPE計画及び平成12年度策定の住宅マスタープランを踏まえ、良質で公正な住情報の提供など、住まいに関する相談業務や住まいの講座などの啓発イベントを開催。

- 住まいづくり相談室（住宅相談）
- 住宅月間行事（講演会・展示会）
- 住まいの講座（住まいに関する講座の実施）

○伝統的住宅の住文化の継承・発展できるよう、建築物を調査し、冊子を発行した。また、それらの展示会を開催。

- 「歴史の民家に学ぶ 八尾らしいすまいづくり」冊子発行

○ HOPE NEWSの発行（住まいに関する情報誌）



事業実施場所 八尾市全域

事業種別

事業制度

公共住宅等の効率的な供給及び新技術の導入等に係る事項を定めた住宅マスタープランに基づく事業

事業主体

NPO法人 八尾すまいまちづくり研究会・八尾市

事業実施年度

平成6年



☆ 大阪市 ☆

桜之宮中野地区都市型集合住宅プロジェクト

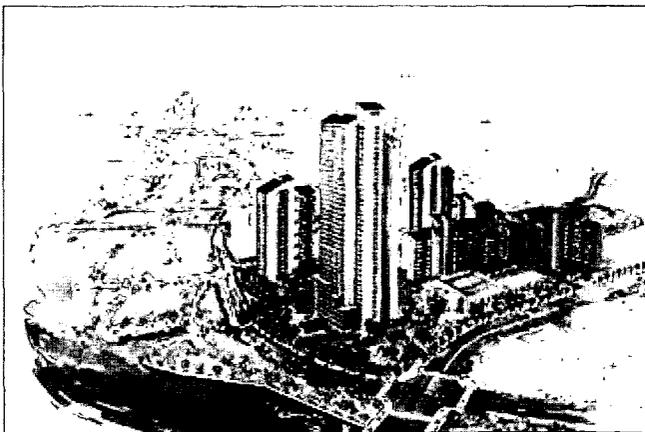


事業概要

都市居住の魅力について市民意識の高揚を図るとともに都市居住の活性化を推進するべく、本設計競技を実施した。

本設計競技は、JR大阪駅から東約3km、都心に隣接する交通至便な地域にあり、大川及び毛馬桜之宮公園に接する、市内でも有数の良好な景観に恵まれた桜之宮中野地区を対象に、「21世紀に向けて都市居住の魅力を創出する高水準住宅の供給」をめざして実施したものであり、広く英知を集め、当地区に最もふさわしい、かつ実現性の高い提案を求めた。

その結果大川に面した立地特性を生かし、すぐれた景観を構成すると共に、各事業主体の事業実施の面にも配慮した「桜之宮MKOグループ」の提案を最優秀とした。



計画概要

面積 約4.6ha
対象住戸数 1,113戸

事業実施場所 大阪市都島区中野町5丁目1-438番地の一部及び1-439番地の一部
事業種別 住宅団地
事業制度 住宅市街地整備総合支援事業
事業主体 大阪市住宅供給公社、都市基盤整備公団、日本勤労者住宅協会、桜之宮MKOグループ
事業実施年度 昭和61年度～平成5年度





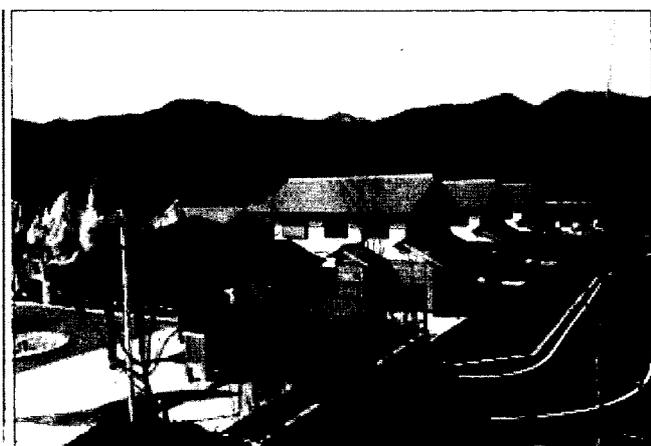
兵庫県
HOPE奨励賞受賞市町村

町営住宅神戸団地建築事業



事業概要

- 若者定住やU. J. 1ターナー者等の受皿としての住宅供給を推進する。
- 全ての人々が安心して暮らせる街づくりを推進する。
- 町全体や郡全体の住宅需要や、町周辺の開発計画を視野に入れた総合的な住宅施策の推進を図る。
- 一宮町の豊かな自然・歴史・農村景観に調和した街づくりを推進する。



計画概要

敷地面積	10,691㎡
建築面積	1,081.908㎡
延床面積	1,461.726㎡
構造・階数	木造2階建て
型式	二戸一型
戸数	18戸

事業実施場所	宍粟郡一宮町須行名866-26
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	宍粟郡一宮町
事業実施年度	平成11年度から平成13年度



☆ 篠山市 ☆

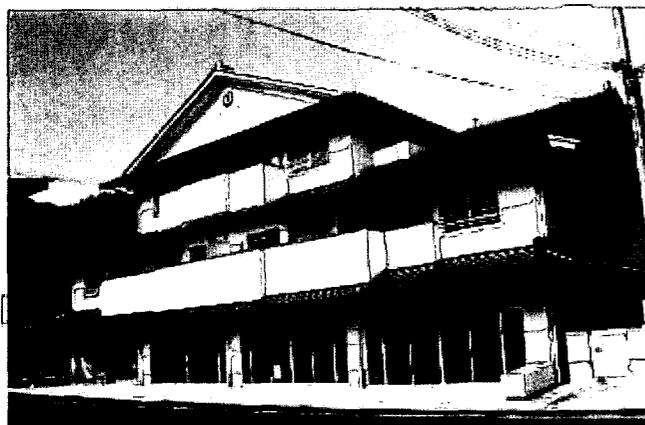
福住住宅建設事業



事業概要

篠山市（旧篠山町）では、ここ数年来JR福知山線複線化により都市化が急速に進み、町並みも個性を失った画一的なものになりつつある。そこで、篠山らしい個性豊かな住まいづくりを進めていくことが必要である。

福住地区は、古くから宿場町として栄え今なお街道には往時の面影が残っている。また、のどかな田園地帯であり一般家屋は和風建築が多い。このような環境をふまえ、外観は和風とし2・3階部分を住宅、1階は地元の要望により商業スペースとした。



計画概要

敷地面積	448.04㎡
建築面積	294.92㎡
延床面積	564.62㎡
構造	RC造3階建
タイプ別住戸数	3DK：59.04㎡ 2戸
	3DK：62.12㎡ 2戸
	2DK：49.61㎡ 2戸

事業実施場所	篠山市福住367番地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	篠山市（旧篠山町）
事業実施年度	平成2年度～平成3年度

HOPE計画推進事業



事業概要

赤穂市環境保全基本条例の理念にのっとり、緑と水につつまれた歴史を感じるおもむきのあるまちの実現に資することを目的とする。

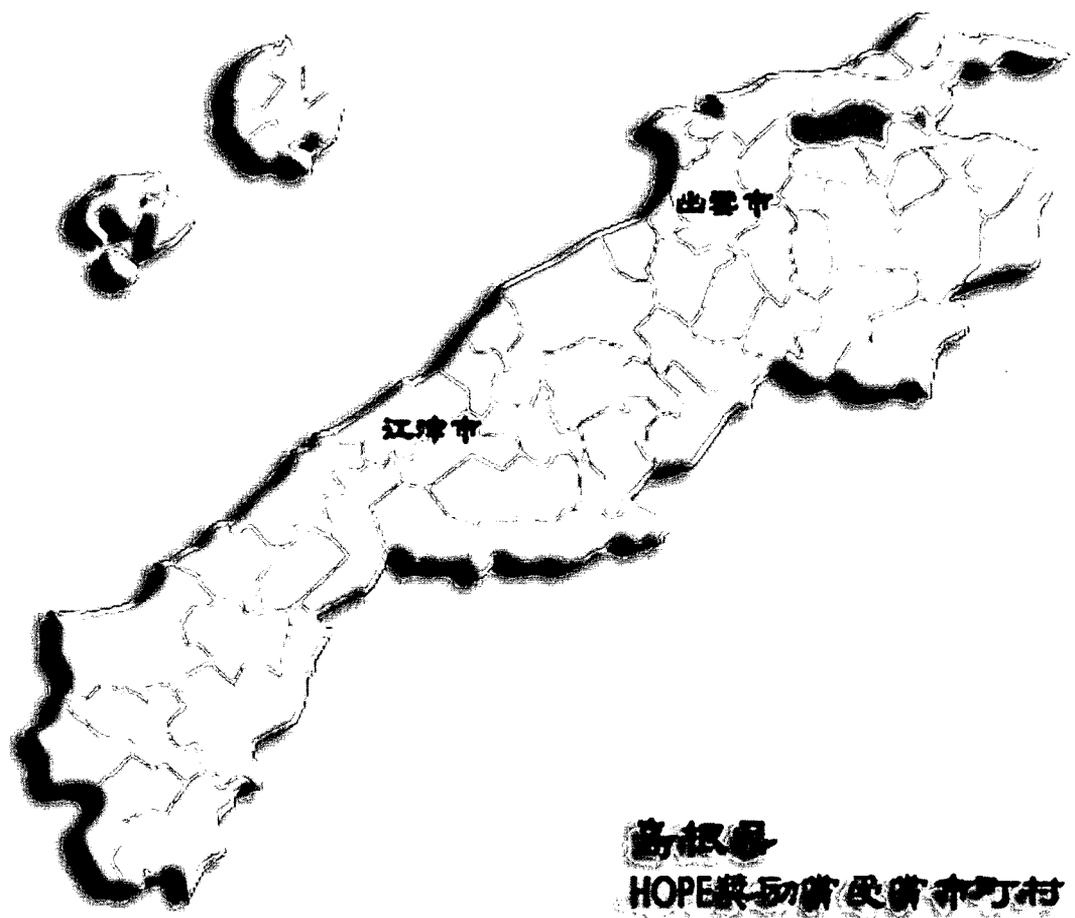


計画概要

○住宅団地	
敷地面積	4,873.79㎡
建築面積	1,330.70㎡
延床面積	3,114.66㎡
構造	RC
タイプ別	2DK(58.11㎡)
住戸面積	3DK(68.76㎡)及び65.08
住戸数	42戸
階数	3階
○街なみ環境整備事業	
道路	2,552.9m
ポケットパーク	4,221.0㎡

事業実施場所	赤穂市 ^{さこし} 坂越
事業種別	住宅団地、道路、公園
事業制度	公営住宅事業、 街なみ環境整備事業 「赤穂市都市景観の形成に関する 条例」
事業主体	赤穂市
事業実施年度	昭和63年度～平成5年度





☆ 江津市 ☆

地場産赤瓦によるすまいづくり・まちづくり



事例その1 青山団地建築協定、宮山団地建築協定

事業概要

【建築物の敷地：位置・構造・用途・形態に関する協定事項】

建築物の用途：専用住宅、階数：地階を除き2以下、最高高さ：地盤面より9m、軒の高さ：地盤面より9m 6.5m、境界までの距離：外壁、柱面より1m以上、敷地面積：200㎡以上、屋根：石州瓦葺、街路との境界：イ. 生垣又は竹垣、ロ. 金属造の塀1.2m以下、ハ. ブロック造の塀開口部有1.2m以下、ニ. 門柱1.5m以下



計画概要

【青山団地】

事業面積：3,773.23㎡ 対象区画：14区画

有効期間：S59.3.29から20年間

【宮山団地】

事業面積：16,133.00㎡ 対象区画：53区画

有効期間：S60.10.23から20年間

事業実施場所

青山団地：江津市二宮町神主ハ506番8～ハ506番21の区域

宮山団地：江津市嘉久志町イ899番4外52筆の区域

事業種別 住宅団地

事業制度 青山団地建築協定、宮山団地建築協定

事業主体 江津市土地開発公社

事業実施年度 青山団地：昭和58年度

宮山団地：昭和60年度

事例その2 地場産業センター建設事業

事業概要

島根県石央地域における地場産業振興のための事業を行うことにより、地場産業の健全な育成及び発展に貢献し、もって活力ある地域経済社会の形成、地域住民の生活の向上及び福祉の増進に寄与することを目的とする。

計画概要

敷地面積 7,004.37㎡ 建築面積 1,080.76㎡

延床面積 2,256.58㎡

1F: 1,1011.30㎡ (事務室、常設展示場、試験研究室、会議室、食堂)

2F: 608.15㎡ (OA研修室、経営研修室、技術研修室、情報交流懇談室、商品開発研究室)

3F: 637.13㎡ (展示ホール兼大会議室)

竣工 昭和60年9月30日

事業実施場所 江津市嘉久志町イ405番地

事業種別 公共施設

事業主体 財団法人島根県石央地域地場産業振興センター

事業実施年度 昭和59年度 (起工: 昭和59年12月5日)



事例その3 公営住宅建設事業 (浅利曙団地)

事業実施場所

事業種別 公営住宅

事業制度 公営住宅事業

事業主体 江津市

事業実施年度 昭和56～62年度

計画概要

敷地面積：2,949.4㎡ 建築面積：1,509.90㎡

延床面積：4,225.60㎡ 戸数：12戸×5棟=60戸

構造：鉄筋コンクリート造瓦葺3階建 間取り：3DK

タイプ 別住戸面積：1～2号棟66.39㎡ 3～5号棟77.37㎡

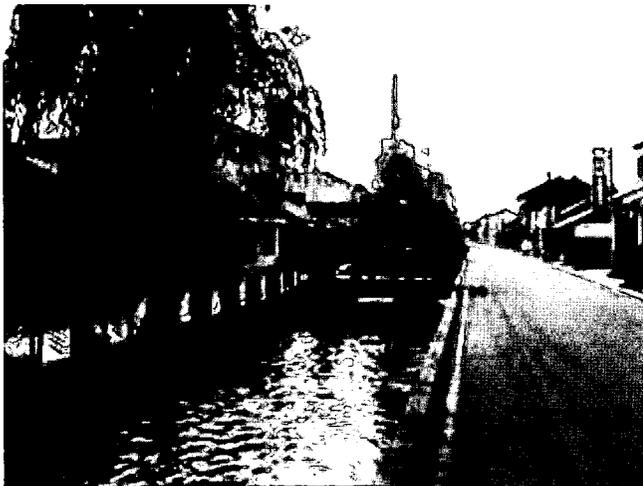


HOPE計画モデル事業
(高瀬川沿線のまちづくり)



事業概要

- 私設橋の架け替え
以前、高瀬川南側街区の住民は、ほとんどが私設橋を設け、車の乗り入れや駐車場として利用されていた。しかし、景観上交通安全上好ましくなかったので、駐車場の整備を行うとともに、10本ほどの私設橋を3本の橋に集約し、川沿いには景観をよくするために柳を植えたりもした。
- 小公園の整備
川沿いには、道ゆく人が憩うことができるよう、小公園が整備された。その中には、個人が駐車場にしようとしていた土地を市が買い上げ、水車のある小公園としたものもある。
- コミュニティ道路の整備
この通りは、藍染め、灯籠流し、流し雛など、昔から出雲の人々に愛されてきた高瀬川の情景を、安心して散策しながら楽しめるよう考えて整備した。



計画概要

- 高瀬川沿線のまちづくり懇談会
- PRパンフレット、アンケート調査
- 高瀬川沿川整備事業基本計画
- 関連事業
「ふるさとづくり特別対策事業」
上成橋付近
二京町親水公園
三京橋～千歳橋プロムナード
千歳橋まちかど広場
三京橋～千歳橋護岸整備

事業実施場所	出雲市今市町、大津町地内
事業種別	住民まちづくり活動
事業制度	
事業主体	出雲市
事業実施年度	昭和63年度～





石島県
HOP奨励賞受賞市町村

☆ 広島市 ☆

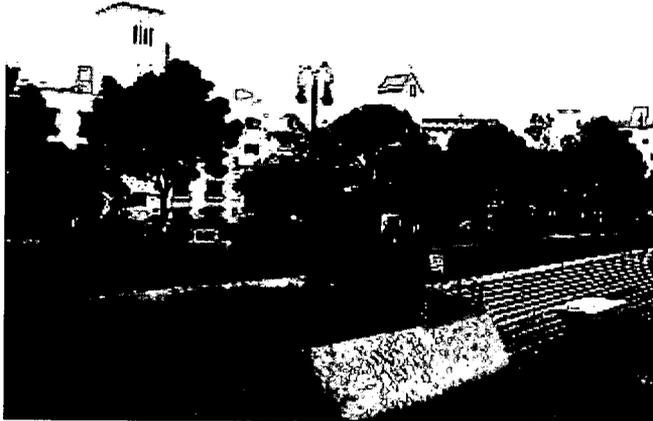
リバーフロント住宅計画
(昭和町平和アパート景観改善事業)



事業概要

広島市では、昭和60年度に「広島市地域住宅計画（HOPE計画）」を策定て、川を生かした魅力ある都市の住環境の整備（リバーフロント住宅）の展開を進めていくこととした。

本事業は、川に面して建設されている昭和町平和アパートについて対岸からの景観形成や周辺市街地の街並みとの調和を図り、川を住宅地環境の中に位置付けた良好なまちづくりによりHOPE計画を実現するものである。

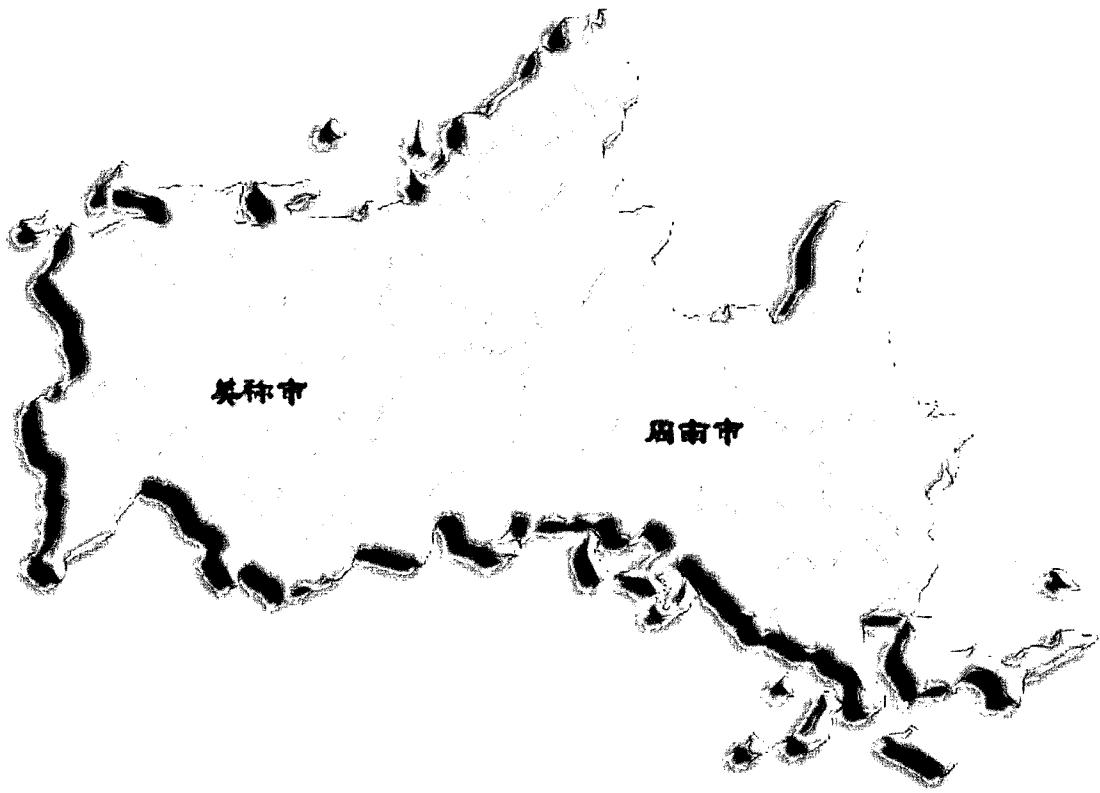


計画概要

敷地面積	3,892.79㎡
建築面積	801㎡
延床面積	3,203㎡
構造	中耐4階建
型式	積層型
タイプ別住戸面積 及び住戸数	2K 42㎡ 25戸 2K 39.66㎡ 48戸

事業実施場所	広島市中区昭和町
事業種別	住宅団地
事業制度	リバーフロント建築物等美観形成協議制度
事業主体	広島市
事業実施年度	昭和62年度事業開始 同年度終了





山口県
HOPE奨励賞受賞市町村

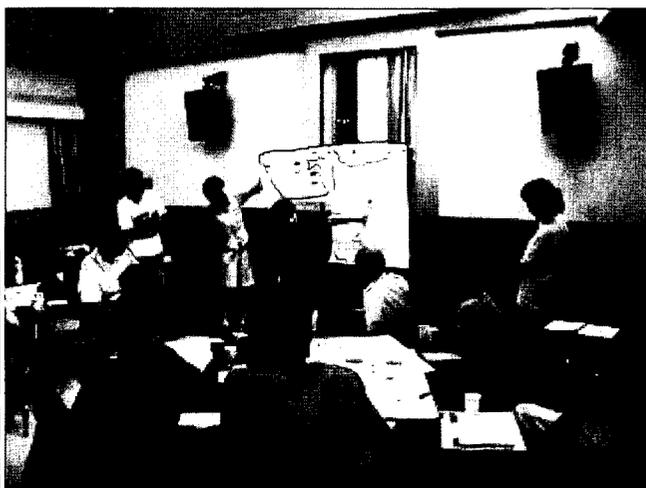
新南陽市住宅マスタープラン推進事業



事業概要

- 計画策定の結果を「絵に描いたもち」にしないために、翌年からプロジェクトに基づく推進事業をワークショップや講演会を通して実施した。特に高齢者向けの住宅改修については、建設技術者と福祉関係者との経験交流を中心に行い、持続的な活動を誘導している。概要は以下の通りである。
- 高齢者・障害者向けの住宅改修勉強会（平成12年7月）／工務店、大工など建築関係者、ケアマネージャーなど福祉関係者を対象とした高齢者・障害者向けの住宅改修についての住宅改修勉強会を行った。
- 高齢者・障害者向けの住宅改修相談会（平成12年8月等、計3回）／市内在住で、高齢者・障害者向けの住宅改修を予定している市民を対象とした住宅改修相談会を行った。
- 住宅改修シミュレーションワークショップ（平成12年8月）／ケアマネージャー、大工、工務店など参加者がグループに分かれ、各グループ毎に家族、要介護者、予算などを設定し、建築専門家とともにアイデアを出し合うワークショップを行った。
- 住宅改修発表会・相談窓口づくりワークショップ（平成13年3月）／工務店、大工など建築関係者、ケアマネージャーなど福祉関係者による住宅改修の事例等の発表会や、住宅改修に向けたネットワークのあり方等についてのワークショップを行った。
- 講演会1（平成12年11月）／「新南陽らしい住まいづくりの検討」プロジェクトの一貫として、千葉大学非常勤講師 丸谷博男氏を招き、「環境にやさしい住まいとまちづくり」をテーマとした講演会を開催した。
- 講演会2（平成13年11月）／プロジェクト「歴史を引き継ぎ住環境を考える会づくり」「楽しい空間のある街なみづくり・住まいづくり」プロジェクトの一貫として、九州大学講師 志賀勉氏を招き、「暮らしの中のまちづくり」をテーマとした講演会を開催した。講演会に先立ち、高齢者の生きざまと地域のコミュニティのあり方を描いた映画「坂の上のマリア」の上映会を行った。
- 住まいづくり・まちづくりワークショップ（平成13年11月）／住まいと住まいの周りの住環境を考えることを目的として、「ふるさとに住み続ける」をテーマとしたワークショップを行った。
- また、策定内容とこれらの推進事業の成果などを広く市民へ開示するため、平成14年3月に住宅マスタープランに関するホームページを開設した。

事業実施場所 周南市
事業主体 周南市
事業実施年度 平成12年、平成13年



化石と花のまちづくり整備事業



事業概要

美弥市の玄関口、JR美弥駅西側の遊休地を取得し、美弥市特産の大理石をテーマとした都市的感覚のポケットパークであると共に、美弥市立病院が立地するハビテーションへの安全なアクセスの役目をも担っている。

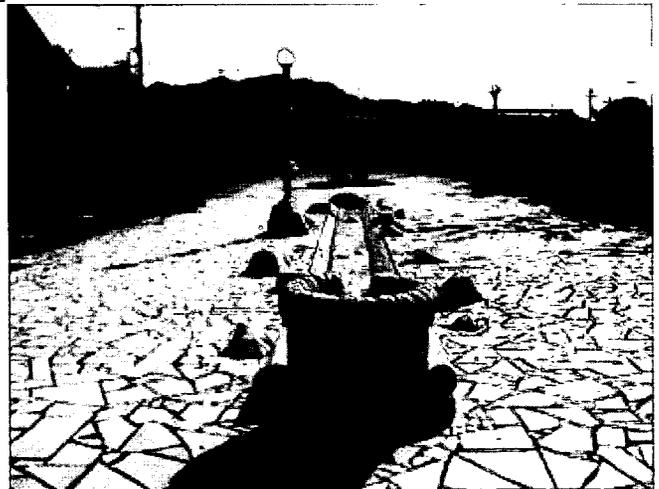
舗装は、大理石の乱張りとしゴージャスな雰囲気を楽しめ、泉は、石炭の源である古代植物を、アンモナイトは、大理石・石灰岩の源である動物の化石を、流れる水は恒久の時の流れを、中央モニュメントの上部は市の文化と歴史を乗せた舟、下部はそれを支える自然の象徴的生命の存在感を表している。アクセントとして、彫刻としても楽しめる大理石の水飲み場・くず箱等が配置してある。

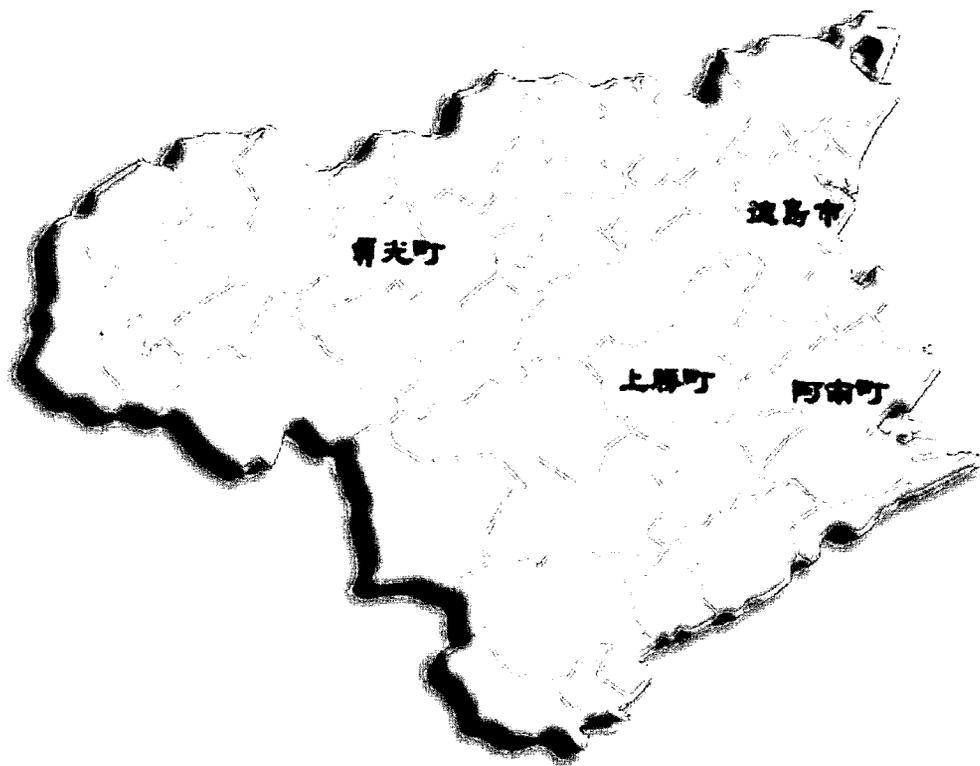


計画概要

事業面積	約3,740㎡
総事業費	395,288千円
施工業者	株)大和建设
彫刻家	後藤秀樹・石田京子

事業実施場所	美弥市大嶺町東分3402-11
事業種別	公園
事業制度	地域づくり推進事業
事業主体	美弥市企画課
事業実施年度	平成2年～平成5年度





波島島
HOPE奨励市優待市町村

(株) もくさんの設立



事業概要

設立時出資金 (平成 8年度)	17,000,000円
第1回増資 (平成 9年度)	40,000,000円
第2回増資 (平成10年度)	42,900,000円
計	99,900,000円



計画概要

木材産業振興のため、(株) もくさんの設立、地域経済の発展や若者定住の促進、雇用機会の創出を図り、地域の自主性や創造性に満ちた産業を振興する。

事業実施場所	上勝町大字福原字日浦内
事業種別	第三セクターの設立
事業制度	
事業主体	第三セクター
事業実施年度	平成8年度

☆ 上勝町 ☆

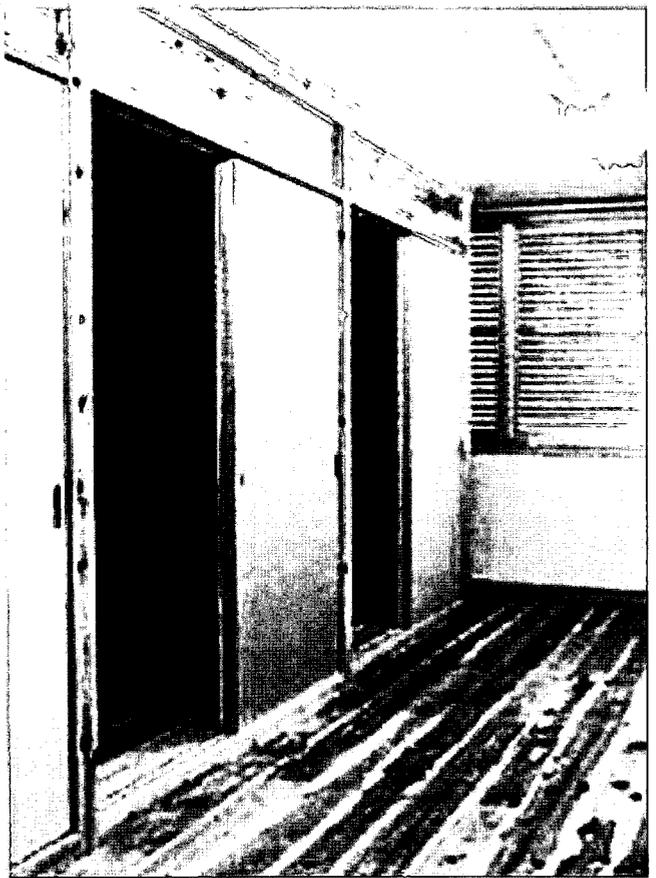
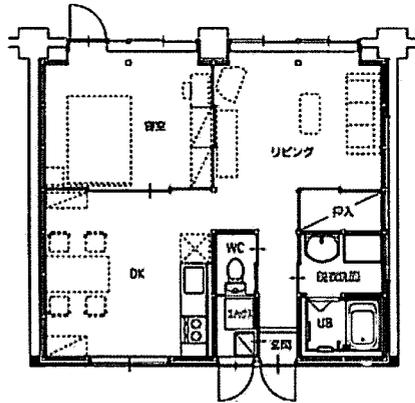
落合複合住宅



事業概要

若者住宅の基盤となる住宅整備及び雇用の創出を図るため、30年経過した鉄筋コンクリート造りの旧福原小学校校舎を、新しく複合住宅として有効に活用するため改修した。

事業費 199,300,000円



計画概要

敷地面積 2,764㎡
 延床面積 1,328㎡
 (賃貸住宅) 56㎡×4戸 2㎡×2戸
 54.6㎡×2戸 計8戸
 (賃貸事務所) 56㎡×3室 28㎡×1室
 108㎡×1室 計5室
 駐車場 47台

事業実施場所 上勝町大字福原字川北
 事業種別 複合住宅
 事業制度 自治省地域活力創出事業
 臨時経済対策事業
 事業主体 上勝町
 事業実施年度 平成11～12年度

☆ 貞光町 ☆

さだみつ歴史街道プロジェクト
(貞光町町並み修景事業)



事業概要

中心市街地整備プロジェクト

さだみつ歴史街道の中心エリアに展開されるもので、中心市街地の魅力づくりと活性化を図り、町民が期待する「町中心地の賑わいの復活」を目指す。

伝統的建築物（二層うだつや、鏝絵）の保存



事業実施場所 貞光町字大北町から南町間の街道に面するうだつを有する伝統的建築物
事業種別 個人住宅
事業制度 街並み環境整備事業
貞光町町並み保存条例
事業主体 貞光町
事業実施年度 平成12年度から平成16年度

計画概要

貞光町のうだつの町並みを保存することにより、本町の個性あふれる美しい景観を継承し、その誇りと活力ある町づくりを目的とする。

☆ 貞光町 ☆

町公営住宅明治橋団地新築工事



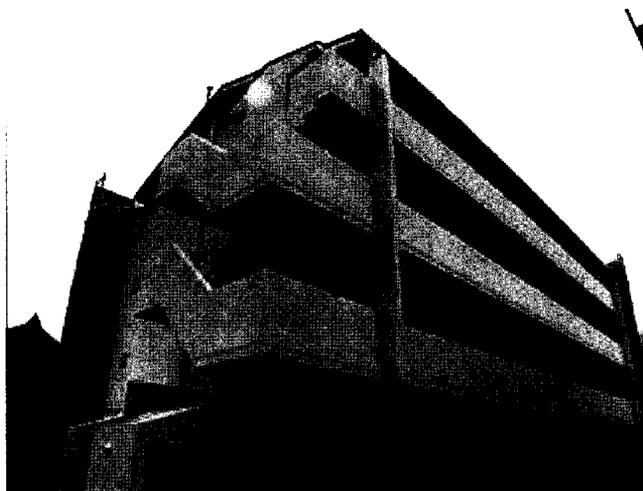
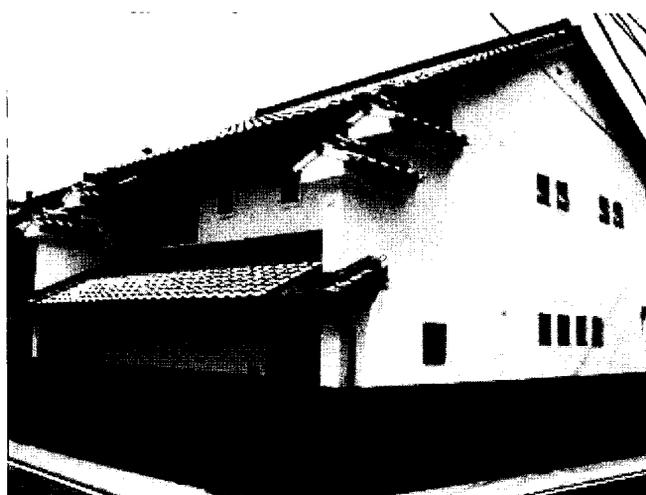
事業概要

計画の目的

当該住宅の建設により人口の増加が期待できるうだつの並ぶ地域であることからうだつ沿いに住宅を建築することにより地域の景観向上が図られる。

計画概要

明治橋団地A棟、B棟
敷地面積 746.7㎡
建築面積 A棟96.39㎡、B棟250.82㎡
延床面積 A棟153.11㎡、B棟777.10㎡
構造・型式 積層型、接地型、二戸一、戸建等
タイプ別住戸数 A棟：木造2階建て2戸、2DK
B棟：RC4階建て12戸、
3DK 8戸、2DK 4戸
貞光町の2層うだつの街並みに配慮し設計



事業実施場所 字町19番地の1
事業種別 公営住宅
事業制度 公営住宅整備事業
事業主体 貞光町
事業実施年度 平成14年2月1日～平成15年3月20日

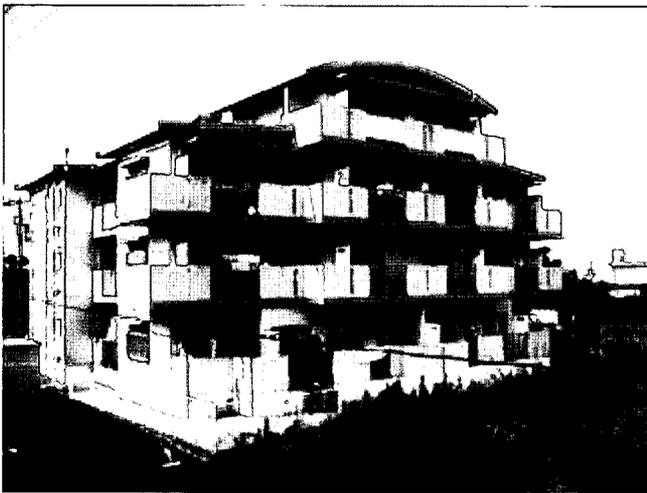
市営住宅西方団地の整備



事業概要

計画の目的

- 企業立地による公営住宅需要層への対応や市内出身者のUターン時の受け皿の一部としての機能など地域の課題に対応した公営住宅の整備
- 小団地の整備統合を計る
- 多様化・高度化した住民ニーズや現代的課題である高齢者対策や地域性を考慮した良好な住宅団地とする。



計画概要

西方団地概要

敷地面積	10,492㎡
建築面積	2,411㎡
延床面積	7,426㎡
構造	壁式鉄筋コンクリート造
型式・階数・戸数	積層型 4階建て 6棟
タイプ別住戸戸数及び面積	2K 51.71～53.16㎡ 6戸 2DK 49.98～62.31㎡ 38戸 2LDK 62.65～70.75㎡ 14戸 3DK 71.93～74.84㎡ 39戸 3LDK 76.69㎡ 4戸 車椅子 61.39～70.75㎡ 4戸
全団地戸数	計 105戸

事業実施場所	徳島県阿南市長生町西方591
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	阿南市
事業実施年度	平成10年度～平成17年度



☆ 徳島市 ☆

市営末広団地建替事業



事業概要

団地の特徴 :

戸当たり敷地面積94.2㎡とかなり高密度な団地計画であるが、団地と周辺区域の住環境を重視し、高齢者・障害者にも配慮された住宅を形成しつつ、入居者のコミュニティーの活性化が計れるように計画した。

外部計画 :

周辺地域への配慮から、高層棟を近隣から最も離れた川沿いに配置し、高層から低層へ景観的な連続性を失わないようにした。また、微妙にずれた方向や平面を持つ住棟、団地内道路、緑地その間を縫うように流れるせせらぎを配し、変化に富んだものとした。

内部計画 :

多種の住戸タイプを備えることにより、多様な家族構成に対応すると共に変化のあるものとした。また、すべての住戸の段差をなくし、便所・浴室等に手摺を設置するなど来るべき高齢化社会に対応した計画である。



事業実施場所	徳島市末広4丁目355番地	計画概要	
事業種別	住宅団地	敷地面積	14,500㎡
事業制度	公営住宅事業	建築面積	2,774.64㎡
事業主体	徳島市	延床面積	11,583.49㎡
事業実施年度	平成5年度～平成9年度	構造・型式	SRC及びRC 積層型
		タイプ別住戸面積	2DK 50.06㎡～66.33㎡ 49戸 2LDK 63.15㎡～68.86㎡ 8戸 3LDK 70.24㎡～78.71㎡ 65戸
		戸数・階数	計 154戸



香川県
HOPE奨励賞受賞市町村

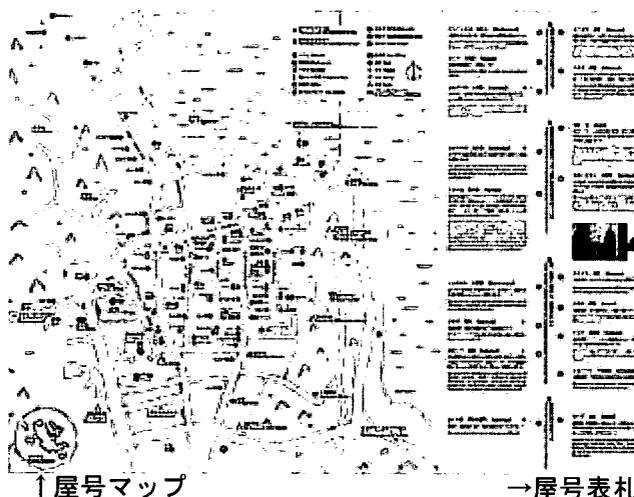
☆ 直島町 ☆

直島町まちづくり景観整備事業



事業概要

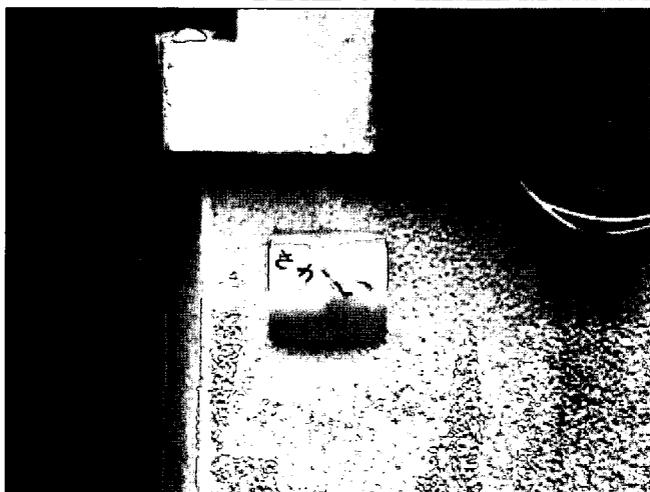
- まちづくり景観条例に基づく活動に伴う補助事業
- 屋号表札を民家に設置
- 屋号マップの作成
- 本村地区案内標識整備（平成15年7月設置予定）



計画概要

- 直島町まちづくり景観整備計画の策定
- まちづくり景観条例等法関係の整備
- まちづくり景観基金の創設
- 景観重点地区の指定（本村地区）
- 屋号計画の推進

事業実施場所 直島町本村地区
事業種別 まちづくり景観整備事業
事業制度 直島町まちづくり景観条例
事業主体 直島町
事業実施年度 平成12年度～





高知県
HOPE奨励賞受賞市町村

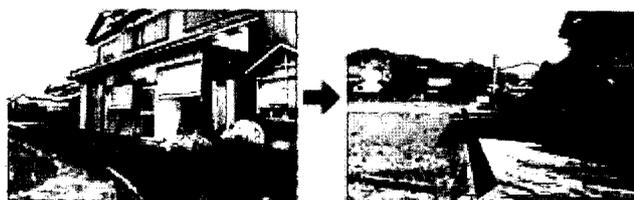
土居地区街なみ環境整備事業



事業概要

- 通路、水路、公園等の公的施設を整備すると共に、生け垣や住宅等を保存、修景し、快適で良好な住環境と歴史的な街なみの形成を目指す。
- 安芸城跡や、武家屋敷のある土居廓中地区に通じる市道の美装化、周囲と調和した環境整備のための公共施設等の外観整備を推進する。

道路の修景



広く改良された道路

計画概要

区域面積 49.3ha

区域内住宅戸数 327戸

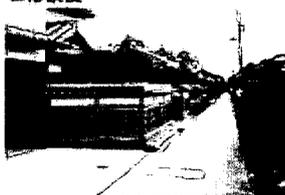
安芸市まちづくり景観条例(平成9年3月28日制定)

建物の修景

修景前

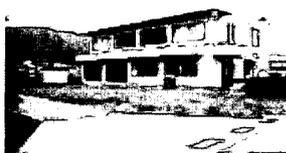


修景後

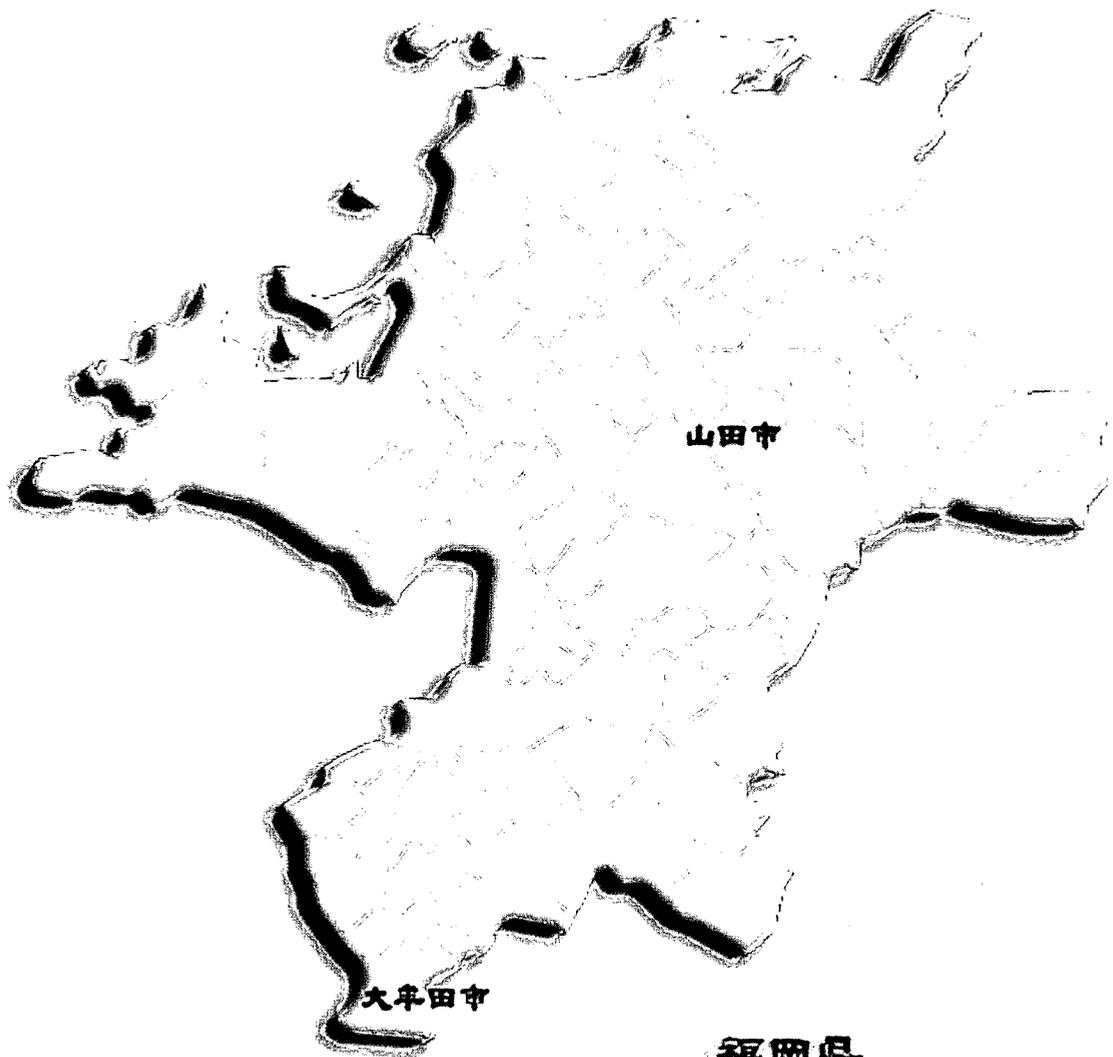


周りの生垣にもよく似合う落ちつきのある樹

事業実施場所 高知県安芸市土居
事業種別 個人住宅、公園、道路等
事業制度 街なみ環境整備事業
事業主体 高知県安芸市
事業実施年度 平成7年度～平成16年度



趣を醸じさせる風情ある公民館



福岡県

HOPE奨励賞受賞市町村

山田市ホープフェスタ in やまだ
(街かど美術館)



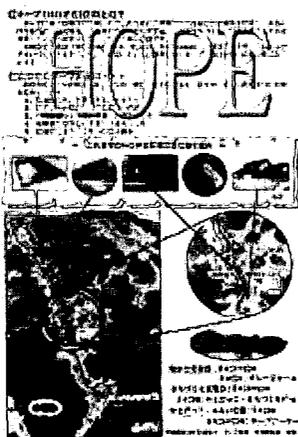
事業概要

山田市HOPE計画に基づく、個別事業（サルビア道路、尾浦公営住宅等）が竣工することを受けて、これまでの成果について広くPRし、市民への浸透を図るとともに、さらなる計画の推進を図ることを目的に実施されました。

空き店舗や店舗の片隅などに、各種の文化団体で活動されている方々の絵画や写真、古くから伝わる美術品などが展示され、上山田商店街が美術館へと様変わりした。

サークル活動の成果の場として、また山田に眠る貴重な宝物を公開する場としての役割を果たすとともに、市民が気軽に立ち寄り、休憩し、楽しむ、まちのオアシスとして多くの人に喜んでもらい、好評だったので2ヵ年実施しました。

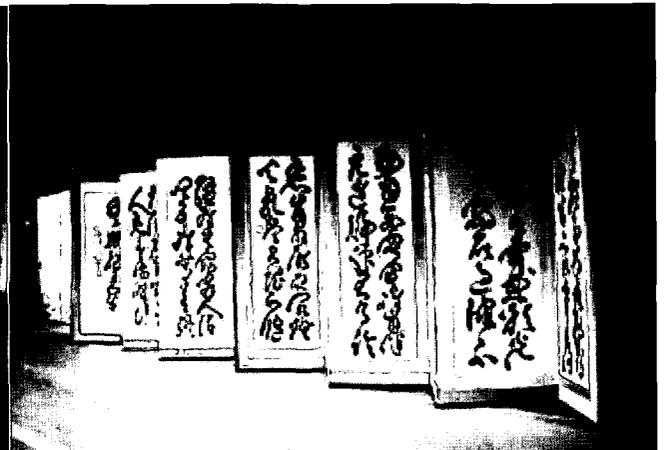
山田の魅力を発信するまちづくり活動を身近なところから始めることができました。



計画概要

歩いて楽しい回遊性のある商業地区へと再生する。

事業実施場所	山田市大字上山田
事業種別	商店街
事業制度	
事業主体	山田市
事業実施年度	平成9年度～平成10年度



山田市サルビア道路



事業概要

山田市HOPE計画に基づく、自然環境を生かした「歩いて楽しいまちづくり」を方針の一つとしてかけ、小学校や公民館などの公共施設や今後整備するプロジェクトなどを歩行者空間のネットワークでつなぐ「水と緑の回廊」を目的により実施されました。

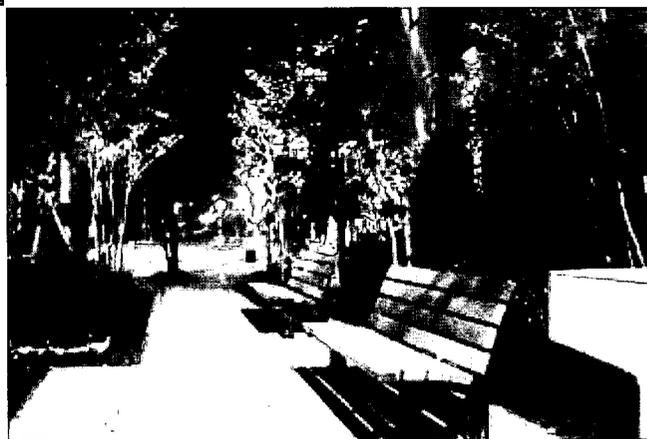
JR道路と商店街、体育館をつなぐ道路には、路面に御影石を用い、S字型にゆるやかに蛇行させ、車のスピードを自然に落とす仕掛けをつくることで、歩行者が安心して歩ける空間「歩車融合道路」が生まれました。道路脇には、水飲み場やベンチなどが置かれ、散歩や夕涼みにはもってこいのスポットとなっています。また、夜には、「やまだオリジナル」の灯籠などによって美しくライトアップされ、昼間とひと味違った美しい姿を楽しむことができます。道路周辺にはさながら街なか植物園のように、福島県三春町の滝桜をはじめ、60種類以上の木々が植樹されています。



計画概要

街路事業（1工区）	舗装工（車道507㎡） （歩道391㎡） 工事長85m
（2工区）	工事長54m 舗装工（車道327㎡） （歩道477㎡）

事業実施場所	山田市大字上山田
事業種別	道路
事業制度	道路整備事業
事業主体	山田市・山田市地域住宅研究会・ 山田市地域住宅計画推進協議会
事業実施年度	平成8年度～平成9年度



大牟田バリアフリー住宅士養成講習会



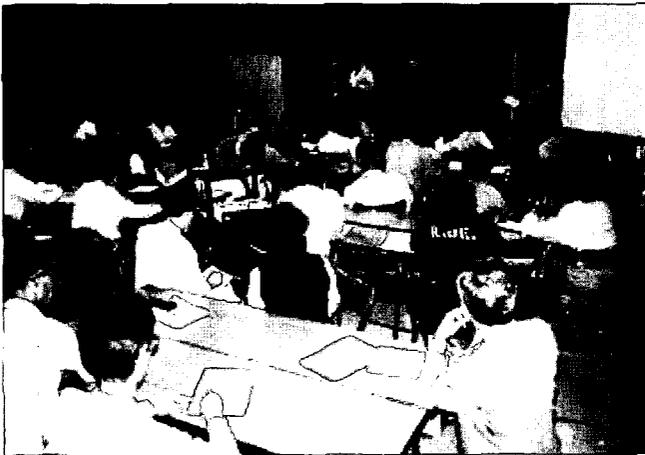
事業概要

【計画の目的】

本市の高齢化率は10万人以上の都市において第1位（H12国勢調査）という状況であり、この養成講習会は作り手が「住まいと福祉」を考える自己啓発の場である。一般の住宅改修と福祉住環境整備との違いを理解するとともに、要介護者の身体に合わせた改修工事やアドバイスが的確に行える人材（＝バリアフリー住宅士）養成を目的としており、併せて市民が安心して改修工事を依頼でき、安全で快適な暮らしの向上を図れることを目的とする。

【事業の主な特徴】

- 主な研修科目＜全講習時間：30時間＞ ※別紙カリキュラム参照
 - ・ 社会福祉の考え方（ノーマライゼーションの視点など）
 - ・ 福祉用具の活用（車椅子及び福祉用具の使用体験）
 - ・ 福祉住環境の整備方法や具体的事例を通じた演習問題 など
- 参加（実践重視）型の講義形式
住宅改修では、依頼者の立場で施工できるかが重要であるため、講師陣により疑似家族を想定（ロールプレイ）した寸劇を行い、作り手側のヒアリング力を養う講義を盛り込み、より実践に近い講義内容にしている。
- 10分以上の遅刻は入室（受講）禁止
介護保険を利用した改修工事では、ケアマネージャーという異業種の人から信頼を得なくてはならない。したがって「時間にルーズな人は、仕事もルーズになりがち」という考えから、厳しい受講条件を設定している。



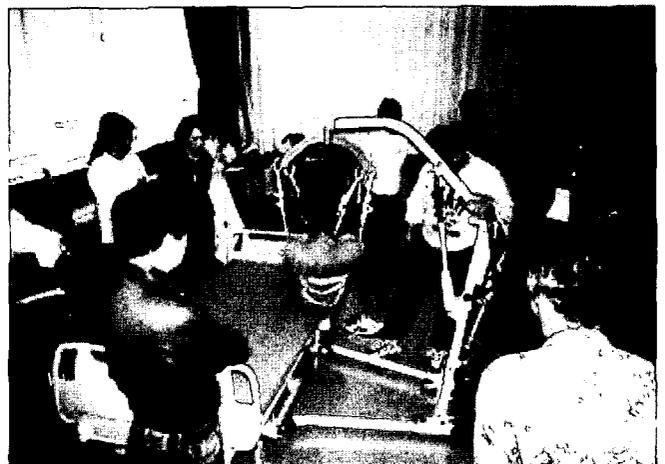
↑ 受講者による改修提案発表

計画概要

バリアフリー住宅士養成事業

バリアフリー住宅士とは、社会福祉の考え方や高齢者・障害者の身体機能、住宅改修の整備手法など、一般的な増改築との違いやバリアフリー住宅に関する内容について所定の講習を受け、要介護者の身体に合わせた改修工事やアドバイスなどを行うことのできる福祉住環境に精通した建築関係実務者（大工さんなど）のことを言う。

事業実施場所	市内
事業種別	個人住宅
事業制度	
事業主体	大牟田住まい・まちづくりネットワーク
事業実施年度	平成12年～14年



↑ 福祉用具の活用



佐賀県
HOPE奨励賞受賞市町村

唐津市営西唐津住宅



事業概要

西唐津住宅（団地）は、同地区の公営住宅需要に対応するため建設したもので、HOPE計画で提案している唐津型公営住宅のモデル住宅（団地）として位置づけている。

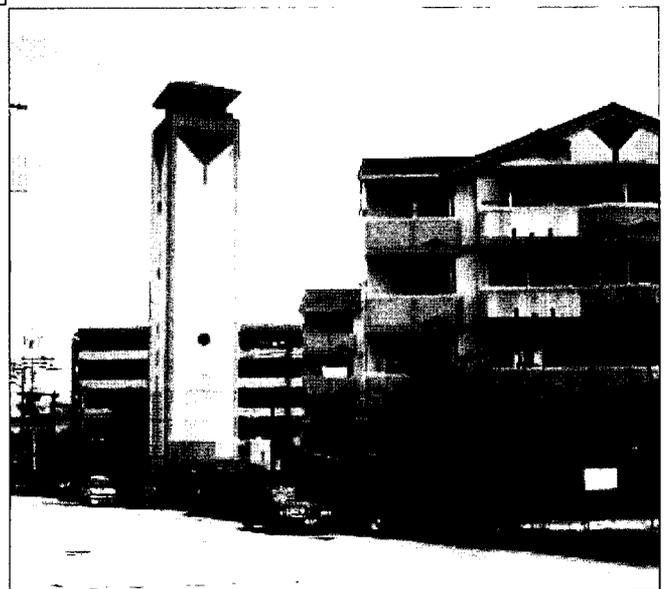
同提案は「周辺地域となじむデザイン」を基本としており、西唐津地区の特徴である「港」をイメージして、住棟部は隣接する住戸の景観に配慮した勾配屋根、ヨットとカモメをデザイン化したファサードに、また、給水塔は当団地のシンボルとなる「灯台」をイメージした造りとしている。この給水塔の低層部にはステージと滑り台を設け、祭りの舞台や子供の遊び場としての機能を持たせ、唐津市HOPE計画のテーマである「歴史、風景、人のハーモニー」に沿ったものとしている。



計画概要

敷地面積	3,000㎡
建築面積	796.73㎡（関連施設含む）
延床面積	2,625.91㎡（関連施設含む）
構造・階数	鉄筋コンクリート造4階建
型式	積層型（階段室型）
タイプ別住戸数	3DKタイプ：32戸
及び面積（公営住宅法による）	戸当り面積：79.21㎡ （内訳） 特定目的（高齢者向け）：4戸 一般向け：28戸

事業実施場所	唐津市妙見町7183-24
事業種別	公営住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	唐津市
事業実施年度	平成6年度～平成7年度

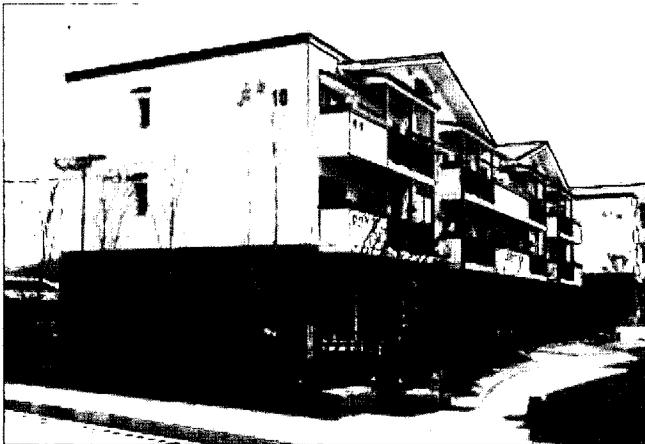


武雄市営中野住宅



事業概要

- 計画の目的：豊かな自然との調和と地区の個性を生かした空間づくりを行い、若者の定住促進を図る。
- 伝統的建築物保存：昔からの町並みや歴史的建造物が多数残っている旧長崎街道の特徴の1つである「妻入り入母屋風屋根」を住棟デザインに取り入れた。
- 地場財産活用：バルコニー笠木や陸屋根部笠木などに地場陶板を利用した。
- 地域の活性化：若年層の定住が促進されたことにより、周辺部の既存住宅を含めた地域の活性化が図られた。



計画概要

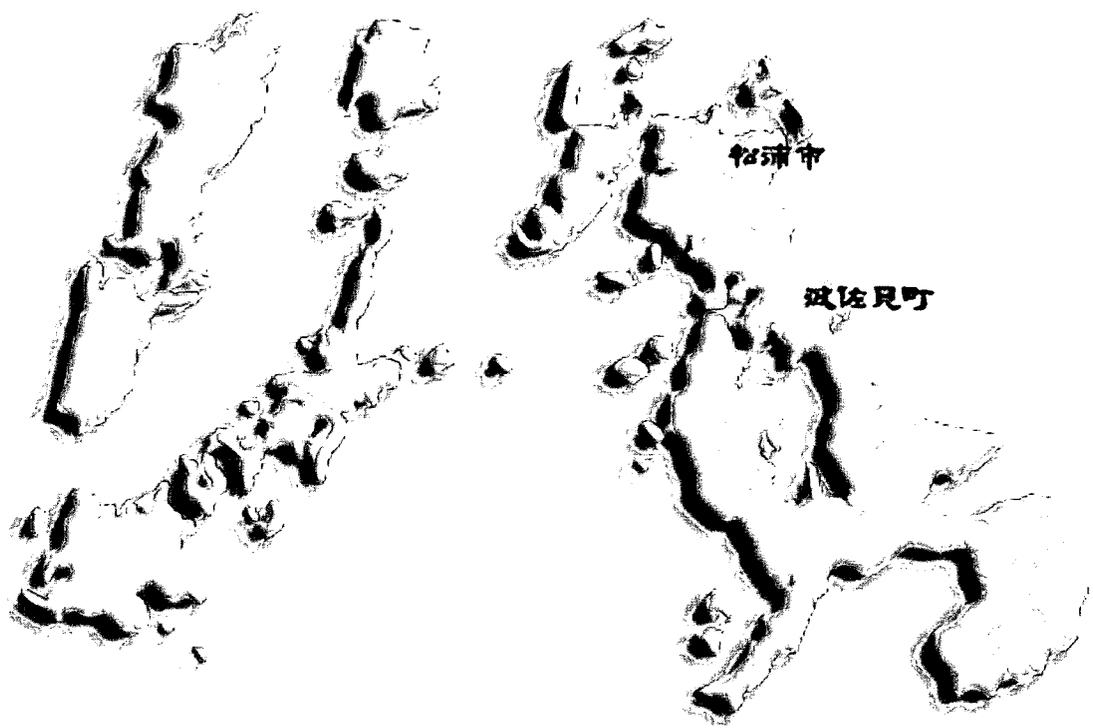
敷地面積	14,630㎡
建築面積	2,957.262㎡
延床面積	8,223.96㎡
構造	鉄筋コンクリート3階建
型式	積層型(中耐3)

タイプ別住戸面積等

- 北入り12戸タイプ(旧1種) 74.0㎡(公住面積)
- 北入り6戸タイプ(旧1種) 74.0㎡
- 南入り12戸タイプ(旧2種) 69.88㎡
- 北入り12戸タイプ(旧2種) 71.37㎡
- 北入り6戸タイプ(旧2種) 71.28㎡

事業実施場所	武雄市朝日町大字中野6567番地1
事業種別	公営住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	武雄市
事業実施年度	昭和63年度～平成4年度





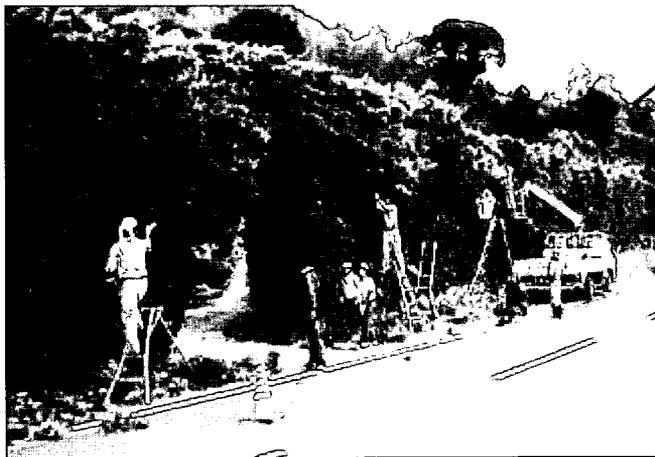
長野県
HOPE奨励賞受賞市町村

「住まいづくり研究会」の設立



事業概要

- 「松浦の住まい」計画・チェックリストを作成
- 松浦の地域文化「ひゃーし」調査研究
 - ・見事に剪定された高生垣「ひゃーし」が松浦の地域文化として景観の特色となっていることに着目し、これまで52件の「ひゃーし」の住まいを調査し写真展等を行ない、さらに今年度も調査を継続
 - ・「ひゃーし」が高すぎるため剪定に苦労されており、低く伐られたり放置されたりしている状況であるため「ひゃーし」剪定体験を企画実施・住宅金融公庫地方公共団体施策住宅特別加算制度による「松浦の住まい適合住宅建設基準素案作成
 - ・「ひゃーし」と微気象について研究をおこない生垣や樹木を施す環境共生の開放型住宅によるまちづくりを目的としている。
- 松浦のバリアフリー調査（松浦ここがあぶないマップ作成）



計画概要

平成11年度に策定した松浦市住宅マスタープランにおいて、今後の住宅マスタープラン推進事業の取り組みや松浦におけるまちづくり等の中心的役割を担う市民団体組織の「松浦住まいづくり研究会」の設立を推進事業の1項目として位置付け、平成12年度に設立した。

事業実施場所 松浦市全域
事業主体 松浦住まいづくり研究会
事業実施年度 平成12年度～



町営住宅折敷瀬団地建替工事



事業概要

- 波佐見焼製の陶磁器タイルを使用し、町のイメージアップに寄与しています。
- 共用ホールを住棟西端部の団地入り口に配し、周辺住民との接点として位置づけています。



計画概要

敷地面積	2,264.88㎡
建築面積	530.12㎡
延床面積	883.60㎡
構造	耐火構造2階建
タイプ別住戸数	1棟 12戸
	2DK 4戸
	3DK 8戸

事業実施場所	東彼杵郡波佐見町折敷瀬郷369番地
事業種	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	波佐見町
事業実施年度	平成10年度





熊本県
HOPE奨励賞受賞市町村

県営新渡鹿団地



事業概要

当団地は、熊本市の東北部の住宅地の振興住宅地内にある。

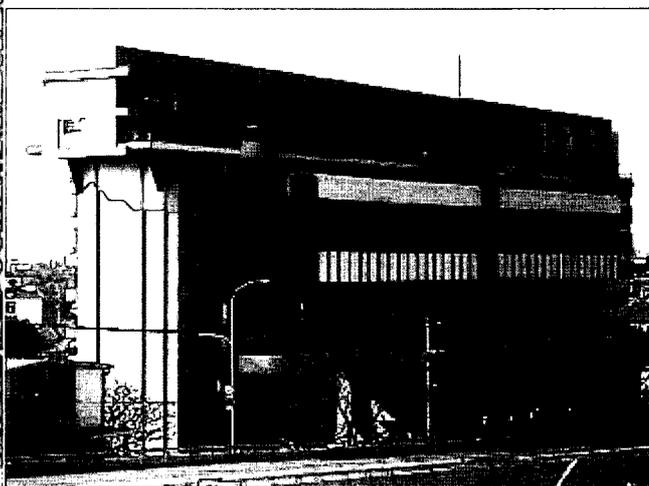
くまもとアートポリスプロジェクト参加団地として、公共による市街地形成型の集合住宅として質の高い居住性と良好な住環境を提供すると共に既存の都市に新たな関係を引き出している。

北側居室の採光・通風を配慮し、空中廊下形式の北側廊下の採用し、また都市の通風確保のため住棟にスリットも設けている。



計画概要

敷地面積	5,022㎡
建築面積	1,285㎡
延床面積	7,302㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	11階建 1棟
戸数	80戸
事業実施場所	熊本市新渡鹿3丁目15番1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	熊本県
事業実施年度	平成2年



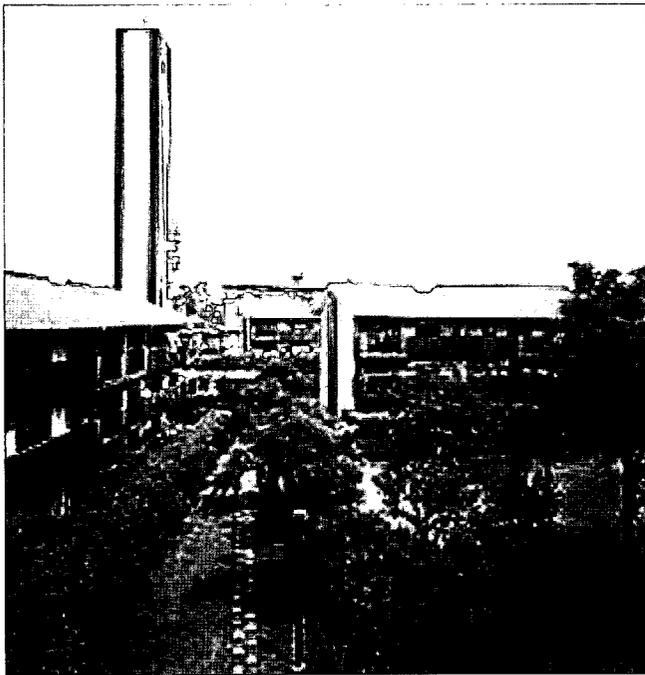
県営帯山第2団地



事業概要

当団地は、昭和28年の熊本大水害のあと、災害公営住宅として建設された木造平屋建て70戸の住宅を除却し、102戸の低・中層住宅として建て替えたものである。

団地は熊本市の東部に位置し、県庁から徒歩で15分程度の閑静な住宅街にある。計画に当たっては入居者に高齢者が多いことに配慮し、階段・浴室・緊急連絡装置等ハード面の対応も含め、入居者が育ててきた樹木や、祭ってきたお地蔵様を残していくことで従来のコミュニティを守り〈ゆとりと機能性の調和〉がとれた団地づくりをめざした。



計画概要

敷地面積	11,228㎡
建築面積	2,805㎡
延床面積	7,648㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	2階～4階建 7棟
戸数	102戸（身障者向4戸）

事業実施場所	熊本市帯山1丁目39番地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅整備事業
事業主体	熊本県
事業実施年度	昭和60年～61年



☆ 西原村 ☆

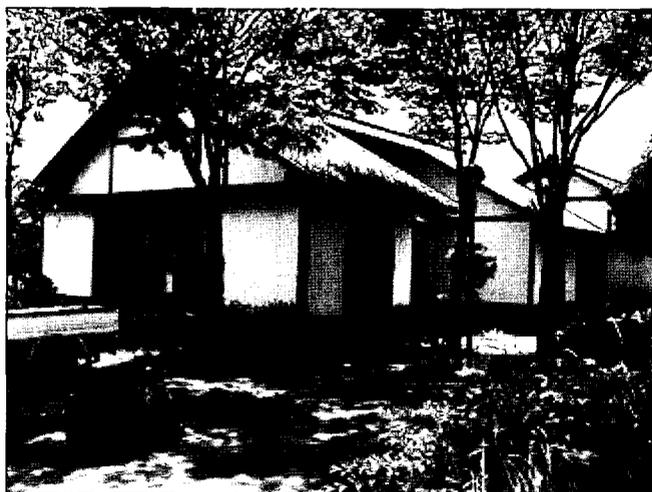
河原団地建設事業



事業概要

当団地は、河原地区の過疎防止策として建設された。

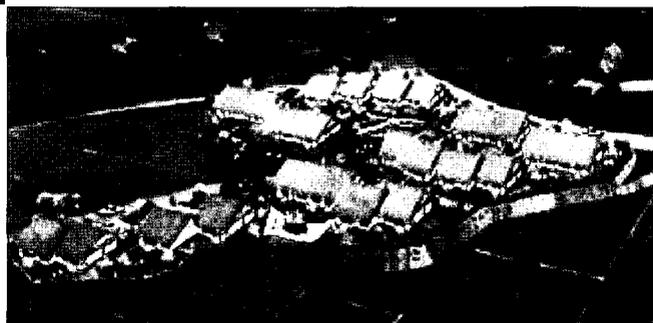
それを機として、熊本市のベッドタウン化の兆しもみられるようになりつつある。 団地内通路や土間などに地元の石を使用し、地場産材・県産材を活用した建設計画である。配置計画としては、住戸間に3箇所人々が触れ合う場として commonspace を設置し、さらに近隣住民との接点としての広場を中央部に設けた。植栽計画では、地元の気候風土に合った樹木・花を植え、緑豊かな環境になっている。



計画概要

敷地面積	8,600m ²
建築面積	1,542m ²
延床面積	1,542m ²
構造及び型式	木造2戸連
タイプ別住戸数及び面積	1種(2F)4戸 314m ² 2タイプ 2種(1F)20戸1,228m ²

事業実施場所	熊本県阿蘇郡西原村大字河原896-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	西原村
事業実施年度	昭和60年度～昭和61年度



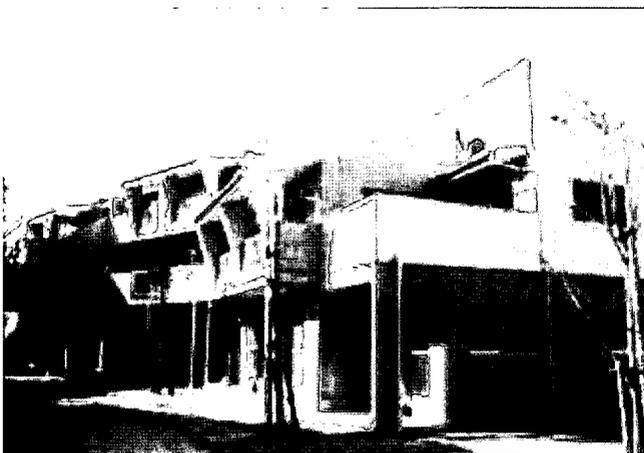
☆ 八代市 ☆

西片町団地



事業概要

八代市において西片町周辺は、古墳、遺跡等が広範囲に存在し、古くから集落の跡を残しており、また、市内のなかでも住宅地として居注意識の非常に高い地域でもあります。西片町団地は、このような住環境の中、昭和29年に木造平屋建20戸の公営住宅として建設されましたが、近年その老朽化が著しく、平成3年より、地域に根ざした住まいづくり（HOPE計画）の基に建替え基本計画に着手し、平成5年度に新しい住環境をもつ市営住宅団地として再生されたものです。



計画概要

住棟名	戸数	構造	床面積
A棟	8戸	RC造一部木造2階建	543.83㎡
B棟	4戸	RC造一部木造2階建	265.14㎡
C棟	8戸	RC造3階建	553.77㎡
D棟	4戸	RC造一部木造2階建	278.31㎡
E棟	6戸	RC棟3階建	414.74㎡
計	30戸		2055.79㎡
集会室		RC造一部木造平屋建	108.49㎡
その他		プロハン庫・自転車置場・ホ ン室・プロア-庫	37.64㎡

- 事業実施場所 八代市西片町2160番地
- 事業種別 住宅団地
- 事業制度 公営住宅事業
- 事業主体 八代市
- 事業実施年度 平成5年度



☆ 松橋町 ☆

希望の里団地新築工事



事業概要

この団地は、福祉施設「希望の里」内にあり健常者と体の不自由な人との共生を図ることを目的として建設された住宅である。そのために1階部分を鉄筋コンクリート、2階部分を木造の混構造とし、1・2階での住み分けをしている。1階部分には視力、肢体に障害のある人、または健常者の生活を、2階部分には視覚に障害のある人、または健常者の生活を考えたことで、このことは、入居者の使い勝手、火災等の避難を考えてのことである。1階部分の障害者向けの住宅は、すべての段差を無くし車椅子、松葉杖での移動が容易にでき、また、流しは、高さの調節ができるようになっている。



計画概要

敷地面積	2809.35㎡
建築面積	646.27㎡
延床面積	925.05㎡
構造	鉄筋コンクリート造+木造 2階建
型式	積層型 2棟
タイプ別住戸数及び面積	2LDK 身障者用 2戸 (70.9㎡) 2LDK 健常者用 12戸 (63.9~67.5㎡)

事業実施場所	下益城郡松橋町大字豊福
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	松橋町
事業実施年度	昭和63年度



上の原団地新築工事



事業概要

安心して住み続けられる団地づくり、住み手が主役の団地づくりを基本理念として計画。平面計画にあたっては、再入居者に対し、個別及びグループ別のヒアリングを実施。

また、バリアフリーなどの物的環境だけでなく、心理的にも安心して住み続けられるように自然監視が行えるような住戸の開放性や従前の良好な近隣関係が継承発展できるような配置をしている。地上階の歩行者動線に沿うかたちで2階レベルに立体通路を設置。



事業実施場所 下益城郡松橋町大字松橋
 事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅事業
 事業主体 松橋町
 事業実施年度 平成8年度～平成11年度

計画概要
 敷地面積 8,496.74㎡
 住宅
 建築面積 2,158.61㎡
 延床面積 3,514.98㎡
 構造 鉄筋コンクリート造2,3階建
 型式 積層型 12棟
 タイプ別住戸数及び面積
 2LDK 5戸 (62.1～73.5㎡) 3
 LDK 40戸 (69.2～83.4㎡) 4
 LDK 3戸 (76.4～79.3㎡)
 集会場
 建築面積 100.08㎡
 延床面積 99.82㎡
 構造 鉄筋コンクリート造平屋建

☆ 松橋町 ☆

築切団地新築工事



事業概要

松橋町の自然、気候・風土を考え、風の通る路地、夏の陽射しを避ける深い軒の出、樹木など、地域の風景作りの中心となる団地をめざし、全体計画を行っている。また、住戸計画では、DK、居間、和室と続き間型を採用している。また、路地によって階段とバルコニーをつなぎ、1戸建感覚の住宅としている。



計画概要

敷地面積	9,012.00㎡
住宅	
建築面積	1,722.60㎡
延床面積	4,525.70㎡
構造	鉄筋コンクリート造3階建
型式	積層型 4棟
タイプ別住戸数及び面積	2LDK 11戸 (56.7~58.3㎡) 3 LDK 49戸 (64.8~68.6㎡)
集会室	
建築面積	137.20㎡
延床面積	114.19㎡

事業実施場所	下益城郡松橋町大字松橋
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	松橋町
事業実施年度	昭和62年度～平成元年度



☆ 豊野町 ☆

出店団地



事業概要

- 住む人に愛着が持てる団地づくり
- 周辺地域との交流を大事にした団地づくり
- 人口の安定化
- 地域の活性化
- 地域の景観づくりとなる団地



計画概要

敷地面積	2,112㎡
建築面積	1種 75.35㎡ 2種 69.15㎡
延床面積	1種 72.00㎡ 2種 69.10㎡
構造	木造
型式	二戸一
住戸数	6戸
階数等	平屋建て

事業実施場所	熊本県下益城郡豊野町大字下郷 2232-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	豊野町
事業実施年度	事業開始 平成4年度、終了年度 平成4年度



☆ 玉東町 ☆

玉東町営住宅 猪の鼻団地建設工事



事業概要

当町は、「まちづくり計画」の中で「木葉街道ふれあいの里づくり」としたテーマで計画対象地域を設定しており、当住宅もこの地域内に位置する。このことから当住宅は、テーマの中の「歴史的背景に沿った宿場街」にこだわりを持ち、それに近い街並みを想定形成している。なぜならば、今でも昔を偲ばせる家屋が立ち並び賑わいを見せた街並みが残っているためであり、このような歴史的背景と、風土に根付いた景観を保存しながら、我が街独自の郷土色豊かなムラ（団地）を建設している。

また、当団地は南斜面の丘陵地にあり住戸の配置は、全戸南向きで全ての住戸からの眺望ができ、建物は斜面の段差を生かし二階からの進入とした、ユニークな二階建てと平屋づくりの木造住宅である。



計画概要

敷地面積	11530.8㎡
建築面積	10069.8㎡
延床面積	3686.4㎡
構造	木造
型式	二戸一棟
住戸数	50戸

事業実施場所	熊本県玉名郡玉東町大字上木葉
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	玉東町
事業実施年度	平成4年度～平成8年度



板楠団地



事業概要

- 1) 三加和の特性を踏まえた質の高い居住空間づくり
自然環境・伝統・文化などの特性を活かしながらモデルとなる質の高い居住空間をつくり、ひいては住みよい地域社会づくりにも役立てていく。
- 2) 地域の総意による住まいづくり
住まい環境づくりについても自主性を発揮し、多様性を認めつつ自らの総意と工夫により住まいを推進する。
- 3) 住まいや住まい方住まいづくりに総合的に関わる住宅施策の展開
住宅だけでなく住環境や社会、産業に広く施策を統合し展開を図る。
林業の振興のため、地元産の木材をふんだんに使用。
地域のコミュニティーを生かす大集会場。

計画概要

敷地面積	10,221㎡
住居専用面積	1997.75㎡
構造・戸数等	木造3DK (1種)平屋7戸 2階9戸 (2種)平屋5戸 2階9戸 計 30戸
集会所	102㎡ 防火水槽1基(40t)
浄化槽	1基(105人槽)
駐車場	30台
事業実施場所	三加和町大字板楠1814番地1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	三加和町
事業実施年度	平成元年度～平成4年度

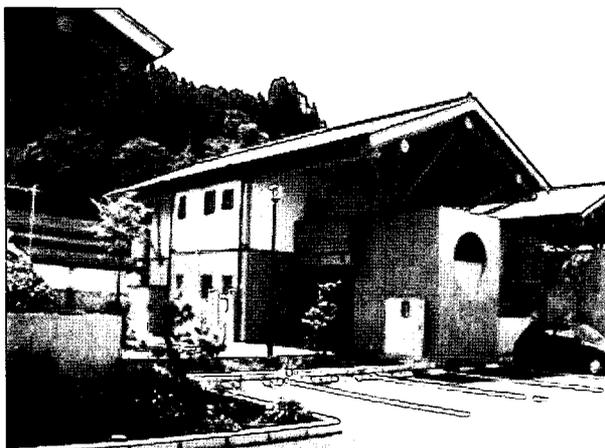


町営住宅矢津田団地新設工事

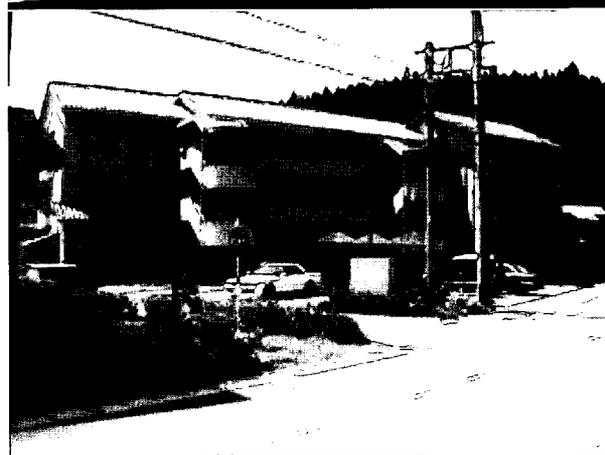


事業概要

矢津田団地は、杉田団地の建替団地であり、RC+Wの2階建て20戸です。計画にあたっては、くまもとアートポリスに参加し、豊かな自然を生かし、地域の主体性と創意工夫によって優れた文化的資産を残しました。また、入居者自らが建設計画に参加し、行政及び建築家と共同でワークショップにより基本計画を策定した。住宅については、高齢者世帯が多いため、耐火性能を確保するとともに遮音性能を確保する必要があり、1FについてはRC造としたが、遮音上支障のない2Fについては木造とし、地元産材の積極的活用を図るとともに、木材の産地として木のぬくもりが感じられる住宅としている。



計画概要	
敷地面積	3,490㎡
建築面積	760㎡
延床面積	1,272㎡
構造	RC+W 2階建
型式	1棟2戸 1棟4戸
タイプ別住戸	55.8㎡～60.6㎡ 20戸
数及び面積	
階数	2階建
事業実施場所	阿蘇郡南小国町大字赤馬場202-1他
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	南小国町
事業実施年度	平成13年度～平成14年度



馬見原団地



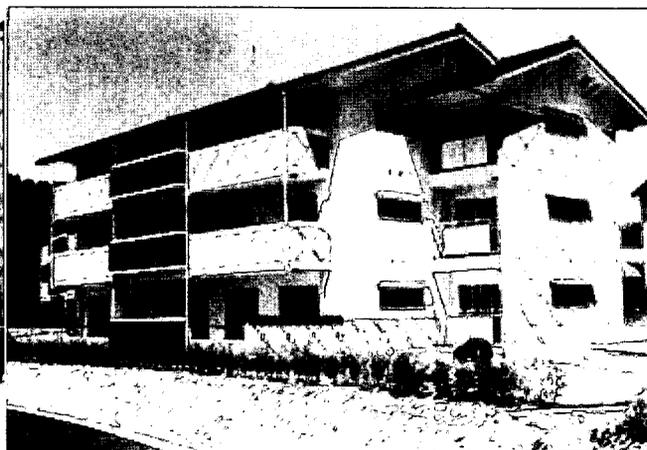
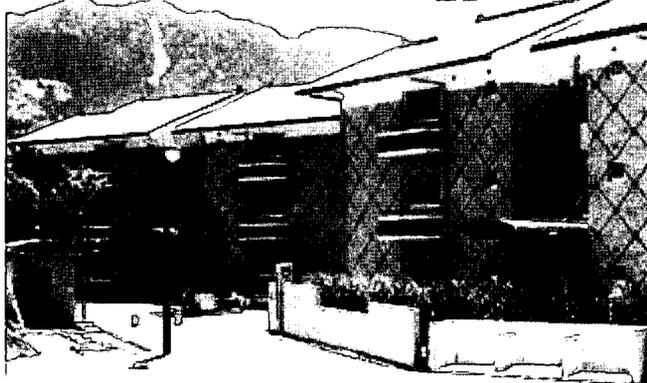
事業概要

馬見原団地は若者の定住による地域の商店街の活性化と地域コミュニティの維持をねらいとし基本計画を策定した。特に位置については団地の入居者が同地区商店街に徒歩で買い物に行けることを第一の条件として選定した。また、この地区は商店街としての歴史も古く、明治初期から大正末期にかけてたいへん栄え、それにより、県下でも3番目という早さで町制がしかれた街でもあった。しかし、時代の変遷とともに商店街は衰退の一途をたどっているのが現状である。このような中で地区住民により商店街の再興を目的とし、統一感のある街並みの整備を行い21世紀に向けて個性ある質の高い商店街の形成を目指すことを目的とした、「馬見原街づくり協議会」が平成9年度に発足され、様々な活動に取り組まれている。この公営住宅の計画にあたっては協議会の会員と幾度も話し合いを重ね、その中で生まれた第一号の公共建築物である。その建築デザインについては町文化財である「新八代屋」にみられる〈白壁土蔵造り〉風な町家を現在の街並みのイメージとして新しい形で表現し、これからの街並みとの調和を図った斬新な中にも歴史を感じさせる景観を創り出している。当該住宅建設後もこの団地を中心とした周辺整備が様々な形で計画、実施されており、今後も団地と地域の連携による活性化が一層期待される。



計画概要

敷地面積	3,097㎡
建築面積	209.80㎡
延床面積	524.26㎡
構造	鉄筋コンクリート
型式	積層型
住戸数・階数	6戸 3階建
事業実施場所	阿蘇郡蘇陽町大字馬見原9番地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	蘇陽町
事業実施年度	平成10年度



東陽村宮淵ノ本団地新築工事



事業概要

計画の目的：

くまもと国際居住年記念事業として、「しょうがと種山石工の里」で知られる、八代郡東陽村の公営住宅建設及び宅地開発について、地域の発展を目指し、居住環境豊かな21世紀を展望した居住地の創造を図るため。



計画概要

敷地面積	2993.4㎡
建築面積	720.68㎡
延床面積	766.46㎡
構造	木造平屋、木造2階建
型式	二戸連棟、三戸連棟
タイプ別住戸数及び面積	A棟(3戸、平屋) : 61.91㎡ 3DK B棟(2戸、平屋) : 61.02㎡ 3DK C棟(2戸、平屋) : 61.94㎡ 3DK D棟(3戸、2階) : 72.36㎡ 3DK

事業実施場所 熊本県八代郡東陽村大字南3418-1

事業種別 住宅団地

事業制度 公営住宅事業

事業主体 東陽村

事業実施年度 昭和63年開始平成元年終了

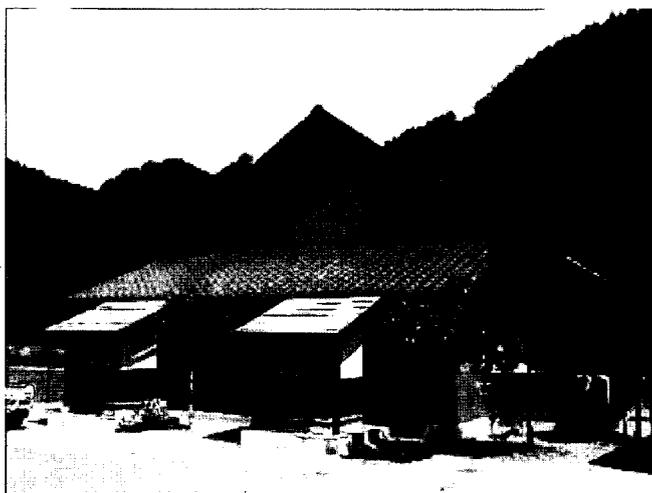


公営住宅「柳野団地」整備事業



事業概要

- 当地区は年々人口が減少しており、若者の定住促進策として、地場産材の杉・桧等を木材全てに使用し、地域性を考慮しながら斬新な外観の公営住宅を建設することにより地域活性化を図った。
- 地域住民との数回の話し合いを経て建設の基本計画を策定。
- 入居者の家族構成や年代の変化や違いによる様々なライフスタイルに対応できるよう移動可能な畳、建具を採用した。
- 高齢者、障害者にも配慮し段差を小さくしている。
- 外壁、内壁、床、天井に積極的に木材を使用し、特に構造材の一部を表しとし意匠としても利用し木材の良さをアピールしている。



計画概要

敷地面積	2100.12㎡
建築面積	718.18㎡
延床面積	818.54㎡
型式	2戸1棟
タイプ別住戸面積及び住戸数	A棟：476.13㎡ 1棟当り 158.71㎡ 6戸 B棟：345.42㎡ 1棟当り 172.71㎡ 4戸
階数等	木造2階建

事業実施場所	熊本県球磨郡山江村大字万江甲961-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	球磨郡山江村
事業実施年度	平成8年度

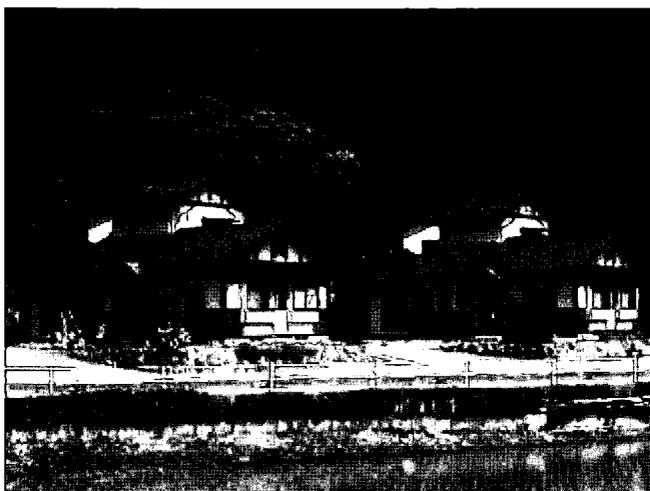


公営住宅「城内団地」整備事業



事業概要

- 若者、子供の定住促進による人口流出、高齢化に悩む山村過疎地域での、活性化対策の一助とする。
- 地域の景観に配慮しつつ、斬新なデザイン外観で魅力ある設計とした。
- 建築に使用する建材等には地場産材を積極的に多用する。
- 有識者からなる山江村活性化推進委員会に意見を聴き、団地の計画を立てた。



事業実施場所	熊本県球磨郡山江村大字万江 甲841-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	球磨郡山江村
事業実施年度	平成10年度

計画概要	
敷地面積	1300㎡
建築面積	266.80㎡
延床面積	319.80㎡
型式	2戸1棟
タイプ別住戸面積 及び住戸数	319.80㎡ 1棟当り 159.90㎡ 4戸
階数等	造2階建

☆ 水俣市 ☆

市営住宅亀首団地建設事業



事業概要

なごみともやいの心で、水俣の伝統や風土にあった住まいづくりが推進され、共に生きるライフスタイルを確立し、住文化を高める家づくり、街並みづくりに継がっていくことを目的とする。

(『なごみともやいの住まいづくり』より)

計画概要

敷地面積	1,389.50㎡
建築面積	407.17㎡
延床面積	481.57㎡
構造	木造
型式	二戸一
住戸面積	74.86㎡
住戸数	6戸
階数	2階建て
事業実施場所	熊本県水俣市丸島町2丁目21番
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	水俣市
事業実施年度	平成3年度



市営住宅久木野団地建設事業



事業概要

なごみともやいの心で、水俣の伝統や風土にあった住まいづくりが推進され、共に生きるライフスタイルを確立し、住文化を高める家づくり、街並みづくりに継がっていくことを目的とする。

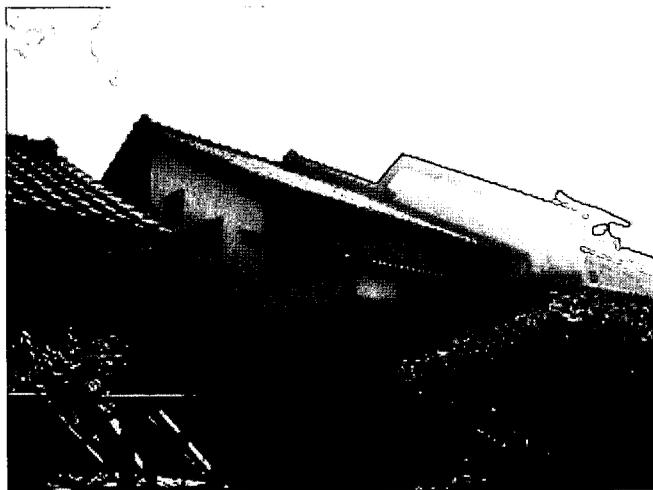
(『なごみともやいの住まいづくり』より)



計画概要

敷地面積	1,428.00㎡
建築面積	384.05㎡
延床面積	323.80㎡
構造	木造
型式	接地型
住戸面積	281.32㎡
住戸数	4戸
階数	1階建て

事業実施場所	熊本県水俣市久木野1073番地 1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	水俣市
事業実施年度	昭和63年度



住まいの絵コンクール



事業概要

なごみともやいの心で、水俣の伝統や風土にあった住まいづくりが推進され、共に生きるライフスタイルを確立し、住文化を高める家づくり、街並みづくりに継がっていくことを目的とする。

(『なごみともやいの住まいづくり』より)

計画概要

絵葉書、しおりの作成
水俣の風土(原風景)を絵葉書、しおりにて作成。

絵地区コンクールの開催
自分の住んでいる地域などを絵地図に表してもらい、水俣という地域を再認識し、水俣に対する思いをふかめてもらう。

事業実施場所	熊本県水俣市
事業種別	HOPE計画策定事業
事業制度	公営住宅事業
事業主体	水俣市
事業実施年度	平成2年度

☆ 阿蘇町 ☆

行者通り・仲小路地区



事業概要

本地区は草千里や噴火口に至る阿蘇登山道路坊中線に平行して、JR豊肥線阿蘇駅の南から、古刹西厳殿寺までの約0.6Kmの行者通り・仲小路の沿線の地区であり、国際観光地阿蘇の玄関に位置している。

また、本地区を含む坊中には、明治期まで三十六坊五十二庵と称せられる仏教施設が集積し一大景観を呈していた。現在でも法経塔や各民家所有の文化財などにその歴史を残している。

このことから、地域の歴史、風土、文化などに根ざした生活環境整備が望まれるため、住民参加型で道路や小公園等の整備を行うとともに、地元協議会と協定を締結し、沿線の住宅の修景施設整備を行い、本地区の歴史性を感じさせる景観形成を図っている。



事業実施場所	熊本県阿蘇郡阿蘇町大字黒川地内
事業種別	道路 小公園 下排水 案内板 ストリートファニチャー 民間施設
事業制度	街なみ環境整備事業 関係条例：熊本県景観条例
事業主体	協定締結団体：行者通り・仲小路まちづくり協議会
事業実施年度	平成7年度～平成16年度

計画概要	
地区面積	5.2ha
対象戸数	155戸
事業概要	
道路	2,576㎡
小公園	160㎡
下排水	409m
階数	平屋
案内板	10個
ストリートファニチャー	28個
修景施設整備	9件

☆ 阿蘇町 ☆

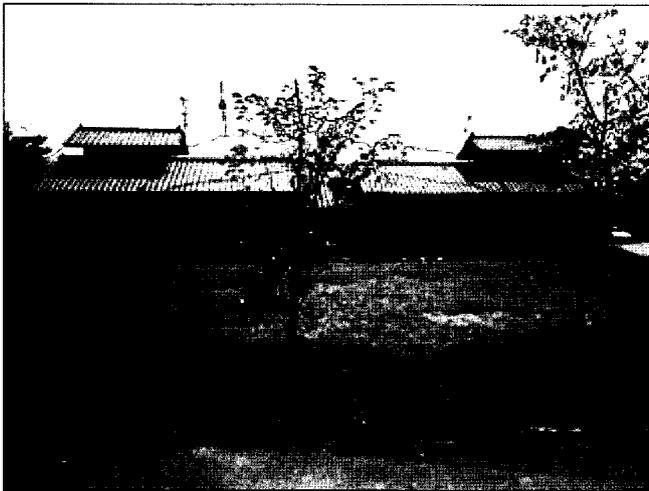
狩尾団地建設工事



事業概要

狩尾団地建設は、阿蘇らしい住宅のモデルとなるような設計を行った。また、狩尾地区の人口減少を防ぐべく若年層の流入を促す事業としても期待が寄せられた。

建設にあたっては設計段階から地元建築士会及びHOPEワーキングメンバー、地元住民とワークショップを開催し阿蘇らしさをテーマに平面プランを作成し、地鎮祭や上棟式を地元住民と一緒にやり行うなど狩尾地区をあげての事業を行った。



事業実施場所 熊本県阿蘇郡阿蘇町大字狩尾地内
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 阿蘇町
事業実施年度 平成4年度事業

計画概要
敷地面積 7,057㎡
建築面積 83.22㎡ (1戸当り)
延床面積 72.04㎡ (1戸当り)
構造 木造
型式 2戸1棟
住戸数 10戸5棟
階数 平屋

朝日西団地建替事業“御住塔（ごじゅうのとう）”



事業概要

当団地は、建替計画時点で木造平屋36戸、簡平26戸からなる団地であったが、老朽化が著しく周辺の宅地化が進んでいることから、良好な住環境づくりのモデル的な住宅として、周辺住民との良好なコミュニティが形成されるように、地域開放型の団地として建替える必要性が生じてきた。

このため団地設計に当たっては、自然との調和、人間尊重を基本として次のような設計計画のテーマを設定した。

1. 今後の高齢者社会に対応する世帯構成に応じた型別供給及び構造の住宅とする。
2. 当団地は、敷地が南下りに高低差があるので、この傾斜を有効に利用した、変化に富んだ中層住宅を配置する。
3. 団地内に核となる緑の空間を設けるなど、周辺の自然緑地を活かしたアメニティの高い団地づくりを行う。
4. 田園風景に溶け込むような、団地景観とする。

このように建替えにあたっては、質の高い環境をもつ新しい団地づくりをめざすために、町長を会長として役場内関係課長、県住宅課、町議会、区長会、商工会、婦人会等の代表、さらにアドバイザーとして、熊大の教授等をメンバーとする、「泗水町すまいを考える会」を発足させ、他に例のない住まいづくりを目指した。

具体的には、熊本の気候は蒸し暑く、冬は寒さが厳しいので、日除けのために、バルコニーなどの軒の出を深くした。また、断熱のためには、障子等をサッシの内側にとりつけた。

景観上、バルコニーの一部に木を使用し、コンクリート住宅を柔らかい表情にしている。



計画概要	
敷地面積	13,626㎡
建築面積	3,421.772㎡
延床面積	6,476.454㎡
構造及び型式	中層耐火構造
住戸タイプ	2LDK、合計86戸
住戸数	A棟 (3F) 61.65㎡×6戸
及び面積	B棟 (3F) 61.65㎡×6戸
	C棟 (3F) 61.65㎡×12戸
	D棟 (3F) 69.39㎡×12戸
	E棟 (5F) 69.39㎡×10戸
	F棟 (4F) 62.01㎡×16戸
	G棟 (4F) 62.01㎡×8戸
	H棟 (4F) 62.01㎡×16戸

事業実施場所	熊本県菊池郡泗水町大字吉富 3149-1、3140、3135
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	泗水町
事業実施年度	昭和60年度～平成5年度

公営住宅西瀬団地建替事業



事業概要

人吉市は城下町であるので、当団地の平面計画にあたり城下町の武家屋敷の平面事例を検討した。
 人吉藩に支配的に分布していた武家屋敷は、並列型から独立寝所等の増設、座敷などの拡大によって主屋の棟が鉤屋型に伸びて発展した住宅型であった。
 また、住宅間に共有スペースを設けることで、入居者の交流を図ると共に風の通り道があり健康的な住環境を形成することができる。これらの鉤屋型平面及び共有スペースを取り入れることで、標準的な平面と比較して凸凹の多い平面形状となっている。
 事業を実施するにあたり、計画・設計段階から市民、県、市、建築専門家などから幅広く建設的な意見を集約して建替事業を実施。



計画概要

敷地面積	27,853.98 m ²
建築面積	2,639.95m ² 1棟当り85.92、85.36m ²
延床面積	6,090.36m ² 1棟当り214.38、207.41m ²
構造 型式	鉄筋コンクリート構造（耐火構造） 1階フラット型 2・3階メゾネット型
住戸数	84戸（1棟3戸×28棟）
階数	3階
その他施設	集会所、プロパン庫、自転車置場 ゴミ仮置場、広場、駐車場 ※建築確認申請より

事業実施場所	人吉市下戸越町1058-1
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	人吉市
事業実施年度	平成元年度～平成5年度



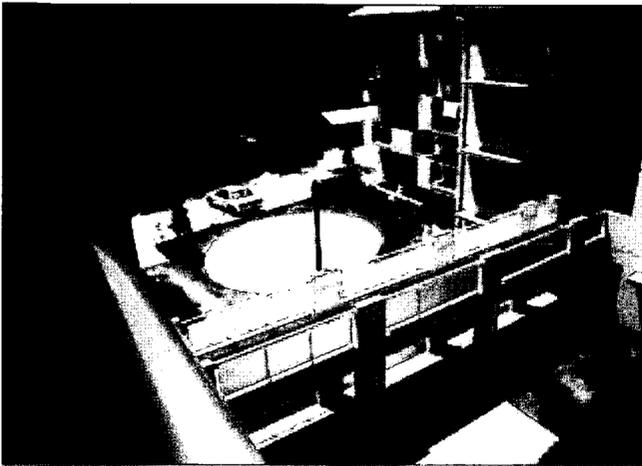
須口団地



事業概要

市営住宅マスタープランによる建替住宅説明会、先進地視察、検討会、意見交換会を行う事により住民参加型で行った。海を見ながら話ができる屋上スペースも設置し、漁師の道具の手入れしやすい庭等にも配慮。

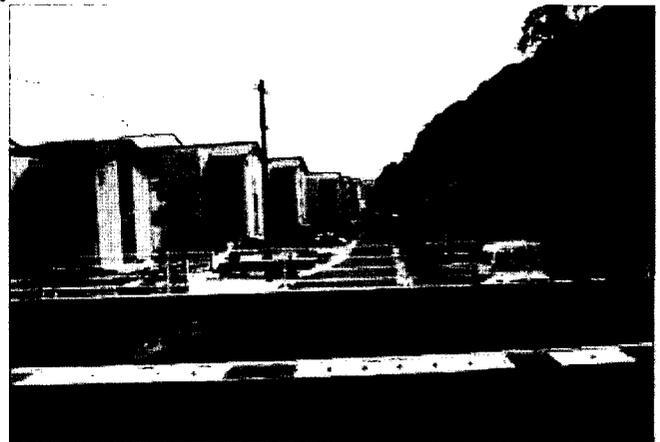
用地の位置が、ハイヤ大橋からのウォーターフロント開発及び道路整備を含め海からのランドスケープ等ワンポイントを持つ立面計画。



計画概要

敷地面積	12933.2㎡
建築面積	2338.13㎡
延床面積	6969.52㎡
構造	鉄筋コンクリート 壁式構造
型式	積層型
タイプ別住戸数及び面積	A 53.54㎡ 24戸 4階
	B1 66.66㎡ 22戸 4階
	B2 68.45㎡ 22戸 4階
	C 76.59㎡ 24戸 4階

事業実施場所 牛深市牛深町214. 1090
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 牛深市
事業実施年度 平成8年度～平成14年度



☆ 坂本村 ☆

坂本駅前住宅団地



事業概要

地域の活性化



計画概要

敷地面積 544㎡
 建築面積 299㎡ (99.77×3棟)
 延床面積 412㎡ (1F)81.15+ (2F)
 56.31=137.46×3棟
 構造 木造瓦葺2階建 (3DK)
 住戸数 6戸 (2戸×3棟)
 階数 2階建

事業実施場所 熊本県八代郡坂本村大字坂本4161番地の20

事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅建設事業
 事業主体 坂本村
 事業実施年度 平成2年度

計画概要

敷地面積 368㎡
 建築面積 223㎡ (111.77×2棟)
 延床面積 328㎡ (1F)88.98+ (2F)
 75.35=164.33×3棟
 構造 木造瓦葺2階建 (3DK)
 住戸数 4戸 (2戸×2棟)
 階数 2階建

事業実施場所 熊本県八代郡坂本村大字坂本4161番地の20

事業種別 住宅団地
 事業制度 公営住宅整備事業
 事業主体 坂本村
 事業実施年度 平成11年度～平成12年度

海浦団地公営住宅建設事業



事業概要

団地入口にシボルのなゲート、広場にシボルのツリーを設置した。海との調和を図り、開放的な住環境を整備。



事業実施場所 熊本県田浦町大字海浦1493番地の4
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 田浦町
事業実施年度 昭和62年度

計画概要

敷地面積	4,172㎡
建築面積	668.7㎡
延床面積	596.8㎡
構造・階数・型式	木造・2階・二戸一
住戸面積及び住戸数	74.6㎡・8戸

河原団地公営住宅建設事業



事業概要

地域住民へのアンケートを実施し、地区の景観等に配慮した。
地場産材を有効に活用した。



計画概要

敷地面積	2,399㎡
建築面積	495.5㎡
延床面積	475.2㎡
構造・階数・型式	木造・平屋・二戸一
タイプ別住戸面積 及び住戸数	62.7㎡・2戸 58.3㎡・6戸

事業実施場所 熊本県田浦町大字小田浦2230番地の1
事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 田浦町
事業実施年度 昭和61年度



旭A団地建替工事



事業概要

「地域社会の活性化」「周辺環境との親和」「居住環境の健康、快適性の増進」の3つのテーマを考慮した団地づくりを目的として、高森の豊かな自然と調和した「素朴で豊かな生活が広がるすまいづくり」をコンセプトに建替工事を実施した。

計画概要

敷地面積	6,312㎡
建築面積	1,879.42㎡
延床面積	2,289.70㎡
構造	木造平屋及び2階建
型式	二戸一
タイプ別	木造2階建1種 78.03㎡×10戸
住戸面積	木造2階建2種 73.70㎡×2戸
及び住戸	74.11㎡×10戸
数、階数	木造平屋建2種 69.74㎡×2戸
	71.40㎡×2戸
	木造2階建A(一般) 78.03㎡×2戸
	木造2階建B(特公) 91.28㎡×2戸



事業実施場所 熊本県阿蘇郡高森町大字高森1
582番地1
熊本県阿蘇郡高森町大字高森1
585番地2

事業種別 住宅団地
事業制度 公営住宅事業
事業主体 高森町
事業実施年度 平成6年度～平成9年度



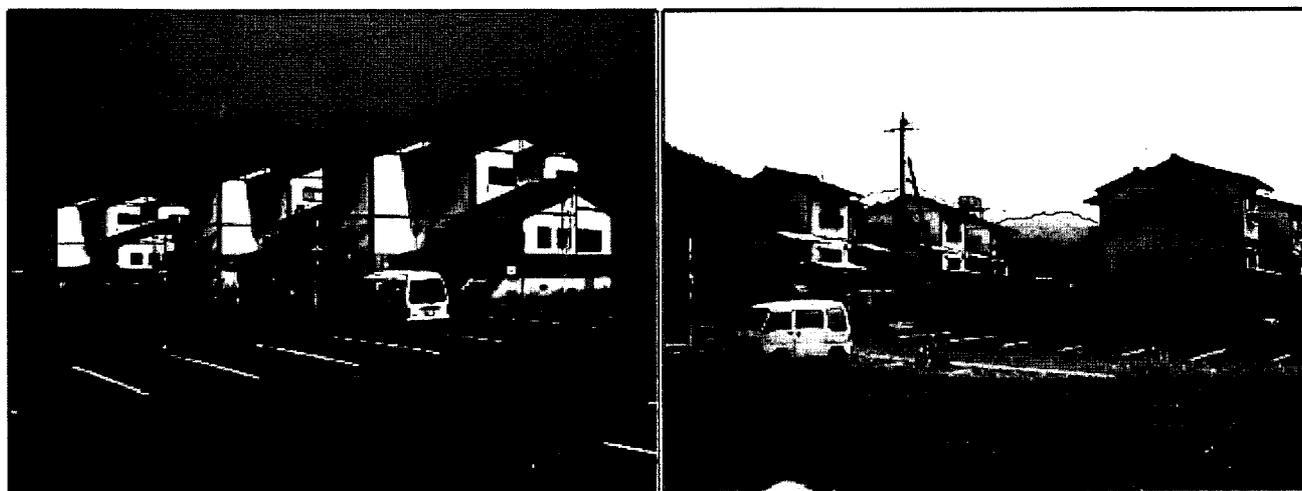
☆ 津奈木町 ☆

竹中団地公営住宅建設事業



事業概要

昔からの在来工法の木造住宅で、地元の木材を使用し、各戸に箱庭を設け居住者が自然の息づかいを感じ、美しく環境にやさしい、地域に根ざした団地づくりを実施。



事業実施場所	津奈木町大字岩城字山口610番地
事業種別	住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	津奈木町
事業実施年度	昭和62年～平成元年

大分県
HOPE奨励賞受賞市町村



別府市HOPE賞



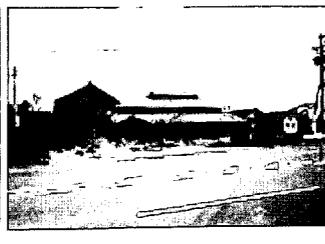
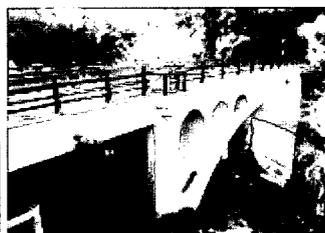
事業概要

平成2年度 (受賞数15点、応募作品数62点)	平成3年度 (受賞数8点、応募作品数32点)
平成4年度 (受賞数9点、応募作品数32点)	平成5年度 (受賞数11点、応募作品数31点)
平成6年度 (受賞数9点、応募作品数30点)	平成7年度 (受賞数9点、応募作品数23点)
平成8年度 (受賞数10点、応募作品数24点)	平成9年度 (受賞数7点、応募作品数24点)
平成10年度 (受賞数9点、応募作品数25点)	平成11年度 (受賞数6点、応募作品数29点)
平成12年度 (受賞数7点、応募作品数21点)	平成13年度 (受賞数8点、応募作品数18点)
平成14年度 (受賞数8点、応募作品数15点)	

計画概要

別府の自然、文化、資源などの地域特性を生かした『建築物』『外構・緑化・工作物』『宅地の建設・街路』『まちづくり運動』などの応募作品の中から優秀なものを表彰する制度。

事業実施場所 別府市内
 事業種別 個人住宅、民間施設、まちづくり運動等
 事業主体 別府市、別府市地域住宅計画推進協議会
 事業実施年度 平成2年度より実施 今年で14回目

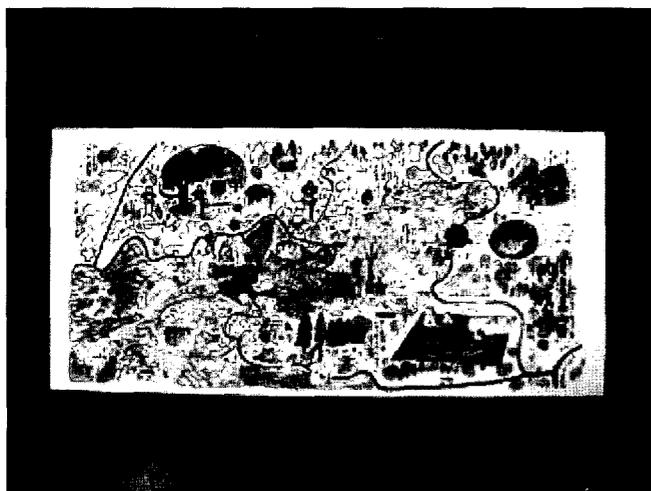


まちなみ点検地図の作成



事業概要

平成元年度	鉄輪地区
平成 2年度	亀川地区
平成 6年度	浜脇地区
平成 8年度	鶴見・大平山地区
平成 9年度	鶴見・大平山地区
平成10年度	浜脇地区
平成11年度	亀川地区
平成12年度	鉄輪地区
平成13年度	鶴見・大平山地区
平成14年度	浜脇地区

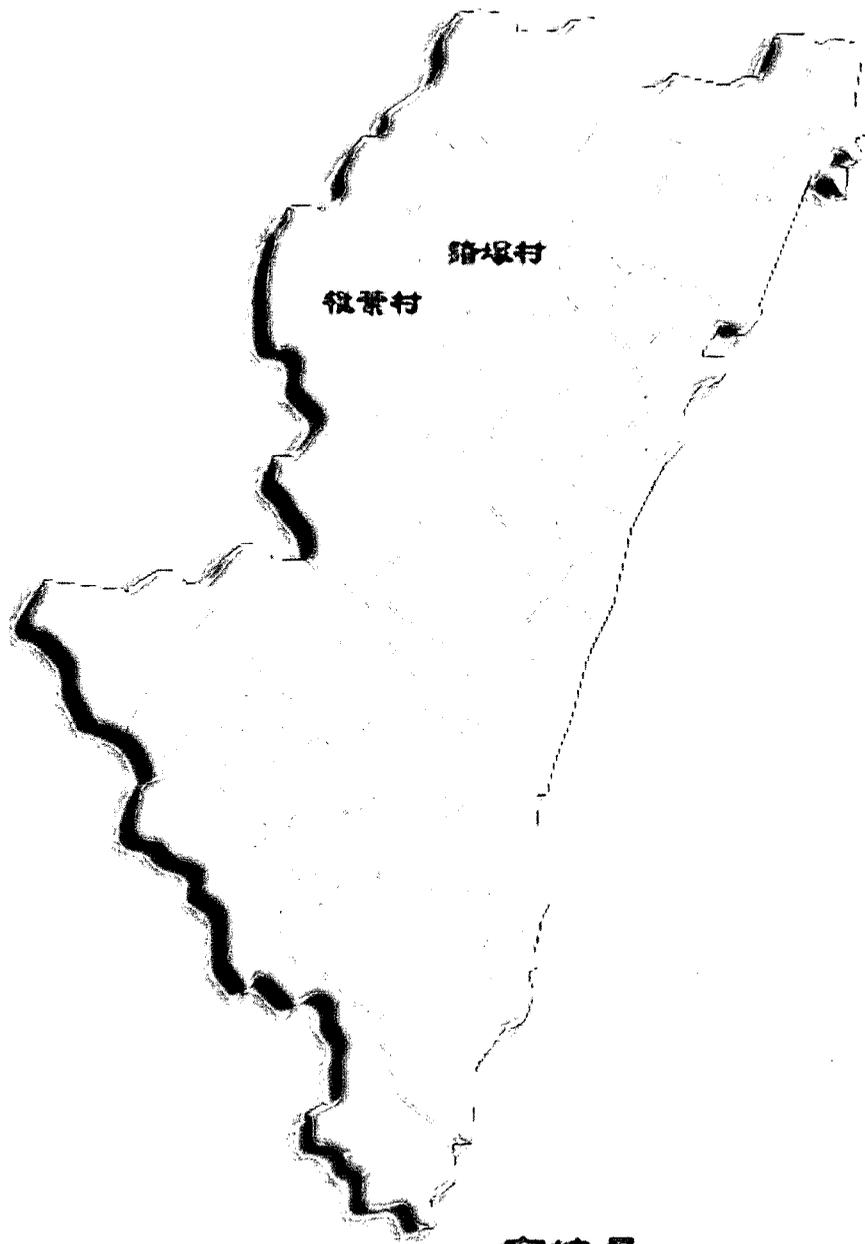


↑平成14年度（浜脇地区）

計画概要

自分達が住んでいるまちの長所や改善すべき課題を足元から見直し、身近なところからまちづくりに対する地域の創意工夫を行い、まちなみの整備方針を見出す。

事業実施場所	別府市内（4地区にて順次実施）
事業主体	別府市、別府市地域住宅計画推進協議会
事業実施年度	平成元年度より実施、今年で11回目



宮崎県
HOPE奨励賞受賞市町村

城の下第2団地 建築事業



事業概要

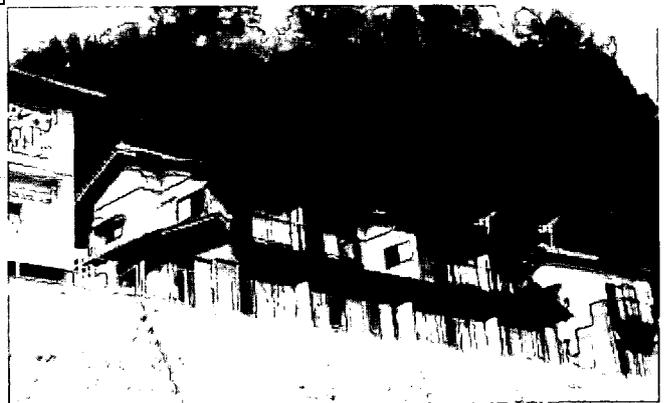
- 計画の目的
本村は、急峻な地形のため平地に乏しい。このため平成元年度策定のHOPE計画に急傾斜地の住宅計画が記された。
- 特殊工法、伝統工法
平地に乏しい本村であるため、当該住宅の敷地は県道から約7m低い位置にあり、一般的な住宅のように1階を玄関とすると利便性が悪いことから、2階に玄関を設け、アプローチしやすいつくりとした。
このため、1階部分を一部鉄筋コンクリート造とし、通路部分をより強固なものとし、アプローチ部分となる2階のF.Lが県道より低いいため階段を設けた。
- 地場産材活用
本村の属する宮崎県は、国内有数の木材生産量を誇り、その中でも、本村を有する耳川広域森林組合は国内最大級の管理面積を有している。
当該住宅発注時には、本村にて生産される木材を優先して使用するよう求め、地場産業の一助になるよう努めた。
- 地域の活性化
住宅建設により、世帯のある若者の居住環境が整備され、過疎化、少子化を少しでも緩和することに寄与しており、地域はもとより、本村の活性化の一助になっている。



計画概要

敷地面積	318.25㎡
建築面積	144.41㎡
延床面積	209.80㎡
構造	木造2階建一部RC造
タイプ別住戸面積	旧2種 木造2階
及び住戸数、階数	1戸当床面積63.1㎡ 4戸

事業実施場所	東臼杵郡諸塚村大字家代3263-5
事業種別	公営住宅団地
事業制度	公営住宅事業
事業主体	諸塚村
事業実施年度	平成3年8月20日～平成4年2月7日



城の下第3団地 建築事業



事業概要

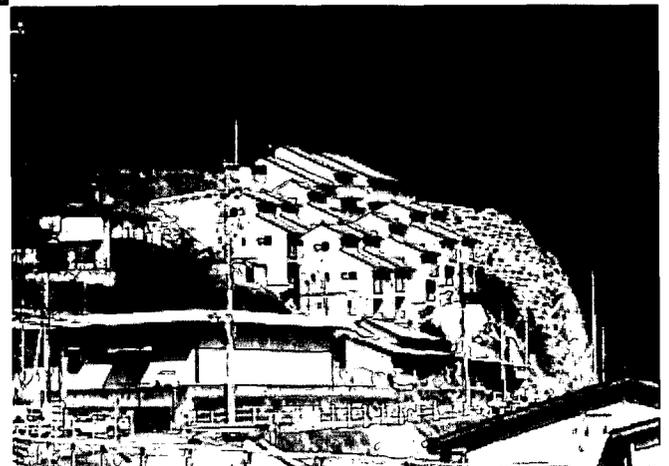
- 計画の目的
本村は、急峻な地形のため平地に乏しいことから、平成元年度策定のH O P E計画に傾斜地利用の住宅計画が記された。
- 特殊工法、伝統工法
当該住宅団地は、傾斜角25度から75度の厳しい条件の土地に建物を水平に建築するため、基礎の立ち上がりを高くし、また、滑り解消のために基礎の根入れを深くするなど、問題解消のための手段がとられた。
また、宅地造成段階では、宅地自体の滑りのおそれがあったため、アンカー及びのり面保護を行った。
- 地場産材活用
本村の属する宮崎県は、国内有数の木材生産量を誇り、中でも、本村を有する耳川広域森林組合は国内最大級の管理面積を有している。
当該住宅発注時には、本村にて生産される木材を優先して使用するよう求め、地場産業の一助になるよう努めた。
- 地域の活性化
住宅建設により、世帯のある若者の居住環境が整備され、過疎化、少子化を少しでも緩和することに寄与しており、地域はもとより、本村の活性化の一助になっている。



計画概要

敷地面積	1,100.55㎡
延床面積	504.47㎡
構造	木造2階建
タイプ別住戸面積 及び住戸数、階数	旧1種 木造2階 住戸面積 65.49㎡ 3戸 旧2種 木造2階 住戸面積 61.60㎡ 5戸

事業実施場所 東臼杵郡諸塚村大字家代3274-1
 事業種別 公営住宅団地
 事業制度 公営住宅事業
 事業主体 諸塚村
 事業実施年度 平成5年10月28日～平成6年6月30日



☆ 椎葉村 ☆

山村定住木造住宅尾前下団地新築工事



事業概要

- 計画の目的
過疎・少子化が進む中、後継者不足により、森林保全・村の活性化等の抜本的な対策として、平成5年度策定のH O P E計画に山村集落の整備が記された。
- 特殊工法、伝統工法
椎葉村の伝統的な椎葉型民家の継承を図るため、椎葉型民家のデザインを活かした設計とした。
- 地場産材活用
村産材を優先的に用いた木造住宅とし、地場産業の一助になるよう努めた。
- 地域の活性化
住宅建設により、若者や高齢者・持ち家を希望する者の住環境が整備され、過疎化・少子化が少しでも緩和することに寄与しており地域はもとより本村の活性化の一助になっている。

※山村定住住宅制度

振興山村地域又は過疎地域の市町村が、国土保全の担い手である山村の人々の定住を促進するために、宮崎の気候・風土に合った耐久性等に優れた骨太の「みやざきの家」を建設する場合、その費用の一部を助成し支援することにより、良質な木造住宅の振興や持家取得の促進を図ることを目的とする。

なお、管理開始後8年以上を経過した住宅については、一定の条件を満足する入居者に譲渡することができることとしている。



計画概要

敷地面積	5,100㎡
延床面積 (1戸あたり)	81.0㎡
構造	木造平屋
型式	1戸建
住戸数	6戸

事業実施場所	宮崎県東臼杵郡椎葉村大字不土野地内
事業種別	住宅団地
事業制度	椎葉村山村定住住宅の設置、管理に関する条例
事業主体	椎葉村
事業実施年度	平成6年10月～平成7年3月



☆ 椎葉村 ☆

伝統的建造物群保存地区（十根川地区）保存事業



事業概要

- 計画の目的
「椎葉型」といわれる一列平面形式の主屋、隣接する馬屋、倉、さらに、屋敷及び農地を形づくる石垣などの山村集落の伝統的建造物群を維持、保存していく。
- 伝統的建築物保存
「どじ」・「うちね」・「でえ」・「こざ」とよばれる各部屋が横一列に並ぶ椎葉独特の特徴を保存していくための構造及び屋根、外観の補修を行う。
割石で積まれた石垣の修理及び、後世の改修等で、甚だしく価値を損なわれているものの修復改修を行う。
- 地場産材活用
村産材を優先的に用いる。
- 住民参加等
地域住民による「守る会」が結成され、事業推進に協力している。



計画概要

地区の面積	39.9ha
特定物件	建築物32件
工作物	126件
環境物件	4件

事業実施場所	東臼杵郡椎葉村大字下福良字十根川、大久保、椎原
事業種別	山村集落
事業制度	伝統的建造物群保存地区保存事業
事業主体	椎葉村
事業実施年度	平成10年度国指定重要伝統的建造物群保存地区、保存事業実施中



☆ 椎葉村 ☆

山村定住木造住宅中の瀬団地新築工事



事業概要

- 計画の目的
過疎・少子化が進む中、後継者不足により、森林保全・村の活性化等の抜本的な対策として、平成5年度策定のH O P E計画に山村集落の整備が記された。
- 特殊工法、伝統工法
椎葉村の伝統的な椎葉型民家の継承を図るため、椎葉型民家のデザインを活かした設計とした。
- 地場産材活用
村産材を優先的に用いた木造住宅とし、地場産業の一助になるよう努めた。
- 地域の活性化
住宅建設により、若者や高齢者・持ち家を希望する者の住環境が整備され、過疎化・少子化が少しでも緩和することに寄与しており地域はもとより本村の活性化の一助になっている。

※山村定住住宅制度

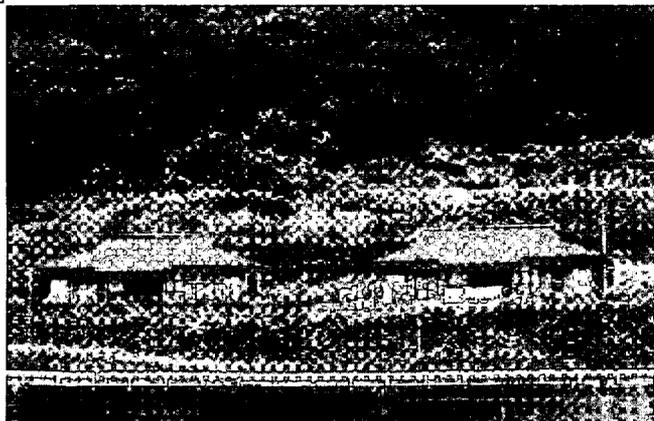
振興山村地域又は過疎地域の市町村が、国土保全の担い手である山村の人々の定住を促進するために、宮崎の気候・風土に合った耐久性等に優れた骨太の「みやざきの家」を建設する場合、その費用の一部を助成し支援することにより、良質な木造住宅の振興や持家取得の促進を図ることを目的とする。

なお、管理開始後8年以上を経過した住宅については、一定の条件を満足する入居者に譲渡することができることとしている。



計画概要	
敷地面積	800㎡
延床面積 (1戸あたり)	86.1㎡
構造	木造平屋
型式	1戸建
住戸数	2戸

事業実施場所	宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良1647-53
事業種別	住宅団地
事業制度	椎葉村山村定住住宅の設置、管理に関する条例
事業主体	椎葉村
事業実施年度	平成12年12月～平成13年3月



☆ 椎葉村 ☆

上椎葉地区街並み環境整備事業



事業概要

- 計画の目的
自然や、歴史的環境を生かした個性ある街並みを守り、育て、つくりあげるために、地区の住民と一体となって街並みを整備する。
- 特殊工法
屋根、建具、看板等の建築形態・意匠の統一を行う。
- 協定、住民参加等
本地区の住民、事業者、各種団体から構成される街並みづくり促進協議会が組織され、地区住民による街づくり活動が展開された。



事業実施場所 東臼杵郡椎葉村大字下福良字上椎葉
事業種別 個人住宅の修景、公園、通路、
事業制度 街なみ環境整備事業
事業主体 椎葉村
事業実施年度 平成7年度開始、平成12年度終了

計画概要
施設整備 通路1,619㎡ 小公園 620㎡
防火水槽 3基
案内板 3基
街路灯 32基
対象住戸数 69件



鹿児島県
HOPE奨励賞受賞市町村

永利ホープタウン



事業概要

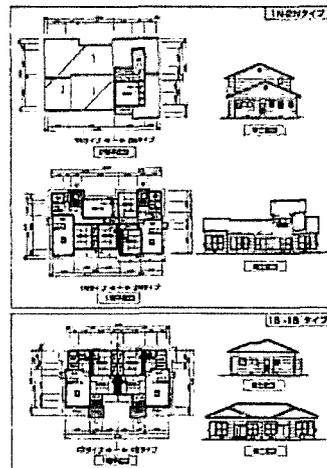
永利ホープタウンは、川内市HOPE計画で位置付ける永利福祉村ゾーンにおいて、「福祉の連携による新しいコミュニティーづくり」「周辺自然環境に調和した住宅地開発」「主要幹線道路のポテンシャルの有効活用」等をテーマに県住宅供給公社が開発したニュータウンである。

当該団地は、市街地から東方5km付近に位置し、空港道路への取付道路とも接している。県営住宅団地「サンビレッジ川内」は、県民の居住水準の向上及び良好な住環境の形成並びに高齢化社会に対応した住宅建設の促進を図るため、思いやりの里づくりをテーマに、昭和61年度から県が推進してきたサンビレッジプロジェクトによるモデル住宅団地である。

- (1) 敷地の形状を有効利用し、伝統的な景観形成を活かした「地域に密着する団地づくり」
- (2) 地域の習慣、伝統等に囲まれ地域性を大切に「心意気がはねる団地づくり」
- (3) 周辺環境や周辺施設との連携を重視した「思いやりの輪でつながる団地づくり」
- (4) お年寄りに優しく、若者にも通じる思いやり設計とした「セーフティライフの住宅づくり」をテーマとした団地づくりを行った。

県営住宅団地「永利ホープタウン」は、県のウッドタウンプロジェクトモデル団地として、県営住宅で初めての供給となる特定公共賃貸住宅と公営住宅を併設し幅広い豊かなコミュニティーの創出と、高齢化社会へ対応したバリアフリーの型別住宅供給を主に、次のデザインテーマにもとに団地計画が行われた。

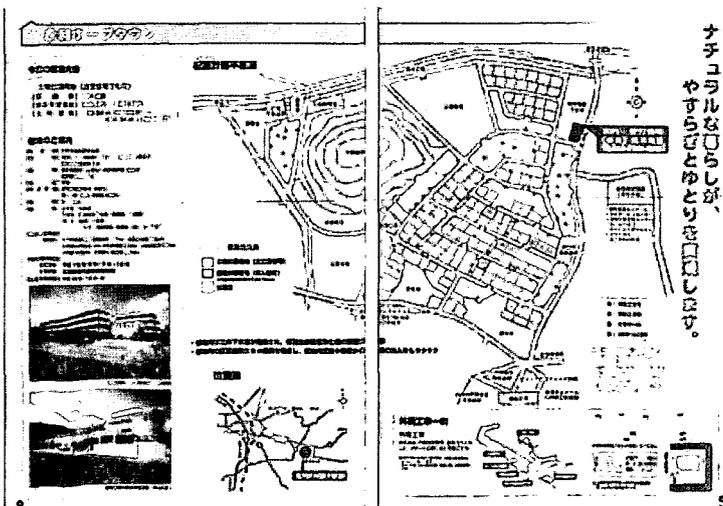
- (1) 陽気で活力あふれるモダニズム、ラテンの団地づくり
- (2) 自然と人に優しく、暖かく、親しみやすい団地づくり
- (3) ランドマークともなりうる明るく、印象的な雰囲気のある南欧風建物の団地づくり



計画概要

- 永利ホープタウン
(鹿児島県住宅供給公社分譲住宅団地)
・計画面積 約14.5ha,
・総計画戸数309戸
(戸建分譲222戸, 共同建(公営)87戸)
- サンビレッジ川内
(県営住宅団地)
・敷地面積 約1.14ha
・住戸数 45戸(高齢者)
・小家族タイプ10戸(一般タイプ35戸)
・型式 木造平屋建
(2戸1)9棟, 木造平屋戸建1棟,
木造2階建(2戸1)13棟, 木造集会室棟
- 永利ホープタウン
(県営住宅団地)
・敷地面積 約1.12ha
・住戸数42戸(特定公共賃貸住宅10戸)
・一般公営32戸(うち高齢者タイプ4戸)
・型式 木造平屋建
・2階建の組み合わせ
(全て2戸1)21棟 集会所棟

- 事業実施場所 川内市永利町字丸坊
- 事業種別 住宅団地, 個人住宅, 公園, 通路, 道路, 緑道
- 事業制度 公営住宅建設事業
- 事業主体 鹿児島県, 鹿児島県住宅供給公社
- 事業実施年度
H2(造成工事開始)～H4(造成完了)
H3～(分譲開始)
・県営住宅(サンビレッジ川内)の建設 H2～4
・県営住宅(永利ホープタウン)の建設 H8～10

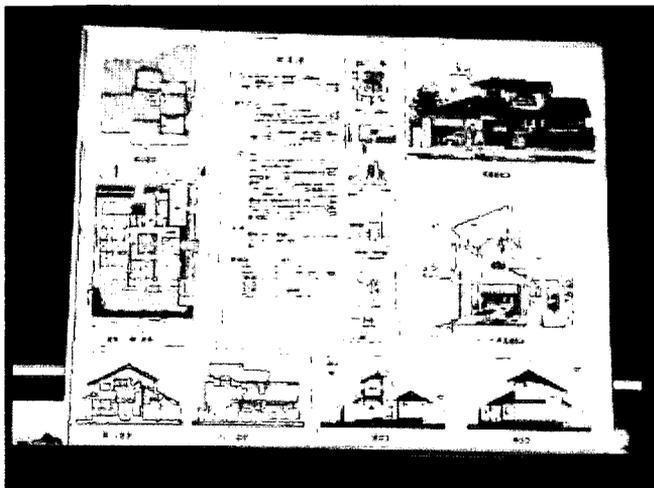


南方の家設計コンペ

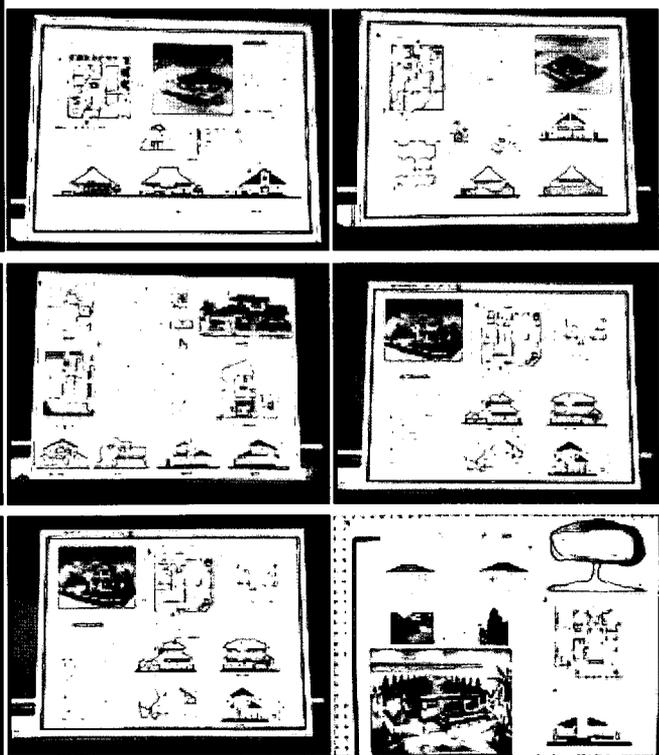


事業概要

喜界町にふさわしい住宅や住環境とは何かを住宅・建築関係者や町民が一緒になって考える機会として、またまた今後の住まいづくり街づくりを担っていく優れた人材を発掘する場として、地域住宅コンペを実施する。これには出来る限り多くの人参加出来るよう、全国にいる喜界島出身者の参加も含め鹿児島県全体を対象とした公開方式とし、審査には町民の意見も取り入れる。当選案は、中里地区の町営モデル団地への採用、住宅金融公庫の割り増し融資の確保など、今後の住まいづくり街づくり運動の核として活用する。



事業実施場所	鹿児島県大島郡喜界町
事業種別	個人住宅
事業制度	その他
事業主体	市町区村
事業実施年度	昭和62年5月



計画概要

モデル住宅 喜界島の家の提案

1. 奄美の気候風土に根ざした伝統的な集落の景観、住まいの作り方、生活習慣とうに学び、これらを現代の住まいづくりに活かした 喜界島の家を提案する。

なお、具体的な設計供給等については、「住まいづくりを考える会」において、今後検討を進め、標準仕様書モデルプラン集等取り決め、その普及啓蒙に努める。

住まいづくりの技術上のポイントについては、

- ①構造と材料
- ②屋根
- ③外壁

④土台と基礎まわり

⑤断熱

以上の五項目について資料編に詳しく述べている。

また、住宅金融公庫による地域住宅計画適合工事に対する割り増し融資制度についても、今後、モデル住宅喜界島の家を検討していく上での重要な課題とする。

集落の良さを生かした外構構成

1) 珊瑚石垣とガジュマルの生垣

・敷地周辺を喜界島の伝統的な景観要素である 珊瑚の石垣とガジュマルの生垣の連続で構成し、統一されたアイデンティティの高い美しい街なみの形成を図る。また、防風、防暑、防潮効果を高める。

2) ゆとりある道路環境

・道路には、出来るだけ歩道を設け、植樹や水路等 による潤いある街なみをつくる。
4m未満の道路で歩道の少ない場合、各敷地内に1m程度後退し歩道を設け、よりよい道路環境を整備し、歩行者の安全を図る。

3) 半公共空間の確保

・2戸で1ヶ所のまとまりのある駐車場とアプローチ空間をとり、緑化ブロック等を使用、車のない時は子供の遊び場や隣人等とのコミュニケーションの場とする。

4) アタリ（菜園）の確保

・敷地内にはアタリ（菜園）を設け野菜や花き、果物栽培等実用的な利用や、観葉植物栽培、盆栽づくり等趣味の園芸を楽しむ場としても利用する。

2. 奄美の気候風土に適した住まい

1) 防暑対策

- ・南面開放型の間取りとし、北側にもテラス戸を設け通風をよくする。
- ・軒の出を深くし(800mm以上)、各居室には必ず2ヶ所に開口部を設ける。
- ・縁側または濡れ縁、テラス、パーゴラ等を設け、簾等を設置できる金具等を取り付けておく。
- ・屋根勾配を急にし(4/10以上)、小屋裏空間を大きくとり、熱遮断をよくする。
- ・居室の天井高を2500mm以上とする。
- ・天井裏、外周壁には断熱材を施工する。
- ・小屋裏には良好な換気のために、独立した小屋裏ごとに2ヶ所以上換気口を設ける。必要に応じ強制換気扇も設置する。
- ・夜間の通風を考え、換気口やガラス戸また格子付、らんま付のサッシ等を設ける。
- ・玄関土間や押入部分から床下の冷気を部屋に取り入れる。
- ・屋根棟部に散水装置を設ける。
- ・犬走り部分に奄のヒゲ等を植栽し、日射の照り返しを防ぐ。

2) 防風、防雨

- ・耐力壁をバランスよく配置し、構造耐力上必要な軸組を各方向とも十分とる。
特に、隅角部の筋違い、45×95mm以上とする。
- ・瓦葺きの場合は全ての瓦を緊結する。
- ・柱・土台等の主要構造材は、120×120mm以上とする。
- ・雨戸、戸挟みを設置する。
- ・屋根は谷を設けずシンプルにする。
- ・軒を深く、屋根勾配を急とする。
- ・外部には、錆びやすい建材を使用しない。

3) 防蟻対策

- ・床を高くし(700mm以上)、床下換気孔を大きくとり、通風をよくする。
- ・床下に土間コンクリート(厚さ60mm以上、防湿フィルム敷き)を施工する。
- ・大引きを大きくし(105×105mm以上@950mm)床束をコンクリートブロックとする。
- ・基礎の天端にアリ返しを設ける。
- ・浴室、洗面所基礎高は1000mm以上とする。
- ・防蟻の施工は入念に行う。

3. 伝統文化に根ざした住まい

- ・明るく開放的な間取りとし、通風を良くし、快適な居住空間を作る。
- ・多人数の集まり等のため、続き間等により12帖以上の広い空間を確保する。
- ・ゆとりある家族団欒のスペースを確保する。
- ・床の間、神棚等のスペースを確保する。
- ・外部との緩衝空間、隣人等との語らいの場となる縁側、濡れ縁、テラス等を設ける。
- ・明るく、ゆとりある玄関とする。
- ・紬織り、書斎等に利用できる余室を設ける。

☆ 中種子町 ☆

伏之前団地立替事業



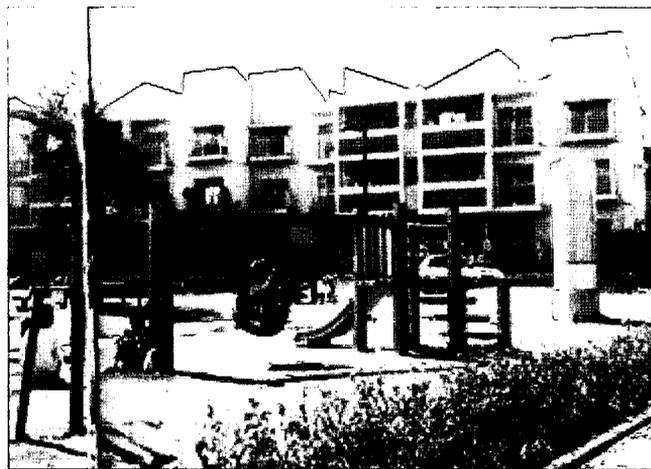
事業概要

本町は、種子島の中央部に位置し交通面など生活利便性については有利な立地条件を有しているが、人口減少と高齢化が進み、早急な地域の振興を図らなければならない状況にあった。

このことを踏まえ、地域への若者の定着性の良い住宅づくり、高齢者も含めた暮らしよい環境づくりを柱とした本町の住宅政策の一環として、本計画を策定し、基本計画に基づいて老朽住宅の建替事業を導入した次第である。

団地内容については、本町の中心部に立地する伏之前団地をモデル団地として設定し、隣接する都市公園を含め地域性を生かした住宅改善が図られた。

なお、今後伏之前団地入居者間のみならず、団地周辺住民との交流や団地内施設の有効活用により、総合的な暮らしよい住環境づくりが展開されていくものと思われる。



計画概要

敷地面積 29,165 m²

1号棟	建築面積 681.05m ² 延床面積 1,884.62m ² RC造3階建て ストリート型 1種標準 71.10m ² 3戸, 2種標準68.38m ² 17戸	2種小型 58.17m ² 4戸, (計24戸)
2号棟	建築面積 681.05m ² 延床面積 1,884.62m ² RC造3階建て ストリート型 1種標準 71.10m ² 3戸, 2種標準68.38m ² 17戸	2種小型 58.17m ² 4戸, (計24戸)
3号棟	建築面積 341.88m ² 延床面積 946.38m ² RC造3階建て ストリート型 1種標準 71.10m ² 3戸, 2種標準68.38m ² 7戸	2種小型 58.17m ² 2戸, (計12戸)
4号棟	建築面積 326.20m ² 延床面積 933.03m ² RC造3階建て コモン北入型 2種標準69.05m ² 11戸	2種小型 58.84m ² 1戸, (計12戸)
5号棟	建築面積 164.46m ² 延床面積 478.68m ² RC造3階建て コモン北入型 1種標準 71.26m ² 3戸, 2種標準69.05m ² 2戸	2種小型 58.84m ² 1戸, (計 6戸)
6号棟	建築面積 322.14m ² 延床面積 936.14m ² RC造3階建て コモン南入型 2種標準68.70m ² 11戸	2種小型 57.92m ² 1戸, (計12戸)
7号棟	建築面積 326.20m ² 延床面積 933.03m ² RC造3階建て コモン北入型 標準69.05m ² 11戸	小型 58.84m ² 1戸, (計12戸)
8号棟	建築面積 167.51m ² 延床面積 487.81m ² RC造3階建て コモン北入型 標準71.68m ² 6戸	(計 6戸)
9号棟	建築面積 322.14m ² 延床面積 936.14m ² RC造3階建て コモン南入型 2種標準68.70m ² 11戸	2種小型 57.92m ² 1戸, (計12戸)
(合計120戸)		

国土技術政策総合研究所資料
TECHNICAL NOTE of NILIM
NO.151 January 2004

編集・発行©国土技術政策総合研究所

本資料の転載・複写の問い合わせは
〒305-0804 茨城県つくば市旭一番地
(企画部研究評価・推進課) 029-864-2675